

平成 26 年度

「武蔵小杉駅周辺地域における
コミュニティ形成に関する意識調査」

報告書

平成 27 年 3 月

中 原 区

【目次】

I. 調査概要	1
II. 調査結果	
(ア)住まいの状況について	8
(イ)本地域の魅力について	19
(ウ)定住・移住意向について	25
(エ)本地域の住民の付き合い・交流場所について	38
(オ)コミュニティ活動などへの参加状況について	50
(カ)本地域に対する愛着などについて	67
(キ)本地域の不安について	78
(ク)興味・関心がある活動について	87
(ケ)地域活動に対する参加状況などについて	93
(コ)地域活動に取り組む組織に対する参加状況などについて	104

I . 調查概要

I. 調査概要

1. 実施調査

「武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティ形成に関する意識調査」

2. 調査目的

再開発によって整備が進む武蔵小杉駅周辺地域において、今後の「定住意向」や地域活動に対するニーズなどを把握し、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とします。

3. 調査方法

- (1) 調査地域 武蔵小杉駅周辺地域（以下、本地域とする）
- (2) 調査対象 調査対象地域に居住する満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2500 標本（回収分析標本数 850 標本、回収率 34.0%）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの単純無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成 26 年 8 月下旬～9 月 10 日
- (7) 集計、分析 株式会社富士通総研

4. 調査項目

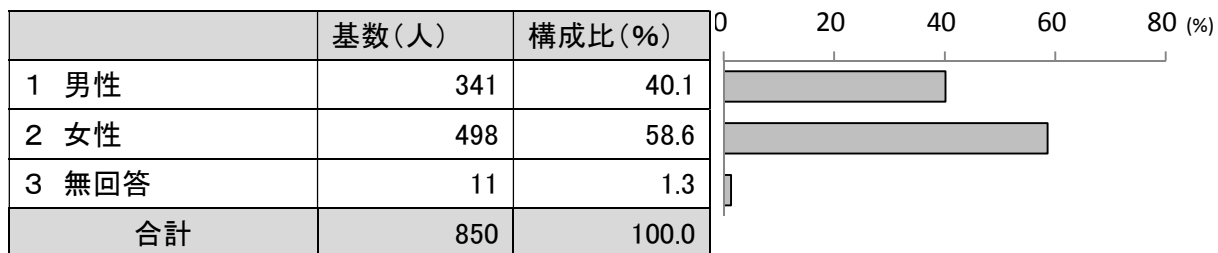
調査項目	問番号
(ア) 住まいの状況について	問 1、問 1-1、問 2
(イ) 本地域の魅力について	問 3
(ウ) 定住・移住意向について	問 4、問 4-1、問 4-2、問 4-3、問 4-4
(エ) 本地域の住民のつき合い・交流場所について	問 5、問 6、問 6-1
(オ) コミュニティ活動などへの参加状況について	問 7、問 8、問 9、問 10
(カ) 本地域に対する愛着などについて	問 11、問 12、問 13、問 14
(キ) 本地域の不安について	問 15、問 15-1
(ク) 興味・関心がある活動について	問 16
(ケ) 地域活動に対する参加状況などについて	問 17、問 18、問 19、問 20
(コ) 地域活動に取り組む組織に対する参加状況などについて	問 21、問 22、問 23、問 24

本報告書を読むにあたって

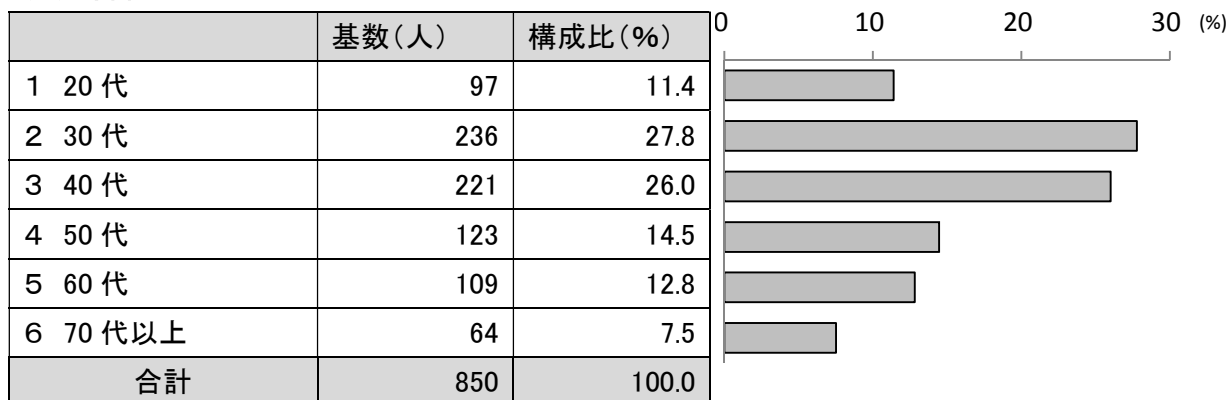
- ① 武蔵小杉駅周辺地域とは、武蔵小杉駅を中心とした半径約 500m のエリアのことで、住所としては、今井南町・市ノ坪・中丸子・下沼部・小杉町 1 丁目・小杉町 2 丁目・小杉町 3 丁目・新丸子町・新丸子東 1 丁目・新丸子東 2 丁目・新丸子東 3 丁目 小杉御殿町 2 丁目 が該当する。
- ② 図中の n は、回答数を表している。なお、本報告書の考察においては、n30 未満については標本数が少なく信頼性の観点から省略している。

5. 回答者の属性

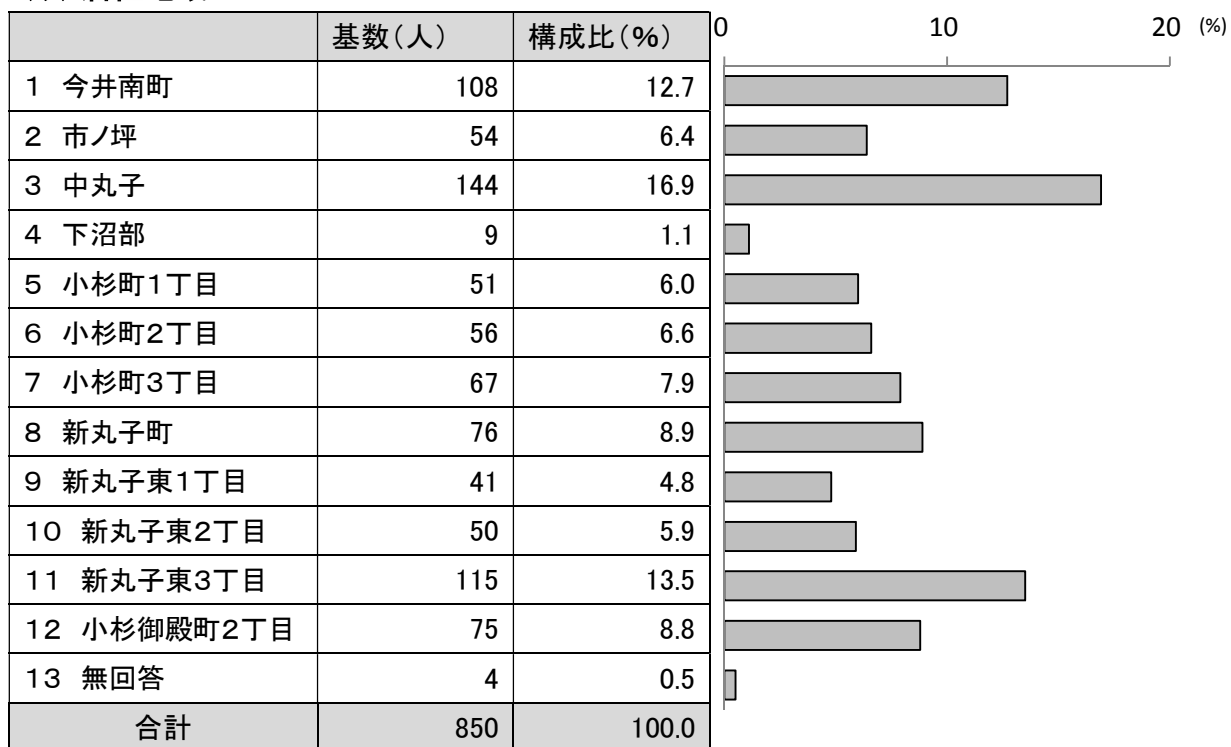
(ア) 性別



(イ) 年齢



(ウ) 居住地域



(エ) 家族構成

	基数(人)	構成比(%)	0	20	40 (%)
ひとり暮らし(単身)	238	28.0			
夫婦のみ	253	29.8			
2世代同居(親と子)	295	34.7			
3世代同居(親子孫)	22	2.6			
その他	34	4.0			
無回答	8	0.9			
合計	850	100.0			

(オ) ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)	0	10	20 (%)
単身(1)	144	16.9			
単身(2)	115	13.5			
単身(3)	22	2.6			
夫婦だけ(1)	82	9.6			
夫婦だけ(2)	97	11.4			
家族形成期	102	12.0			
家族成長前期	56	6.6			
家族成長中期	40	4.7			
家族成長後期	32	3.8			
家族成熟前期	66	7.8			
家族成熟後期	77	9.1			
その他	17	2.0			
合計	850	100.0			

6. (1)ライフステージの分類説明

＜ライフステージの分類説明＞

本調査においては、各ライフステージとして次の通り属性を定めた。

		内容	具体例
子どもなし	単身(1)	40 歳未満・独身	・未婚者(40 歳未満) ・配偶者離死別者(40 歳未満)
	単身(2)	40-64 歳・独身	・未婚者(40-64 歳) ・配偶者離死別者(40-64 歳)
	単身(3)	65 歳以上・独身	・未婚者(65 歳以上) ・配偶者離死別者(65 歳以上)
	夫婦だけ(1)	40 歳未満・子どもなし夫婦	・有配偶者・子どもなし(40 歳未満)
	夫婦だけ(2)	40 歳以上・子どもなし夫婦	・有配偶者・子どもなし(40 歳以上)
子どもあり	家族形成期	小学校入学前の乳幼児を持つ親	・第一子が小学校入学前
	家族成長前期	小学生の子を持つ親	・第一子が小学生
	家族成長中期	中学生・高校生の子を持つ親	・第一子が中・高校生
	家族成長後期	各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親	・第一子が大学生など
	家族成熟期前期	学校教育を終えた子を持つ親	・第一子が学校教育修了、末子が教育期 ・子が全員独立した親・65 歳未満
	家族成熟期後期	子が全員独立している 65 歳以上の親	・子が全員独立した親・65 歳以上
	その他	分類不能	上記以外

7. (1)ライフステージの分類説明表

設問	選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		単身(1)	単身(2)	単身(3)	夫婦だけ(1)	夫婦だけ(2)	家族形成期	家族成長前期	家族成長中期	家族成長後期	家族成熟前期	家族成熟後期	その他
年齢	1. 20～24歳	○			○								
	2. 25～29歳	○			○								
	3. 30～34歳	○			○								
	4. 35～39歳	○			○								
	5. 40～44歳		○			○							
	6. 45～49歳		○			○							
	7. 50～54歳		○			○							
	8. 55～59歳		○			○							
	9. 60～64歳		○			○							
	10. 65～69歳			○		○						○	
	11. 70～74歳			○		○						○	
	12. 75歳以上			○		○						○	
結婚	1. 既婚(配偶者あり)				●	●							
	2. 既婚(離死別)	○	○	○									
	3. 未婚	○	○	○									
子ども	1. 子どもはいない	●	●	●	●	●							
	2. 小学校入学前						●	△	△	△	▲		
	3. 小学校在学中							●	△	△	▲		
	4. 中学校在学中								○	△	▲		
	5. 高校在学中								○	△	▲		
	6. 大学・専門学校等在学中									●	▲		
	7. 学校教育終了(社会人など)										●	●	

●: ●がついた選択肢が選択されていること

○: ○がついた選択肢の中のいずれかが選択されていること

△: △はついていても●または○のいずれかを優先する

▲: ▲がついた選択肢のいずれかが選択されていること

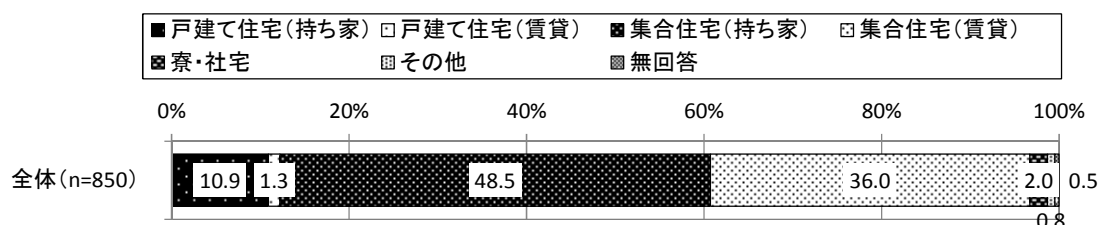
Ⅱ．調査結果

Ⅱ. 調査結果

(ア)住まいの状況について

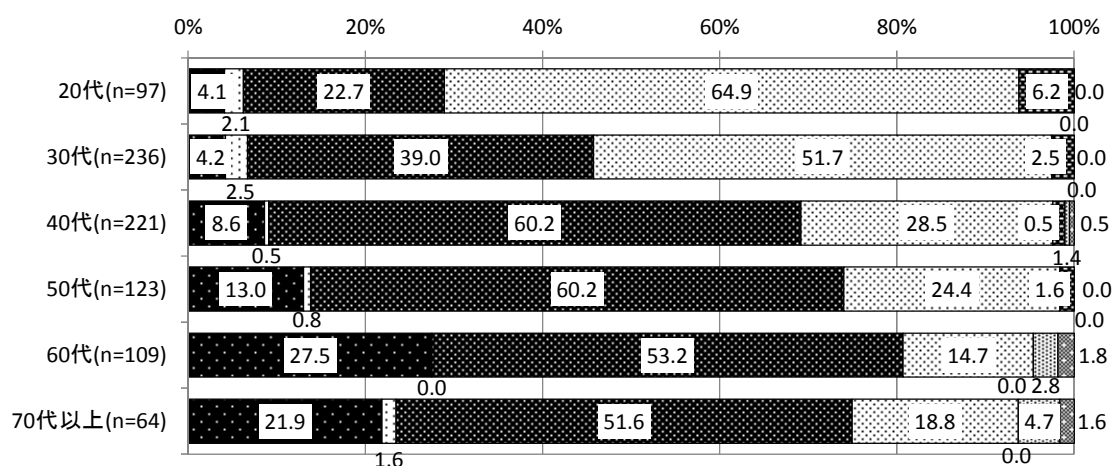
問1. 現在お住まいの居住形態を教えてください(単独回答)

図 居住形態 [全体]



居住形態については、「集合住宅(持ち家)」(48.5%)が50%近くで最も高く、ついで、「集合住宅(賃貸)」(36.0%)となっており、『集合住宅』(84.5%)の占める割合が高い。

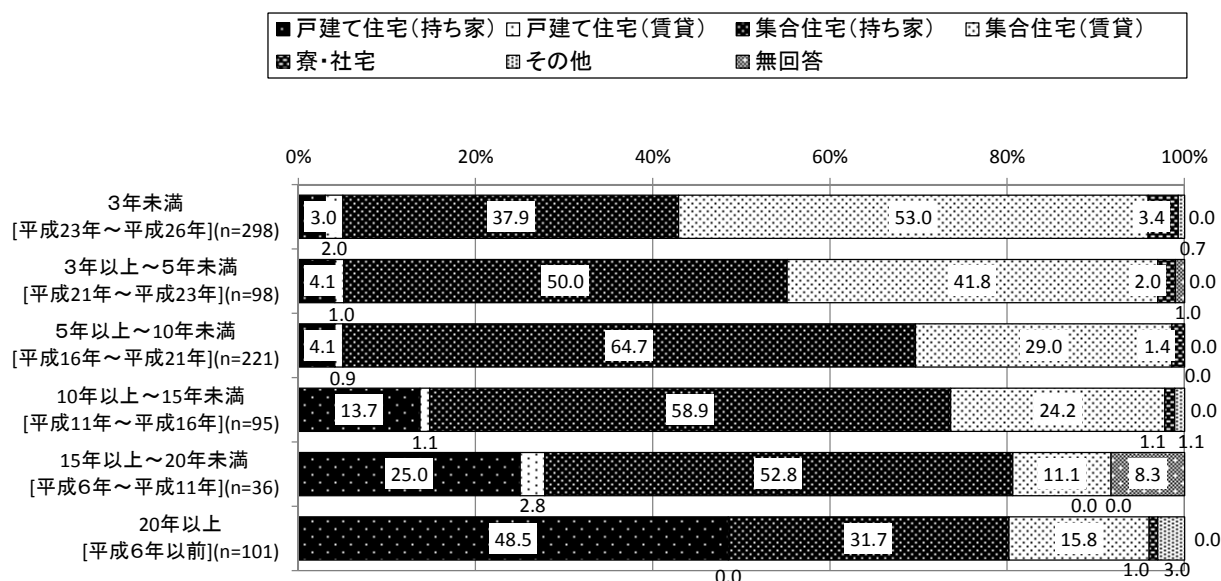
図 居住形態 [年代別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、『賃貸』から『持ち家』の割合が高くなる傾向にある。

「戸建て住宅(持ち家)」は、『60代以上』が、全体より10ポイント以上高い。「集合住宅(持ち家)」は、「40代」(60.2%)と「50代」(60.2%)が最も高く、ついで、「60代」(53.2%)、「70代以上」(51.6%)の順となっている。一方で、「集合住宅(賃貸)」は、「20代」(64.9%)、「30代」(51.7%)が半数以上となっており、全体より10ポイント以上高い。

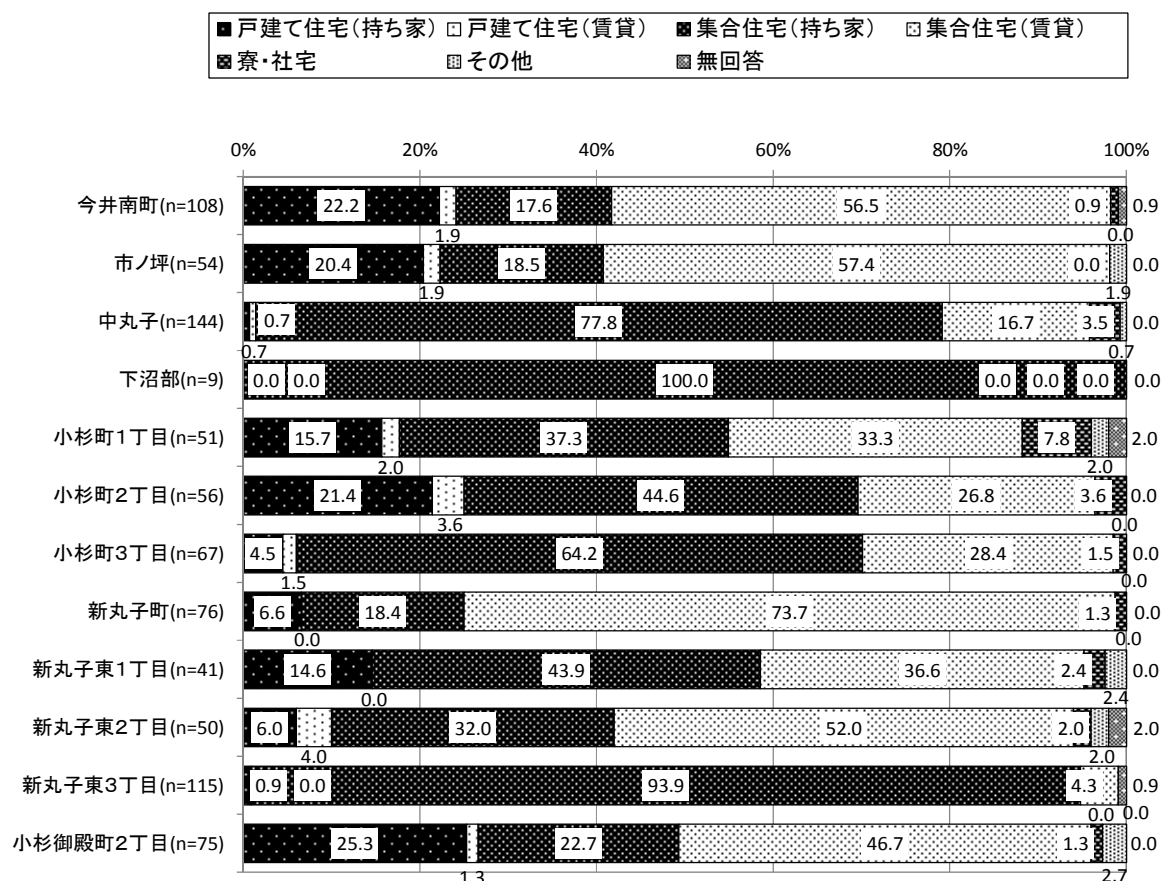
図 居住形態〔居住年数別〕



居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに『賃貸』から『持ち家』の割合が高くなる傾向にある。

「戸建て住宅(持ち家)」は、「20 年以上 [平成6年以前]」(48.5%)が半数近く占めており、全体より 10 ポイント以上高い。「集合住宅(持ち家)」は、「5年以上～10 年未満 [平成 16 年～平成 21 年]」(64.7%)、「10 年以上～15 年未満 [平成 11 年～平成 16 年]」(58.9%)が全体より 10 ポイント以上高い。一方で、「集合住宅(賃貸)」は、『5 年未満』が全体より 5 ポイント以上高い。

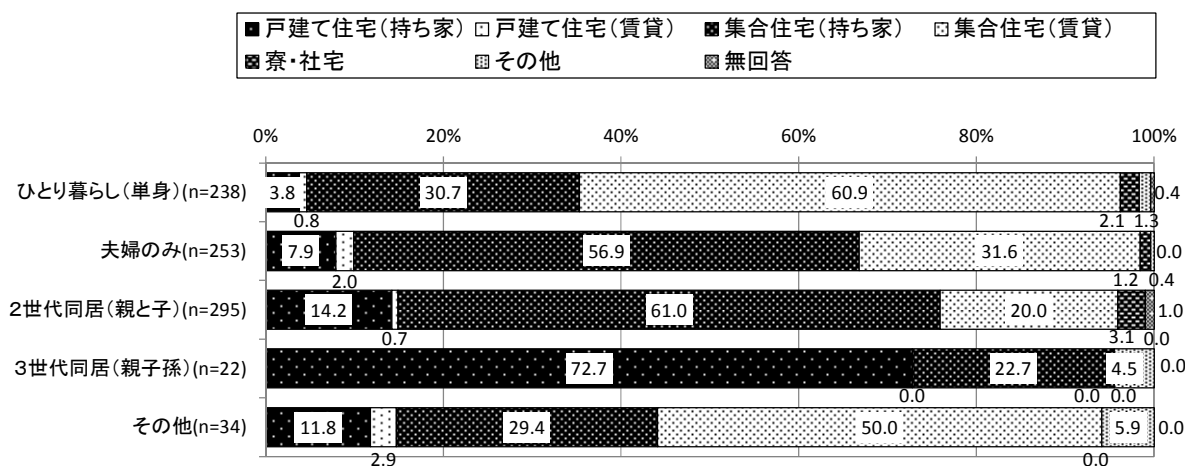
図 居住形態 [居住地区別]



居住地区別にみると、「戸建て住宅(持ち家)」は、「小杉御殿町2丁目」(25.3%)、「今井南町」(22.2%)、及び「小杉町2丁目」(21.4%)が全体より10ポイント以上高い。

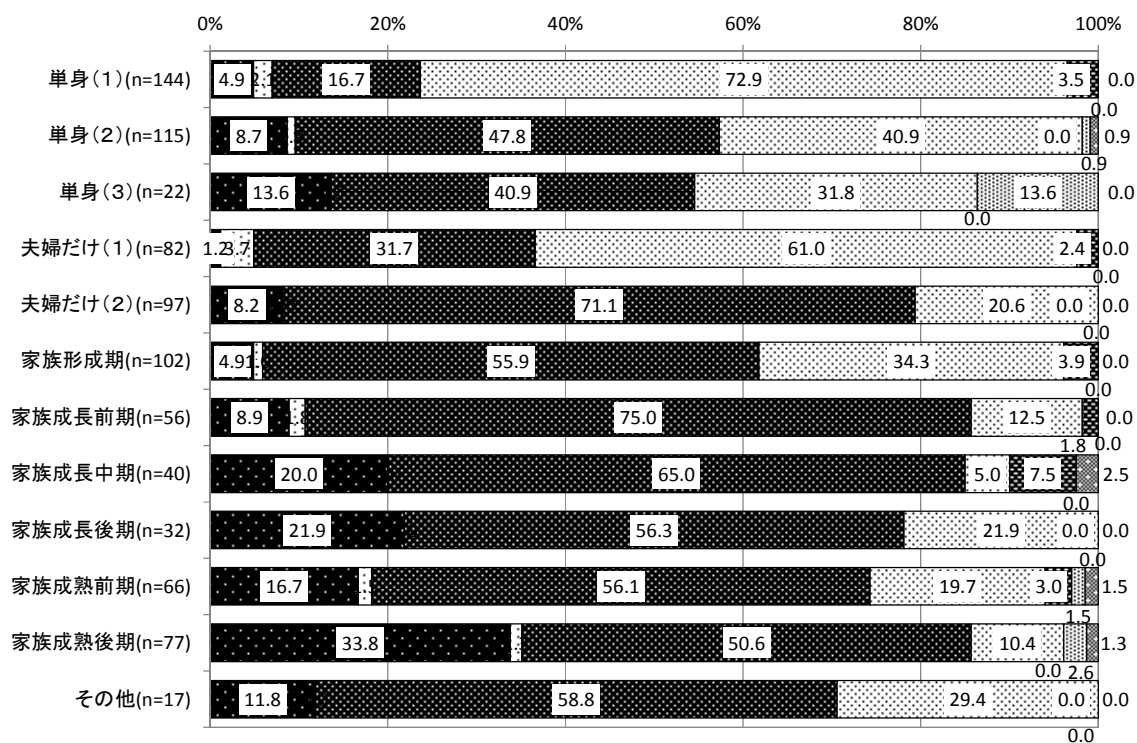
一方で、「集合住宅(持ち家)」は、「新丸子東3丁目」(93.9%)、「中丸子」(77.8%)、「小杉町3丁目」(64.2%)が全体より10ポイント以上高い。「集合住宅(賃貸)」は、「新丸子町」(73.7%)、「市ノ坪」(57.4%)、「今井南町」(56.5%)、「新丸子東2丁目」(52.0%)が半数以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。

図 居住形態【家族構成別】



家族構成別にみると、「集合住宅(持ち家)」は、「2世代同居(親と子)」(61.0%)、「夫婦のみ」(56.9%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「集合住宅(賃貸)」は、「ひとり暮らし(単身)」(60.9%)が最も高い。

図 居住形態【ライフステージ別】

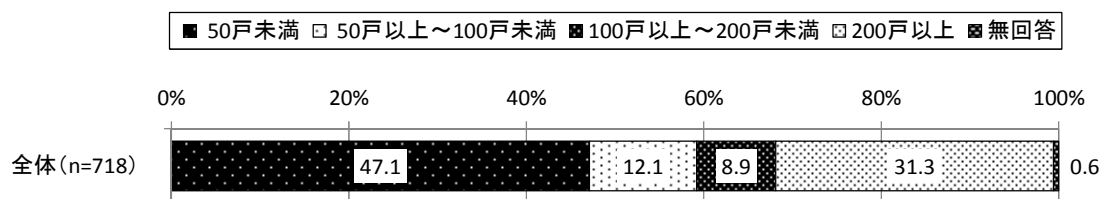


ライフステージ別にみると、ライフステージが上がるとともに、『賃貸』から『持ち家』、『集合住宅』から『戸建て』へ割合が高くなる傾向がみられる。

「戸建て住宅(持ち家)」は、「家族成熟後期」(33.8%)、「家族成長後期」(21.9%)が全体より10ポイント以上高い。「集合住宅(持ち家)」は、「家族成長前期」(75.0%)が最も高く、ついで、「夫婦だけ(2)」(71.1%)、「家族成長中期」(65.0%)の順となっている。「集合住宅(賃貸)」は、「単身(1)」(72.9%)が最も高く、ついで、「夫婦だけ(1)」(61.0%)の順となっている。

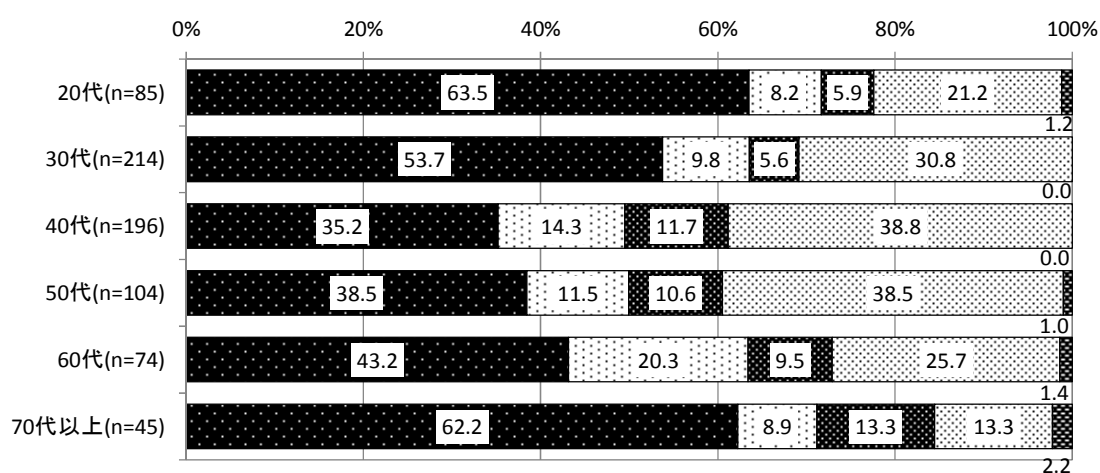
問1－1. (問1「3」、「4」回答者)お住まいの集合住宅の規模を教えてください(単独回答)

図 集合住宅の規模 [全体]



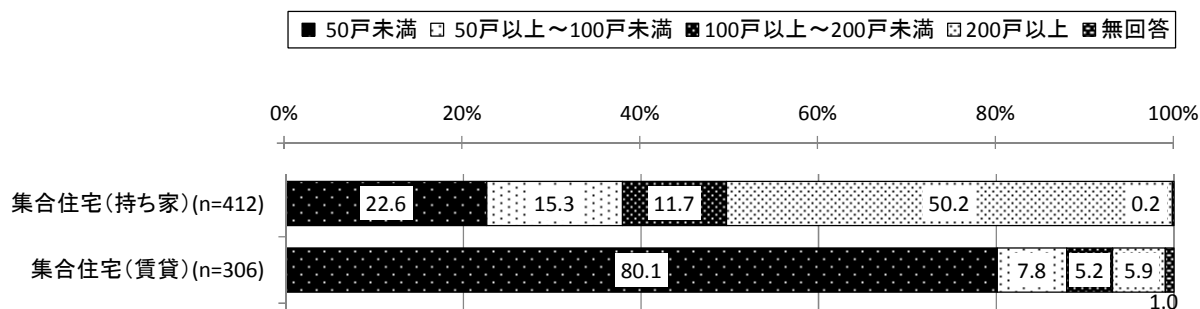
集合住宅の規模については、「50 戸未満」(47.1%)が最も高く、ついで、「200 戸以上」(31.3%)が高くなっている。

図 集合住宅の規模 [年代別]



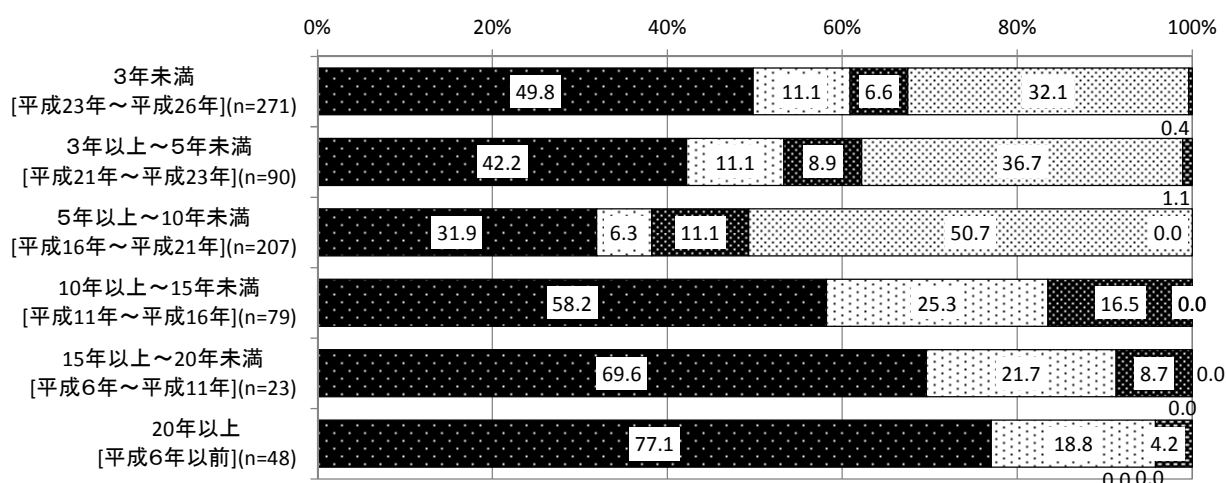
年代別にみると、「50 戸未満」は、「20 代」(63.5%)、「70 代以上」(62.2%)が全体より 10 ポイント以上高い。「50 戸以上～100 戸未満」は、「60 代」(20.3%)が全体より 5 ポイント以上高く、「200 戸以上」は、「40 代」(38.8%)、「50 代」(38.5%)が 40%近くを占めており、全体より 5 ポイント以上高くなっている。

図 集合住宅の規模 [居住形態別]



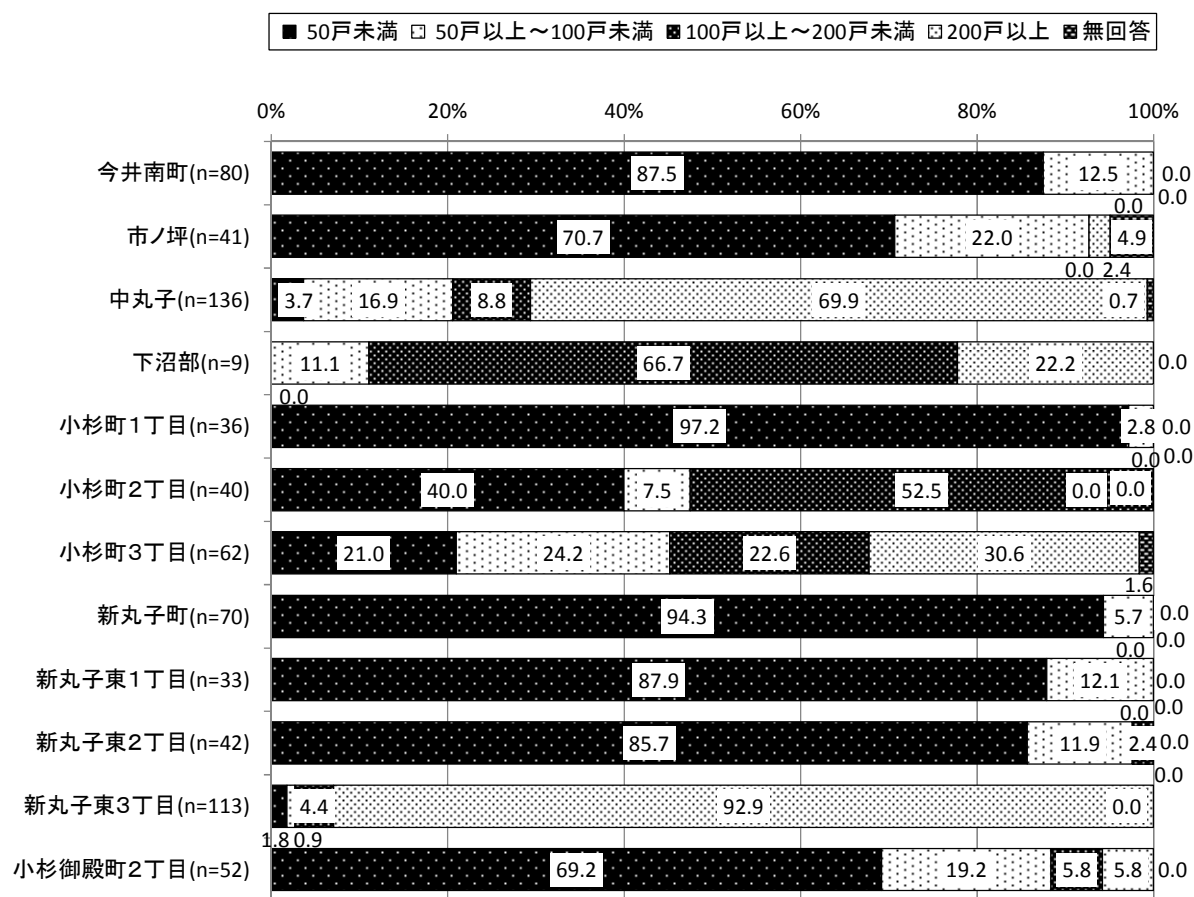
居住形態別にみると、「50戸未満」は「集合住宅(賃貸)」(80.1%)が約80%と全体より10ポイント以上高く、「200戸以上」は「集合住宅(持ち家)」(50.2%)が全体より10ポイント以上高い。

図 集合住宅の規模 [居住年数別]



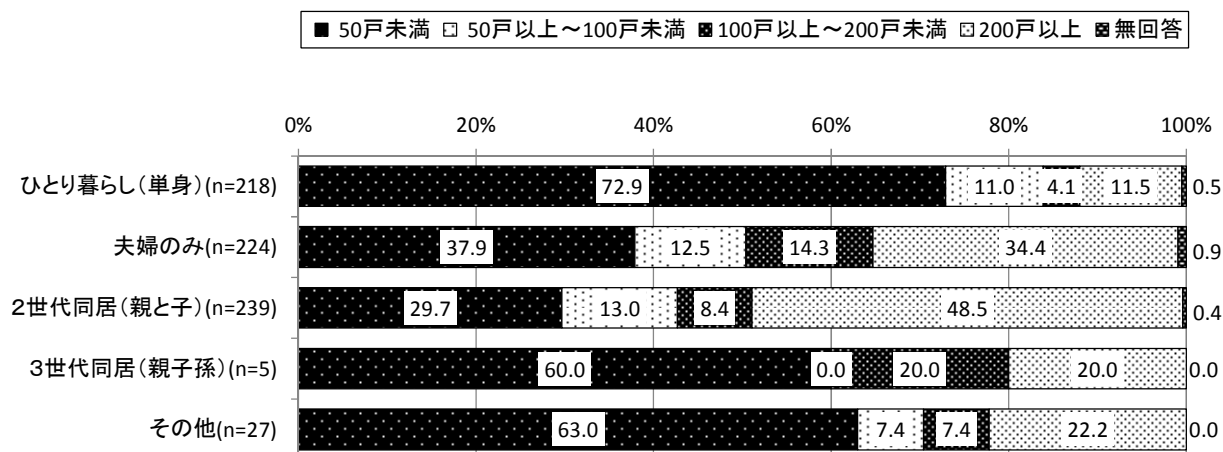
居住年数別にみると、『100戸未満』は『10年以上』で、いずれも80%以上を占めている。一方で、「200戸以上」は、「5年以上～10年未満 [平成16年～平成21年]」(50.7%)が半数以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。

図 集合住宅の規模 [居住地区別]



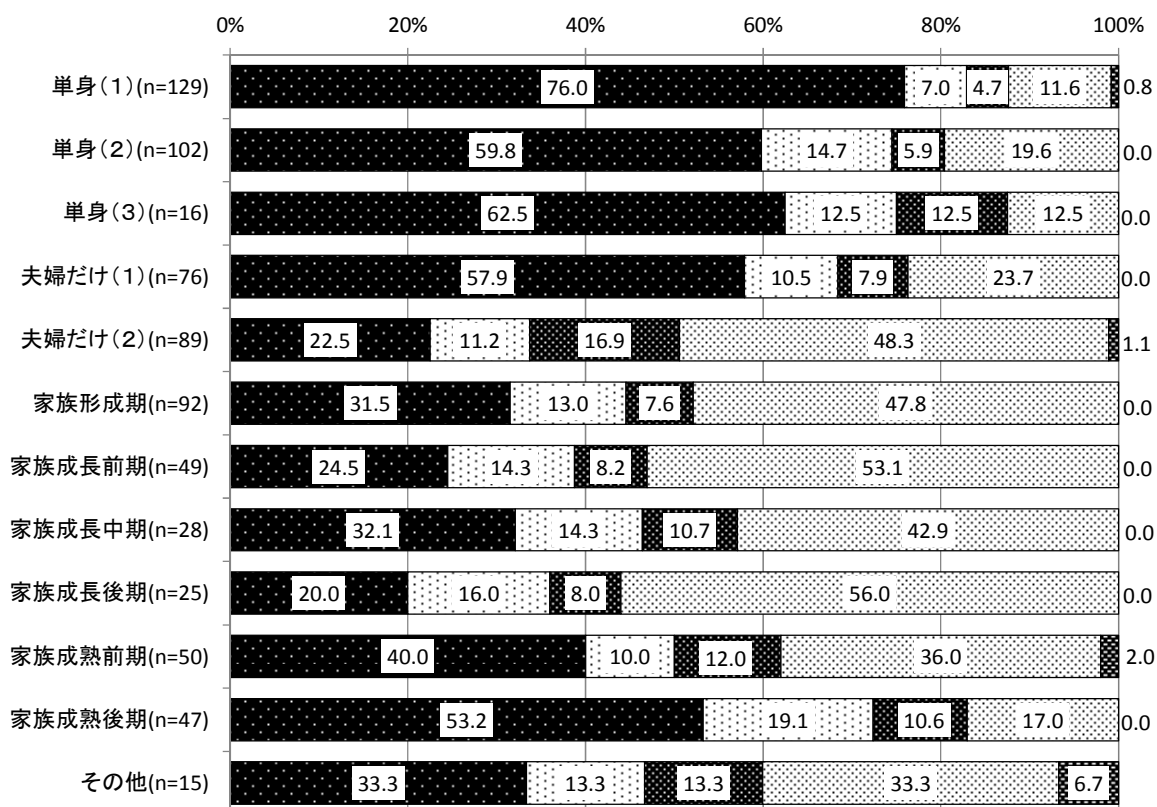
居住地区別にみると、「50 戸未満」は「小杉町1丁目」(97.2%)が最も高く、ついで、「新丸子町」(94.3%)、「新丸子東1丁目」(87.9%)、「今井南町」(87.5%)、「新丸子東2丁目」(85.7%)順となっている。一方で、「200 戸以上」は、「新丸子東3丁目」(92.9%)、「中丸子」(69.9%)が、全体より 10 ポイント以上高い。

図 集合住宅の規模 [家族構成別]



家族構成別にみると、「50戸未満」は「ひとり暮らし(単身)」(72.9%)が全体より10ポイント以上高くなっており、「200戸以上」は「2世代同居(親と子)」(48.5%)が全体より10ポイント以上高くなっている。

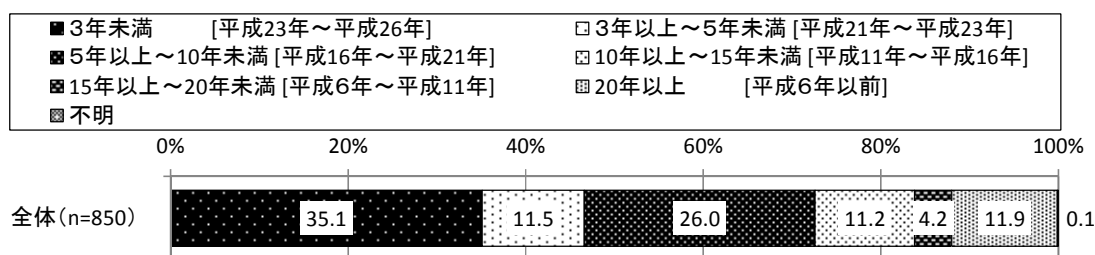
図 集合住宅の規模 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「50戸未満」は『単身』と「夫婦だけ(1)」(57.9%)が、全体より10ポイント以上高くなっている。「200戸以上」は「家族成長前期」(53.1%)が最も高く、ついで、「夫婦だけ(2)」(48.3%)、「家族形成期」(47.8%)、「家族成長中期」(42.9%)の順となっている。

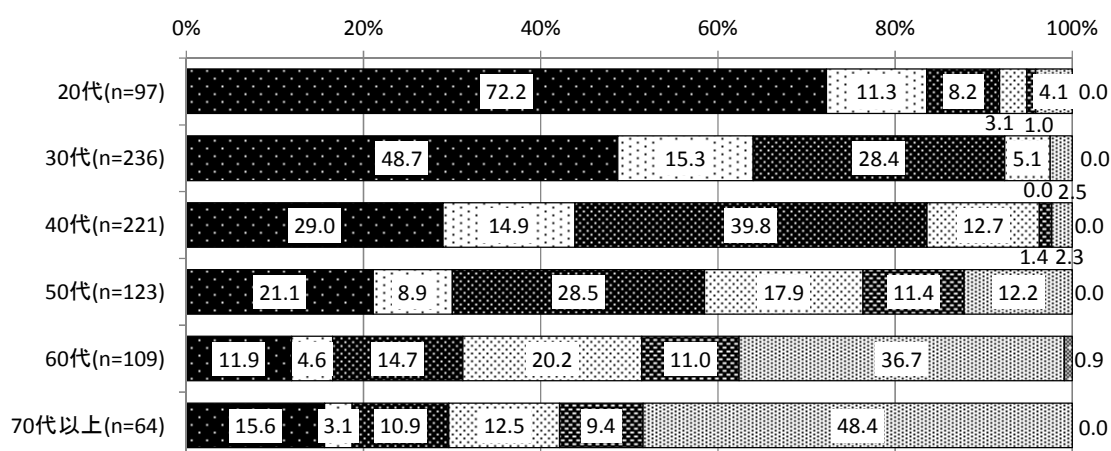
問2. 現在のお住まいの居住年数を教えてください(単独回答)

図 居住年数 [全体]



居住年数については、「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」(35.1%)が最も高く、ついで、「5年以上～10 年未満 [平成 16 年～平成 21 年]」(26.0%)の順となっている。

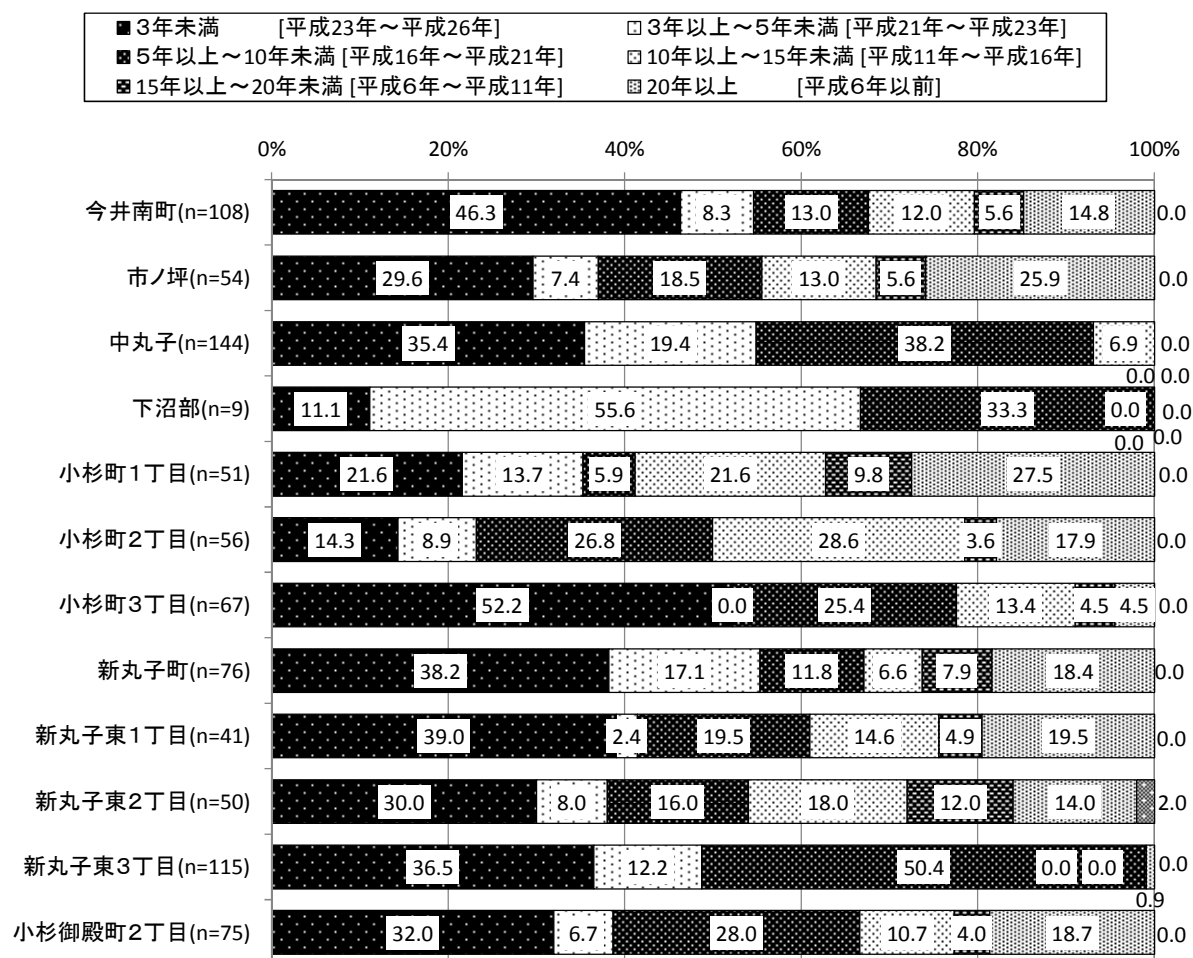
図 居住年数 [年代別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、概ね居住年数が長くなる傾向がみられる。

「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」は、「20 代」(72.2%)及び「30 代」(48.7%)が全体より 10 ポイント以上高い。「20 年以上 [平成 6 年以前]」は、「70 代以上」(48.4%)及び「60 代」(36.7%)が全体より 10 ポイント以上高い。なお、「5 年以上～10 年未満 [平成 16 年～平成 21 年]」は、「40 代」(39.8%)が全体より 10 ポイント以上高い。

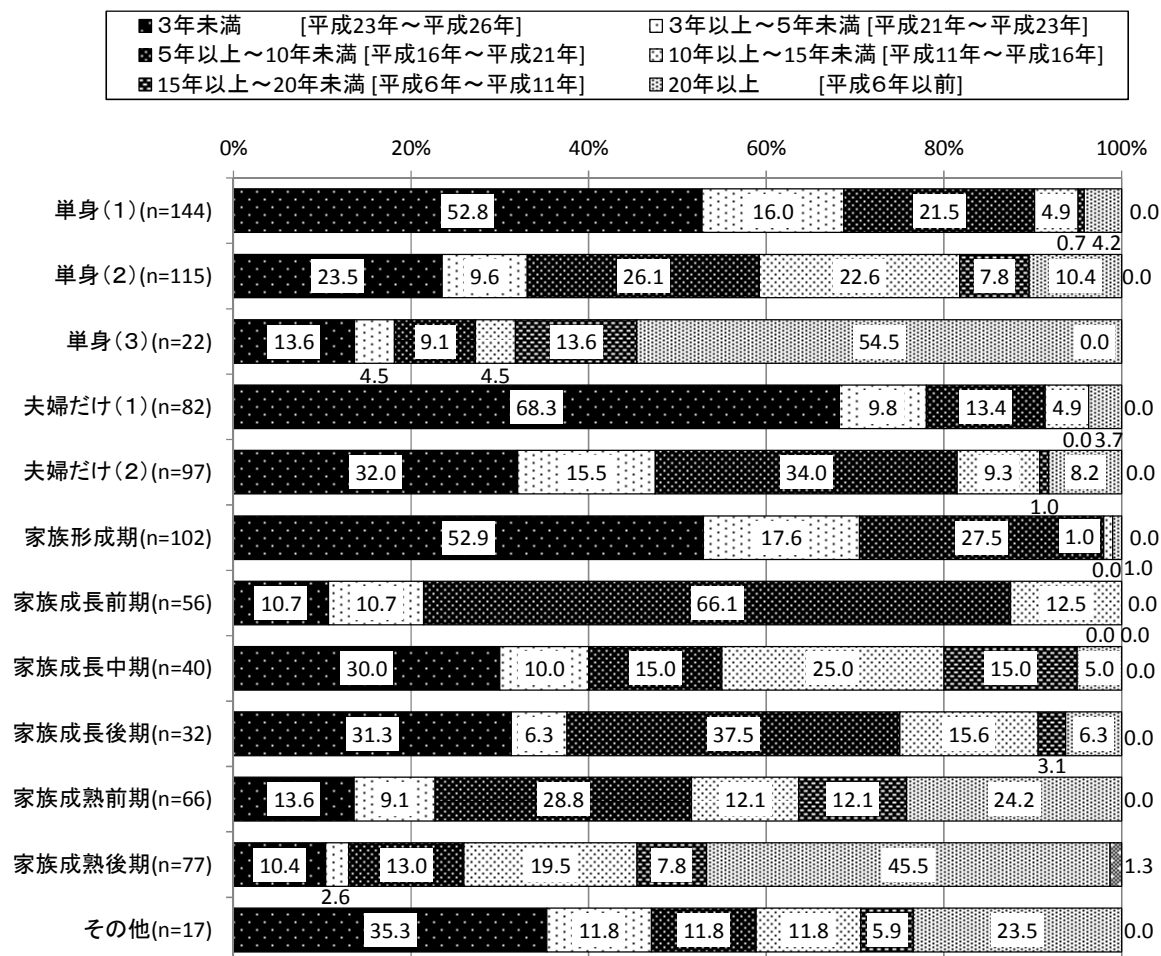
図 居住年数 [居住地区別]



居住地区別にみると、「3年未満[平成23年～平成26年]」は、「小杉町3丁目」(52.2%)及び「今井南町」(46.3%)が全体より10ポイント以上高い。

一方で、『10年以上』は「小杉町1丁目」及び「小杉町2丁目」が半数以上を占めている。なお、「5年以上～10年未満 [平成16年～平成21年]」は、「新丸子東3丁目」(50.4%)が最も高く、ついで、「中丸子」(38.2%)の順となっている。

図 居住年数 [ライフステージ別]



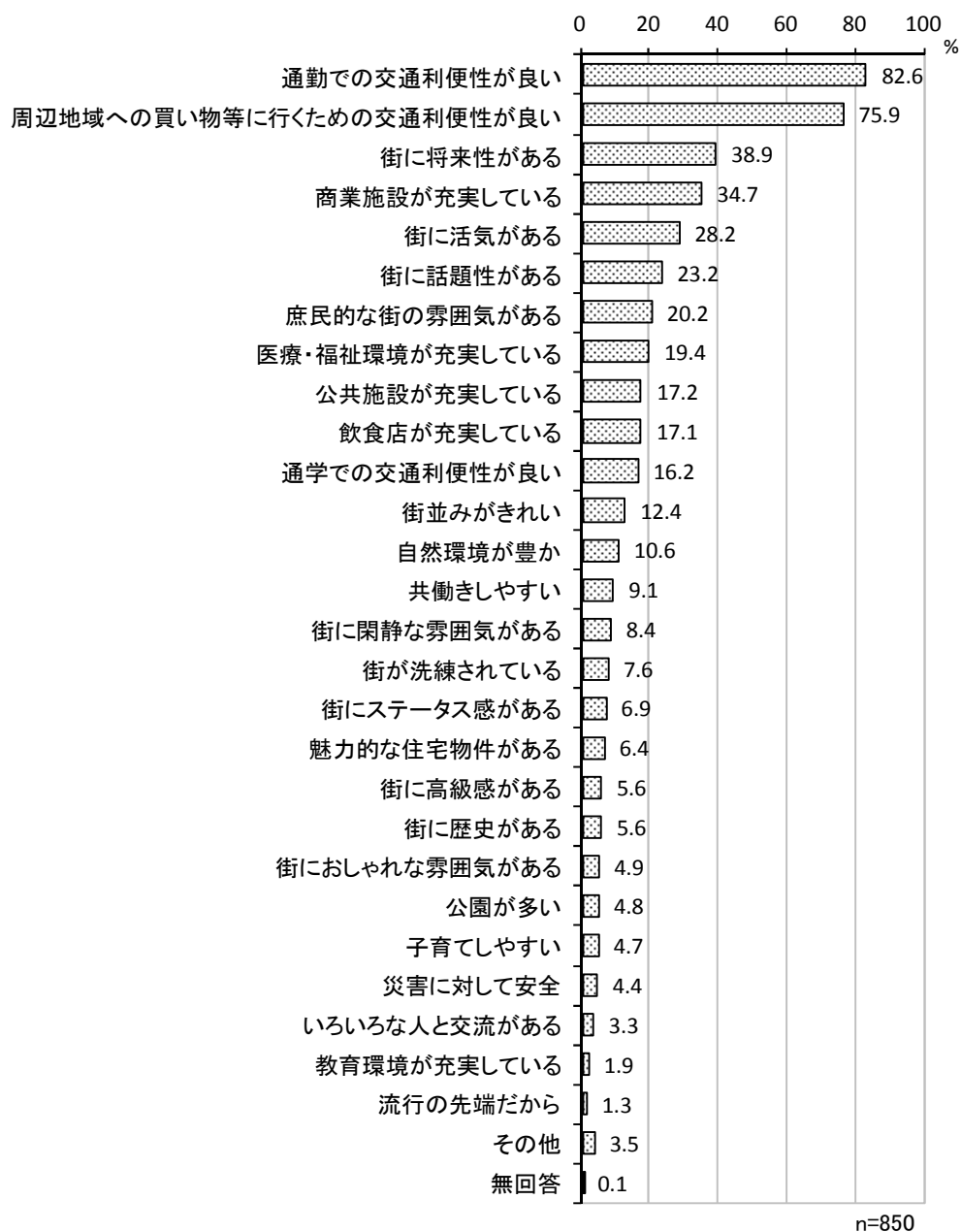
ライフステージ別にみると、ライフステージが上がるとともに、概ね居住年数が長くなる傾向がみられる。

「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」は、「夫婦だけ(1)」(68.3%)が最も高く、ついで、「家族形成期」(52.9%)、「単身(1)」(52.8%)の順となっている。「5年以上～10 年未満 [平成 16 年～平成 21 年]」は、「家族成長前期」(66.1%)及び「家族成長後期」(37.5%)が全体より10ポイント以上高い。「20 年以上 [平成6年以前]」は、「家族成熟後期」(45.5%)が全体より10ポイント以上高い。

(イ) 本地域の魅力について

問3. 本地域に住んでいて魅力を感じているところを教えてください(複数回答)

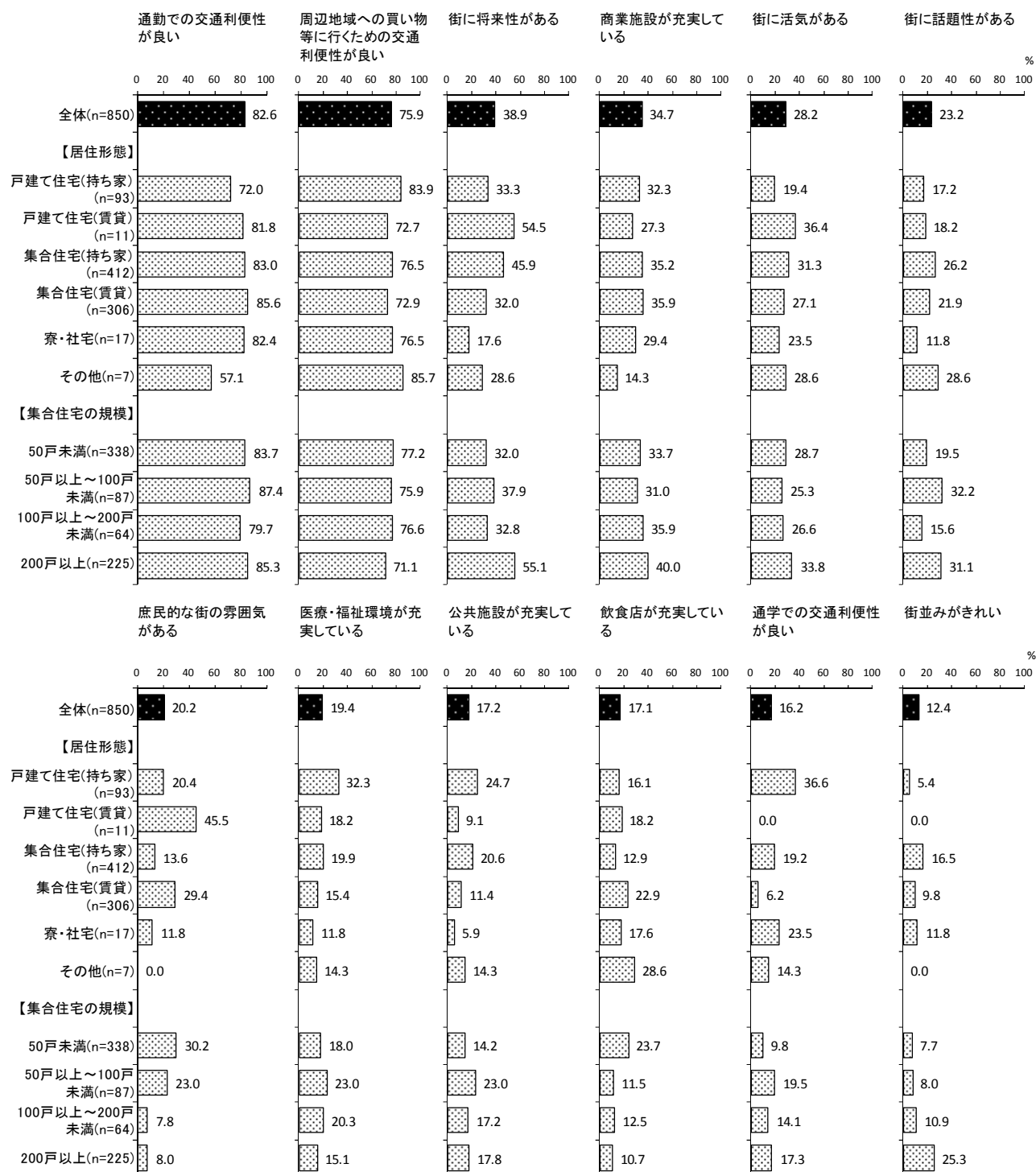
図 本地域の魅力 [全体]



本地域の魅力については、『交通利便性』に関する項目の占める割合が高くなっている。ついで、「街に将来性がある」、「商業施設が充実している」については、30%以上を占めている。

一方で、「街におしゃれな雰囲気がある」、「公園が多い」、「子育てしやすい」、「災害に対して安全」、「いろいろな人と交流がある」、「教育環境が充実している」などは、5%に満たない。

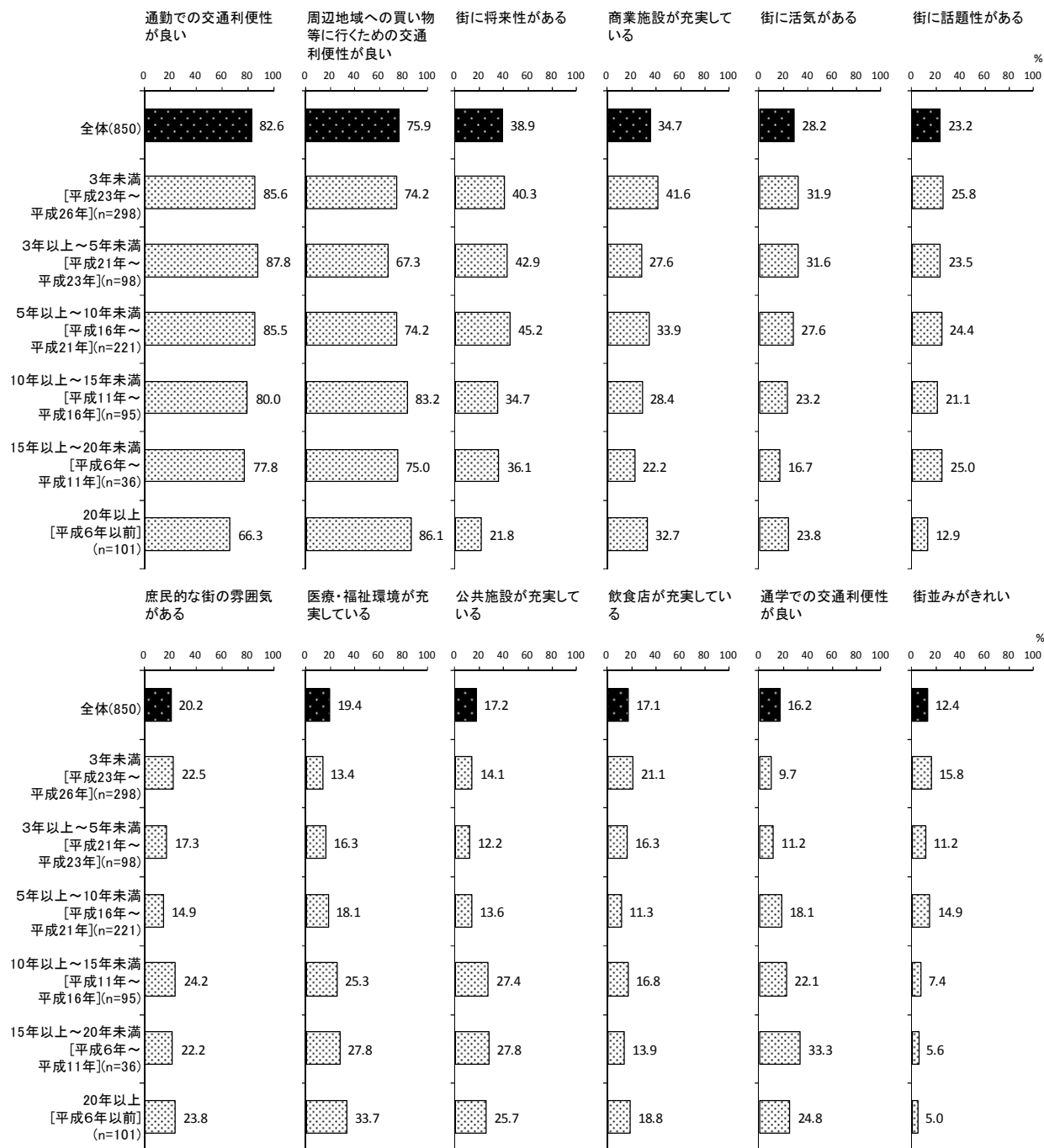
図 本地域の魅力【居住形態別、集合住宅の規模別】 ※上位 12 位を抜粋



居住形態別にみると、「周辺地域への買い物等に行くための交通利便性が良い」、「医療・福祉環境が充実している」、「通学での交通利便性が良い」、「公共施設が充実している」は、「戸建て住宅(持ち家)」が全体よりも5ポイント以上高い。「街に将来性がある」は「集合住宅(持ち家)」が全体より5ポイント以上高い。

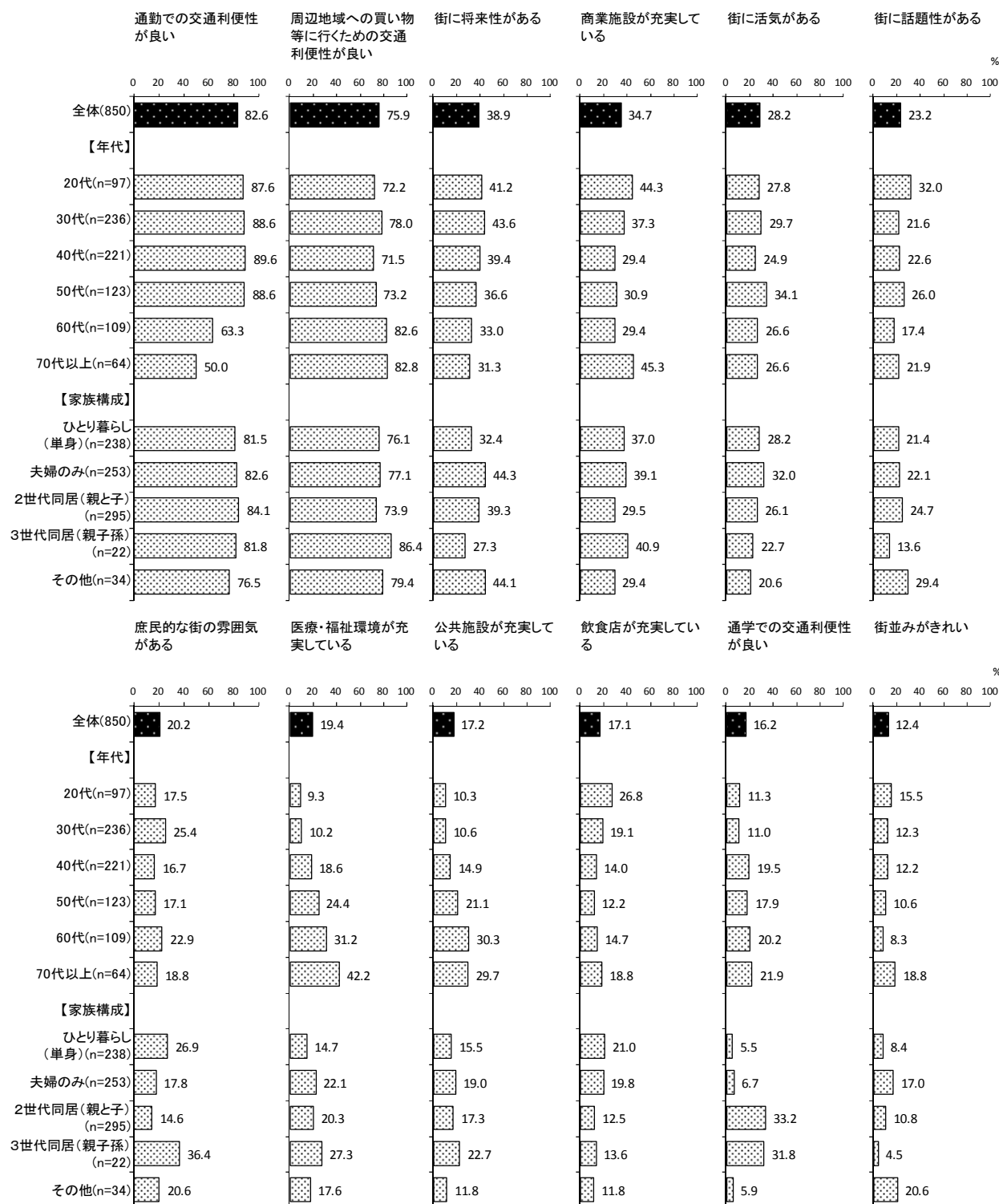
集合住宅の規模別にみると、「庶民的な街の雰囲気がある」は「50戸未満」が全体より10ポイント以上高くなっており、「街に将来性がある」、「街並みがきれいな」は「200戸以上」が、全体より10ポイント以上高くなっている。

図 本地域の魅力〔居住年数別〕 ※上位 12 位を抜粋



居住年数別に見ると、「医療・福祉環境が充実している」、「公共施設が充実している」、「通学での交通利便性が良い」は、『10 年以上』が全体より 5 ポイント以上高い。一方で、「商業施設が充実している」は「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」が全体より 5 ポイント以上高い。

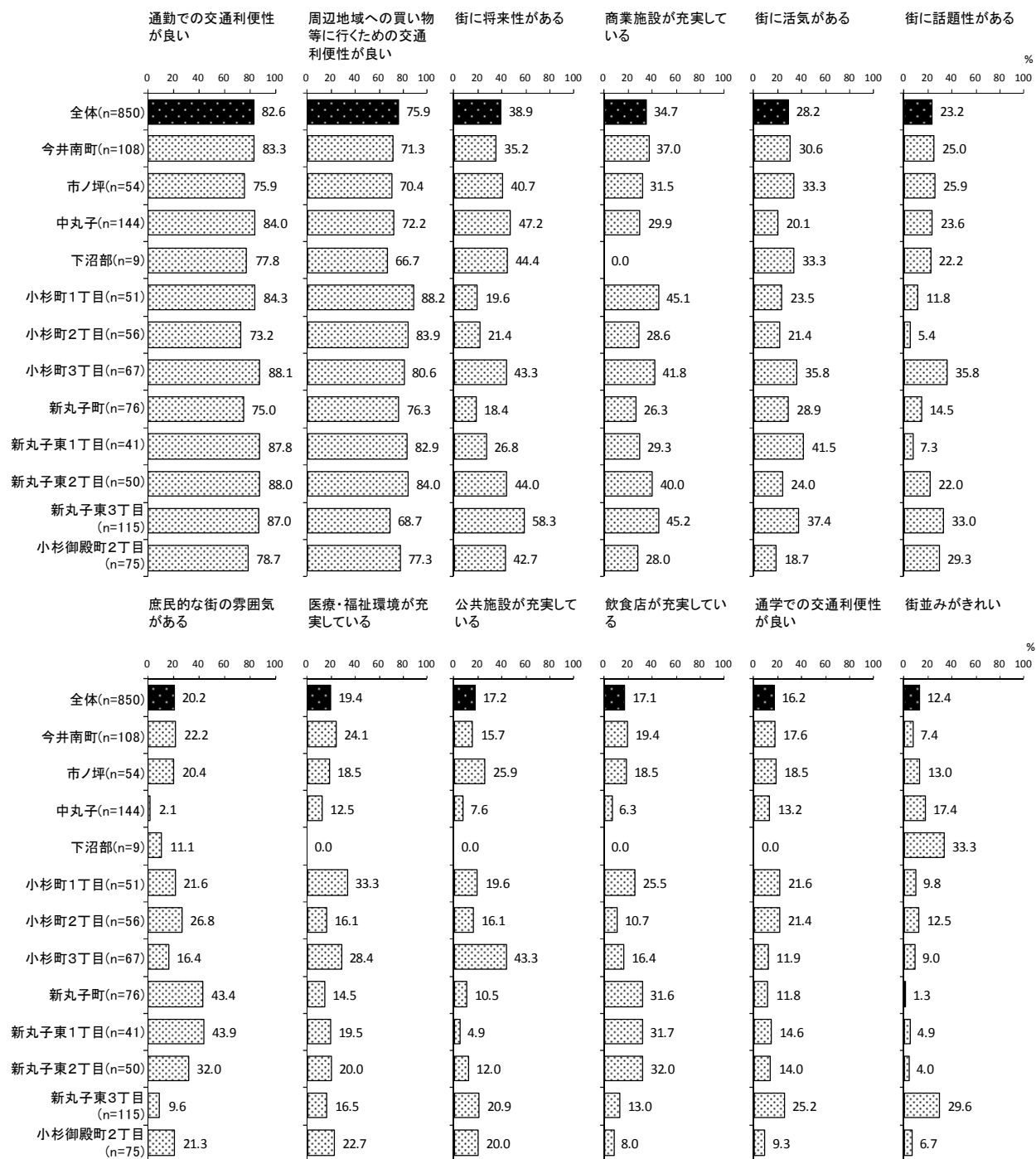
図 本地域の魅力 [年代別、家族構成別] ※上位 12 位を抜粋



年代別にみると、「通勤での交通利便性が良い」は『20代～50代』で高くなっている。一方で、「医療・福祉環境が充実している」、「公共施設が充実している」は、『60代以上』で全体より10ポイント以上高い。なお、「商業施設が充実している」、「飲食店が充実している」、「街に話題性がある」などについては、「20代」が全体より5ポイント以上高い。

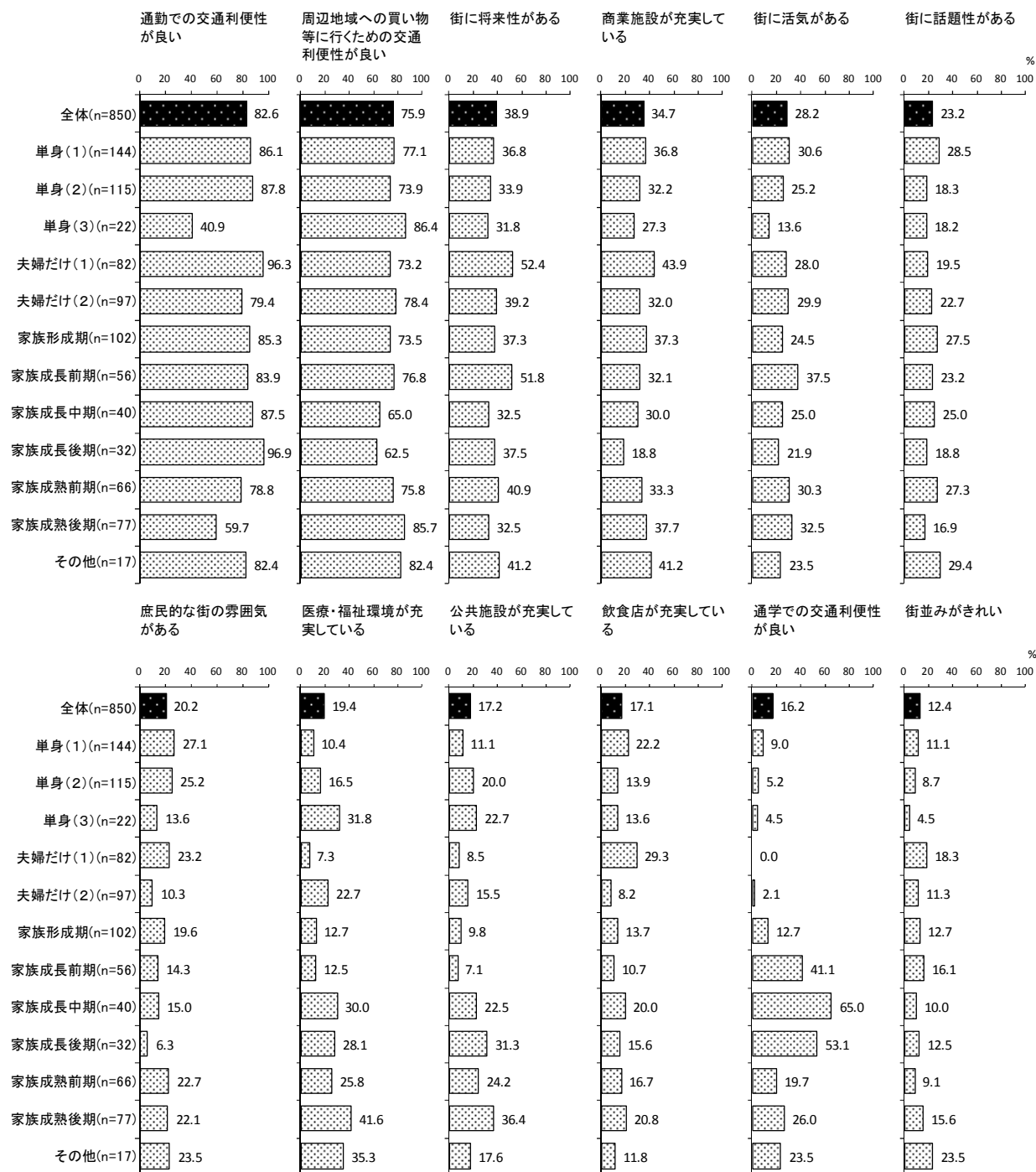
家族構成別にみると、「通学での交通利便性が良い」は「2世代同居(親と子)」が全体より10ポイント以上高い。

図 本地域の魅力〔居住地区別〕 ※上位 12 位を抜粋



居住地区別にみると、「庶民的な街の雰囲気がある」、「飲食店が充実している」は、「新丸子町」、「新丸子東1丁目」、「新丸子東2丁目」が全体よりも 10 ポイント以上高い。一方で、「周辺地域への買い物等に行くための交通利便性が良い」、「商業施設が充実している」及び「医療・福祉環境が充実している」は、「小杉町1丁目」が全体より10ポイント以上高い。なお、「街に将来性がある」、「街並みがきれいな」は、「新丸子東3丁目」が全体より 5 ポイント以上高くなっている。

図 本地域の魅力［ライフステージ別］ ※上位 12 位を抜粋



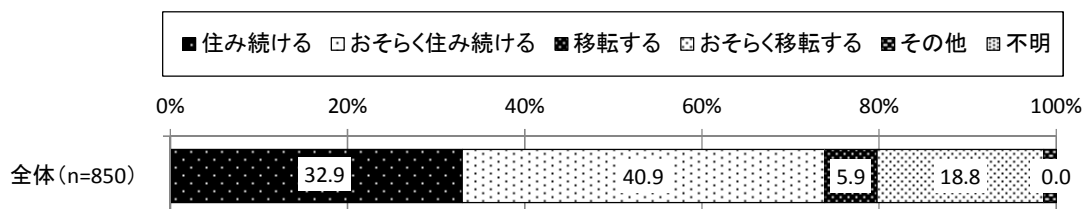
ライフステージ別にみると、「通学での交通利便性が良い」は、『家族成長(前期～後期)』が高い傾向にある。

一方で、「通勤での交通利便性が良い」、「街に将来性がある」及び「飲食店が充実している」は、「夫婦だけ(1)」が全体よりも 10 ポイント以上高くなっている。なお、「医療・福祉環境が充実している」、「公共施設が充実している」については、「家族成熟後期」が全体より 10 ポイント以上高い。

(ウ) 定住・移住意向について

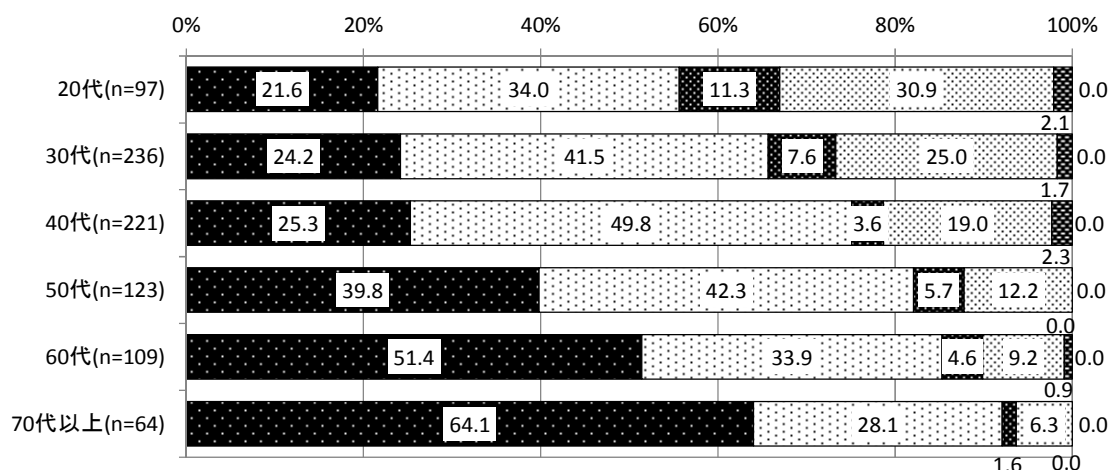
問4. 本地域にいつまで住みたいと考えていますか(単独回答)

図 本地域の定住・移転意向 [全体]



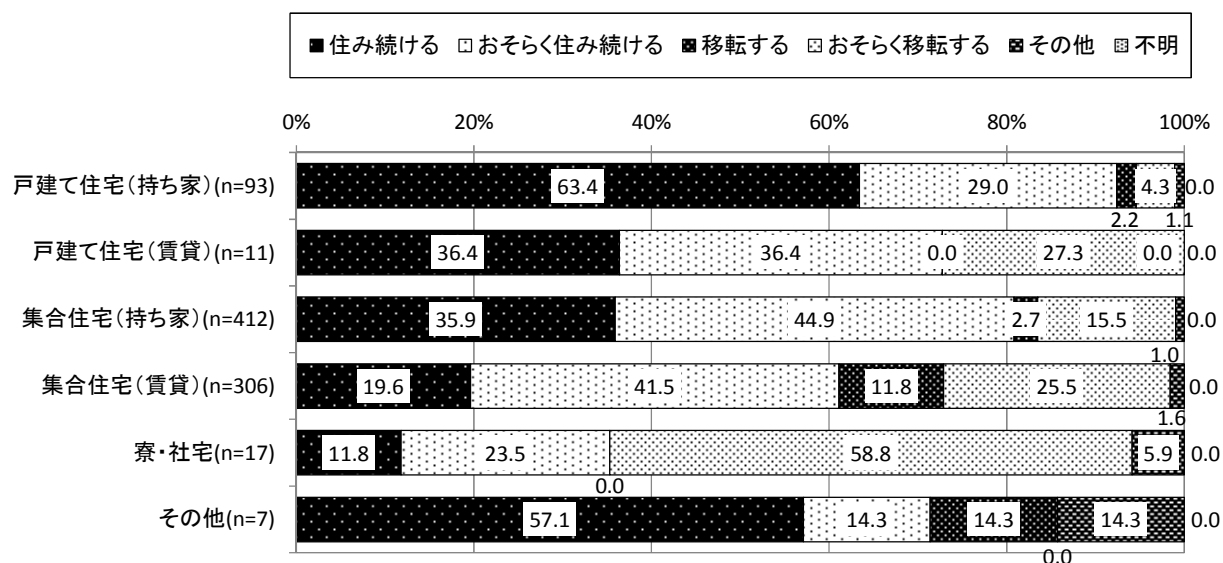
定住・移転意向については、「おそらく住み続ける」(40.9%)と「住み続ける」(32.9%)を合わせた『定住意向』の割合が70%以上を占め、「おそらく移転する」(18.8%)と「移転する」(5.9%)を合わせた『移転意向』が、約 25%となっている。

図 本地域の定住・移転意向 [年代別]



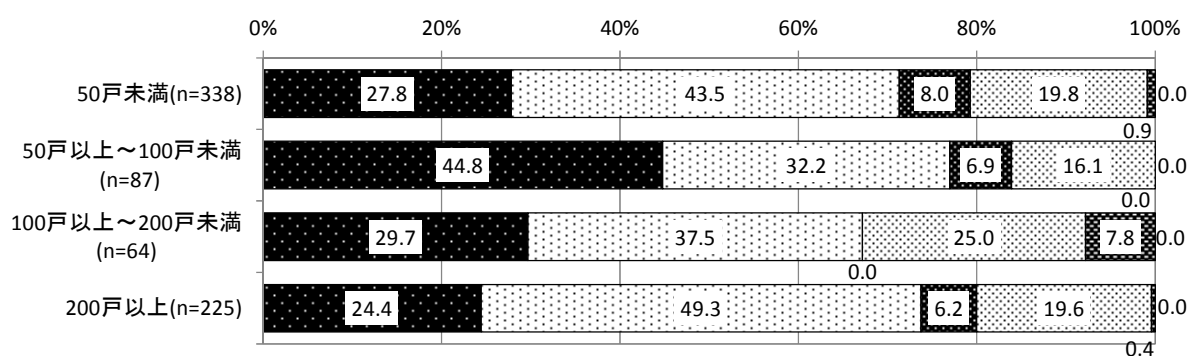
年代別にみると、年代が高くなるとともに、『定住意向』の割合が高くなる傾向がある。「住み続ける」は、「20代」(21.6%)と「70代以上」(64.1%)で 40 ポイント以上の差がみられる。

図 本地域の定住・移転意向 [居住形態別]



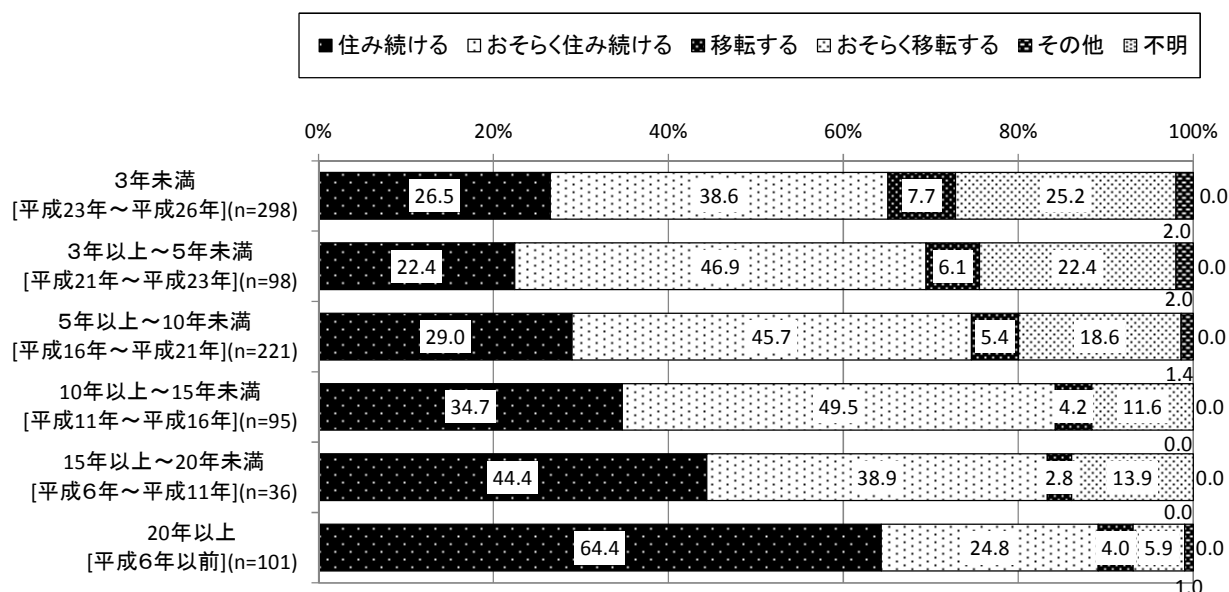
居住形態別にみると、「住み続ける」は、「戸建て住宅(持ち家)」(63.4%)が半数以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。一方で、「移転意向」は、「集合住宅(賃貸)」が全体より10ポイント以上高い。

図 本地域の定住・移転意向 [集合住宅の規模別]



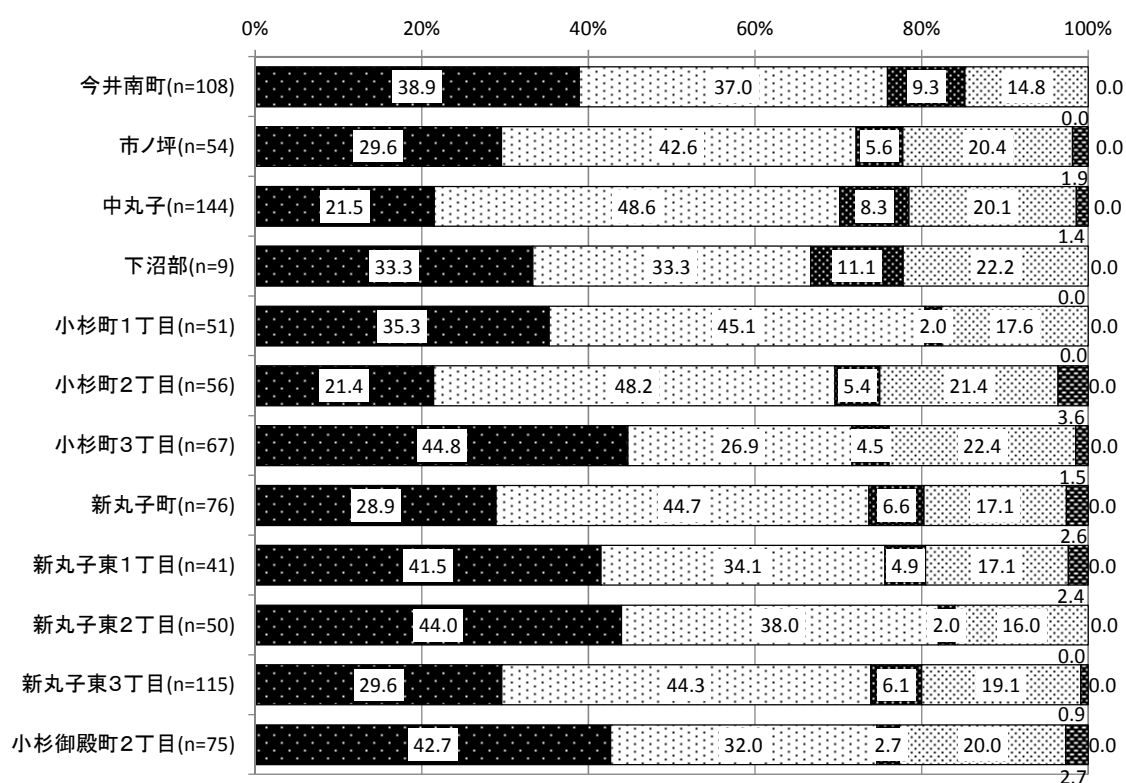
集合住宅の規模別にみると、「住み続ける」は、「50戸以上～100戸未満」(44.8%)が全体より10ポイント以上高い。一方で、「おそらく住み続ける」は、「200戸以上」(49.3%)が全体より5ポイント以上高い。なお、「おそらく移転する」は、「100戸以上～200戸未満」(25.0%)が全体より5ポイント以上高い。

図 本地域の定住・移転意向 [居住年数別]



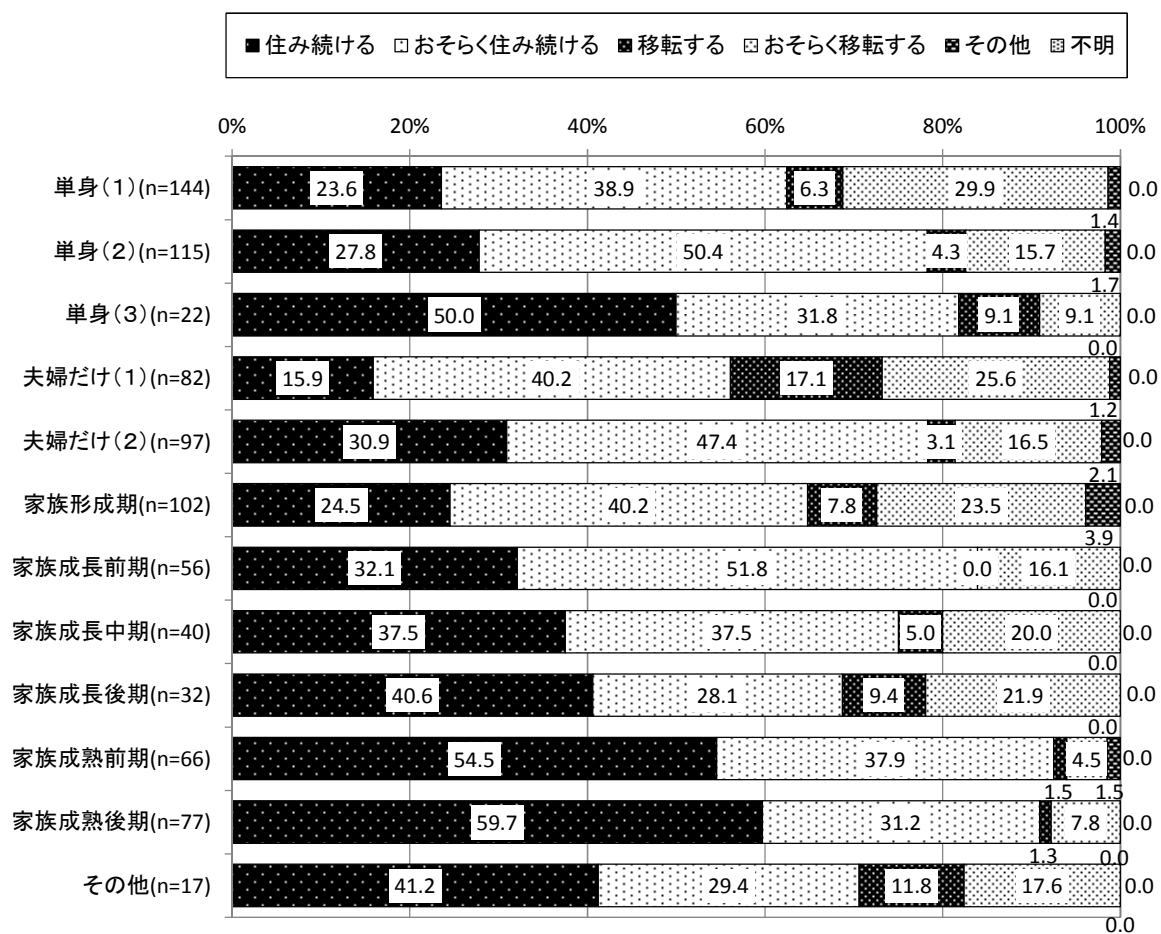
居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、『定住意向』の割合が高くなる傾向にある。特に、「住み続ける」については、『15年以上』が全体よりも10ポイント以上高い。一方で、『移転意向』は、「3年未満 [平成23年～平成26年]」が全体より5ポイント以上高い。

図 本地域の定住・移転意向 [居住地区別]



居住地区別にみると、『定住意向』は「新丸子東2丁目」(82.0%)が最も高く、ついで、「小杉1丁目」(80.4%)が高くなっている。「住み続ける」は、「小杉町3丁目」(44.8%)及び「新丸子東2丁目」(44.0%)が全体より10ポイント以上高い。

図 本地域の定住・移転意向 [ライフステージ別]

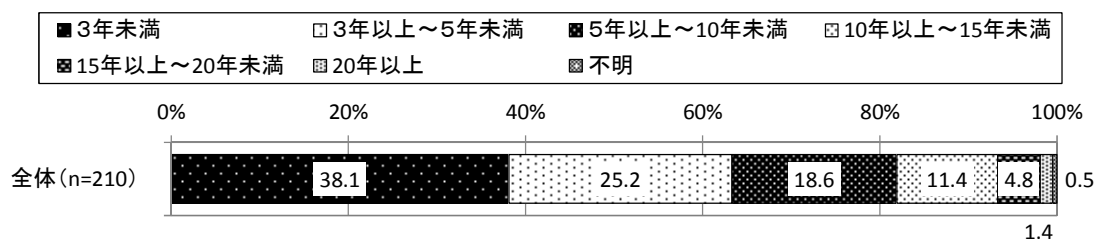


ライフステージ別にみると、『定住意向』は、「家族成熟前期」(92.4%)、「家族成熟後期」(90.9%)及び「家族成長前期」(83.9%)が全体より10ポイント以上高い。

一方で、『移転意向』は、「夫婦だけ(1)」(42.7%)が最も高く、ついで、「家族形成期」及び「家族成長後期」(31.3%)の順となっている。なお、「おそらく移転する」は、「単身(1)」(29.9%)が全体より10ポイント以上高い。

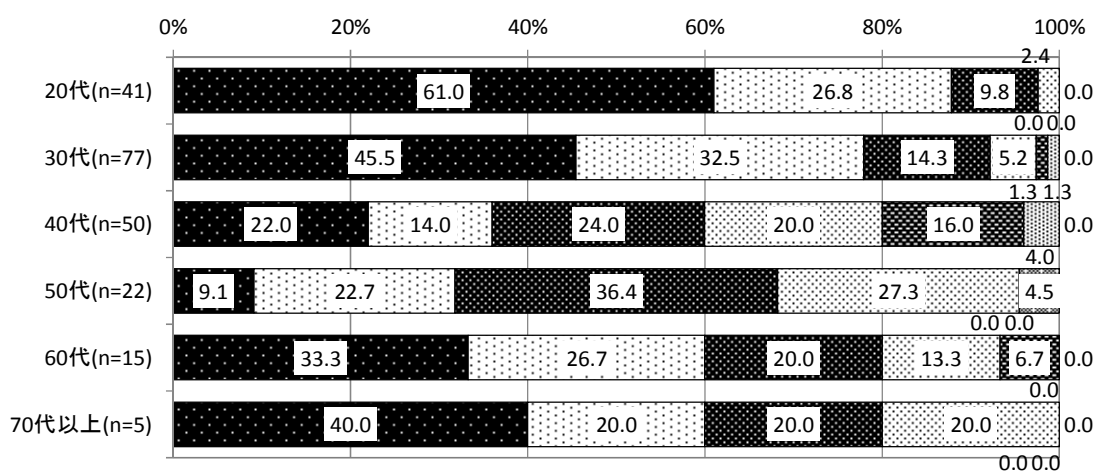
問4－1. (問4「3」、「4」回答者)どのくらいの時期に移転を考えていますか(単独回答)

図 移転時期 [全体]



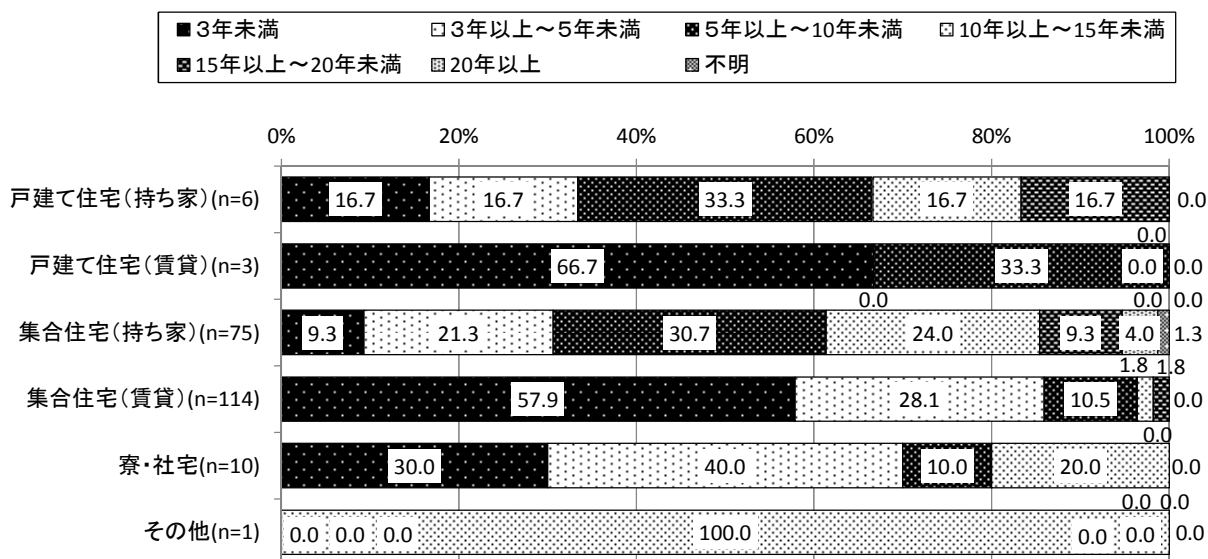
移転時期については、「3年未満」(38.1%)が最も高く、ついで、「3年以上～5年未満」(25.2%)の順となっている。『5年未満』に移転すると回答している割合は60%以上を占める。

図 移転時期 [年代別]



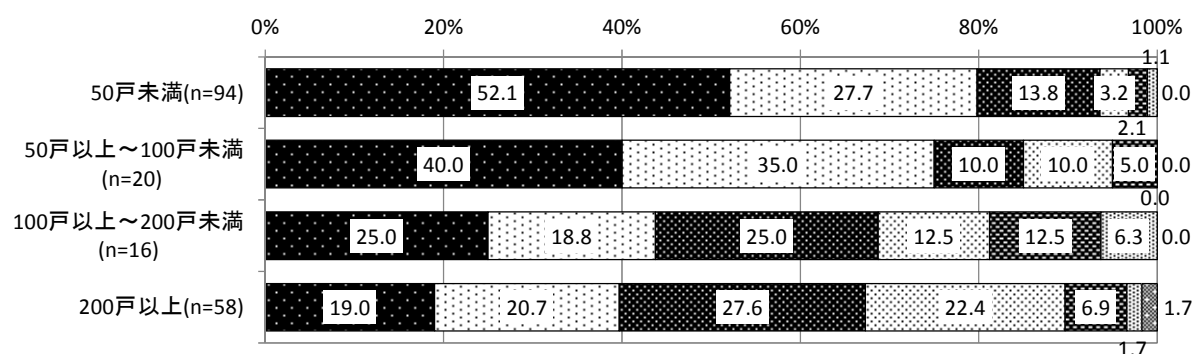
年代別にみると、「3年未満」は、「20代」(61.0%)が最も高く、ついで、「30代」(45.5%)の順となっており、全体より5ポイント以上高い。

図 移転時期 [居住形態別]



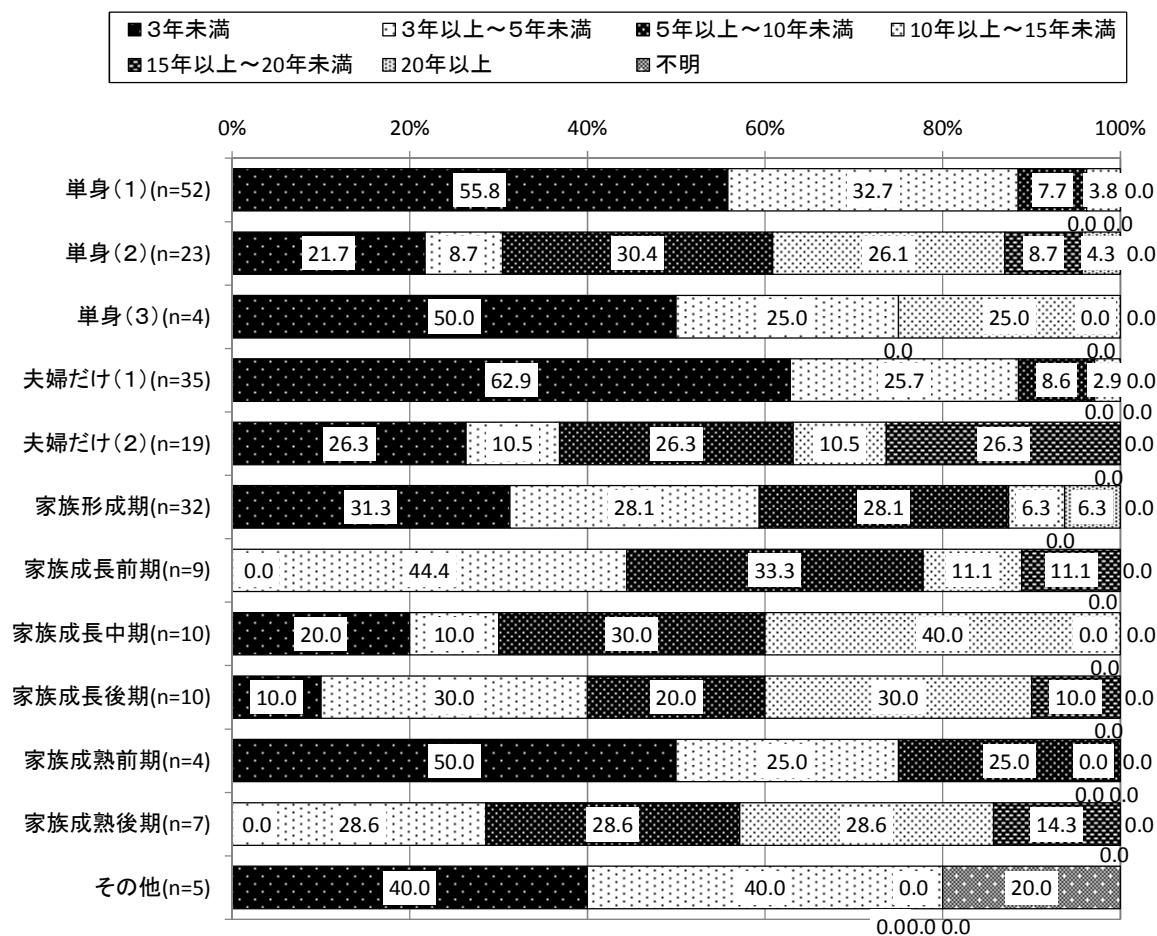
居住形態別にみると、「3年未満」は、「集合住宅(賃貸)」(57.9%)が最も高くなっており、全体より10ポイント以上高い。

図 移転時期 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、「3年未満」は、「50戸未満」(52.1%)と半数以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。

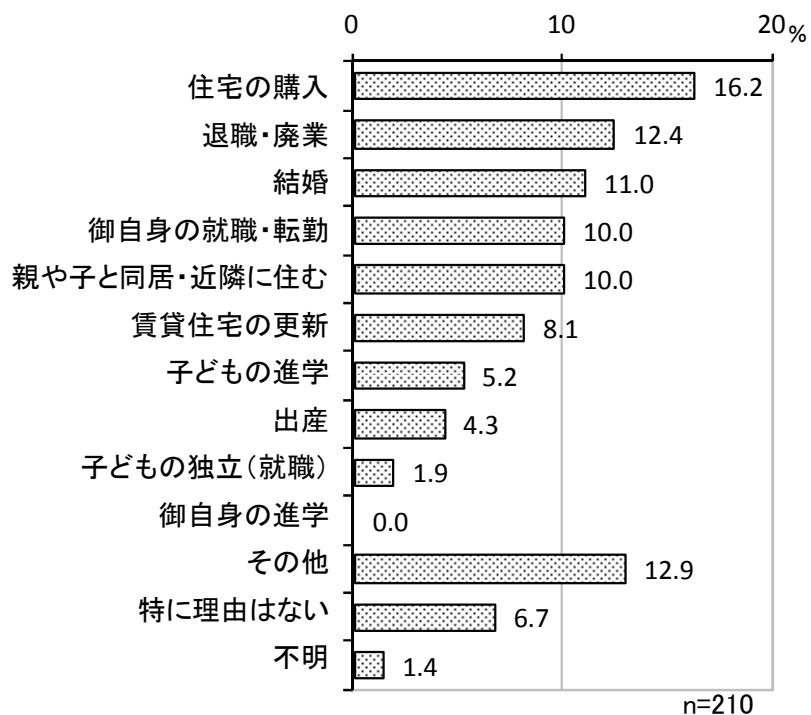
図 移転時期 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「3年未満」は、「単身(1)」及び「夫婦だけ(1)」が全体より10ポイント以上高い。

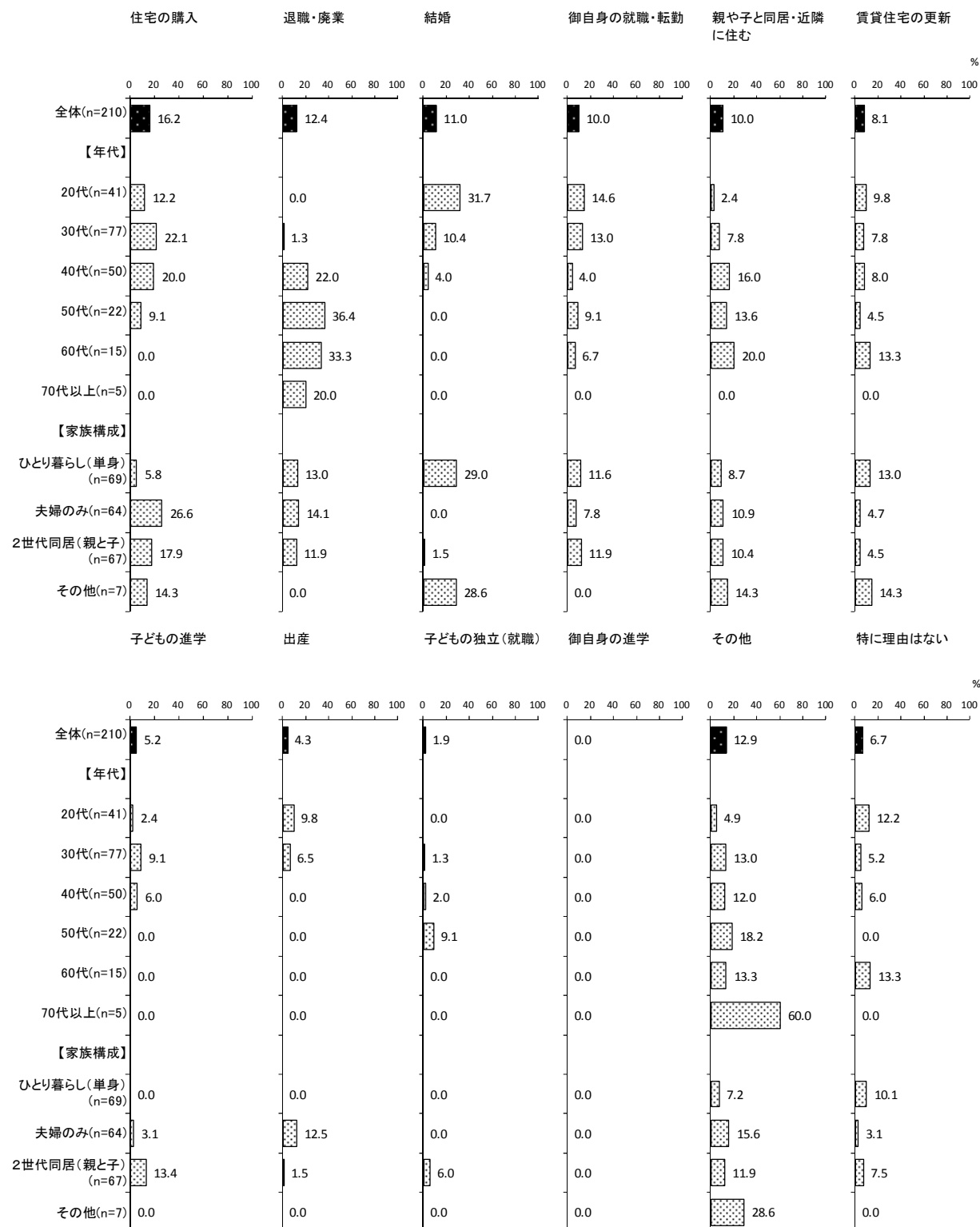
問4－2. (問4「3」、「4」回答者)どのようなきっかけで移転を考えていますか(単独回答)

図 移転のきっかけ [全体]



移転のきっかけについては、「住宅の購入」(16.2%)が最も高く、ついで、「退職・廃業」(12.4%)、「結婚」(11.0%)、「御自身の就職・転勤」及び「親や子と同居・近隣に住む」(10.0%)の順となっている。

図 移転のきっかけ [年代別・家族構成別]

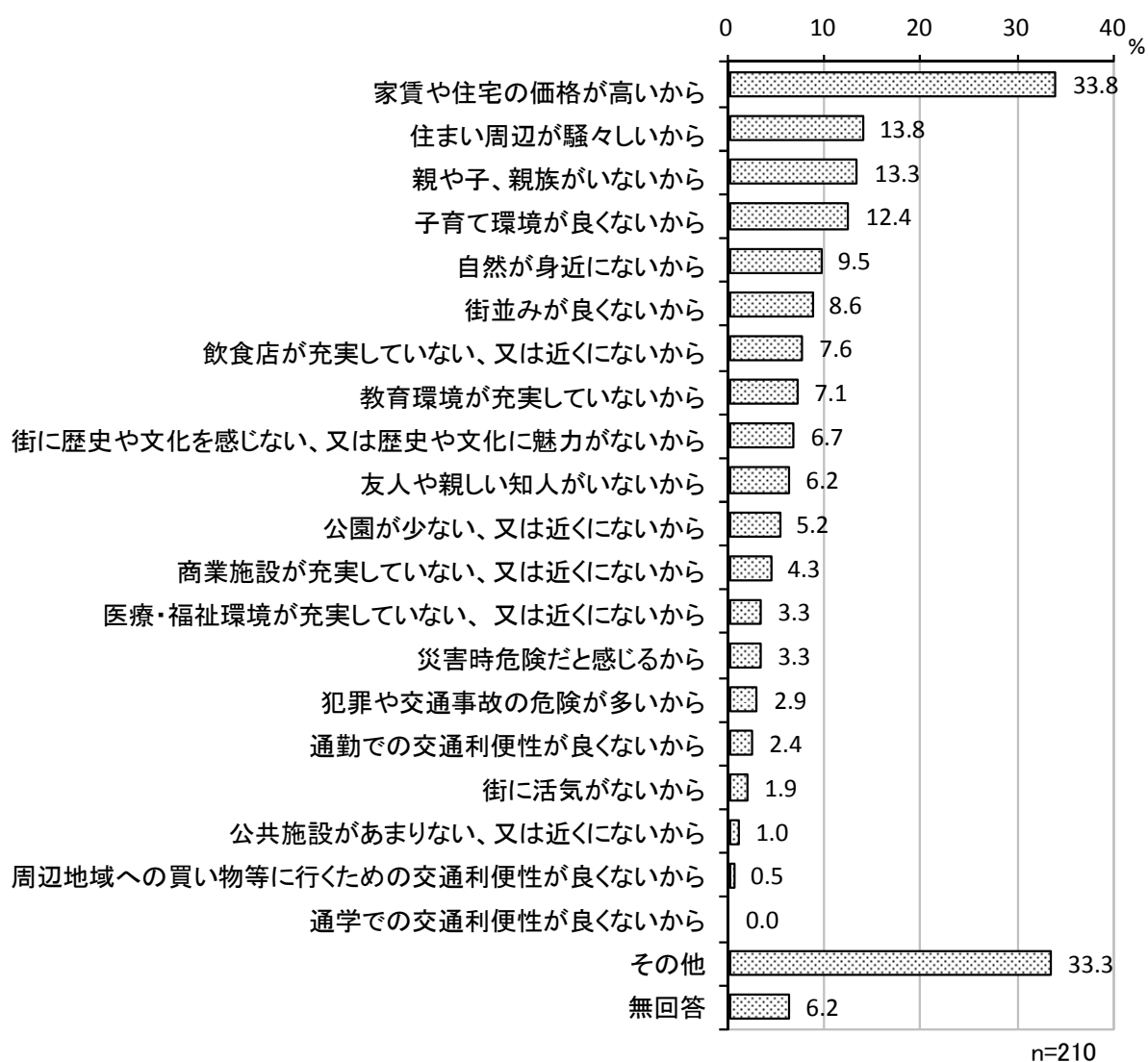


年代別にみると、「20代」は「結婚」、「30代」は「住宅の購入」、「40代」は「退職・廃業」、「親や子と同居・近隣に住む」が、全体より5ポイント以上高い。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし(単身)」は、「結婚」(29.0%)が全体より10ポイント以上高い。また、「夫婦のみ」は、「住宅の購入」(26.6%)が全体より10ポイント以上高くなっており、「出産」(12.5%)についても全体より5ポイント以上高くなっている。なお、「2世代同居(親と子)」は、「子どもの進学」(13.4%)が、全体よりも5ポイント以上高くなっている。

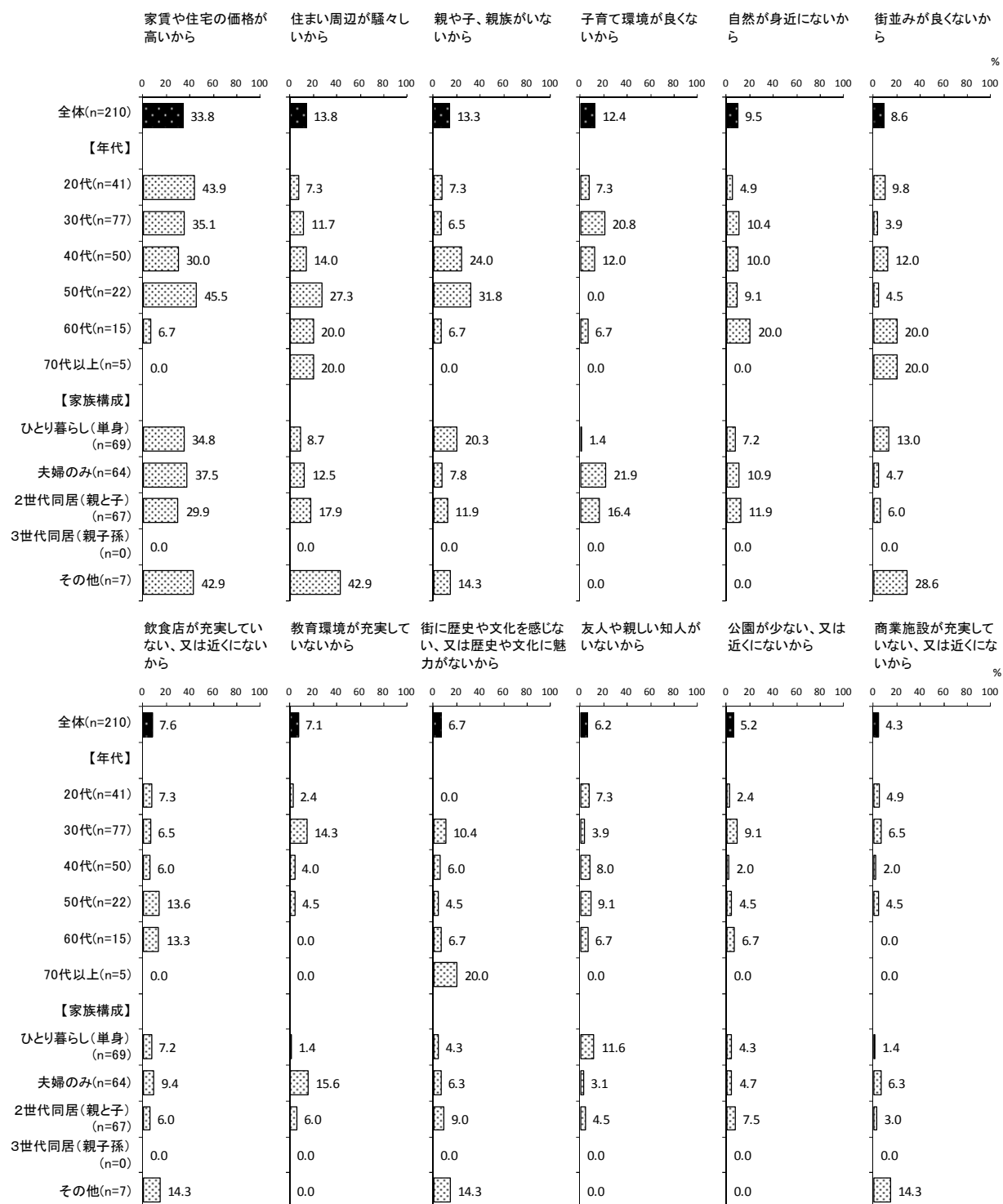
問4-3. (問4「3」、「4」回答者)問4-2でお答えになったきっかけで本地域から移転する理由を教えてください(複数回答)

図 移転理由 [全体] ※上位 12 位を抜粋



移転理由については、「家賃や住宅の価格が高いから」(33.8%)が最も高く、ついで、「住まい周辺が騒々しいから」(13.8%)、「親や子、親族がいないから」(13.3%)、「子育て環境が良くないから」(12.4%)の順となっている。

図 本地域の魅力 [年代別、家族構成別] ※上位 12 位を抜粋

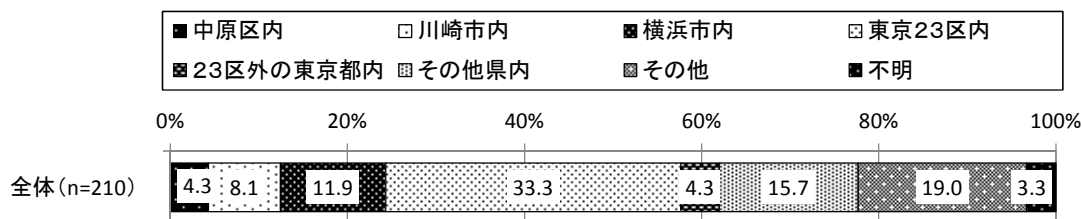


年代別にみると、「家賃や住宅の価格が高いから」は「20 代」(43.9%)、「教育環境が充実していないから」(14.3%) 及び「子育て環境が良くないから」(20.8%)は、「30 代」が全体より 5 ポイント以上高い。また、「親や子、親族がいないから」は、「40 代」が全体より 10 ポイント以上高くなっている。

家族構成別にみると、「親や子、親族がいないから」(20.3%)、「友人や親しい知人がいないから」(11.6%)は、「ひとり暮らし(単身)」が全体より 5 ポイント以上高くなっており、「子育て環境が良くないから」(21.9%)、「教育環境が充実していないから」(15.6%)は、「夫婦のみ」が、全体より 5 ポイント以上高い。

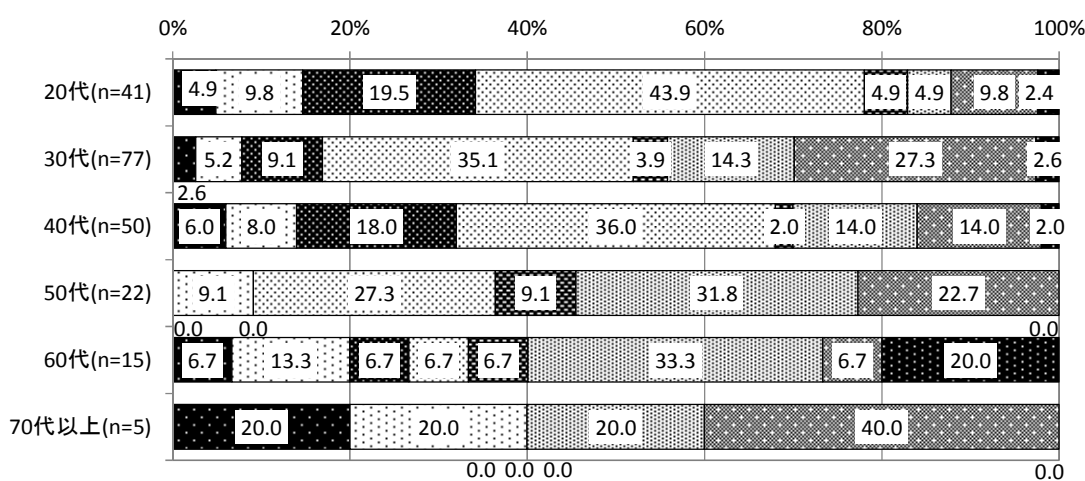
4-4. (問4「3」、「4」回答者)どこに移転したいと考えていますか(単独回答)

図 移転先 [全体]



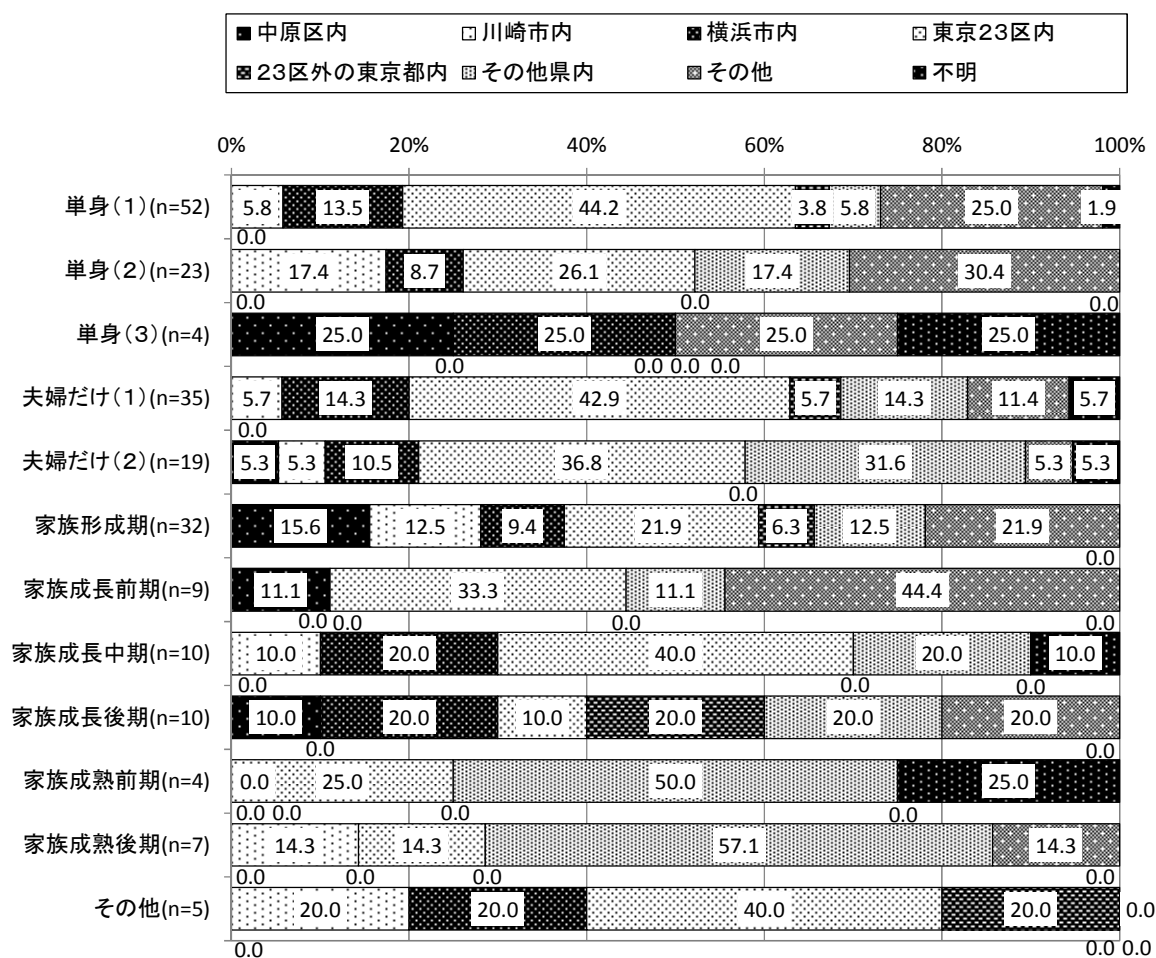
移転先については、「東京23区内」(33.3%)が最も高く、ついで、「その他県内」(15.7%)、「横浜市内」(11.9%)の順となっている。なお、「中原区内」は 4.3%となっている。

図 移転先 [年代別]



年代別にみると、「東京23区内」は「20 代」(43.9%)が全体より 10 ポイント以上高い。「横浜市内」は「20 代」(19.5%)及び「40 代」(18.0%)が全体より 5 ポイント以上高い。

図 移転先 [ライフステージ別]

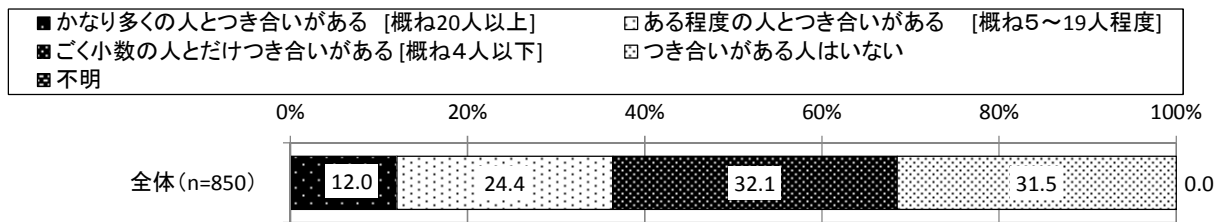


ライフステージ別にみると、「東京23区内」は「単身(1)」(44.2%)、「夫婦だけ(1)」(42.9%)が全体より 5 ポイント以上高い。一方で、「中原区内」は「家族形成期」(15.6%)において、全体よりも 10 ポイント以上高い。

(エ) 本地域の住民のつき合い・交流場所について

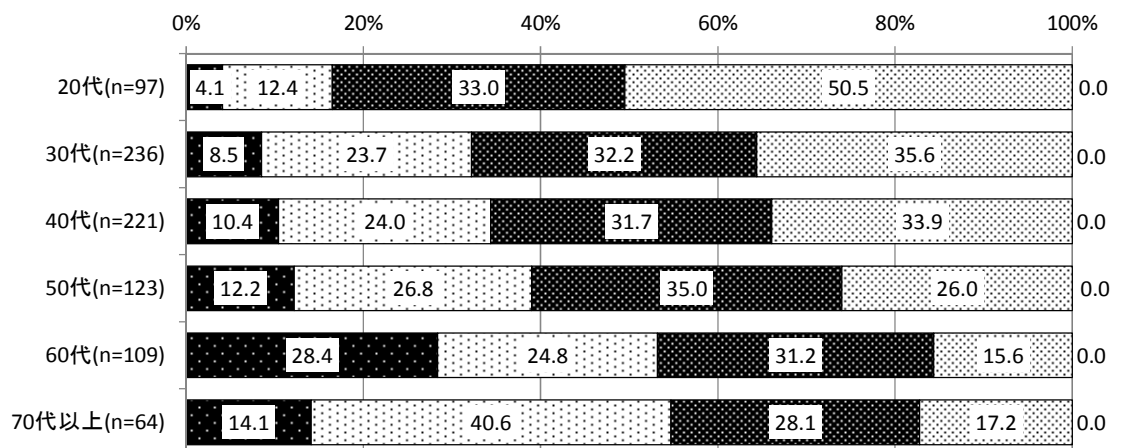
問5. 本地域の住民の何人程度とつき合いがありますか(単独回答)

図 住民のつき合い人数 [全体]



住民のつき合い人数については、「ごく小数の人とだけつき合いがある [概ね4人以下]」(32.1%)が最も高く、ついで、「つき合いがある人はいない」(31.5%)、「ある程度の人とつき合いがある [概ね5～19人程度]」(24.4%)順となっており、「かなり多くの人とつき合いがある [概ね20人以上]」(12.0%)が最も低くなっている。つき合い人数は、『5人以上』が3分の1程度となっている。

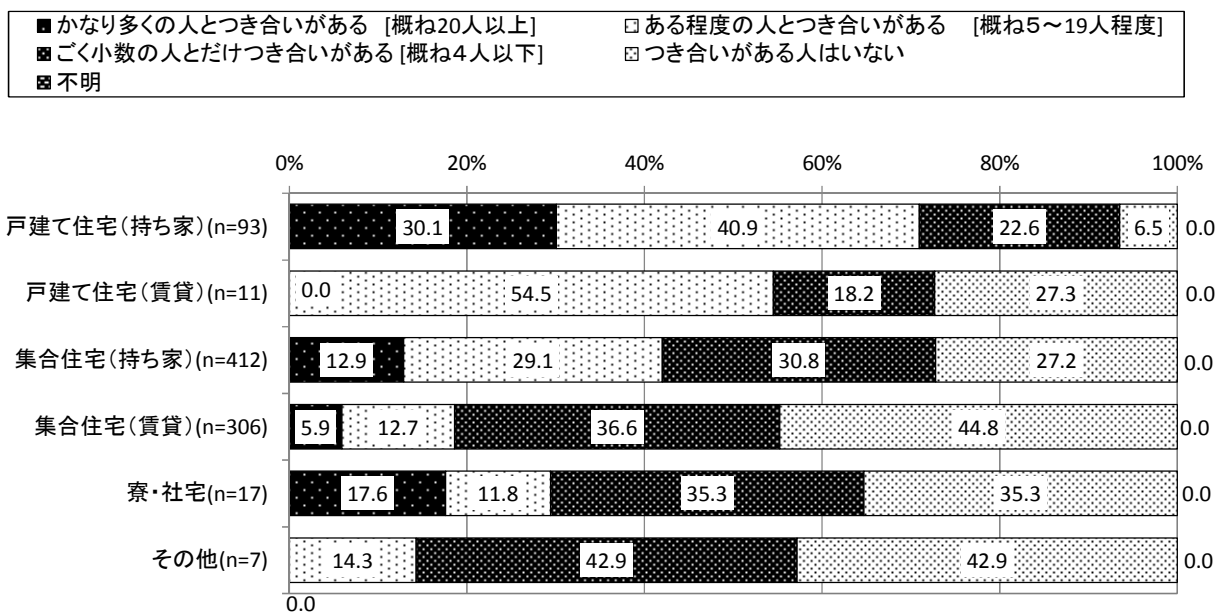
図 住民のつき合い人数 [年代別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、住民のつき合い人数が増加する傾向がみられる。

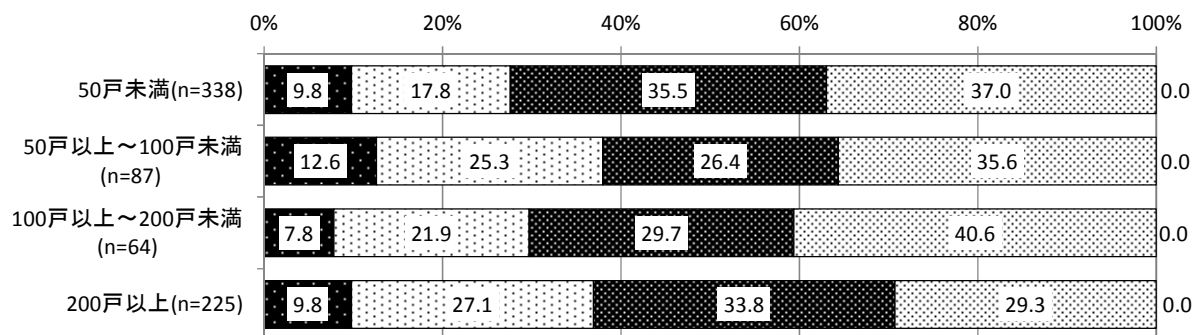
「つき合いがある人はいない」は「20代」で半数以上を占め、全体より10ポイント以上高い。一方で、『5人以上』は、『60代以上』が半数以上を占めている。

図 住民のつき合い人数 [居住形態別]



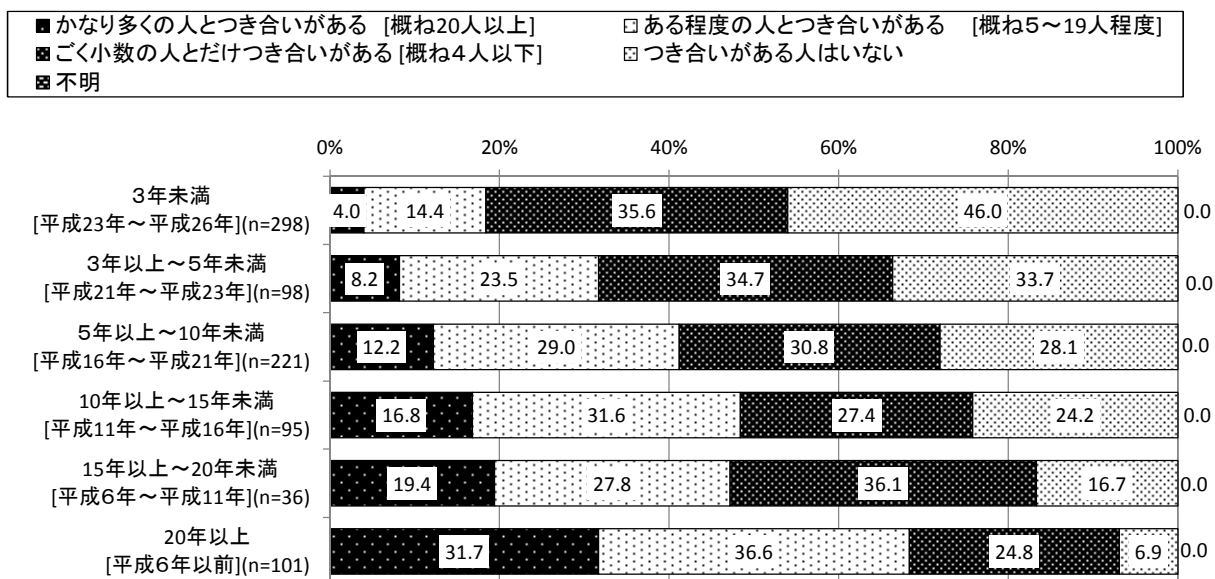
居住形態別にみると、『集合住宅』より『戸建て』、『賃貸』より『持ち家』が、住民のつき合い人数が高くなる傾向にある。「戸建て住宅(持ち家)」は、「かなり多くの人とつき合いがある [概ね 20 人以上]」(30.1%)が全体より10ポイント以上高い。一方で、「集合住宅(賃貸)」は、「つき合いがある人はいない」(44.8%)が全体より10ポイント以上高い。

図 住民のつき合い人数 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、「つき合いがある人はいない」は、「50 戸未満」(37.0%)、「100 戸以上～200 戸未満」(40.6%)が、全体より5ポイント以上高い。

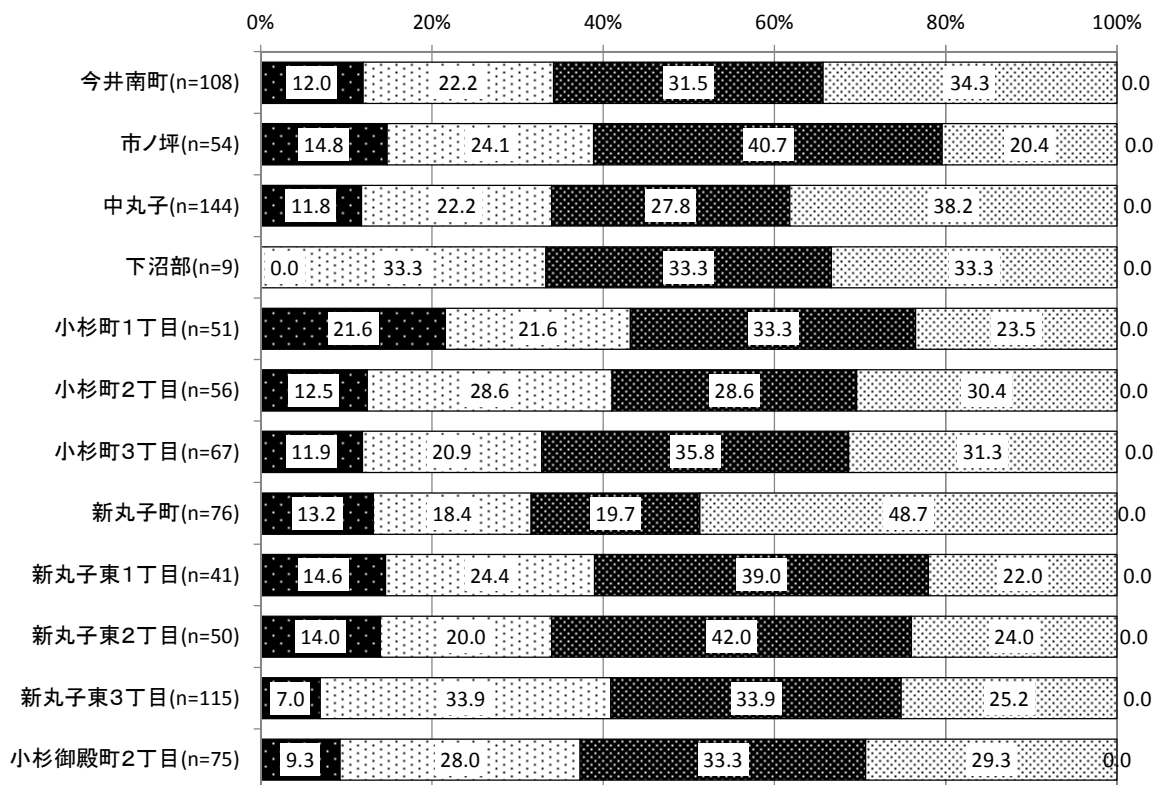
図 住民のつき合い人数【居住年数別】



居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、住民のつき合い人数が増加する傾向がみられる。

「つき合いがある人はいない」は、「3年未満【平成23年～平成26年】」(46.0%)が全体より10ポイント以上高い。一方で、「かなり多くの人とつき合いがある【概ね20人以上】」は「20年以上【平成6年以前】」(31.7%)が全体より10ポイント以上高い。

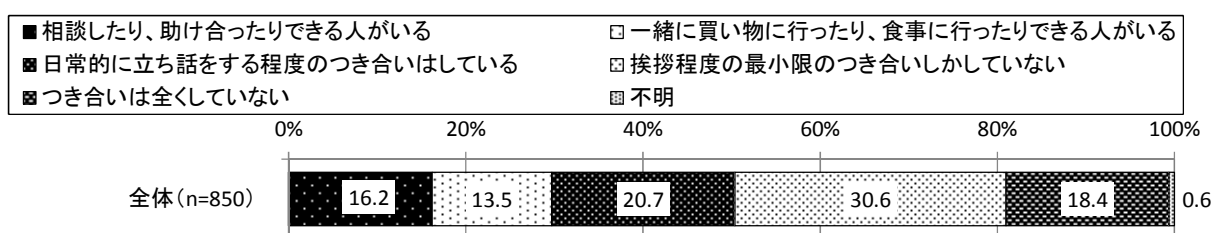
図 住民のつき合い人数【居住地区別】



居住地区別にみると、「中丸子」、「新丸子町」は、「つき合いがある人はいない」が、全体より5ポイント以上高い。

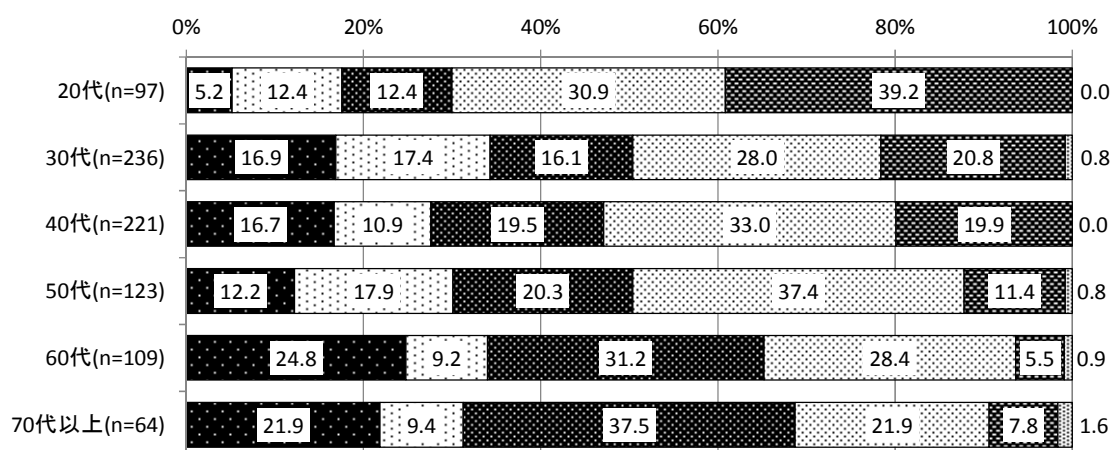
問6. 本地域の住民とどの程度のつき合い(親密度)がありますか(単独回答)

図 親密度 [全体]



親密度については、「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」(30.6%)が最も高く、ついで、「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」(20.7%)、「つき合いは全くしていない」(18.4%)、「相談したり、助け合ったりできる人がある」(16.2%)、「一緒に買い物に行ったり、食事に行ったりできる人がある」(13.5%)の順となっている。

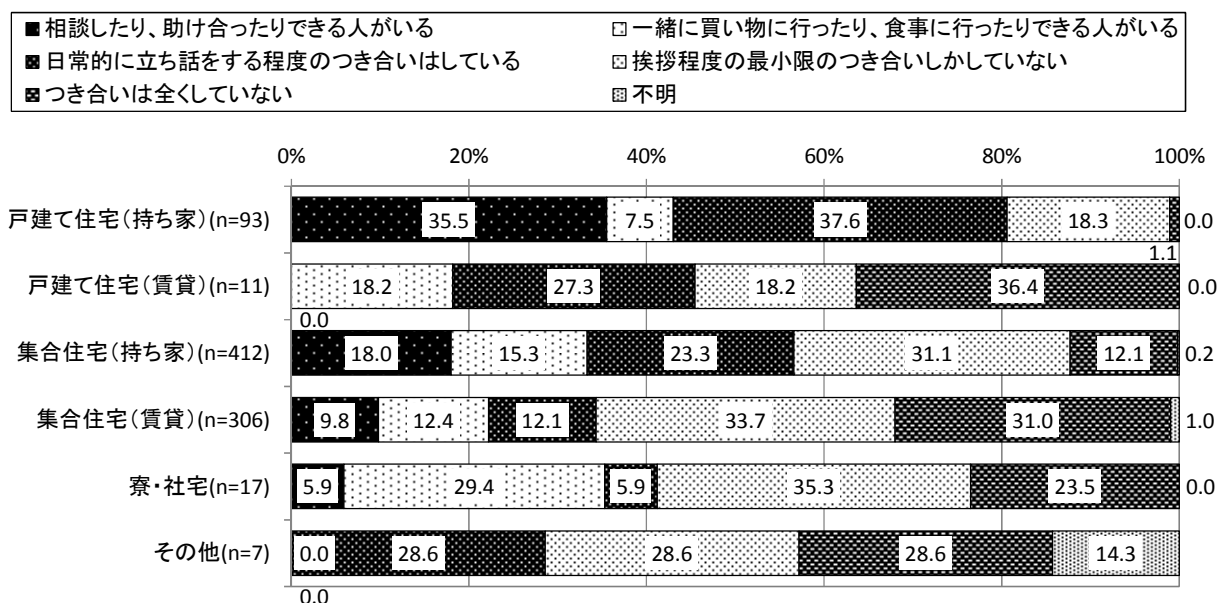
図 親密度 [年代別]



年代別にみると、「つき合いは全くしていない」は、「20代」(39.2%)が全体より10ポイント以上高い。

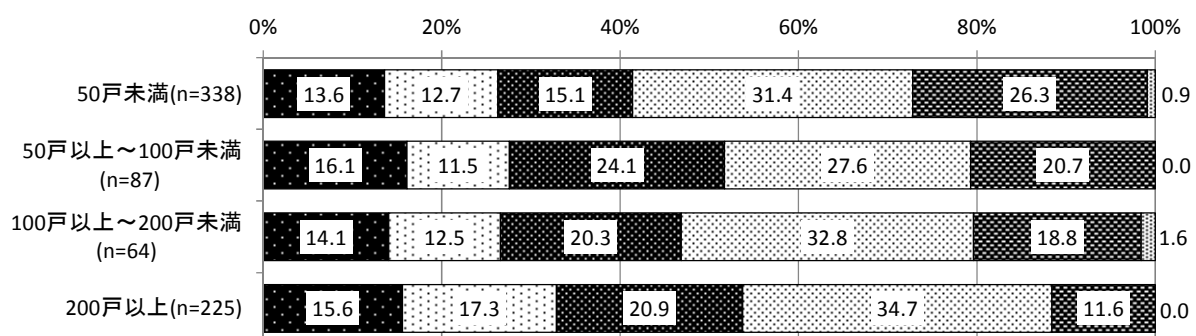
「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」(37.4%)は、「50代」が全体より5ポイント以上高い。「相談したり、助け合ったりできる人がある」及び「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」は、『60代以上』が全体より5ポイント以上高い。

図 親密度 [居住形態別]



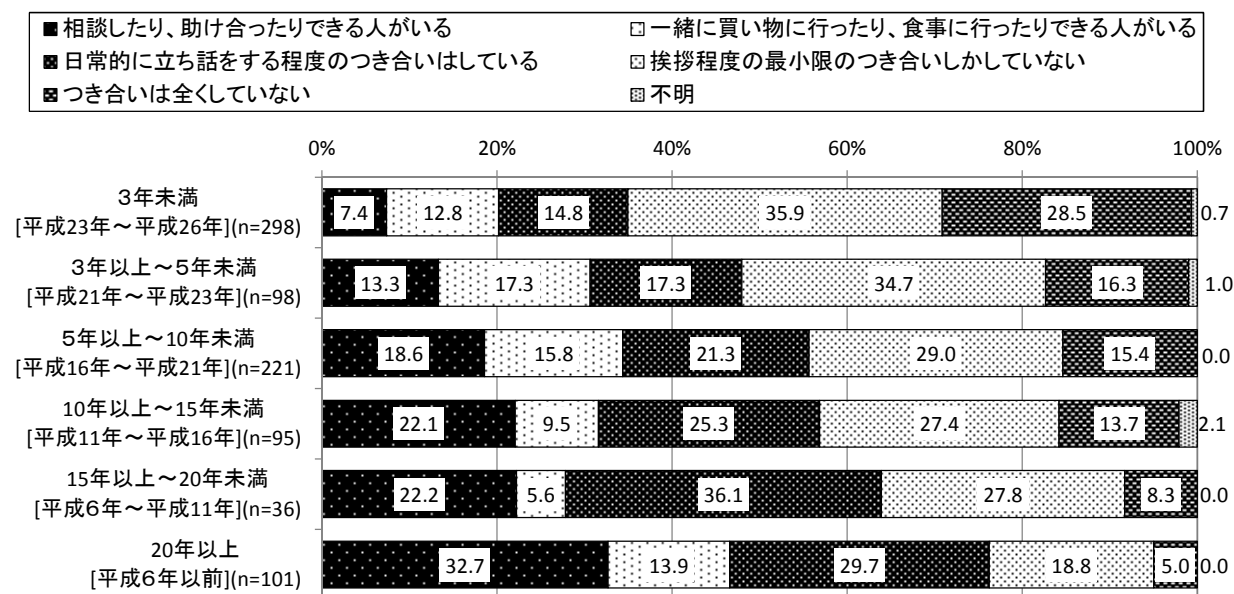
居住形態別にみると、「相談したり、助け合ったりできる人がある」と「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」は、「戸建て住宅(持ち家)」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。一方で、「つき合いは全くしていない」は、「集合住宅(賃貸)」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

図 親密度 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、規模が大きくなるとともに、「つき合いは全くしていない」の割合が減少する傾向がみられる。

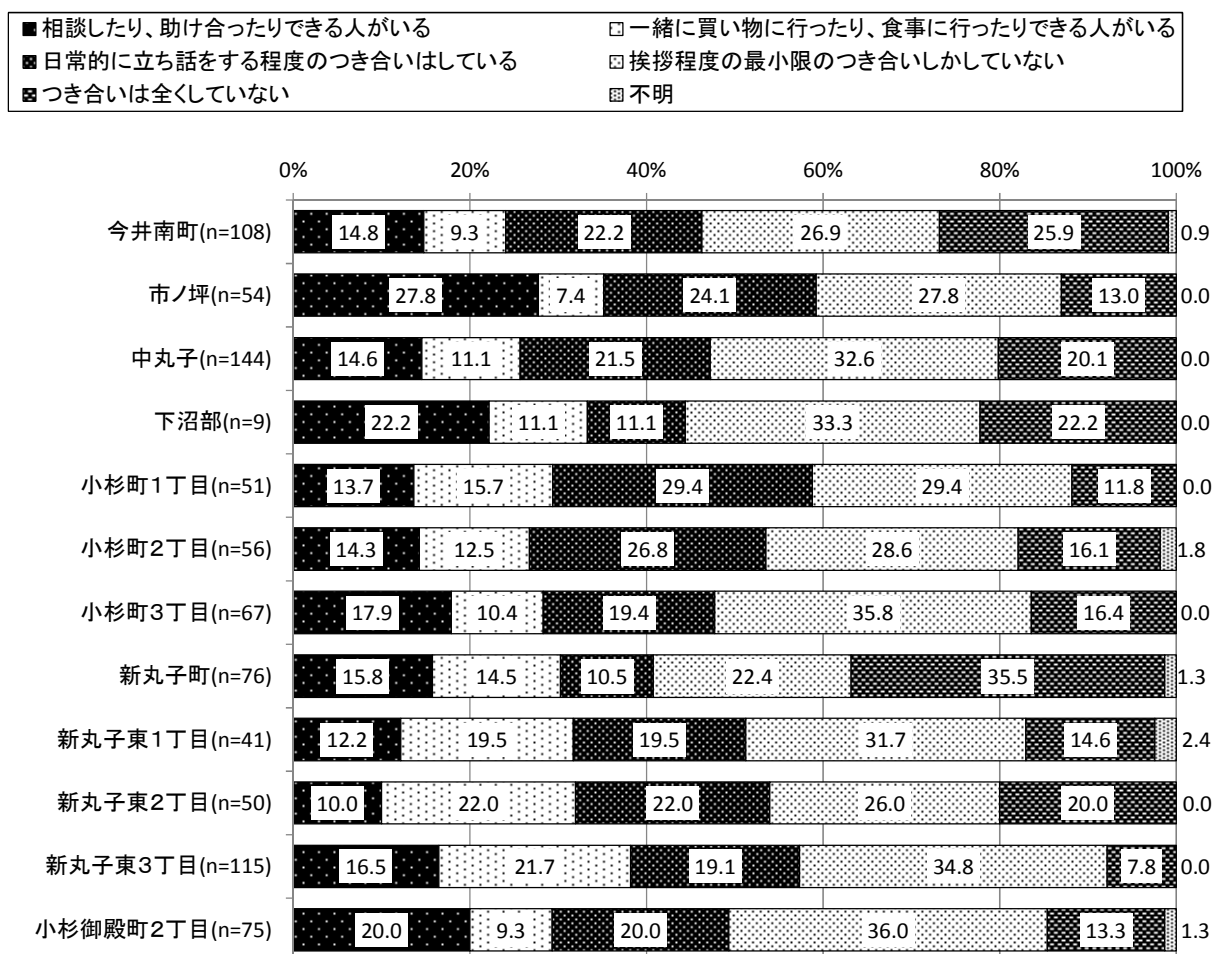
図 親密度 [居住年数別]



居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、「相談したり、助け合ったりできる人がいる」の割合が高くなり、「つき合いは全くしていない」の割合が低くなる傾向がみられる。

「つき合いは全くしていない」(28.5%)は「3年未満 [平成23年～平成26年]」が全体よりも10ポイント以上高くなっており、「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」(35.9%)は、全体より5ポイント以上高い。

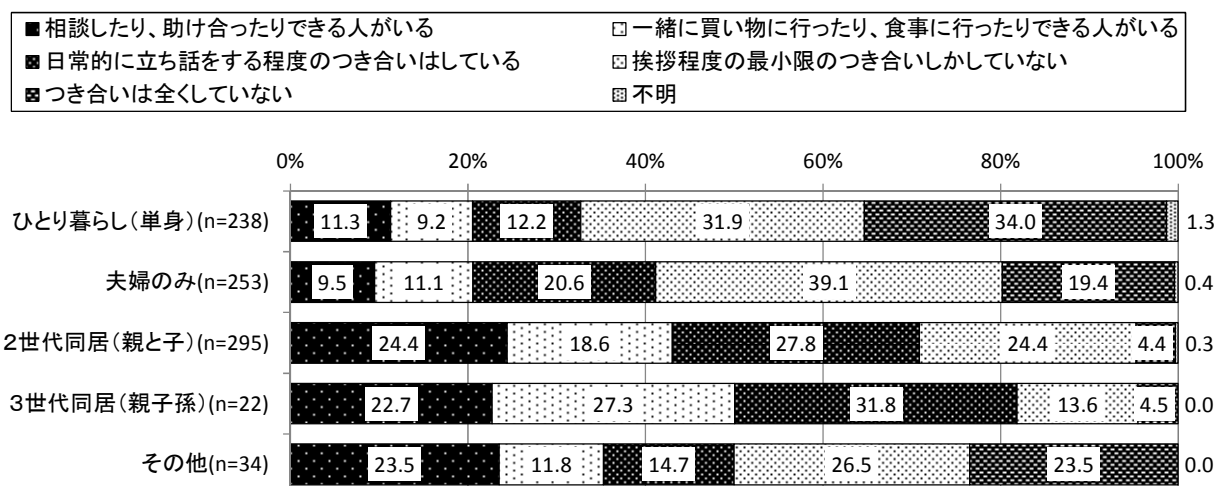
図 親密度 [居住地区別]



居住地区別にみると、「相談したり、助け合ったりできる人がいる」は「市ノ坪」(27.8%)が全体よりも10ポイント以上高くなっており、「一緒に買い物に行ったり、食事に行ったりできる人がいる」は「新丸子東2丁目」(22.0%)、「新丸子東3丁目」(21.7%)、「新丸子東1丁目」(19.5%)が全体よりも5ポイント以上高くなっている。

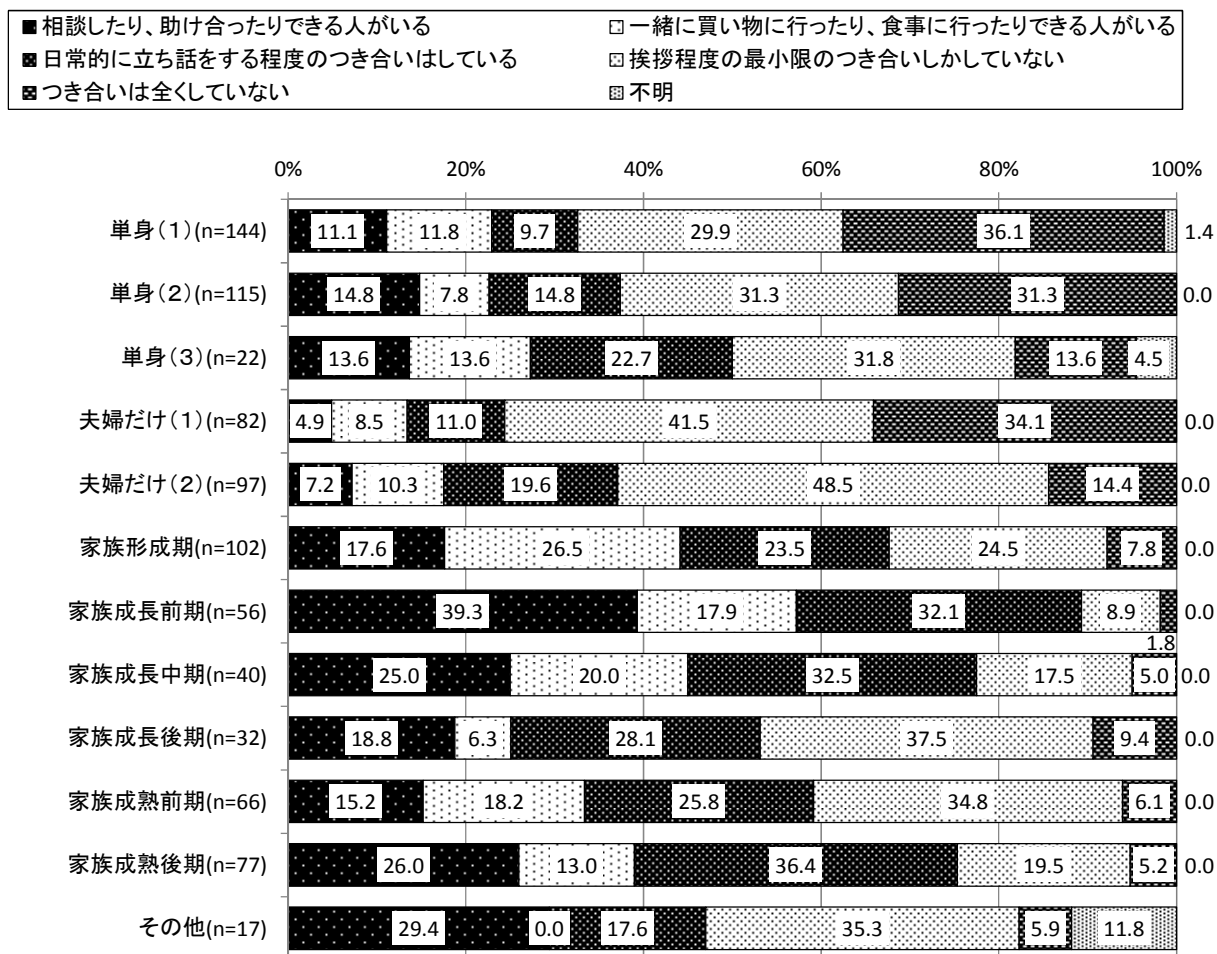
「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」は「小杉町1丁目」(29.4%)、「小杉町2丁目」(26.8%)が全体より5ポイント以上高い。「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」は「小杉町3丁目」(35.8%)が全体より5ポイント以上高い。なお、「つき合いは全くしていない」は、「小杉御殿町2丁目」(36.0%)、「新丸子町」(35.5%)が、全体より10ポイント以上高い。

図 親密度 [家族構成別]



家族構成別にみると、「つき合いは全くしていない」は「ひとり暮らし(単身)」(34.0%)が全体より10ポイント以上高い。「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」は「夫婦のみ」(39.1%)が全体より5ポイント以上高い。「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」及び「一緒に買い物に行ったり、食事に行ったりできる人がいる」は、「2世代同居(親と子)」が全体より5ポイント以上高い。

図 親密度 [ライフステージ別]



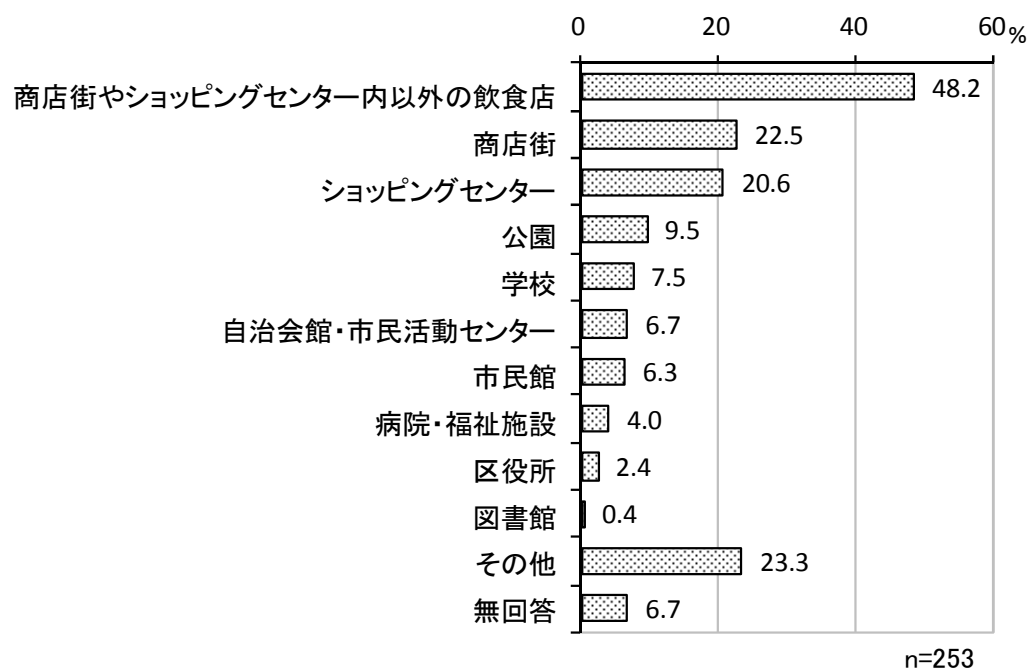
ライフステージ別にみると、「相談したり、助け合ったりできる人がいる」は、『単身』から『家族成長期』へライフステージが上がるとともに割合が高くなり、『家族成熟期』では低下する傾向がみられる。

「つき合いは全くしていない」は、『単身』に加え、「夫婦だけ(1)」が全体よりも 10 ポイント以上高い。「挨拶程度の最小限のつき合いしかしていない」は、『夫婦だけ』が全体よりも 10 ポイント以上高い。「日常的に立ち話をする程度のつき合いはしている」は、『家族成長期』と『家族成熟期』が全体より 5 ポイント以上高くなっている。「一緒に買い物に行ったり、食事に行ったりできる人がいる」は、「家族形成期」(26.5%)と「家族成長中期」(20.0%)が全体より 5 ポイント以上高い。

なお、「相談したり、助け合ったりできる人がいる」は、「家族成長前期」(39.3%)が最も高く、ついで、「家族成熟後期」(26.0%)、「家族成長中期」(25.0%)の順となっている。

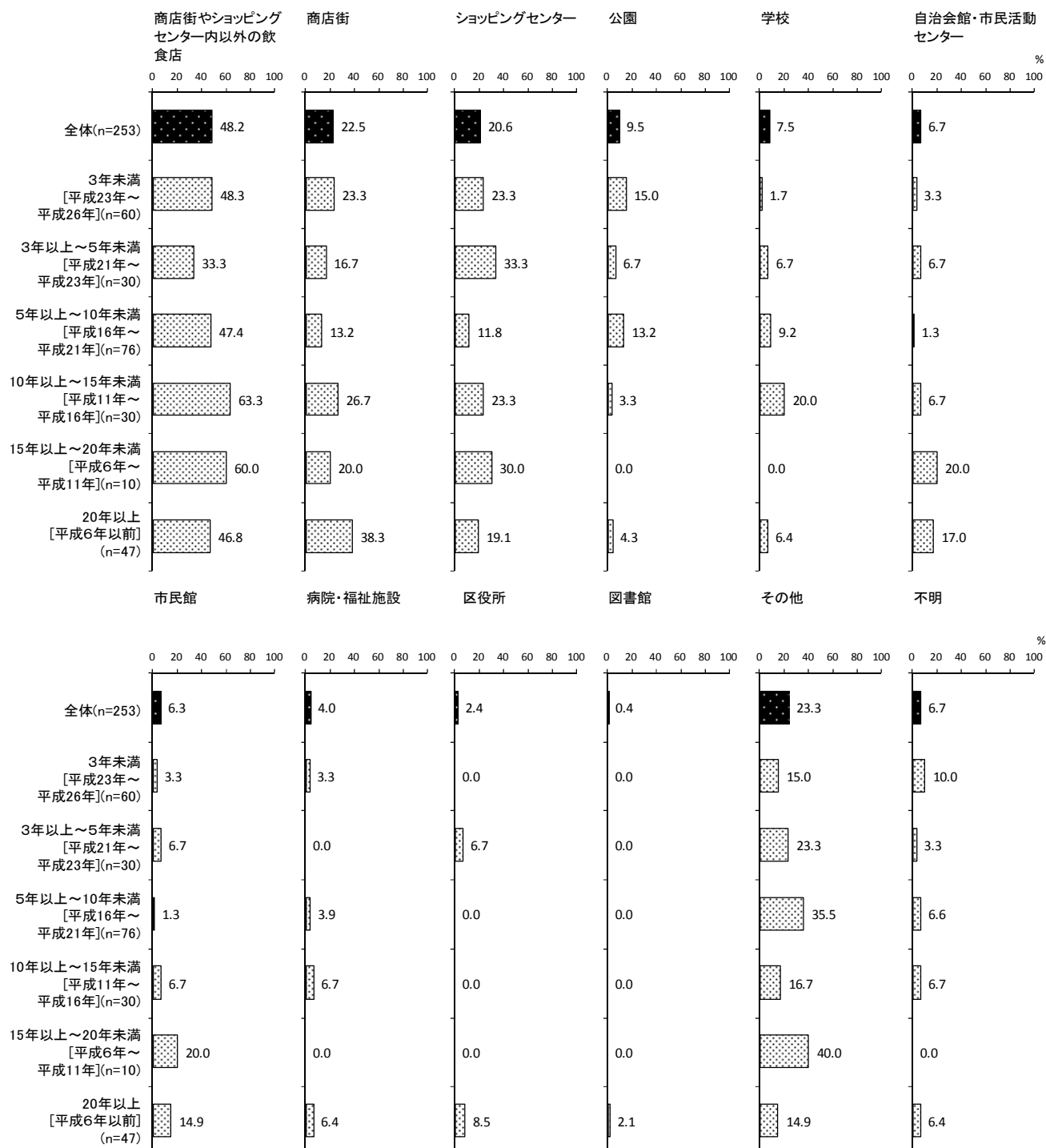
問6-1. (問6「1」、「2」回答者)本地域の住民と、本地域内のどこで交流(おしゃべりや情報交換など)をすることが多いですか(複数回答)

図 本地域内の交流の場 [全体]



交流の場については、「商店街やショッピングセンター内以外の飲食店」(48.2%)が最も高く、ついで、「商店街」(22.5%)、「ショッピングセンター」(20.6%)の順となっており、いずれも20%以上の割合となっている。

図 本地域内の交流の場〔居住年数別〕

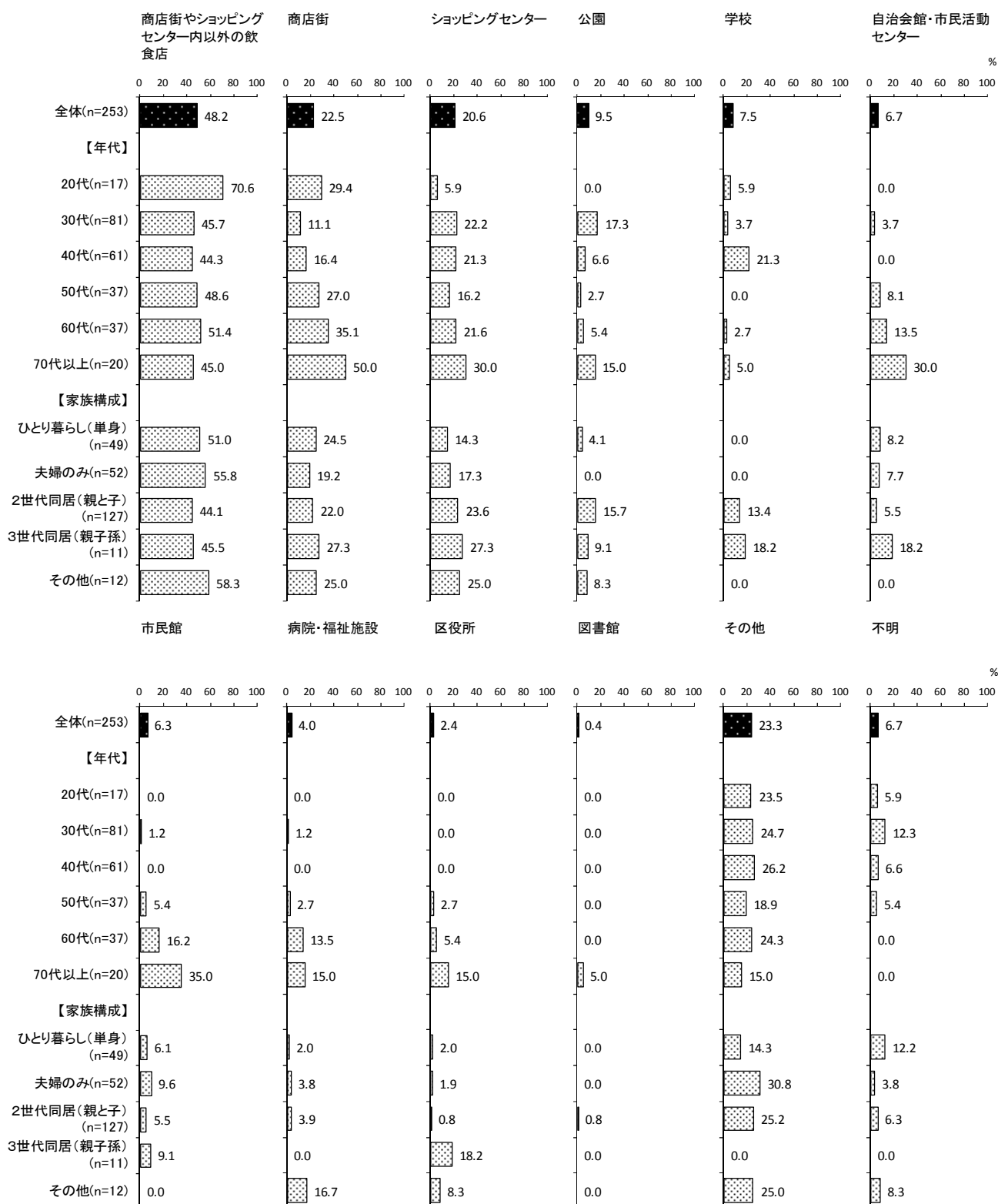


居住年数別に見ると、居住年数が長くなるとともに、「市民館」や「自治会館・市民活動センター」などの公共施設が、全体よりも高い傾向がみられる。

「公園」は「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」(15.0%)、「ショッピングセンター」は「3年以上～5年未満 [平成 21 年～平成 23 年]」(33.3%)、「商店街やショッピングセンター内以外の飲食店」と「学校」は「10 年以上～15 年未満 [平成 11 年～平成 16 年]」が、全体より 5 ポイント以上高い。

「商店街」、「自治会館・市民活動センター」、「市民館」、「区役所」は、「20 年以上 [平成6年以前]」が、それぞれ全体より 5 ポイント以上高くなっている。

図 本地域内の交流の場〔年代別、家族構成別〕



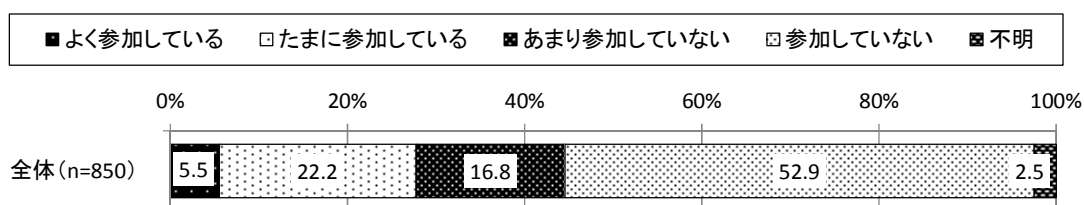
年代別にみると、「商店街」、「市民館」、「自治会館・市民活動センター」及び「病院・福祉施設」は「60代」、「公園」は「30代」(17.3%)、「学校」は「40代」(21.3%)、が全体よりも5ポイント以上高くなっている。

家族構成別にみると、「商店街やショッピングセンター内以外の飲食店」は「夫婦のみ」、「公園」と「学校」は「2世代同居(親と子)」が全体よりも5ポイント以上高くなっている。

(オ)コミュニティ活動などへの参加状況について

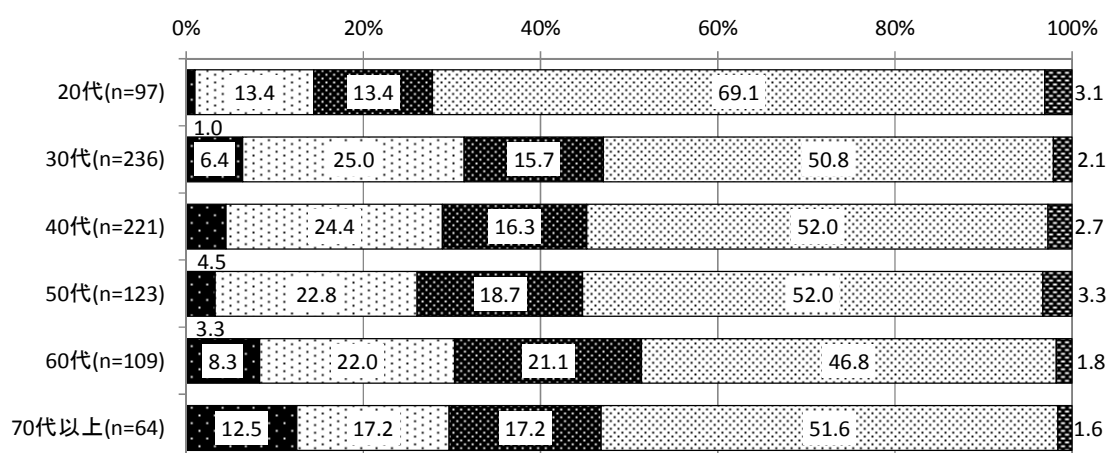
問7. 本地域のお祭りやイベントに参加していますか(単独回答)

図 お祭りやイベントの参加状況 [全体]



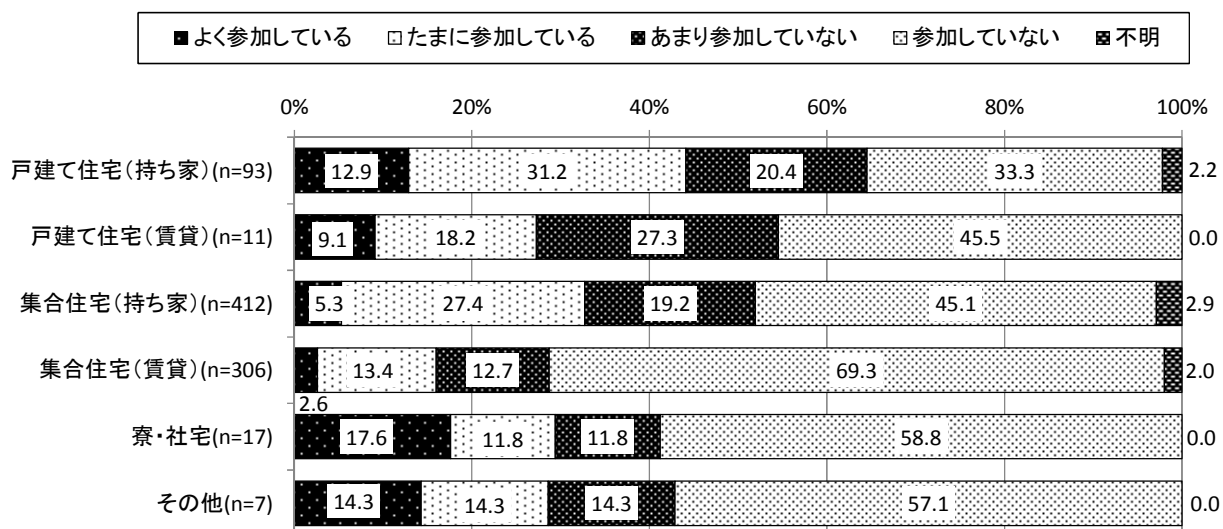
お祭りやイベントの参加状況については、「参加していない」が全体の半数以上を占めている。

図 お祭りやイベントの参加状況 [年代別]



年代別にみると、「参加していない」は「20代」(69.1%)が最も高く、全体より10ポイント以上高い。一方で、「よく参加している」は「70代以上」(12.5%)が全体より5ポイント以上高い。

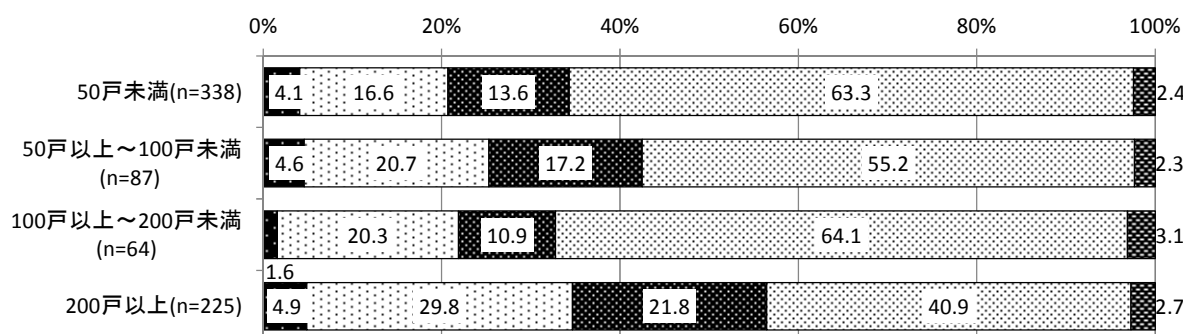
図 お祭りやイベントの参加状況【居住形態別】



居住形態別にみると、『賃貸』より『持ち家』が、参加状況が高い傾向がみられる。

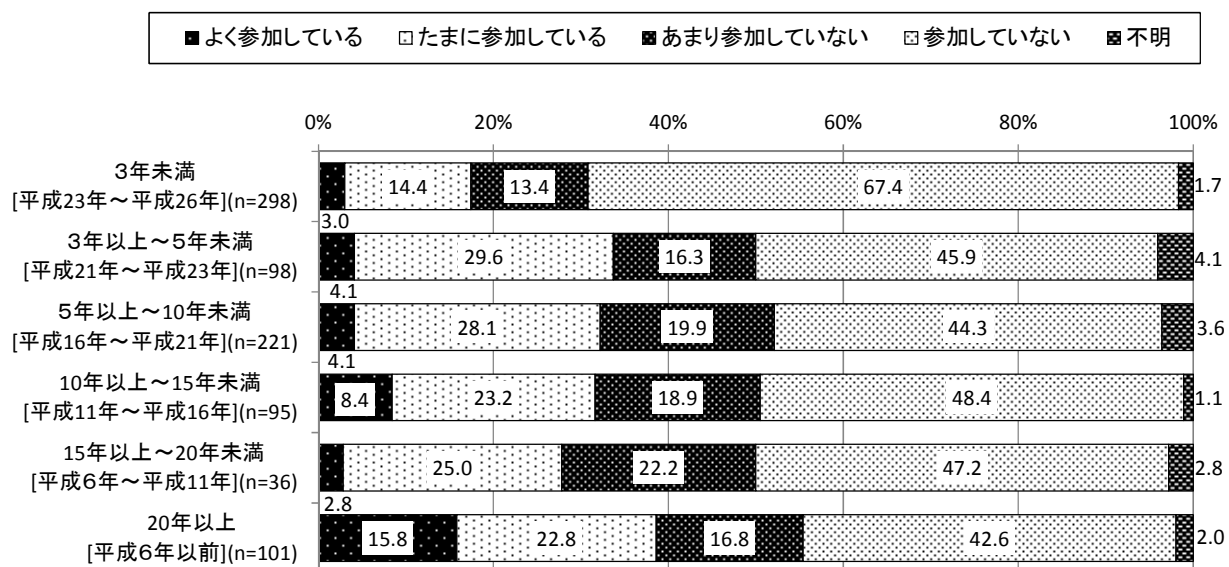
「よく参加する」は「戸建て住宅(持ち家)」(12.9%)が全体より5ポイント以上高い。「たまに参加している」は「戸建て住宅(持ち家)」(31.2%)及び「集合住宅(持ち家)」(27.4%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は、「集合住宅(賃貸)」(69.3%)が全体より10ポイント以上も高くなっている。

図 お祭りやイベントの参加状況【集合住宅の規模別】



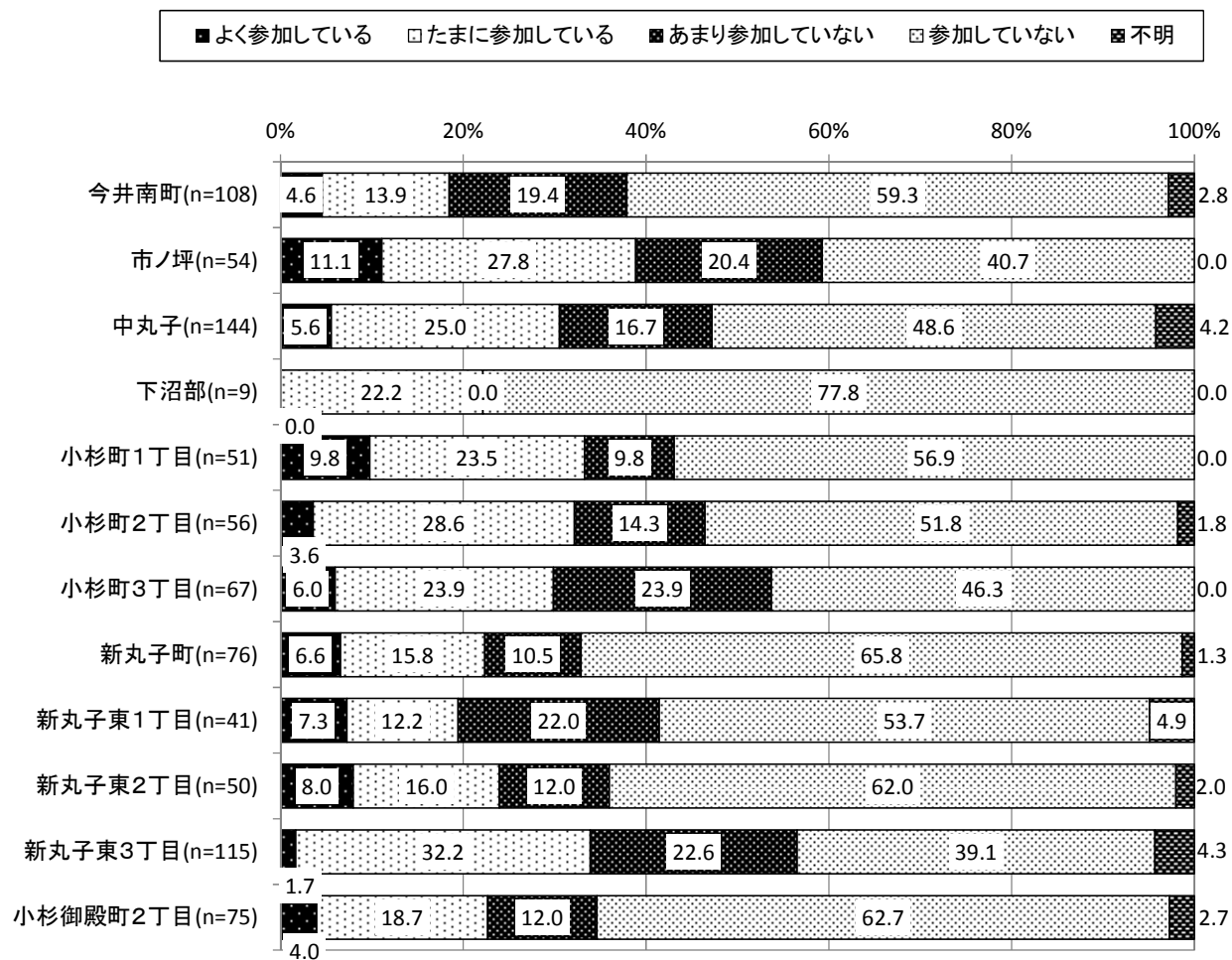
集合住宅の規模別にみると、「たまに参加している」は「200 戸以上」(29.8%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は「100 戸以上～200 戸未満」(64.1%)及び「50 戸未満」(63.3%)が全体より10ポイント以上高くなっている。

図 お祭りやイベントの参加状況〔居住年数別〕



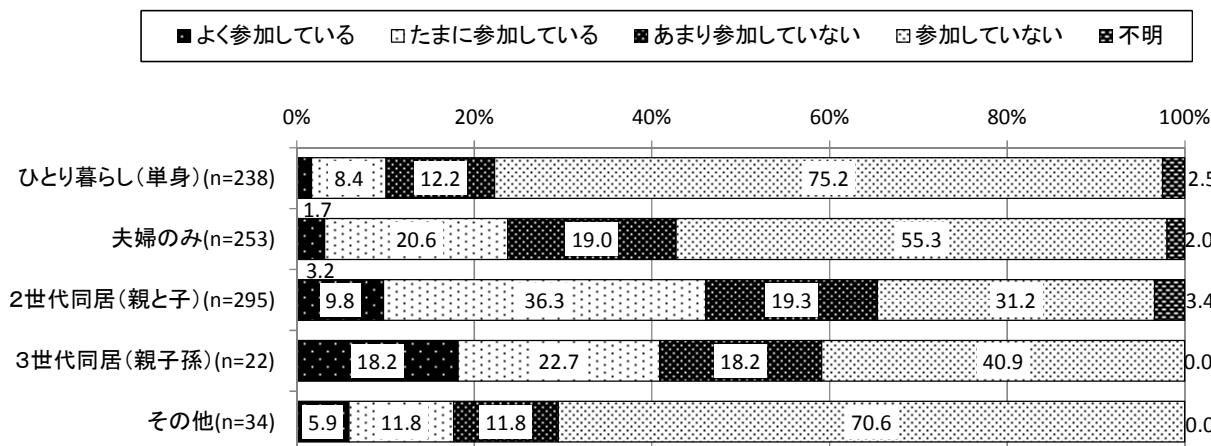
居住年数別にみると、「よく参加している」は、「20 年以上 〔平成6年以前〕」(15.8%)が最も高く、全体より 10 ポイント以上高くなっている。「たまに参加している」は、「3年以上～5年未満 〔平成 21 年～平成 23 年〕」(29.6%)と「5年以上～10 年未満 〔平成 16 年～平成 21 年〕」(28.1%)が全体より 5 ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は、「3年未満 〔平成 23 年～平成 26 年〕」(67.4%)が全体より 10 ポイント以上高い。

図 お祭りやイベントの参加状況〔居住地区別〕



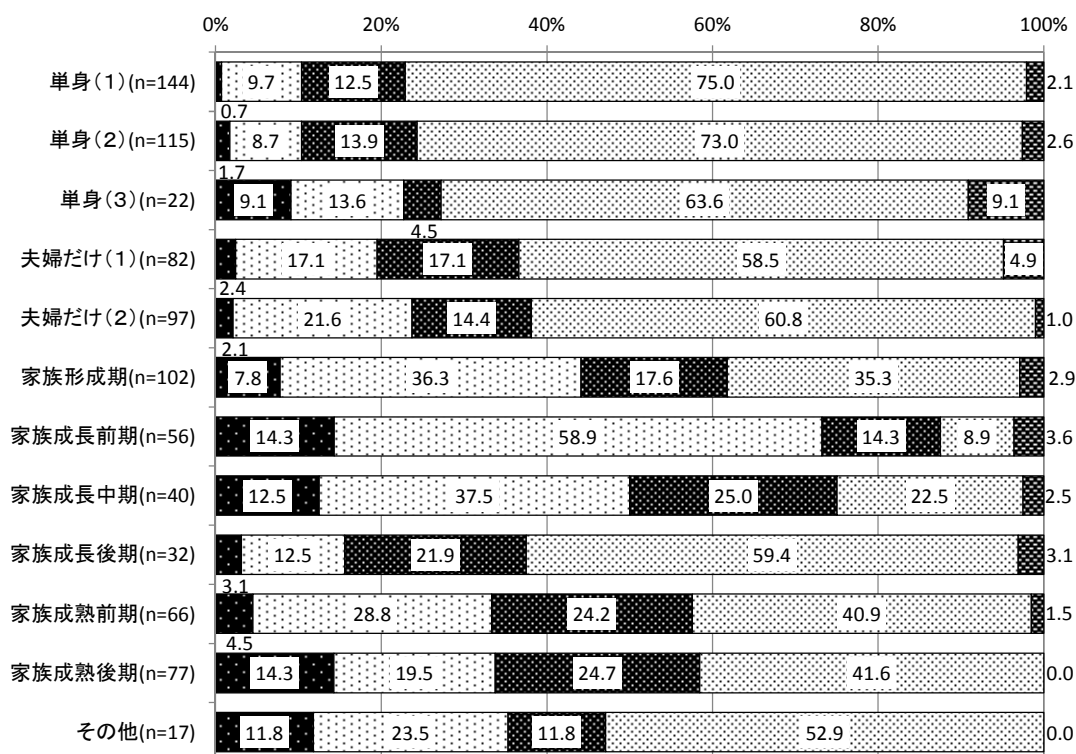
居住地区別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計の割合は、「市ノ坪」(38.9%)が最も高く、ついで、「新丸子東3丁目」(33.9%)、「小杉町1丁目」(33.3%)の順となっている。一方で、「あまり参加していない」と「参加していない」の合計は、「今井南町」(78.7%)が最も高く、ついで、「新丸子町」(76.3%)、「新丸子東1丁目」(75.7%)の順となっている。なお、「参加していない」は「新丸子町」(65.8%)が全体より10ポイント以上高い。

図 お祭りやイベントの参加状況【家族構成別】



家族構成別にみると、「たまに参加している」は「2世代同居(親と子)」(36.3%)が、全体より 10 ポイント以上高くなっている。一方で、「参加していない」は「ひとり暮らし(単身)」(75.2%)が全体より 10 ポイント以上高い。

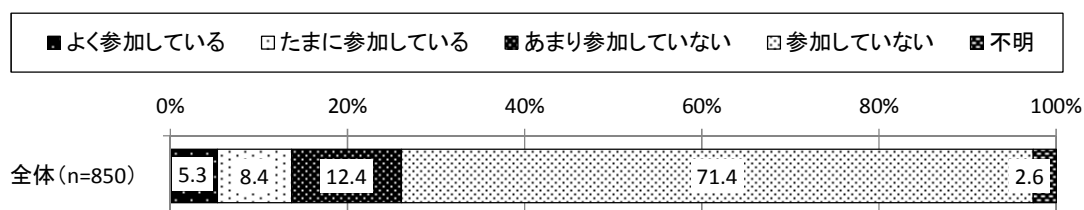
図 お祭りやイベントの参加状況【ライフステージ別】



ライフステージ別にみると、ライフステージが上がるとともに、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計が高くなる傾向にあるが、「家族成長後期」は低くなっている。「よく参加している」は「家族成長前期」(14.3%)、「家族成熟後期」(14.3%)、「家族成長中期」(12.5%)が全体より 5 ポイント以上高くなっており、「たまに参加している」は「家族成長前期」(58.9%)、「家族成長中期」(37.5%)、「家族形成期」(36.3%)が全体より 5 ポイント以上高く、「参加していない」は『単身』が全体より 10 ポイント以上高くなっており、『夫婦だけ』が全体より 5 ポイント以上高い。

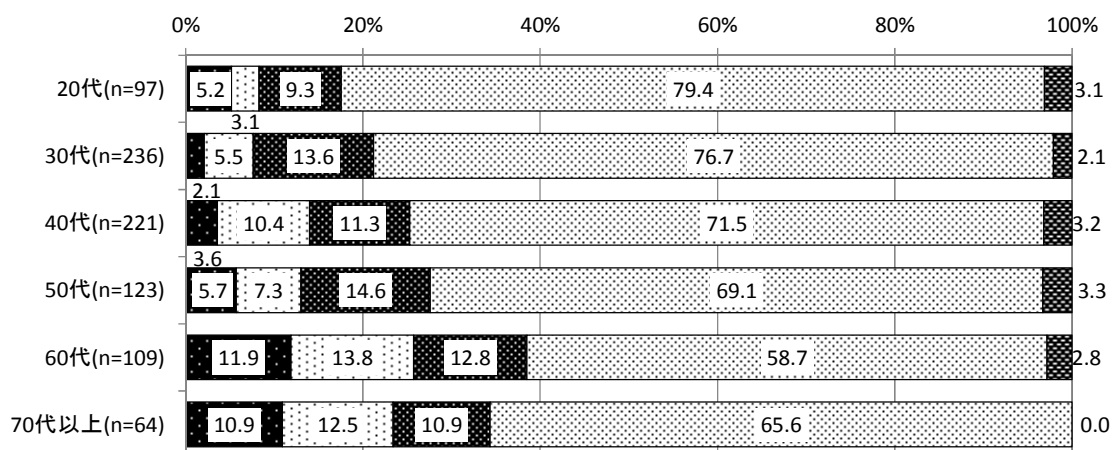
問8. 本地域でのスポーツや趣味・娯楽の集まりに参加していますか(単独回答)

図 スポーツや趣味・娯楽の参加状況 [全体]



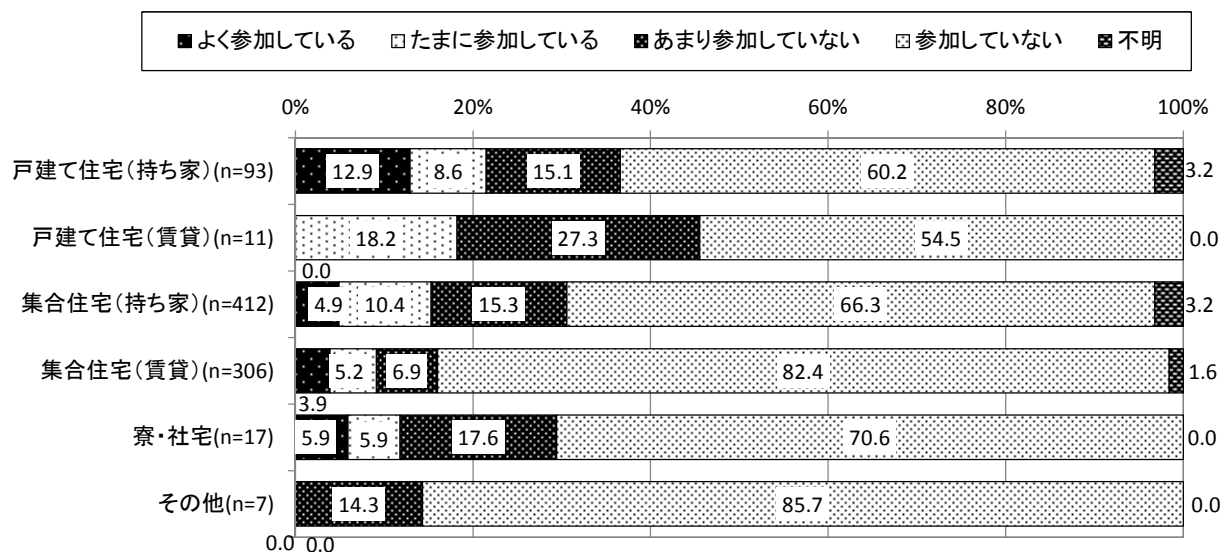
スポーツや趣味・娯楽の参加状況については、「参加していない」の約70%を占めている。

図 スポーツや趣味・娯楽の参加状況 [年代別]



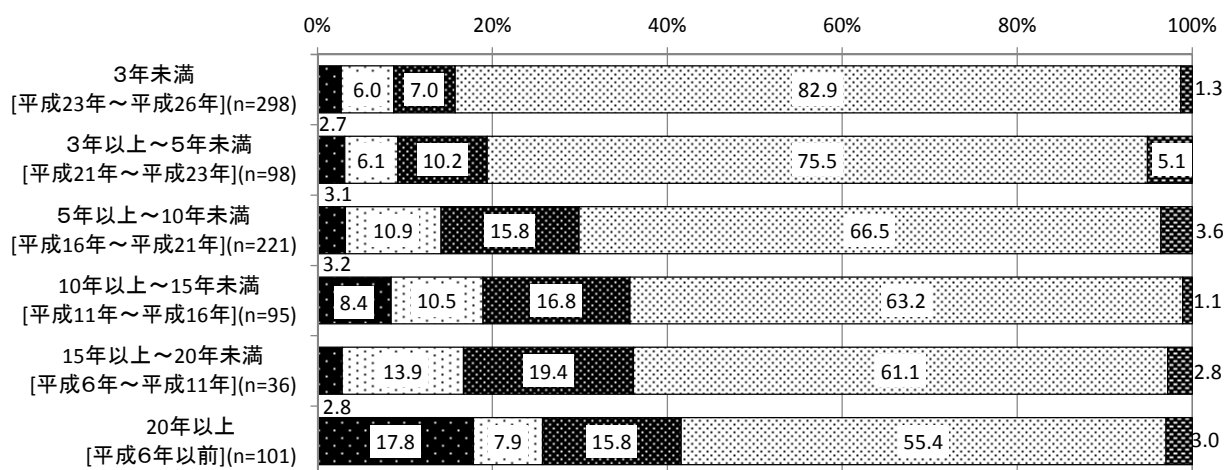
年代別にみると、「よく参加している」は、「60代」(11.9%)、「70代以上」(10.9%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は、「20代」及び「30代」が75%以上の割合を占めており、年代が上がるとともに、割合は低下する傾向にあるが「70代以上」(65.6%)で高くなる。

図 スポーツや趣味・娯楽の参加状況【居住形態別】



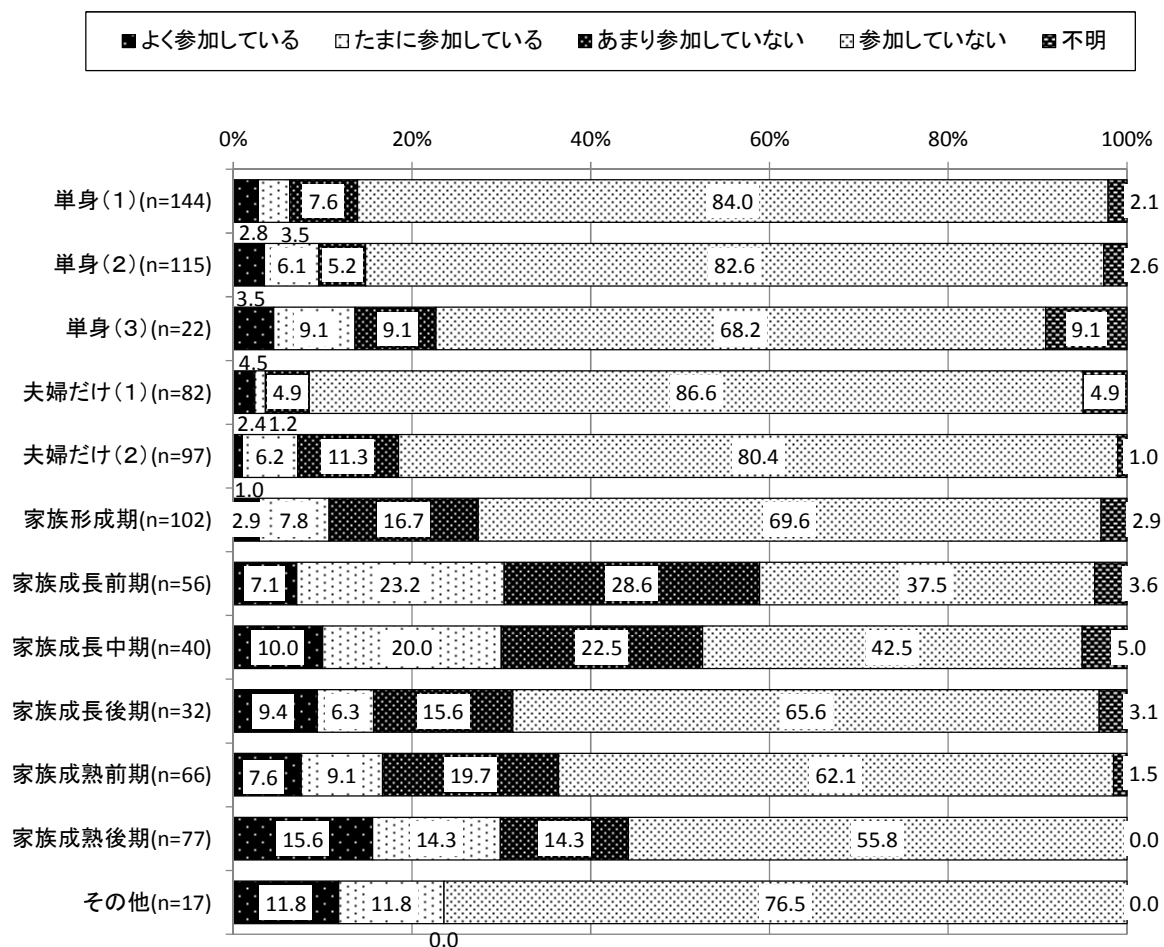
居住形態別にみると、「よく参加している」は「戸建て住宅(持ち家)」(12.9%)が全体より 5 ポイント以上高い。「参加していない」は「集合住宅(賃貸)」(82.4%)が全体より 10 ポイント以上高い。

図 スポーツや趣味・娯楽の参加状況【居住年数別】



居住年数別にみると、「よく参加している」は、「20 年以上 [平成6年以前)」(17.8%)が全体より 10 ポイント以上高い。また、「参加していない」は、居住年数が長くなるとともに、低下する傾向がみられる。

図 スポーツや趣味・娯楽の参加状況 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「よく参加している」は、「家族成熟後期」(15.6%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(10.0%)、「家族成長後期」(9.4%)の順となっている。

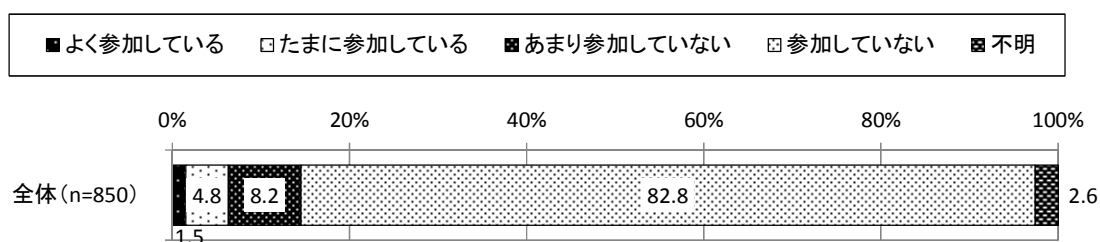
「たまに参加している」は、「家族成長前期」(23.2%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(20.0%)、「家族成熟後期」(14.3%)の順となっている。

「あまり参加していない」は、「家族成長前期」(28.6%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(22.5%)、「家族成熟前期」(19.7%)の順となっている。

「参加していない」は、『単身』はいずれも80%以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。『夫婦だけ』は全体より5ポイント以上高い。

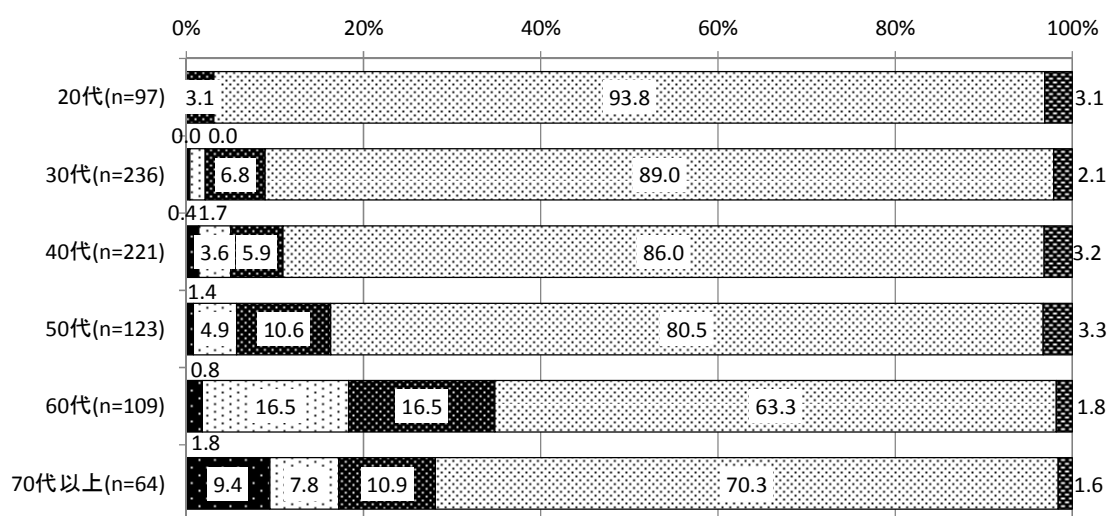
問9. 本地域の清掃活動に参加していますか(単独回答)

図 清掃活動の参加状況 [全体]



清掃活動の参加状況については、「参加していない」の割合が全体の 80%以上を占めている。

図 清掃活動の参加状況 [年代別]

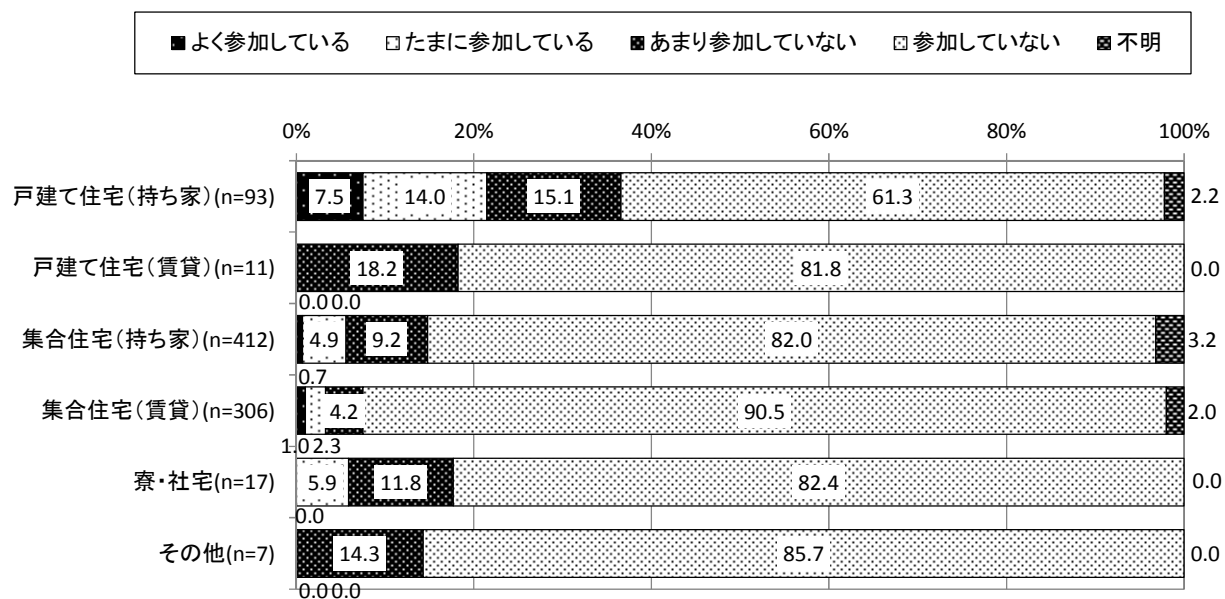


年代別にみると、年代が上がるとともに、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計が高くなる傾向がみられる。

「よく参加している」は、「70代」(9.4%)が全体より5ポイント以上高い。

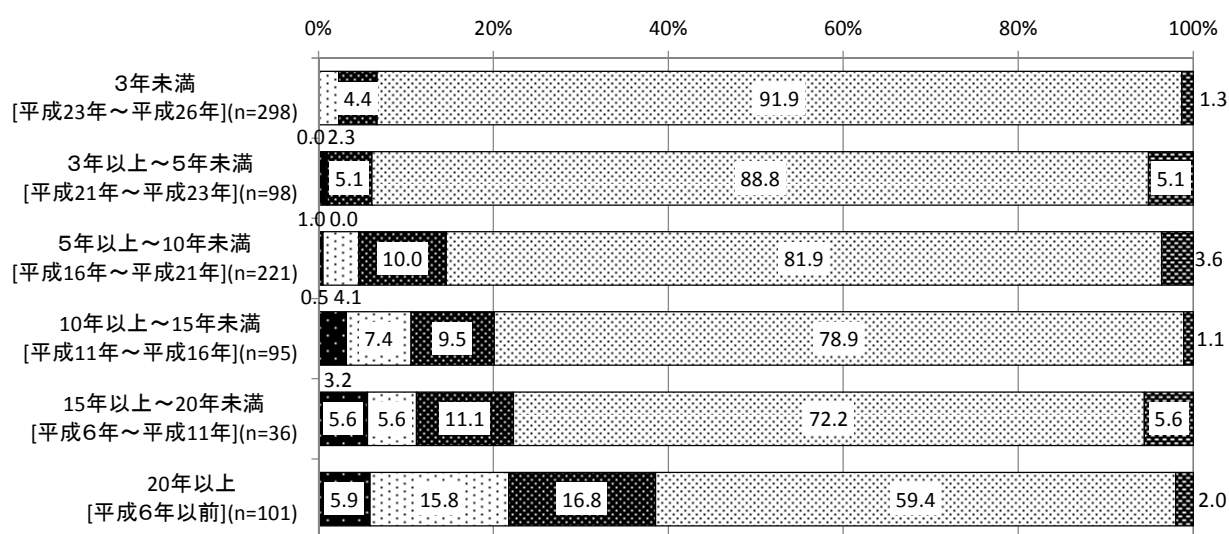
「参加していない」は、「20代」(93.8%)及び「30代」(89.0%)が約90%を占めており、全体より5ポイント以上高い。年代が上がるとともに低下傾向にあるが、「70代以上」(70.3%)で高くなる。

図 清掃活動の参加状況【居住形態別】



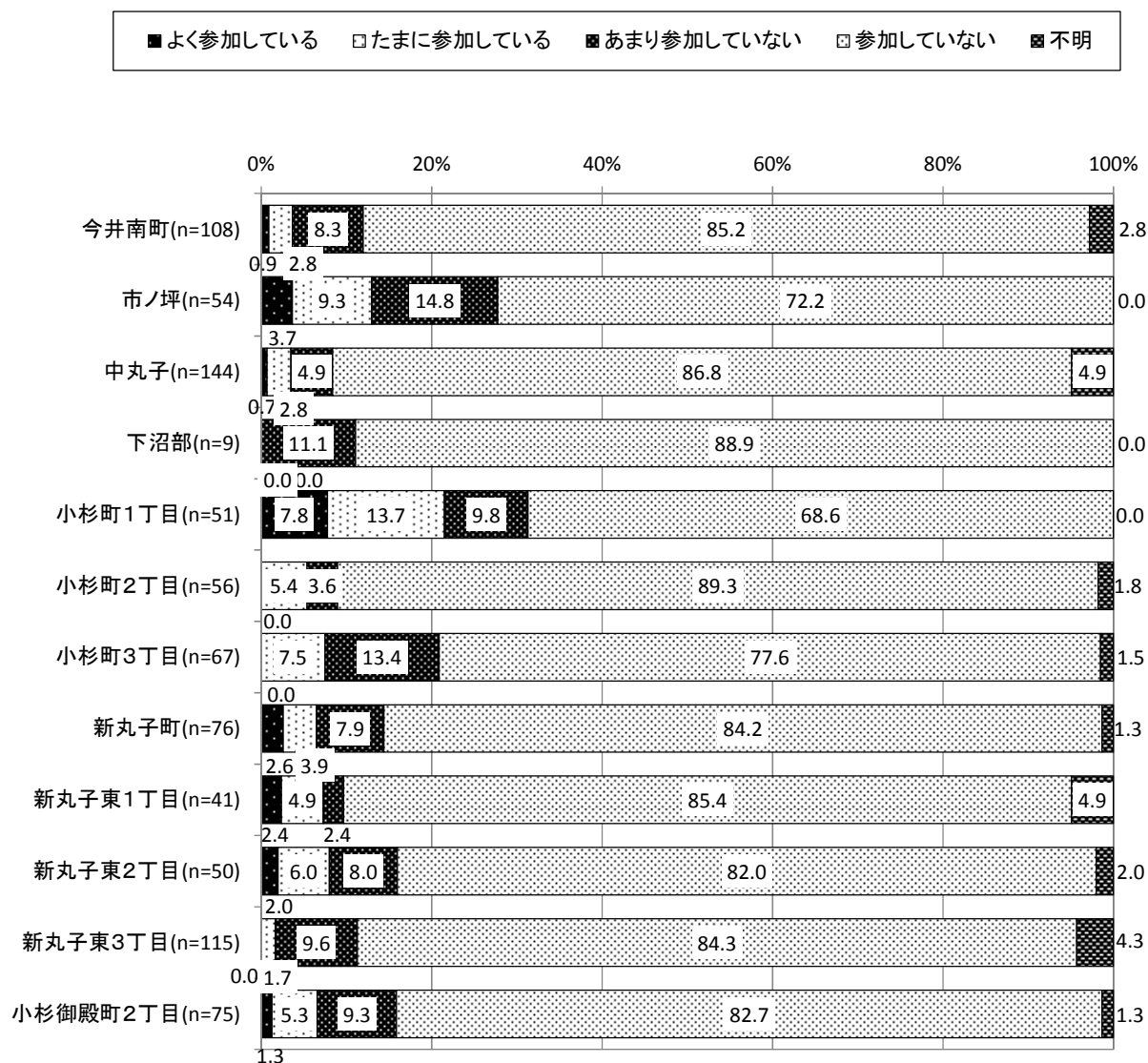
居住形態別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計は、「戸建て住宅(持ち家)」(21.5%)が全体より10ポイント以上高くなっている一方で、「参加していない」は、「集合住宅(賃貸)」(90.5%)が全体より5ポイント以上高い。

図 清掃活動の参加状況【居住年数別】



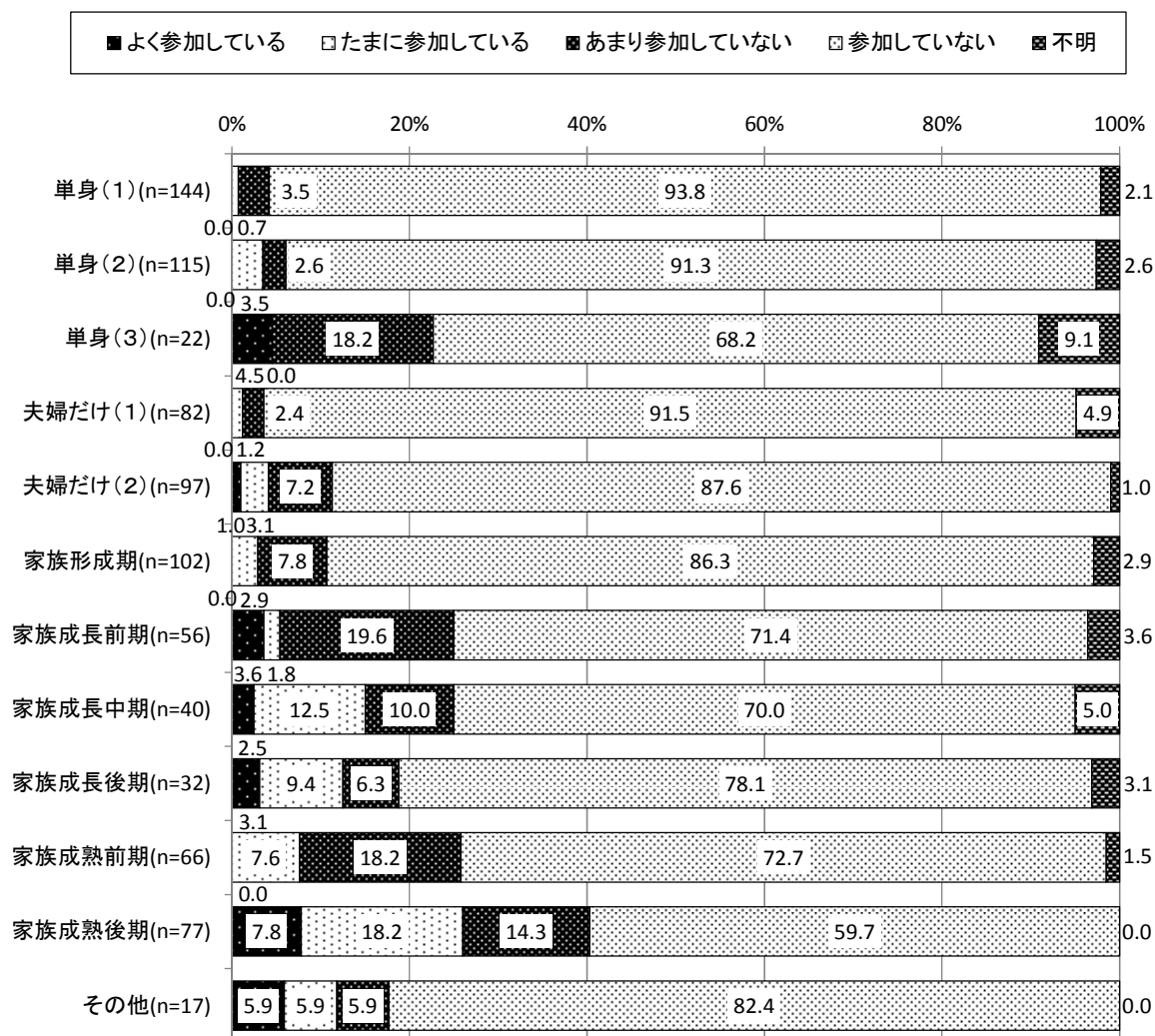
居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、「よく参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合が高くなる傾向がみられる。

図 清掃活動の参加状況〔居住地区別〕



居住地区別にみると、「参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合は、「小杉町1丁目」(21.5%)が全体より10ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は、「小杉町2丁目」(89.3%)が全体より5ポイント以上高い。

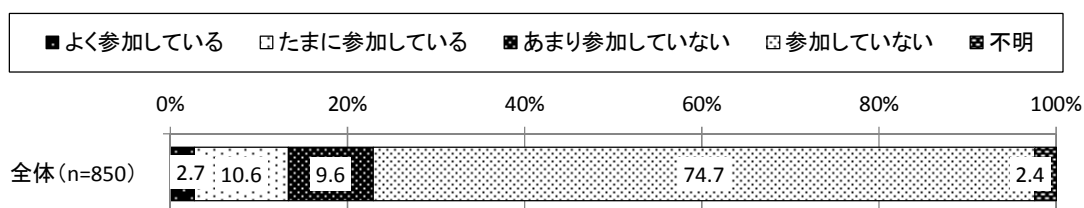
図 清掃活動の参加状況 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合は、「家族成熟後期」(26.0%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(15.0%)、「家族成長後期」(12.5%)の順となっている。一方で、「参加していない」は、『単身』、「夫婦だけ(1)」が全体より5ポイント以上高い。

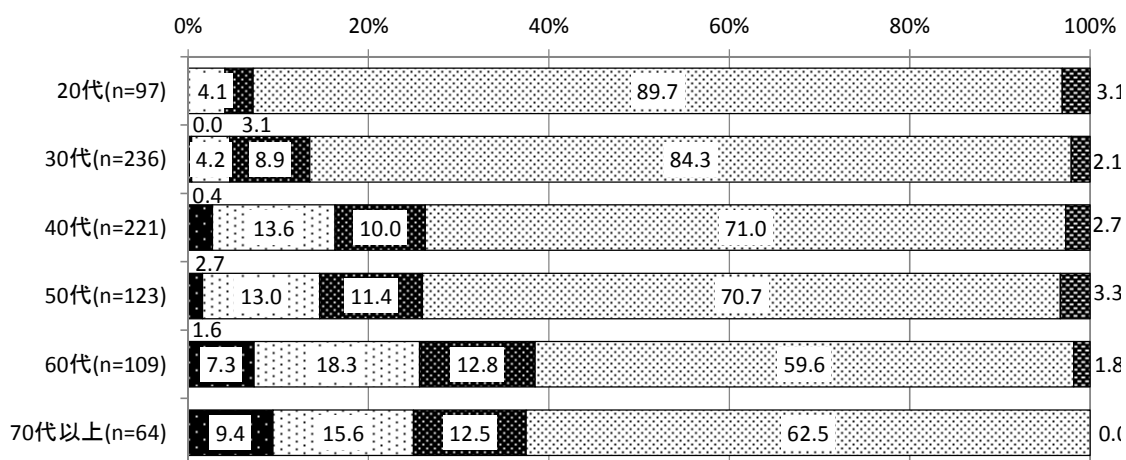
問10. 本地域の防災・防犯活動や交通安全活動に参加していますか(単独回答)

図 防災・防犯活動の参加状況 [全体]



防災・防犯活動の参加状況については、「参加していない」が 74.7%を占めている。「よく参加している」は、2.7%となっている。

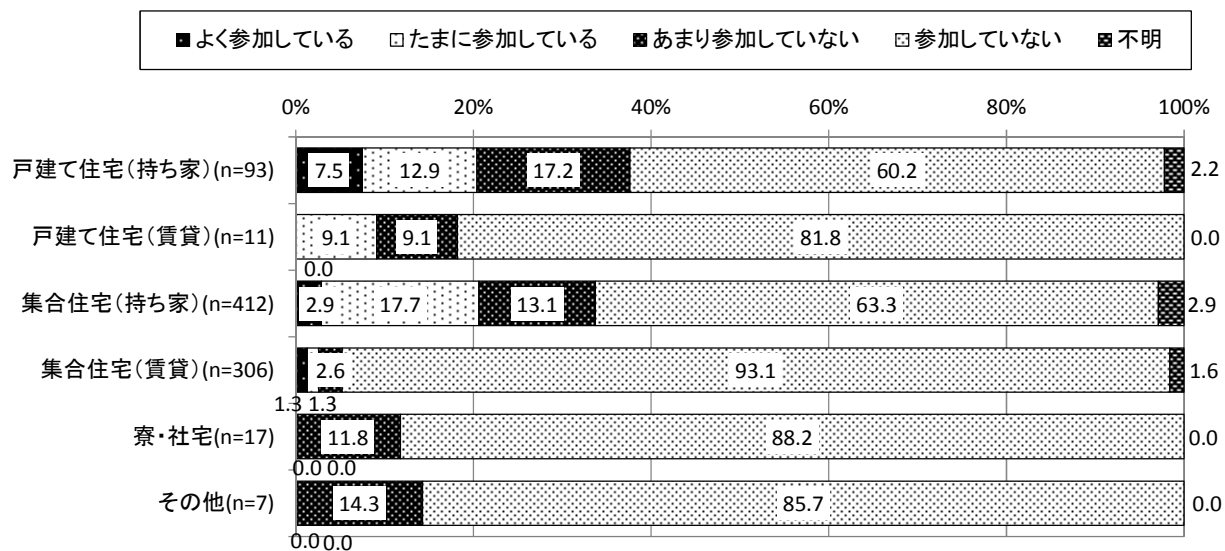
図 防災・防犯活動の参加状況 [年代別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、「よく参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合が概ね高くなる傾向がみられる。

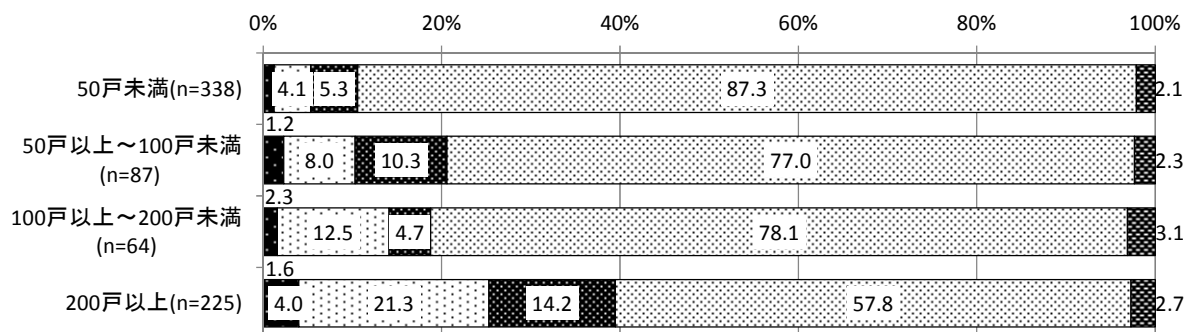
「参加していない」は、「20 代」及び「30 代」が全体より 5 ポイント以上高くなっており、年代が上がるとともに、概ね低下する傾向にある。

図 防災・防犯活動の参加状況 [居住形態別]



居住形態別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計は、『賃貸』より『持ち家』が高くなっている。一方で、「参加していない」は、「集合住宅(賃貸)」が90%以上となっており、全体より10ポイント以上高い。

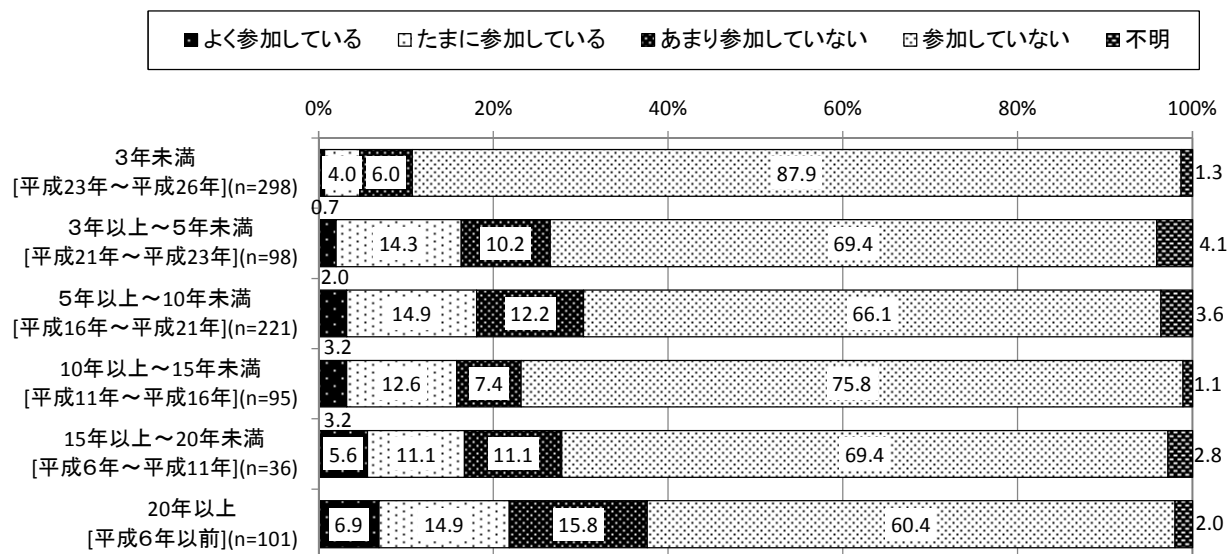
図 防災・防犯活動の参加状況 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合は、規模が大きくなるとともに、高くなる傾向がみられる。

「たまに参加している」は、「200戸以上」(21.3%)が、全体よりも10ポイント以上高くなっている。

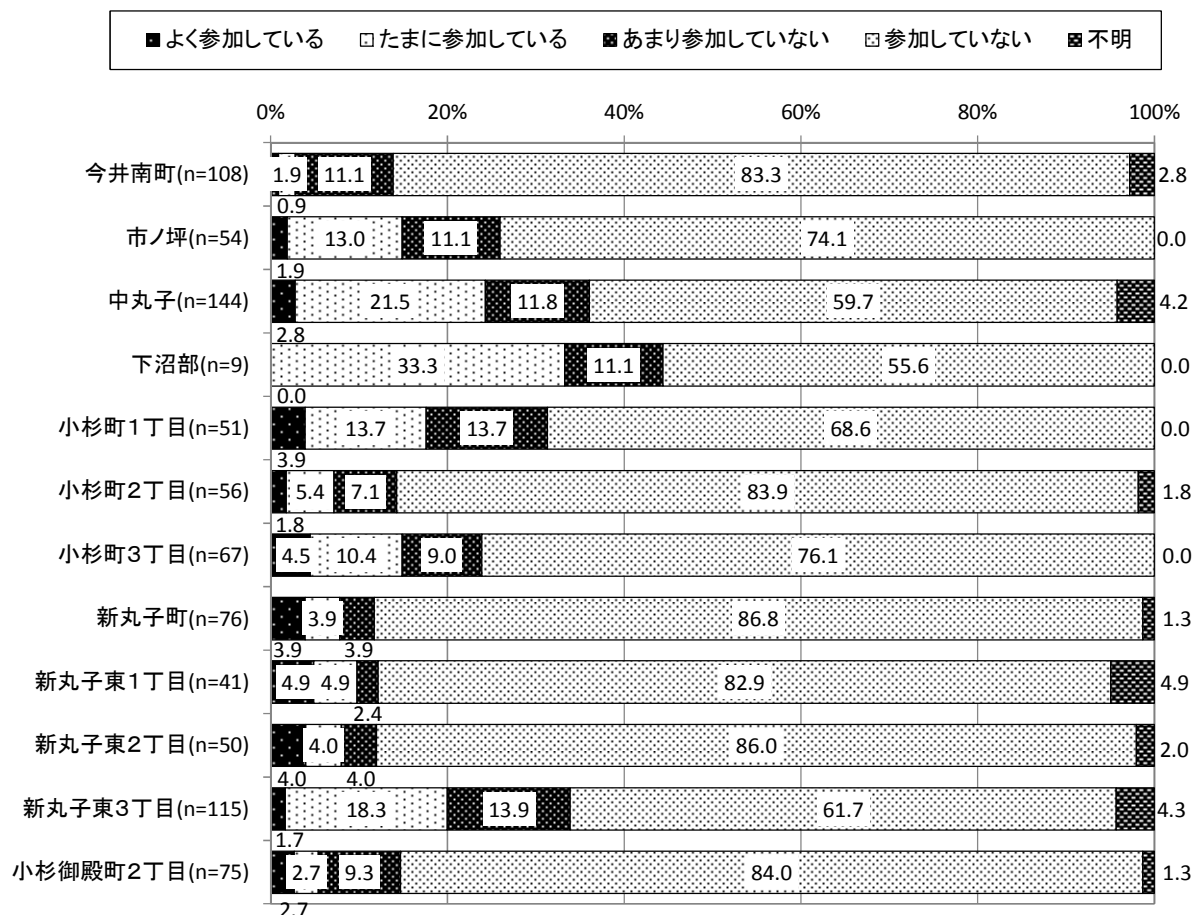
図 防災・防犯活動の参加状況〔居住年数別〕



居住年数別にみると、「よく参加している」は、居住年数が長くなるとともに、割合が高くなる傾向となっている。

「参加していない」は「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年]」が 90%程度となっており、全体より 10 ポイント以上高い。

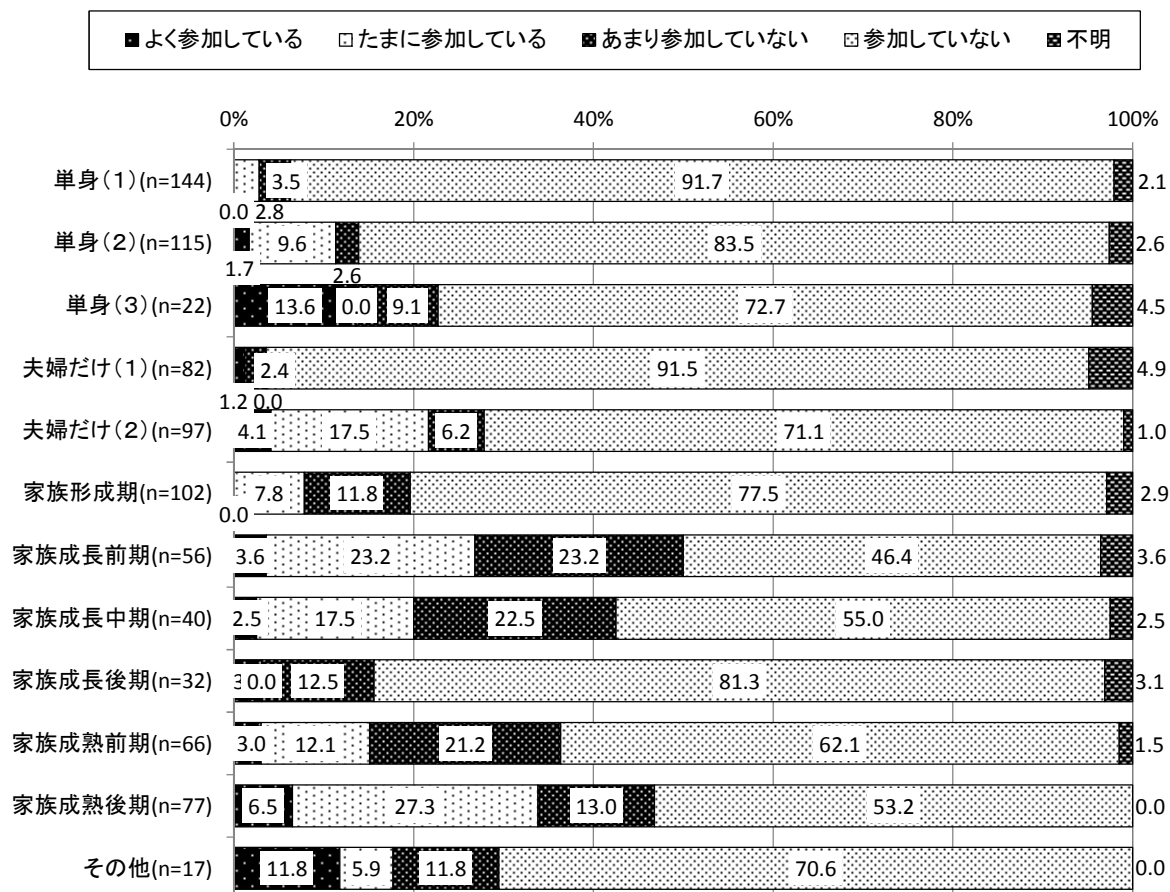
図 防災・防犯活動の参加状況〔居住地区別〕



居住地区別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」を合わせた割合は、「中丸子」(24.3%)が最も高く、「新丸子東3丁目」(20.0%)、「小杉町1丁目」(17.6%)、「小杉町3丁目」(14.9%)の順となっている。

一方で、「あまり参加していない」と「参加していない」を合わせた割合は、「今井南町」(94.4%)が最も高く、ついで、「小杉御殿町2丁目」(93.3%)、「小杉町2丁目」(91.0%)、「新丸子町」(90.7%)となっており、全体より5ポイント以上高い。

図 防災・防犯活動の参加状況 [ライフステージ別]



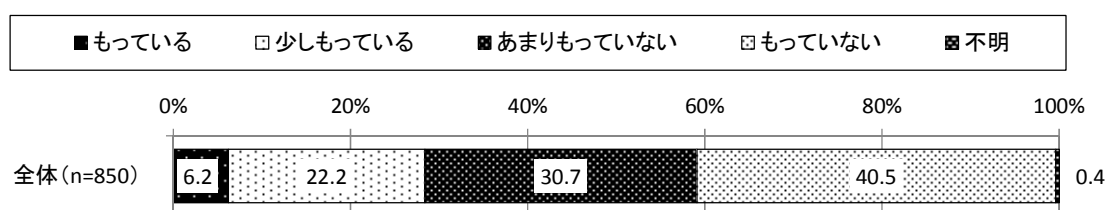
ライフステージ別にみると、「よく参加している」と「たまに参加している」の合計は、「家族成熟後期」(33.8%)が最も高く、ついで、「家族成長前期」(26.8%)、「夫婦だけ(2)」(21.6%)の順となっている。

一方で、「参加していないは、「単身(1)」、「夫婦だけ(1)」が全体より10ポイント以上高い。

(カ)本地域に対する愛着などについて

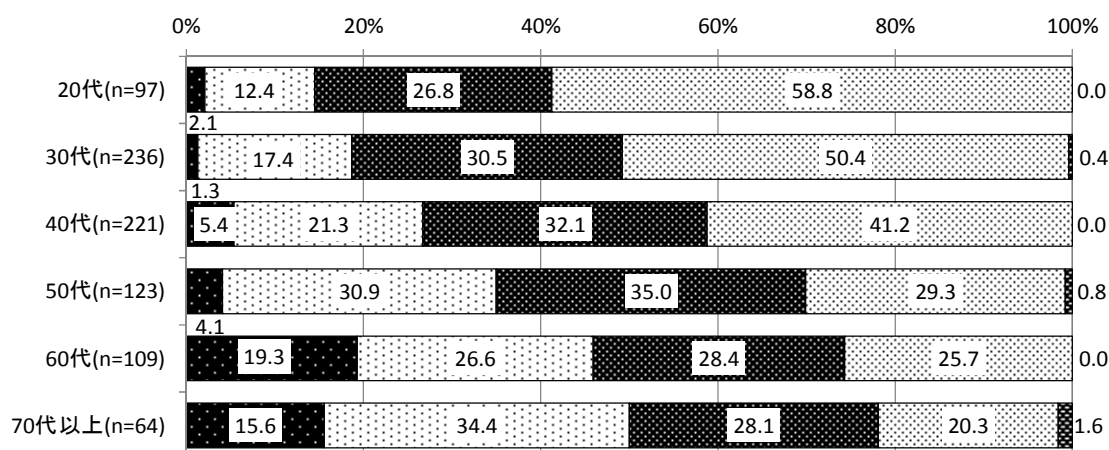
問11. 本地域の歴史や文化に対して誇りをもっていますか(単独回答)

図 本地域の歴史や文化に対する誇り [全体]



本地域の歴史や文化に対する誇りについては、「あまりもっていない」と「もっていない」を合わせた『誇りをもっていない』割合が70%以上となっている。一方で、「もっている」と回答した割合は6.2%となっている。

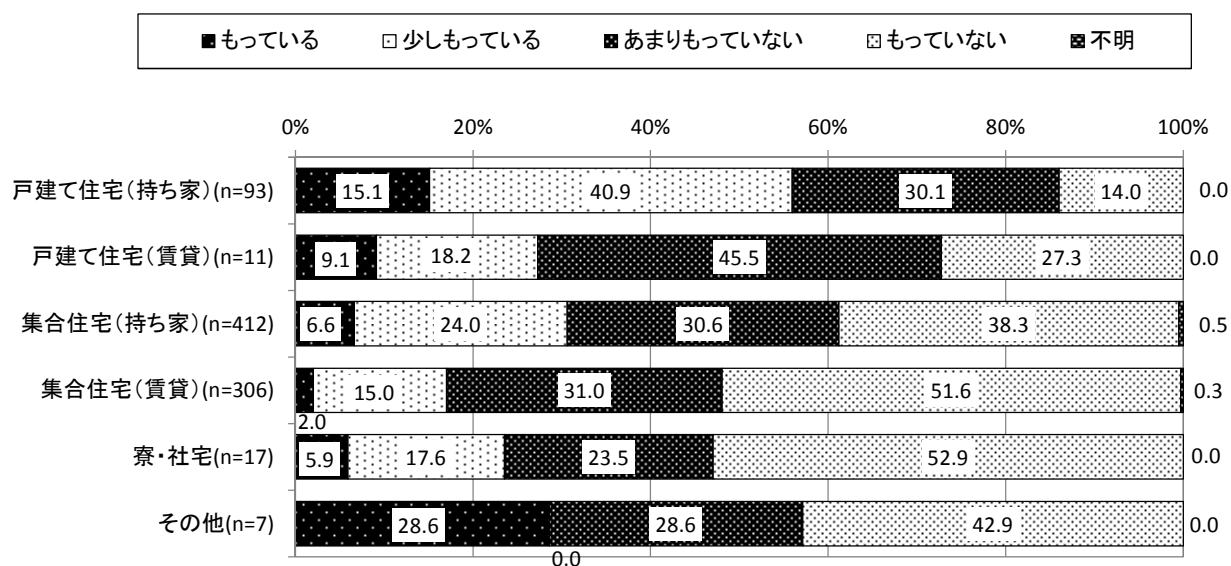
図 本地域の歴史や文化に対する誇り [年代別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、「もっている」と「少しもっている」を合わせた『誇りをもっている』が、高くなる傾向がみられる。

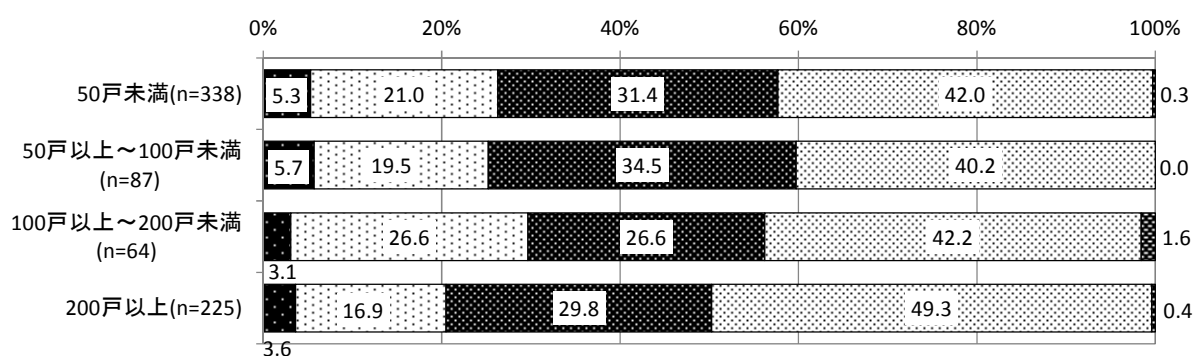
「もっている」は『50代以上』で全体より5ポイント以上高い。一方で、「もっていない」は『30代以下』で全体より5ポイント以上高い。

図 本地域の歴史や文化に対する誇り【居住形態別】



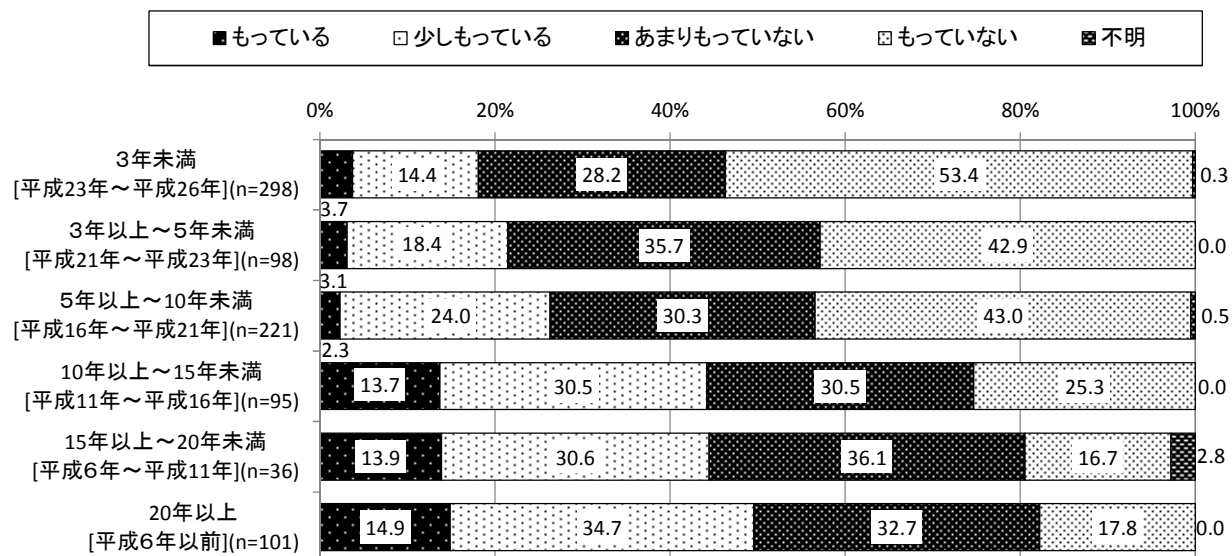
居住形態別にみると、「戸建て住宅(持ち家)」は『誇りをもっている』が半数以上を占めており、全体より 10 ポイント以上高い。一方で、「集合住宅(賃貸)」は『誇りをもっていない』が 80%以上となっており、全体より 10 ポイント以上高い。

図 本地域の歴史や文化に対する誇り【集合住宅の規模別】



集合住宅の規模別にみると、「200 戸以上」は『誇りをもっていない』が 80%近くを占め、全体より 5 ポイント以上高い。

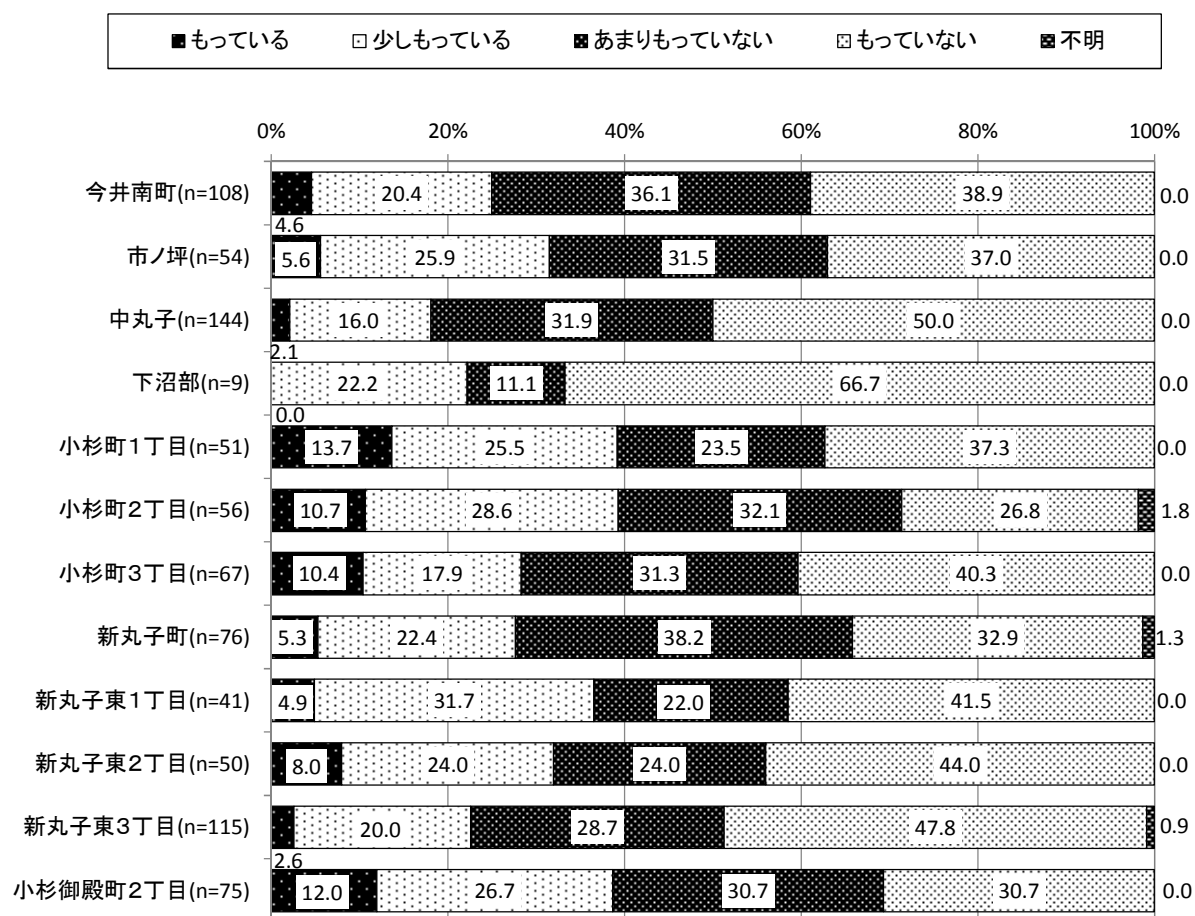
図 本地域の歴史や文化に対する誇り【居住年数別】



居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、『誇りをもっている』が高くなる傾向がみられる。

『誇りをもっている』は「3年未満 [平成 23 年～平成 26 年] (18.1%) が全体より 10 ポイント以上低くなっている。一方で、「20 年以上 [平成6年以前]」(49.6%) が全体より 10 ポイント以上高い。

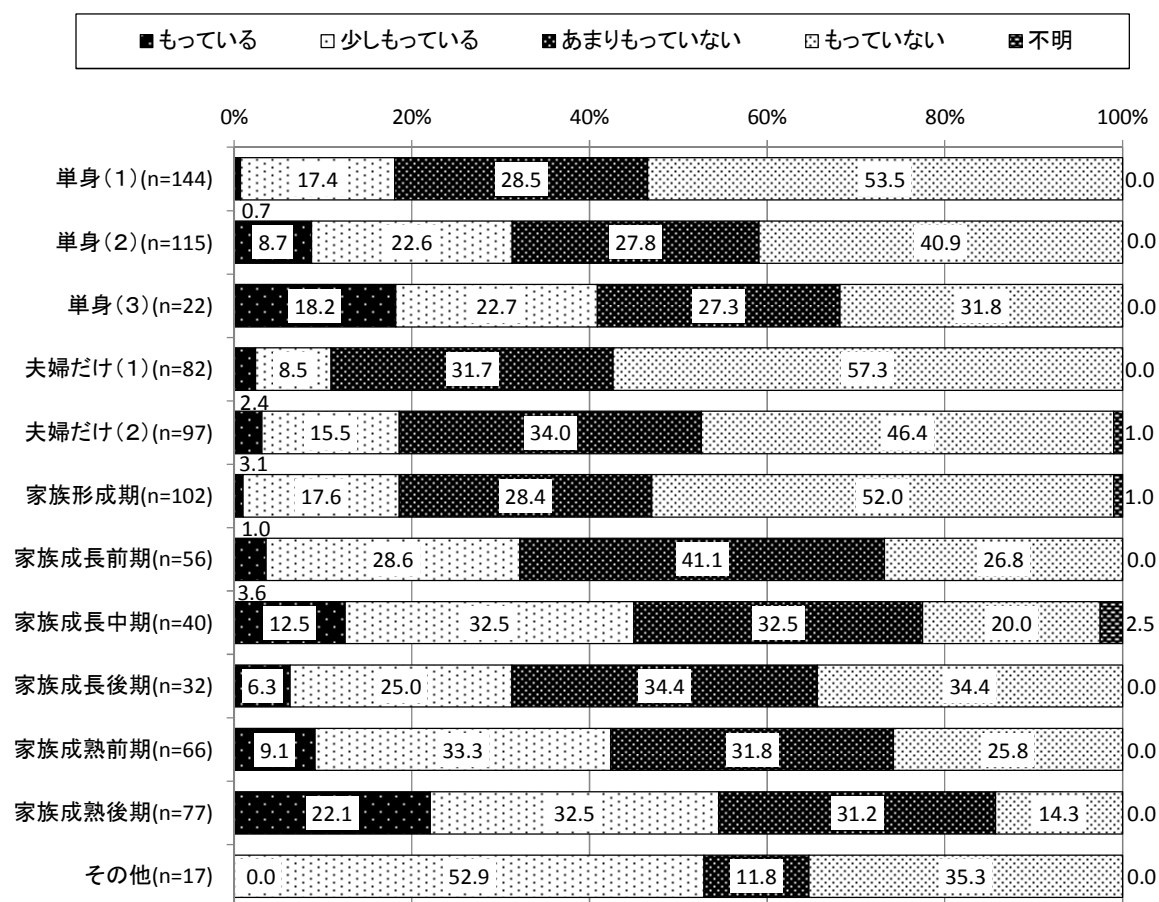
図 本地域の歴史や文化に対する誇り【居住地区別】



居住地区別にみると、『誇りをもっている』は「小杉町2丁目」(39.3%)が最も高く、ついで、「小杉町1丁目」(39.2%)、「小杉御殿町2丁目」(38.7%)の順となっている。

一方で、『誇りをもっていない』は「中丸子」(81.9%)が最も高く、ついで、「新丸子東3丁目」(76.5%)が高い。

図 本地域の歴史や文化に対する誇り [ライフステージ別]

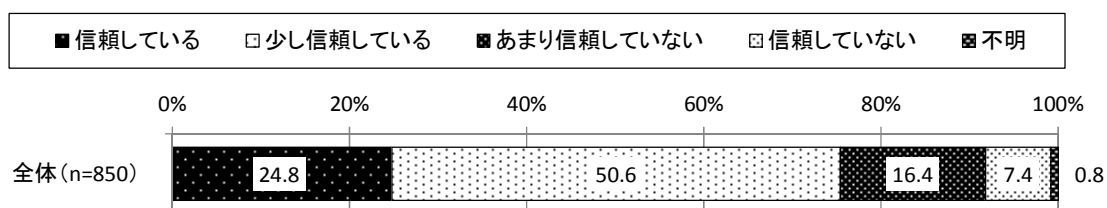


ライフステージ別にみると、『誇りをもっている』は「家族成熟後期」(54.6%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(45.0%)、「家族成熟前期」(42.4%)の順となっている。

一方で、『誇りをもっていない』は「夫婦だけ(1)」(89.0%)が最も高く、ついで、「単身(1)」(82.0%)、「夫婦だけ(2)」と「家族形成期」(それぞれ 80.4%)の順となっている。

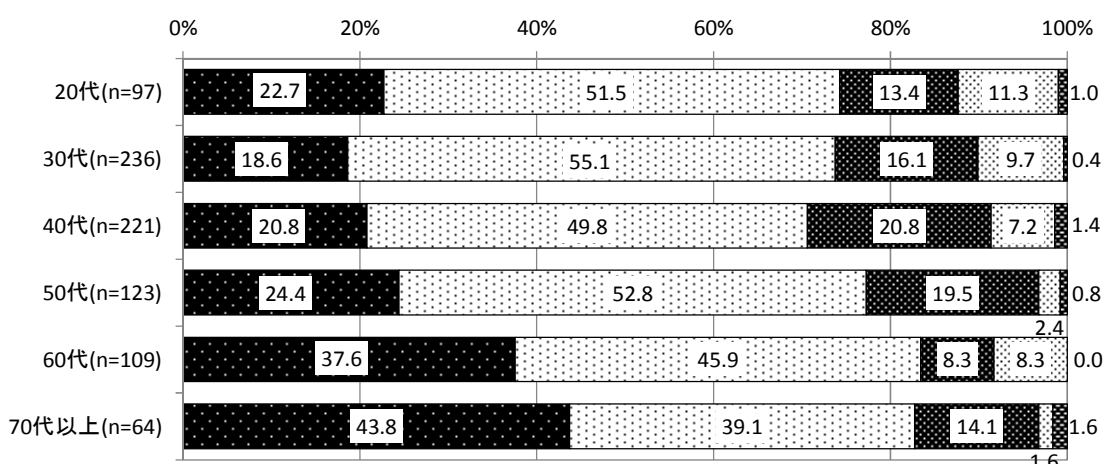
問12. 中原区役所などの行政に信頼感をもっていますか(単独回答)

図 行政に対する信頼 [全体]



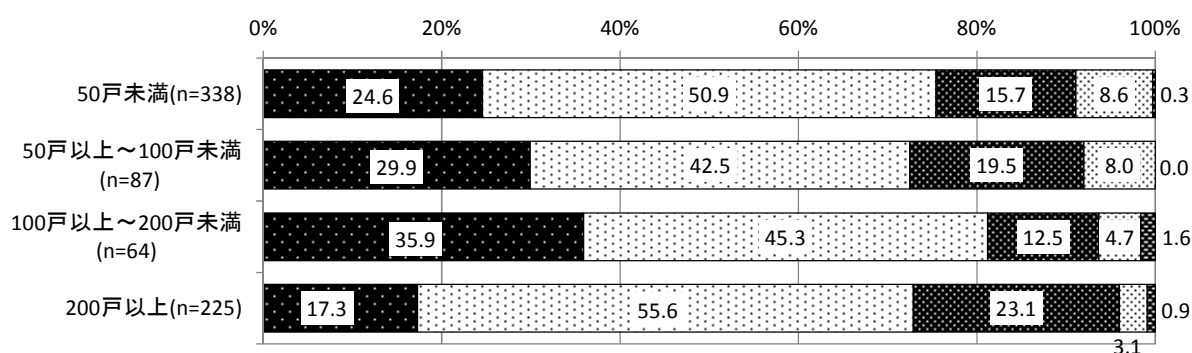
行政に対する信頼については、「信頼している」と「少し信頼している」を合わせた『信頼感をもっている』が 75%以上の割合となっている。一方で、「あまり信頼していない」と「信頼していない」を合わせた『信頼感をもっていない』は 20%程度となっている。

図 行政に対する信頼感 [年代別]



年代別にみるとは、『信頼感をもっている』は、『60代以上』が全体より 5 ポイント以上高い。

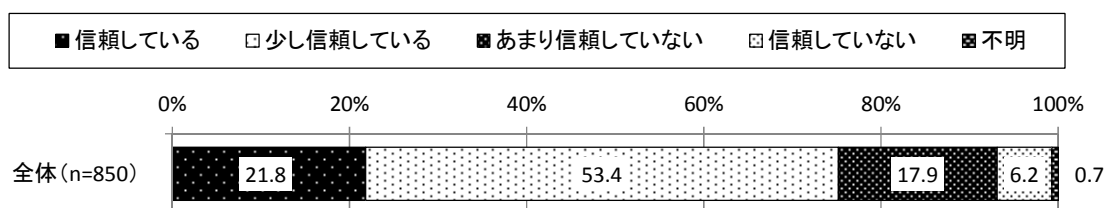
図 行政に対する信頼 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、「信頼している」は「100戸以上～200戸未満」(35.9%)が、全体より 10 ポイント以上高い。一方で、「あまり信頼していない」は「200戸以上」(23.1%)が全体より 5 ポイント以上高い。

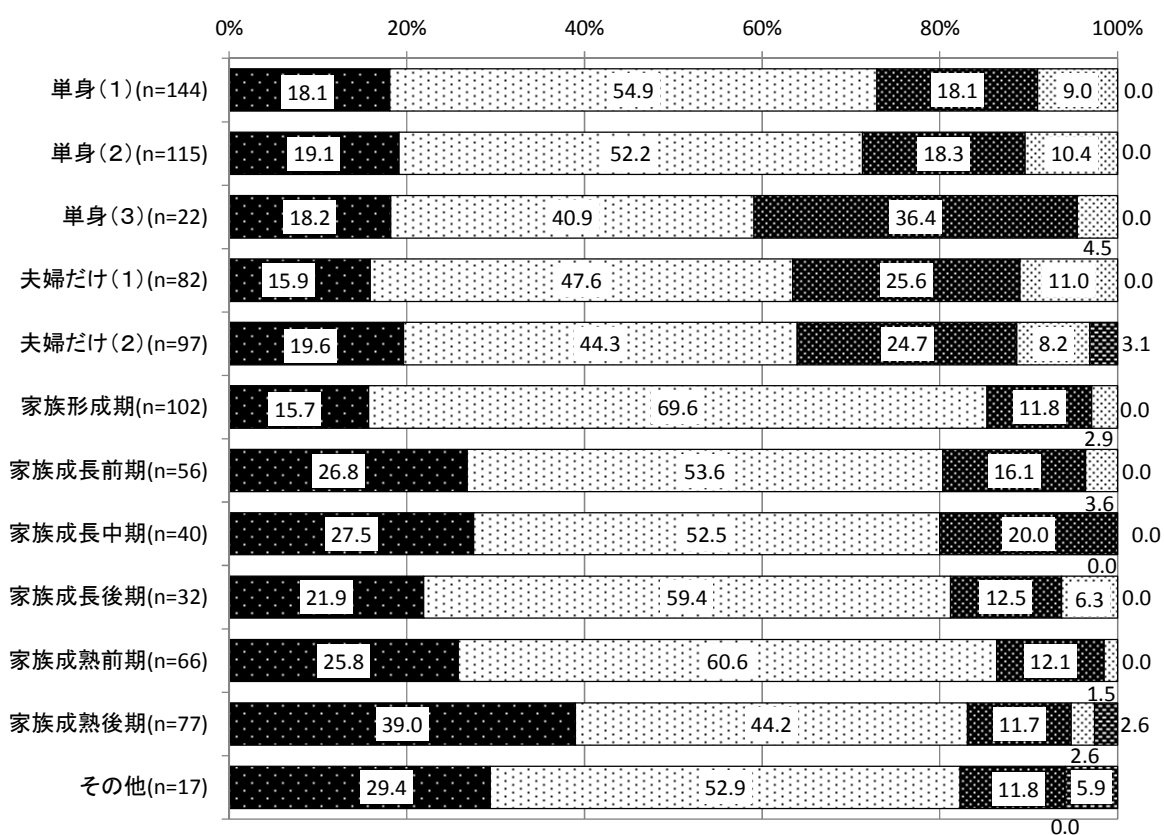
問13. 本地域の住民に信頼感をもっていますか(単独回答)

図 本地域の住民に対する信頼 [全体]



本地域の住民に対する信頼については、「信頼している」と「少し信頼している」を合わせた『信頼感をもっている』が 75%以上の割合を占めている。一方で、「あまり信頼していない」と「信頼していない」を合わせた『信頼感をもっていない』は約 25%となっている。

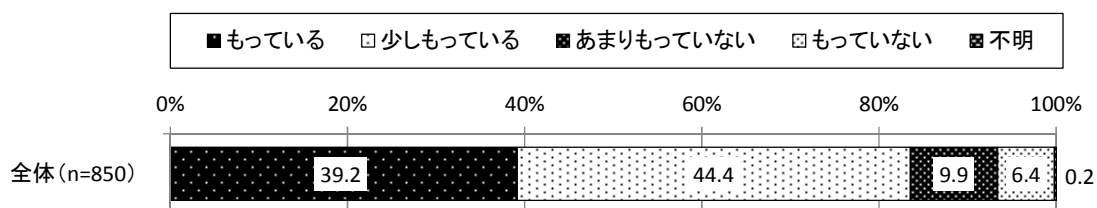
図 本地域の住民に対する信頼 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、『信頼感をもっている』は「家族成熟前期」(86.4%)、「家族形成期」(85.3%)が全体より 10 ポイント以上高い。一方で、『夫婦だけ』は全体より 10 ポイント以上低くなっている。

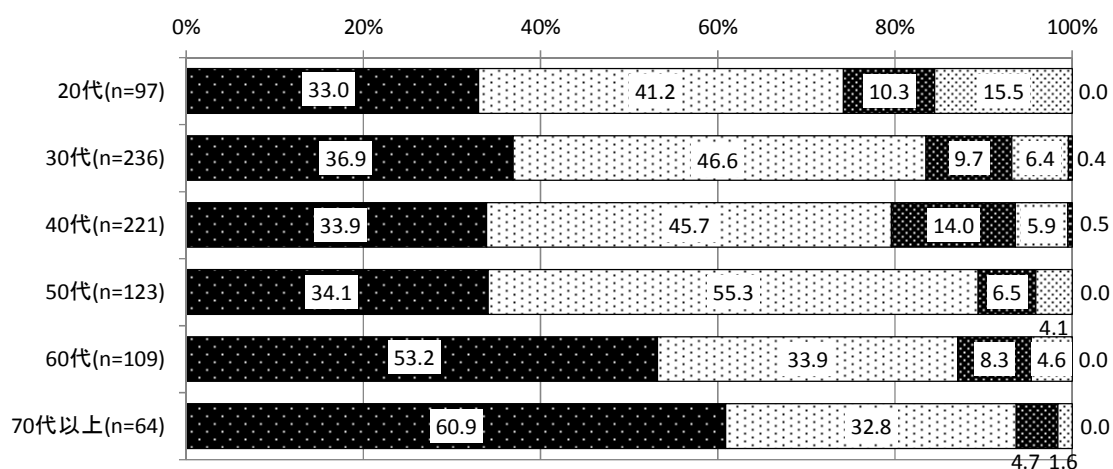
問14. 本地域に愛着をもっていますか(単独回答)

図 本地域に対する愛着 [全体]



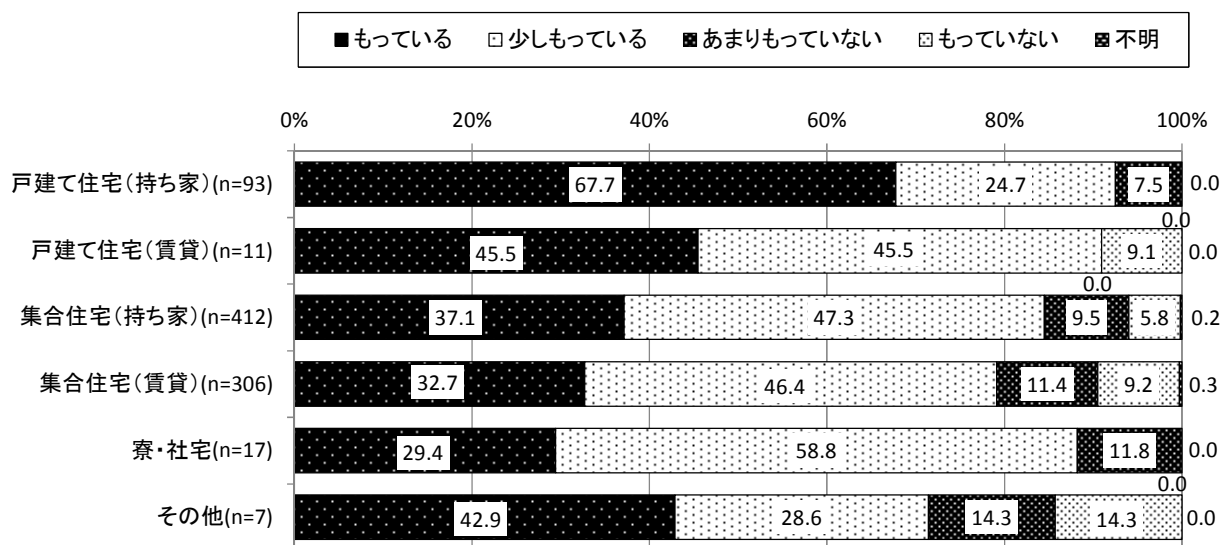
本地域に対する愛着については、「持っている」(39.2%)と「少し持っている」(44.4%)を合わせた『愛着をもっている』が 80%以上を占めている。

図 本地域に対する愛着 [年代別]



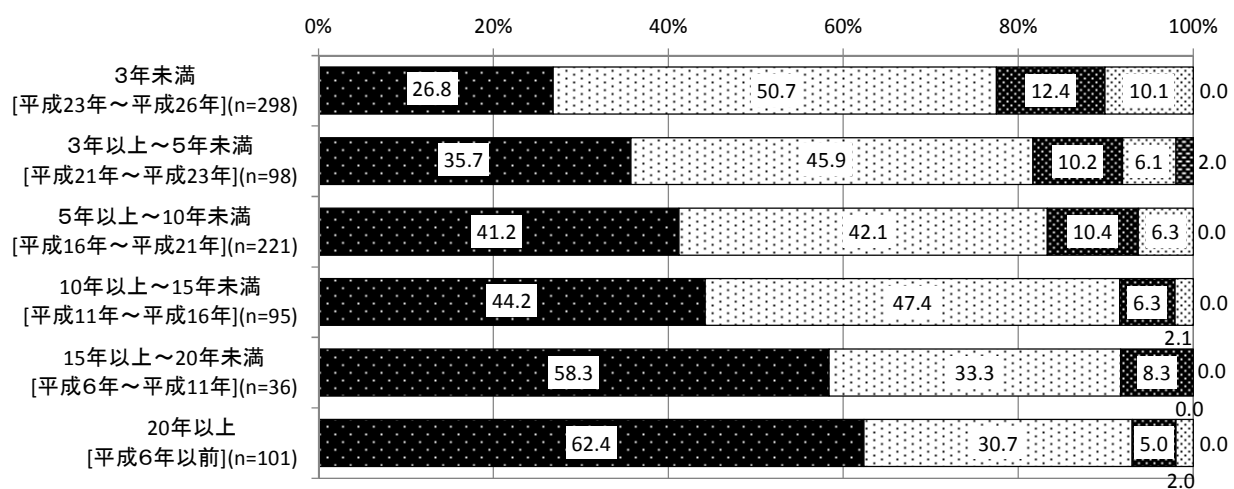
年代別にみると、年代が上がるともに、『愛着をもっている』が高くなる傾向がみられる。『60 代以上』は、「もっている」が半数以上となっており、全体より 10 ポイント以上高い。一方で、「20 代」は「もっていない」(15.5%)が、全体より 5 ポイント以上高い。

図 本地域に対する愛着 [居住形態別]



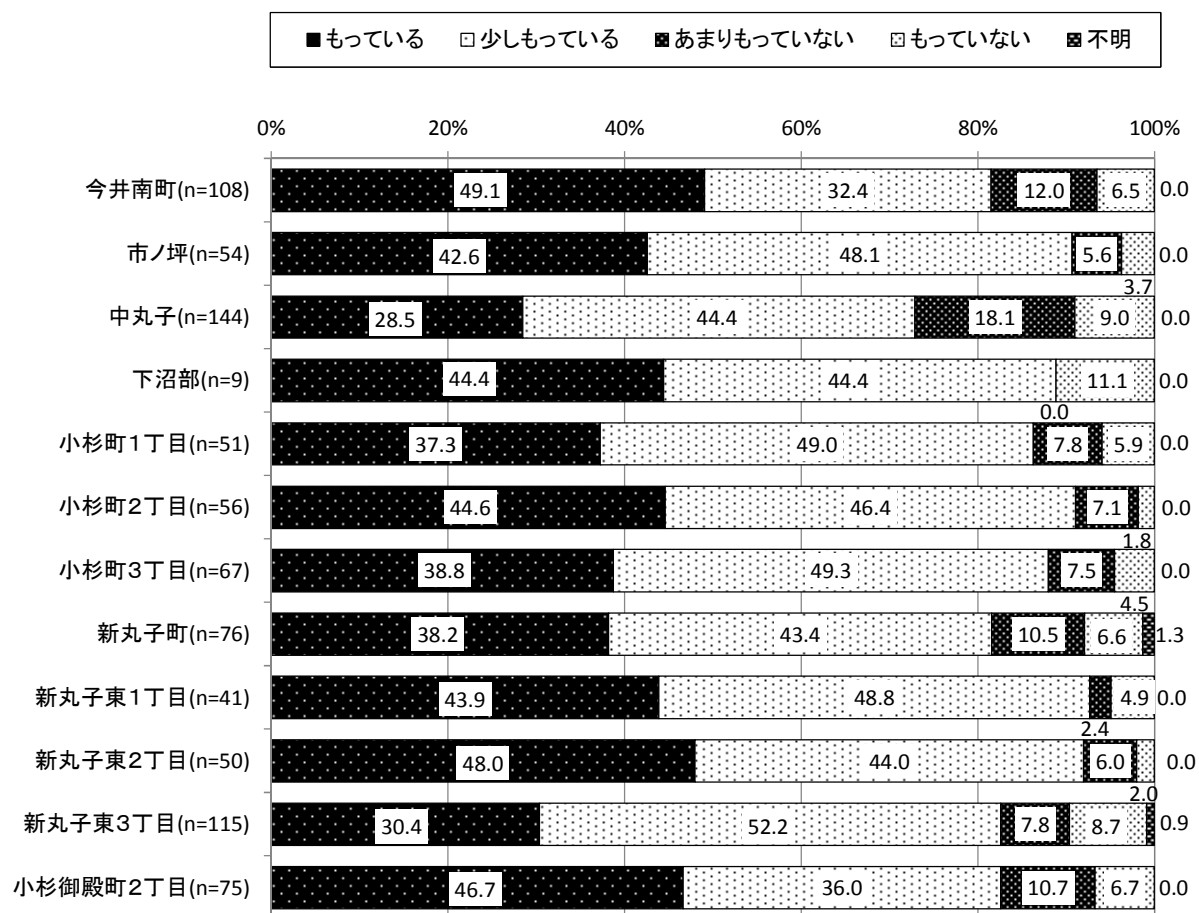
居住形態別にみると、「もっている」は「戸建て住宅(持ち家)」(67.7%)が全体より10ポイント以上高い。

図 本地域に対する愛着 [居住年数別]



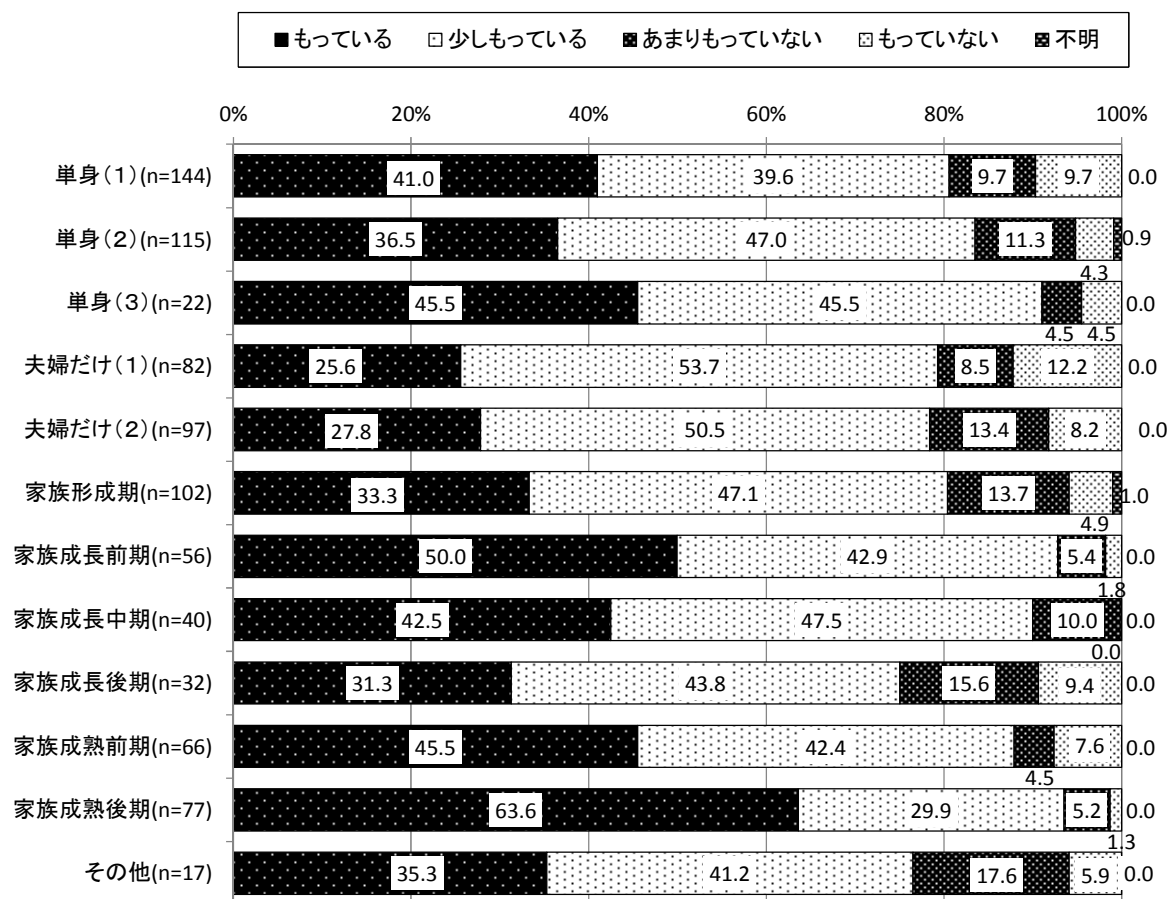
居住年数別にみると、居住年数が長くなるとともに、「もっている」の割合が高くなる傾向がみられる。「もっている」は、「3年未満 [平成23年～平成26年]」(26.8%)が全体より10ポイント以上低くなっている。一方で、『10年以上』は、いずれも全体より5ポイント以上高い。

図 本地域に対する愛着 [居住地区別]



居住地区別にみると、「もっている」は、「今井南町」(49.1%)が最も高く、ついで、「新丸子東2丁目」(48.0%)、「小杉御殿町2丁目」の順となっている。「あまりもっていない」は、「中丸子」(18.1%)と全体より10ポイント以上高い。

図 本地域に対する愛着 [ライフステージ別]

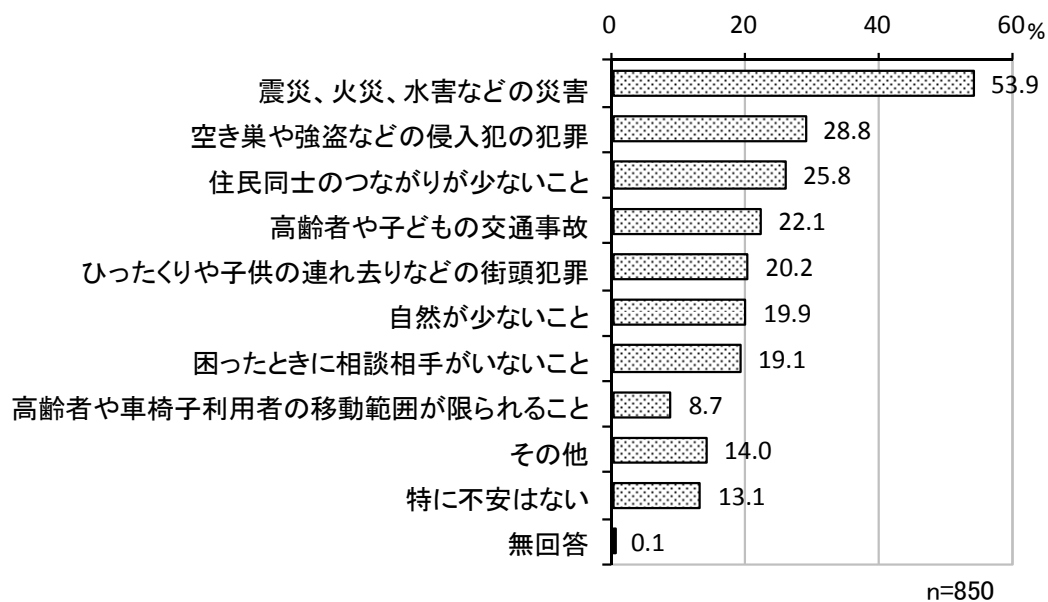


ライフステージ別にみると、「もっている」は、「家族成熟後期」(63.6%)が最も高く、ついで、「家族成長前期」(50.0%)、「家族成熟前期」(45.5%)の順となっている。

(キ)本地域の不安について

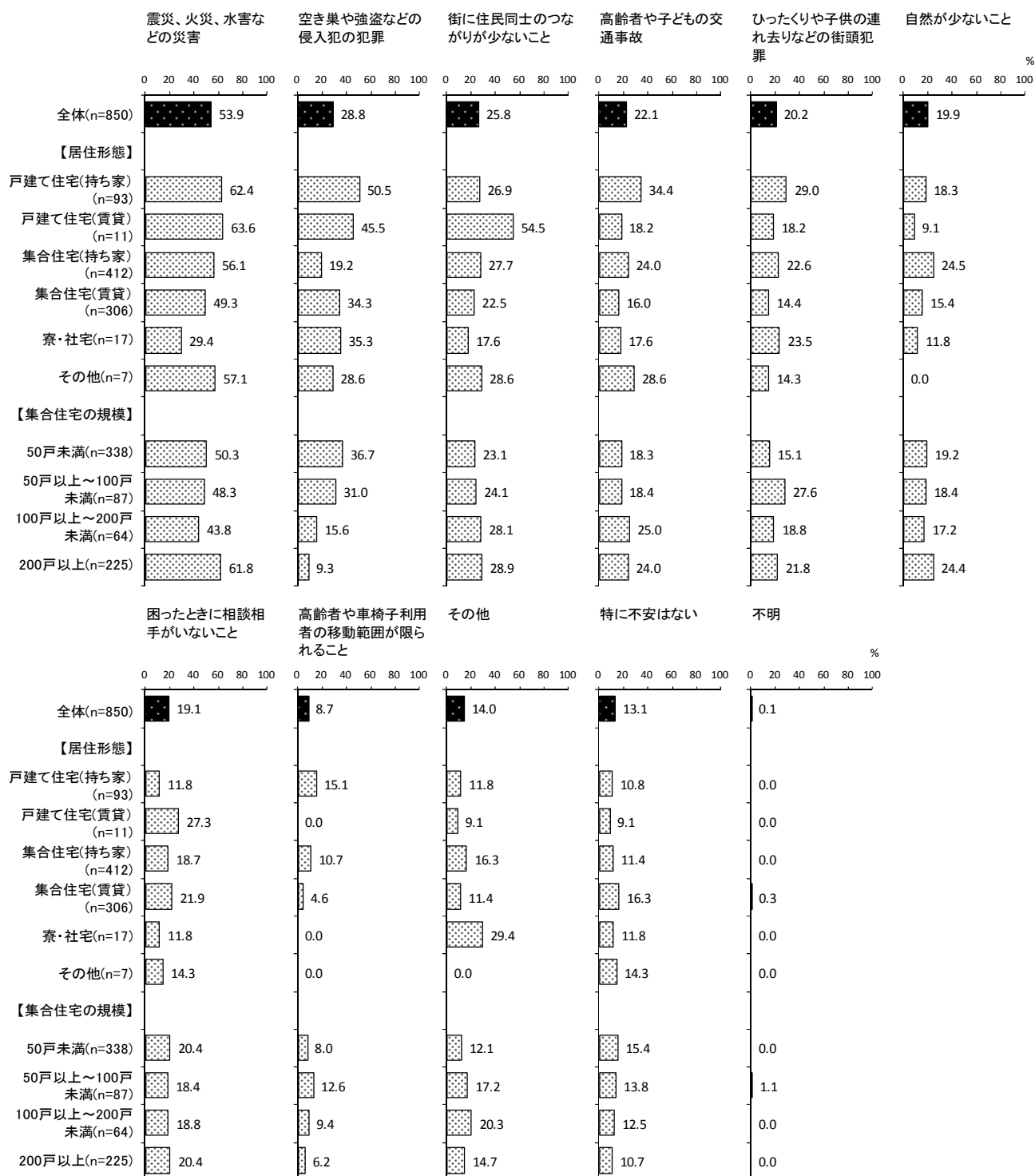
問15. 本地域で生活する上での不安はありますか(複数回答)

図 本地域で生活する上での不安ごと [全体]



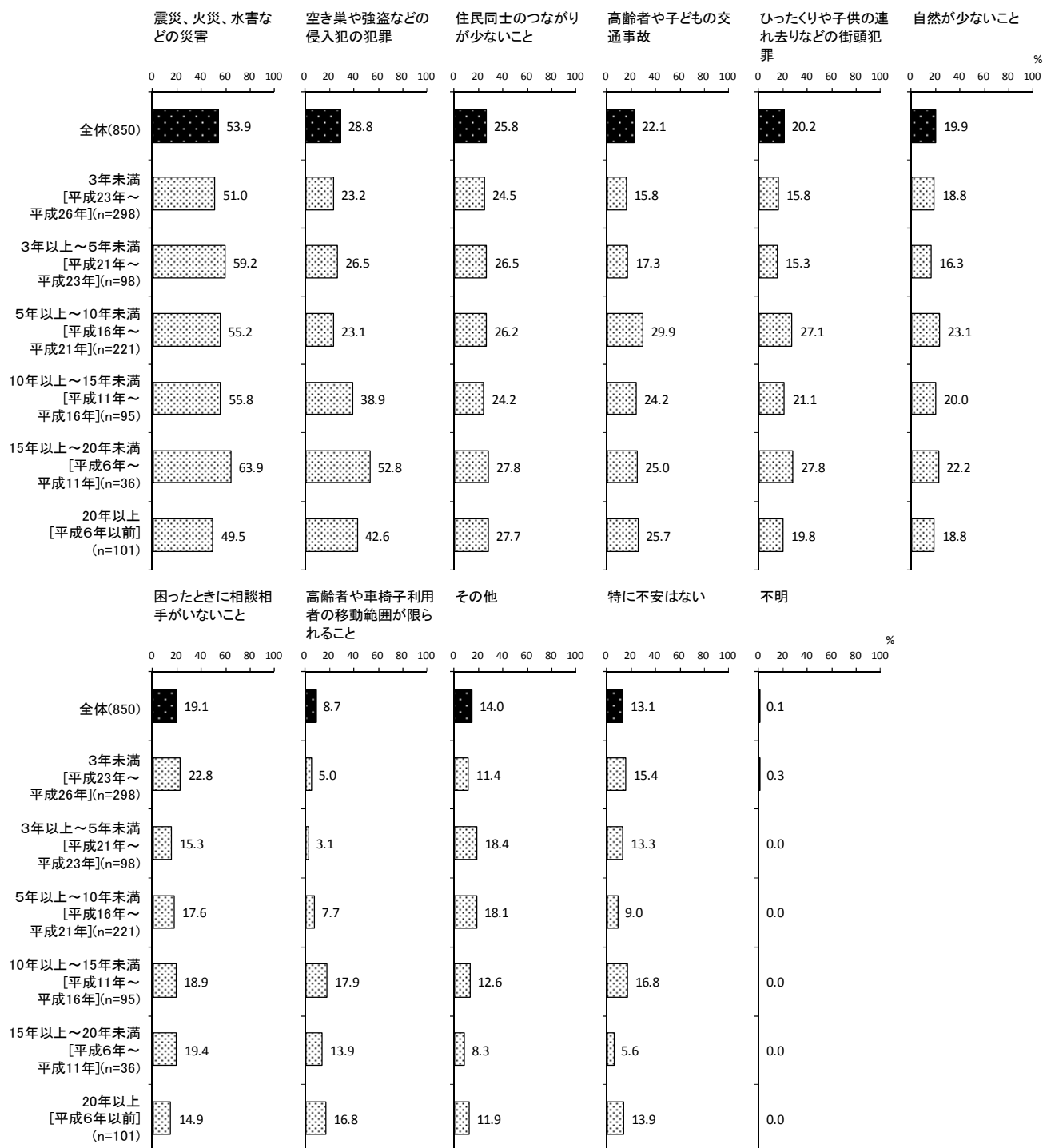
本地域で生活する上での不安ごとについては、「震災、火災、水害などの災害」(53.9%)が最も高く、ついで、「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」(28.8%)、「住民同士のつながりが少ないこと」(25.8%)の順となっている。一方で、「高齢者や車椅子利用者の移動範囲が限られること」(8.7%)が最も低くなっている。

図 本地域で生活する上での不安ごと【居住形態別、集合住宅の規模別】



居住形態別にみると、「震災、火災、水害などの災害」は「戸建て住宅(持ち家)」(62.4%)が全体より 5 ポイント以上高い。「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」は「戸建て住宅(持ち家)」(50.5%)、「集合住宅(賃貸)」(34.3%)が全体より 5 ポイント以上高い。「高齢者や子どもの交通事故」は「戸建て住宅(持ち家)」(34.4%)が全体より 10 ポイント以上高くなっている。

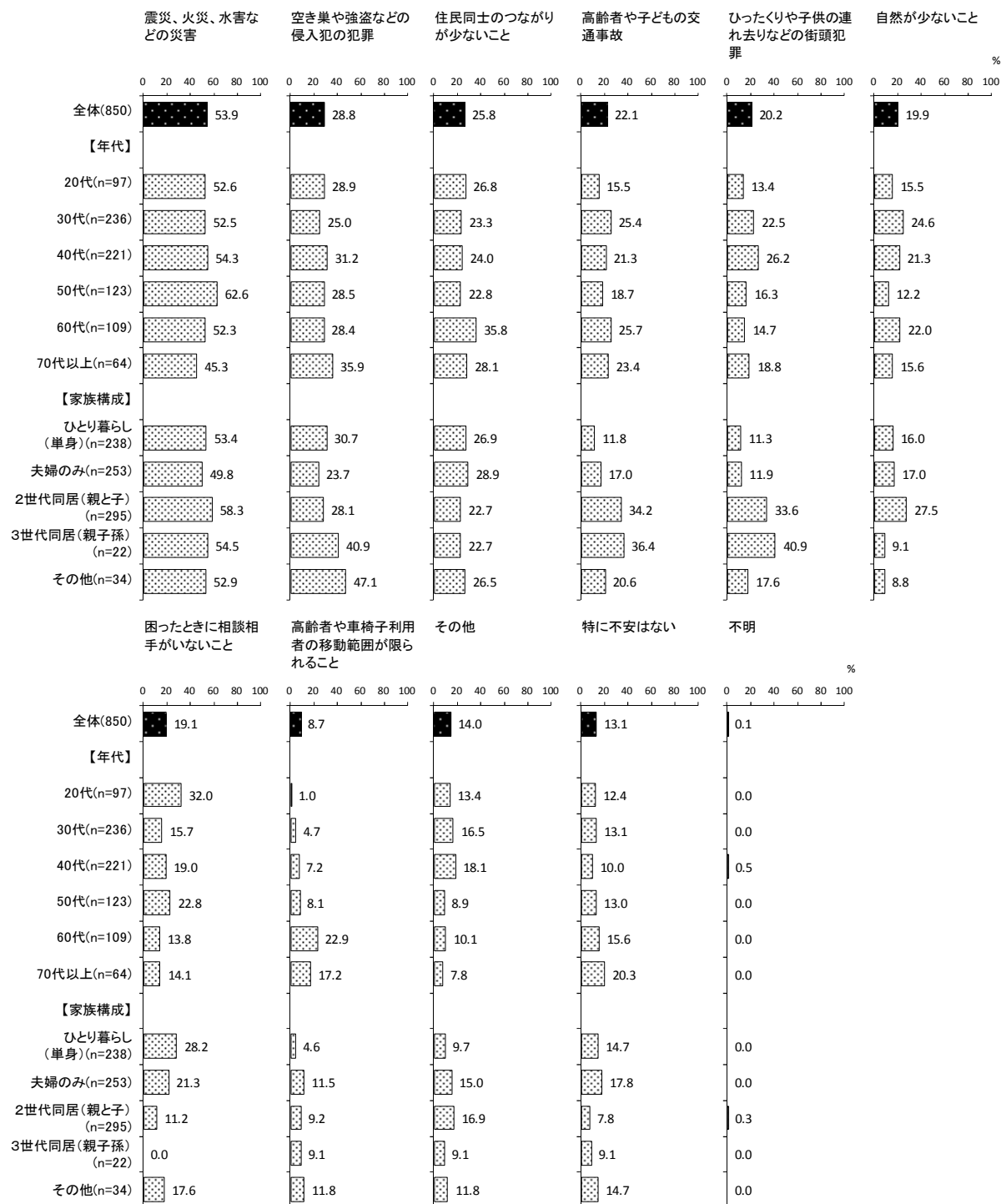
図 本地域で生活する上での不安ごと【居住年数別】



居住年数別にみると、「震災、火災、水害などの災害」は、「15 年以上～20 年未満 [平成6年～平成 11 年]」(63.9%) が最も高く、ついで、「3 年以上～5 年未満 [平成 21 年～平成 23 年]」(59.2%) の順となっている。

「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」は、居住年数が上がるとともに、概ね割合が高くなる傾向がみられる。「高齢者や車椅子利用者の移動範囲が限られること」は、『10 年以上』が、いずれも全体より 5 ポイント以上高い。

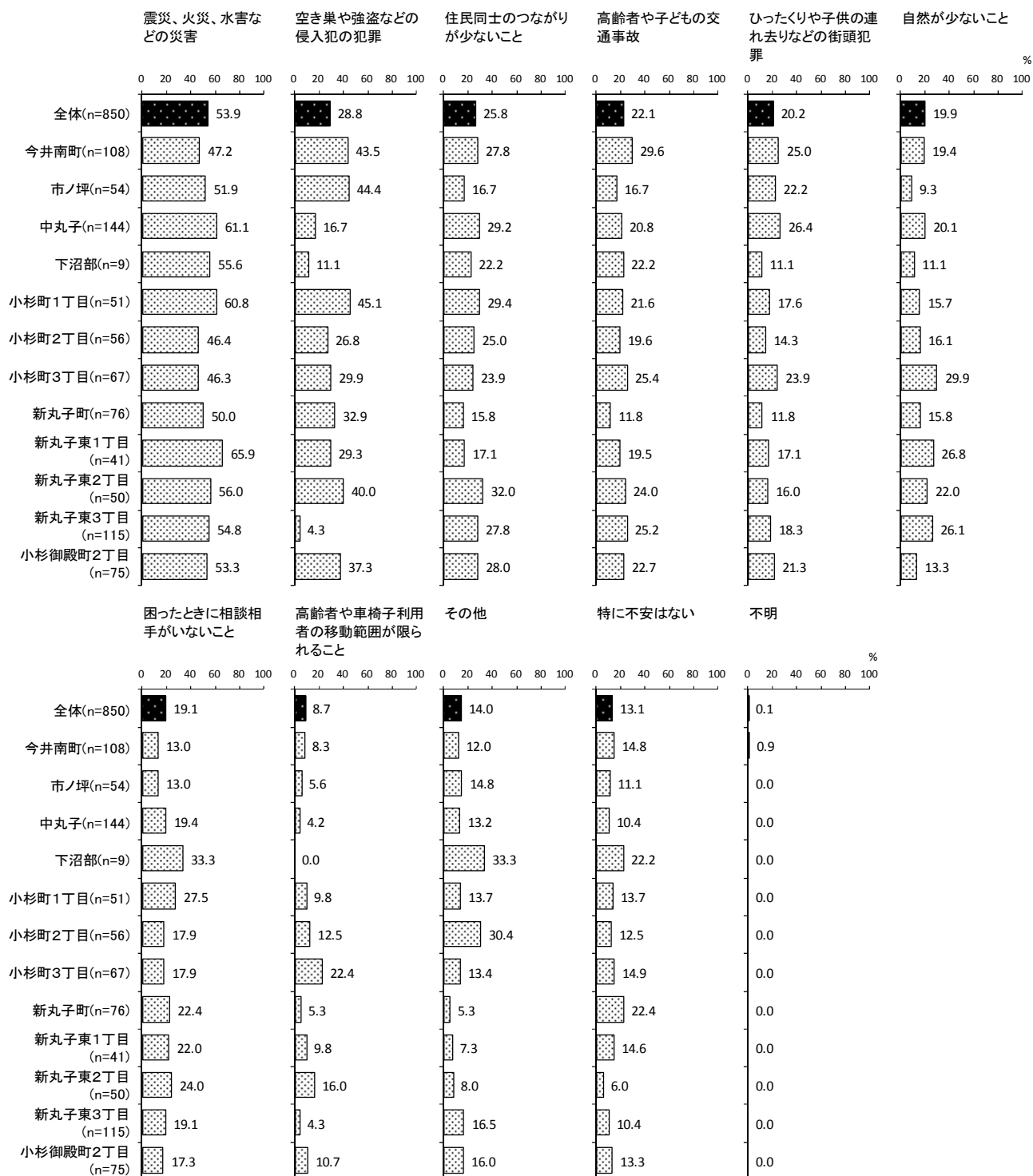
図 本地域で生活する上での不安ごと【年代別、家族構成別】



年代別にみると、「震災、火災、水害などの災害」は「50代」(62.6%)、「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」は「70代以上」(35.9%)及び「住民同士のつながりが少ないこと」は「60代」(35.8%)が全体より5ポイント以上高い。また、「困ったときに相談相手がいないこと」は「20代」(32.0%)、「高齢者や車椅子利用者の移動手段が限られていること」は「60代」(22.9%)が、全体より10ポイント以上高い。

家族構成別にみると、「高齢者や子どもの交通事故」と「ひったくりや子供の連れ去りなどの街頭犯罪」は「2世代同居(親と子)」(それぞれ34.2%、33.6%)が全体より10ポイント以上高い。「困ったときに相談相手がいないこと」は「ひとり暮らし(単身)」(28.2%)が、全体より5ポイント以上高い。

図 本地域で生活する上での不安ごと【居住地区別】

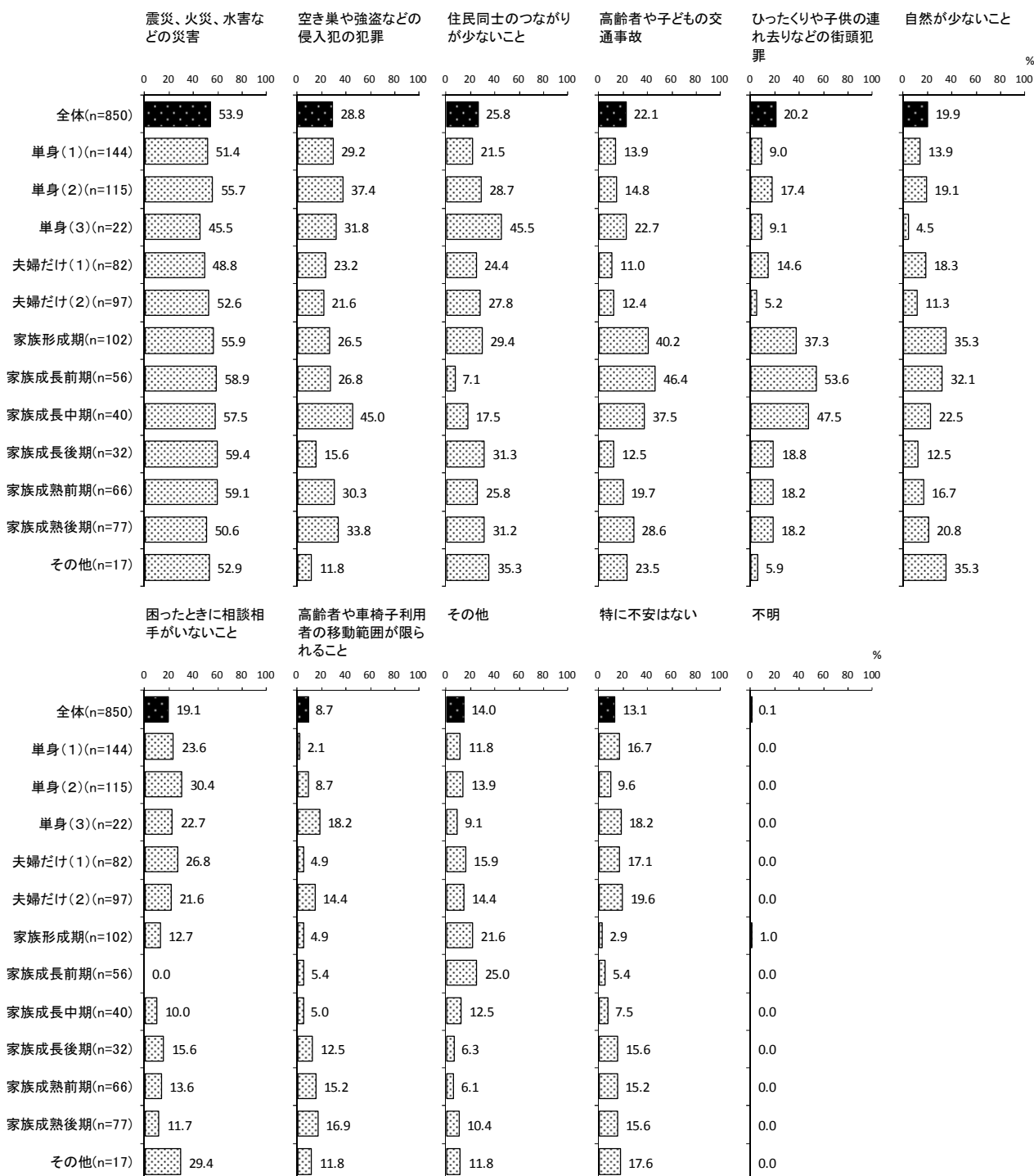


居住地区別にみると、「震災、火災、水害などの災害」は、「新丸子東1丁目」(65.9%)が最も高く、ついで、「中丸子」(61.1%)、「小杉町1丁目」(60.8%)の順となっている。

「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」は、「小杉町1丁目」(45.1%)が最も高く、ついで、「市ノ坪」(44.4%)、「今井南町」(43.5%)、「新丸子東2丁目」(40.0%)の順となっている。

「高齢者や車椅子利用者の移動範囲が限られること」及び「自然が少ないこと」は「小杉町3丁目」(それぞれ22.4%、29.9%)が全体よりいずれも10ポイント以上高くなっている。

図 本地域で生活する上での不安ごと【ライフステージ別】



ライフステージ別にみると、「震災、火災、水害などの災害」は、「家族成長後期」(59.4%)が最も高く、ついで、「家族成熟前期」(59.1%)、「家族成長前期」(58.9%)の順となっている。

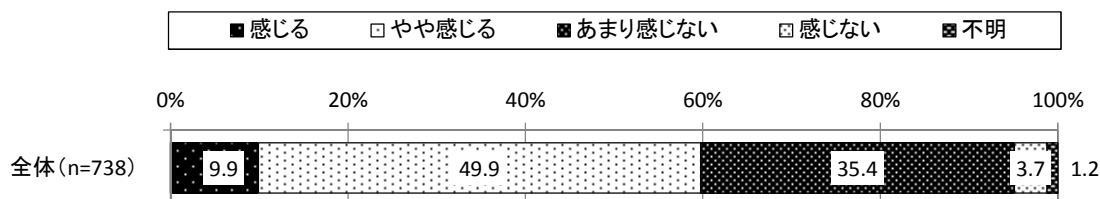
「空き巣や強盗などの侵入犯の犯罪」は、「家族成長中期」(45.0%)が全体より10ポイント以上高くなっており、「家族成熟後期」(33.8%)では、全体よりも5ポイント以上高くなっている。

「高齢者や子どもの交通事故」及び「ひったくりや子供の連れ去りなどの街頭犯罪」は、「家族形成期」、「家族成長前期」、「家族成長中期」がそれぞれ全体より10ポイント以上高い。

「自然が少ないこと」は、「家族形成期」及び「家族成長前期」が30%以上を占め全体より10ポイント以上高い。

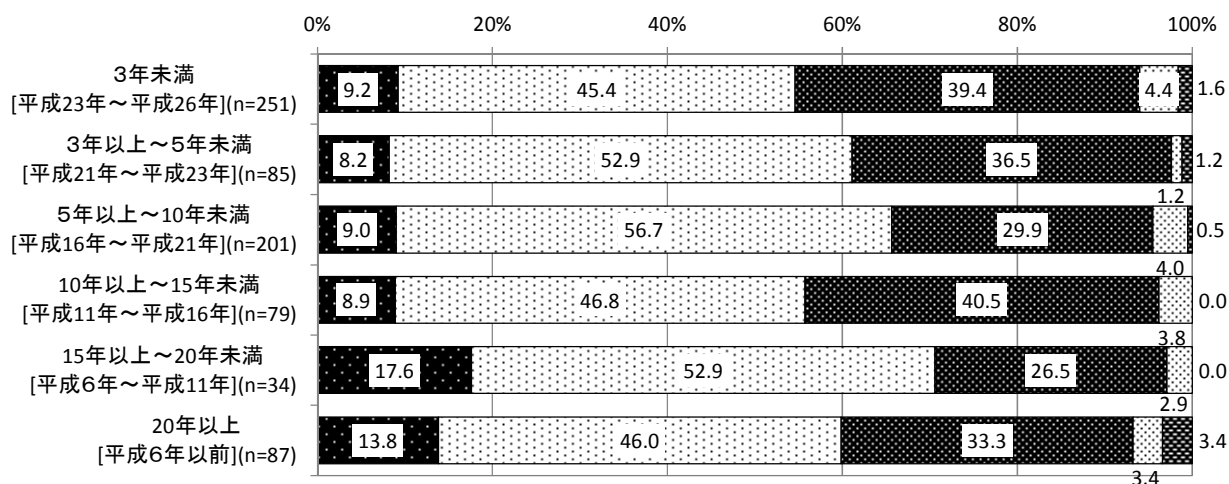
問15-1. (問15「1」～「9」回答者)問15で答えた不安を踏まえて、今後、本地域で生活することに不安を感じますか(単独回答)

図 本地域で生活する上での不安感 [全体]



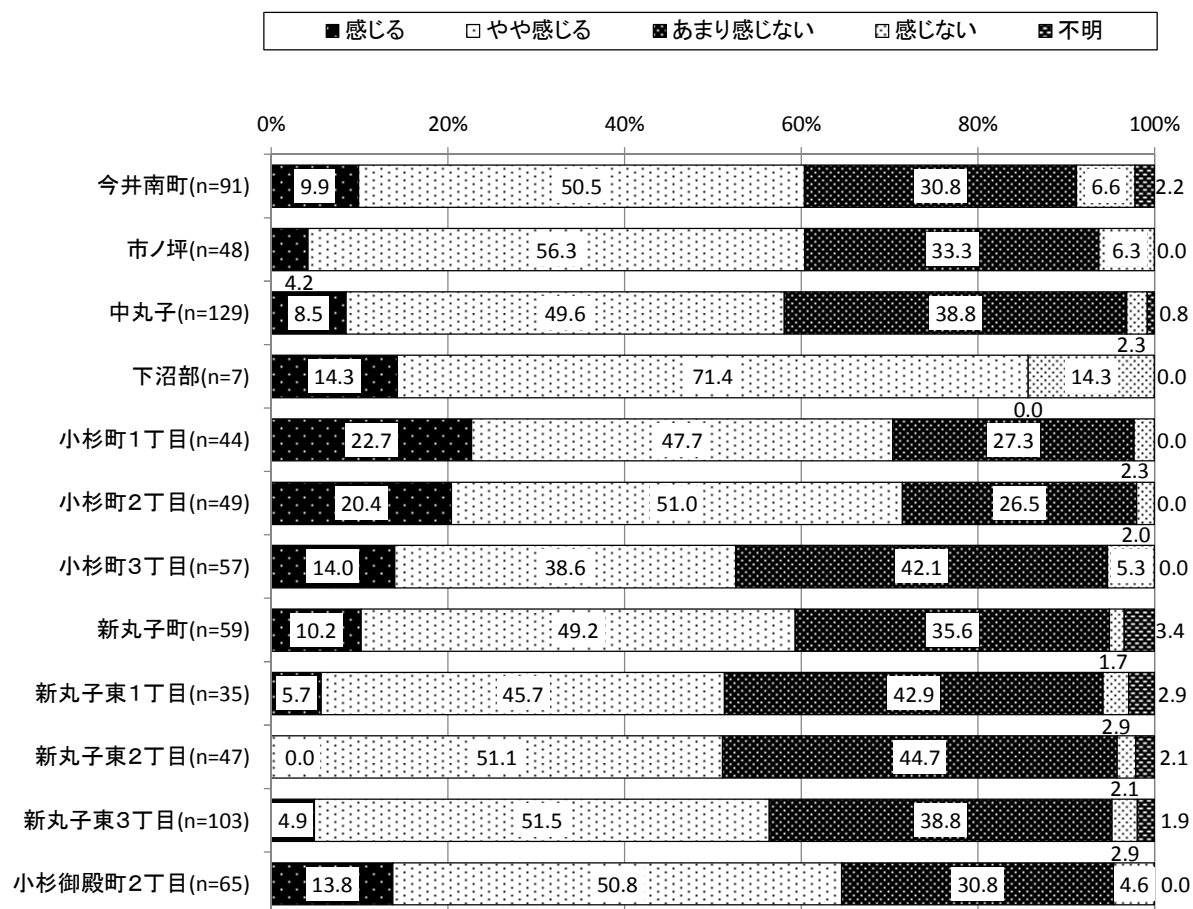
本地域で生活する上での不安感については、「やや感じる」が半数程度と最も高く、ついで、「あまり感じない」が高くなっている。

図 本地域で生活する上での不安感 [居住年数別]



居住年数別にみると、「感じる」は「15年以上～20年未満 [平成6年～平成11年]」(17.6%)が、全体より5ポイント以上高い。「やや感じる」は「5年以上～10年未満 [平成16年～平成21年]」(56.7%)が、全体より5ポイント以上高い。一方で、「あまり感じない」は「10年以上～15年未満 [平成11年～平成16年]」(40.5%)が全体より5ポイント以上高い。

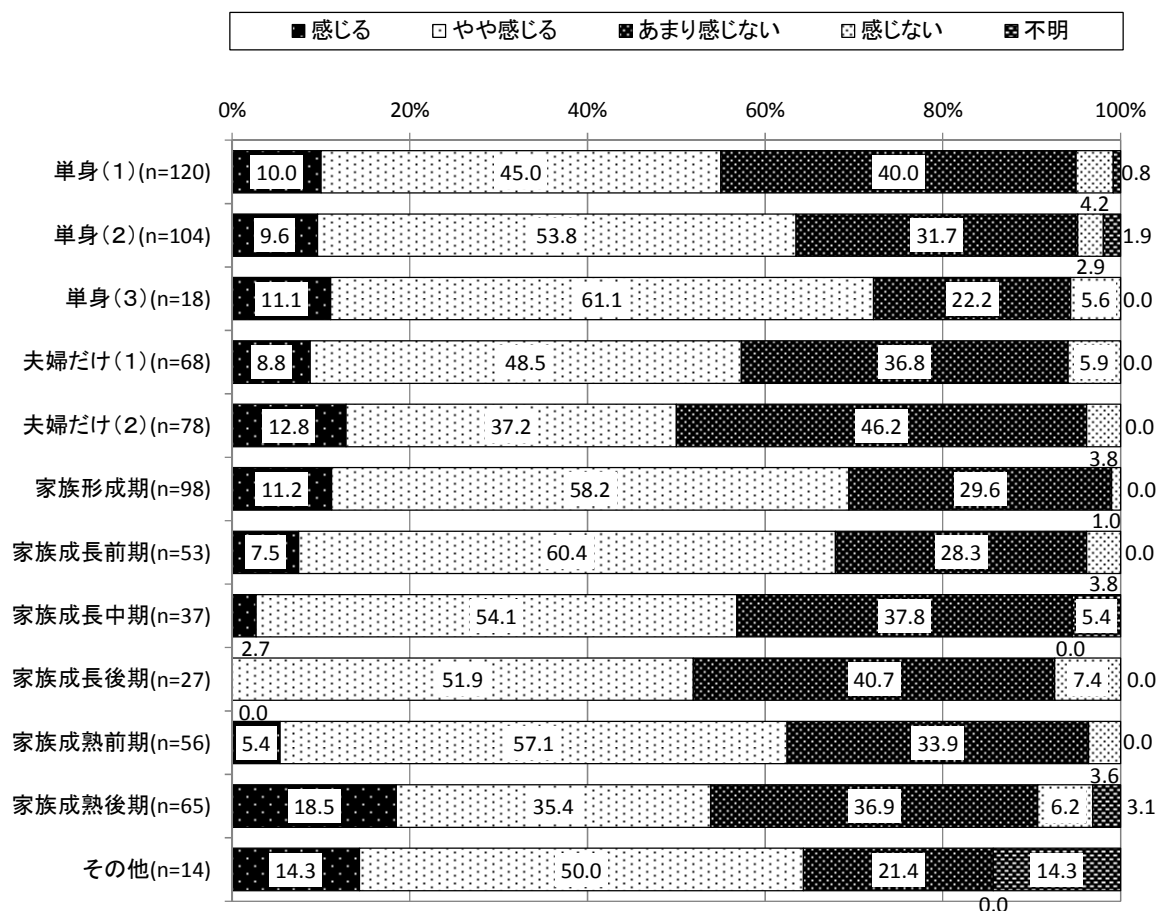
図 本地域で生活する上での不安感〔居住地区別〕



居住地区別にみると、「感じる」は「小杉町1丁目」(22.7%)、「小杉町2丁目」(20.4%)が、全体より10ポイント以上高い。また、「やや感じる」は、「市ノ坪」(56.3%)が、全体より5ポイント以上高い。

一方で、「あまり感じない」は、「新丸子東2丁目」(44.7%)が最も高く、ついで、「新丸子東1丁目」(42.9%)、「小杉町3丁目」(42.1%)の順となっている。

図 本地域で生活する上での不安感 [ライフステージ別]

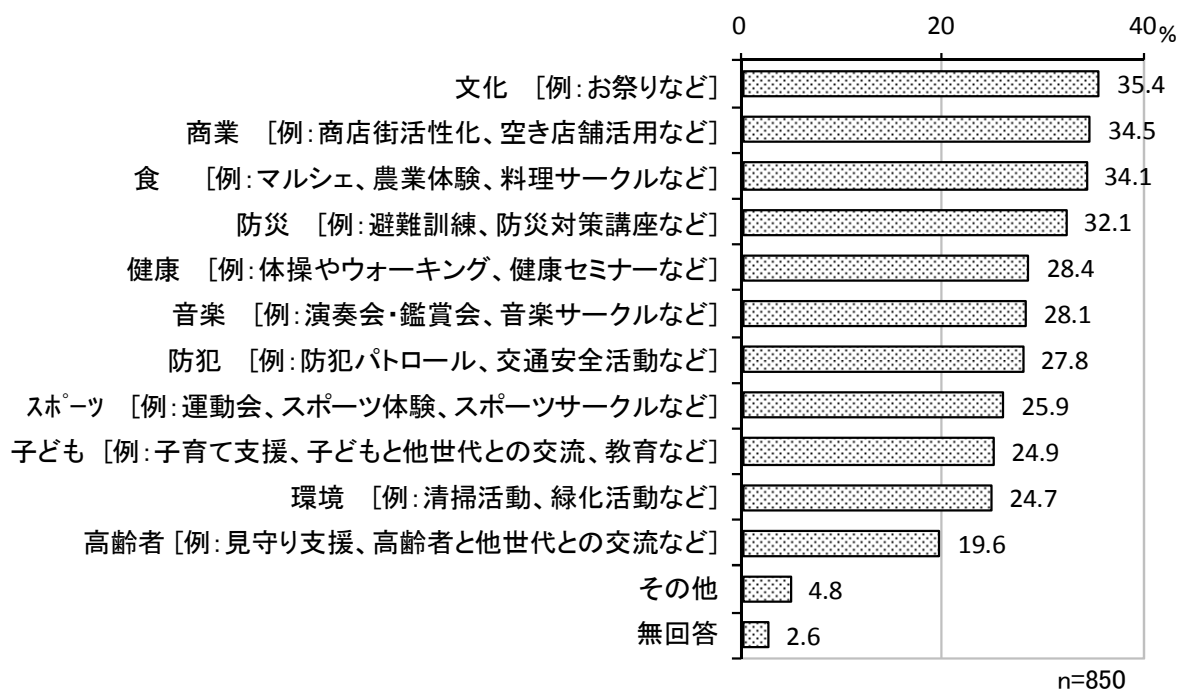


ライフステージ別にみると、「感じる」は、「家族成熟後期」(18.5%)が全体より 5 ポイント以上高くなっており、「やや感じる」は、「家族成長前期」、「家族形成期」及び「家族成熟前期」が全体より 5 ポイント以上高い。一方で、「あまり感じない」は、「夫婦だけ(2)」(46.2%)が、全体より 10 ポイント以上高くなっている。

(ク)興味・関心がある活動について

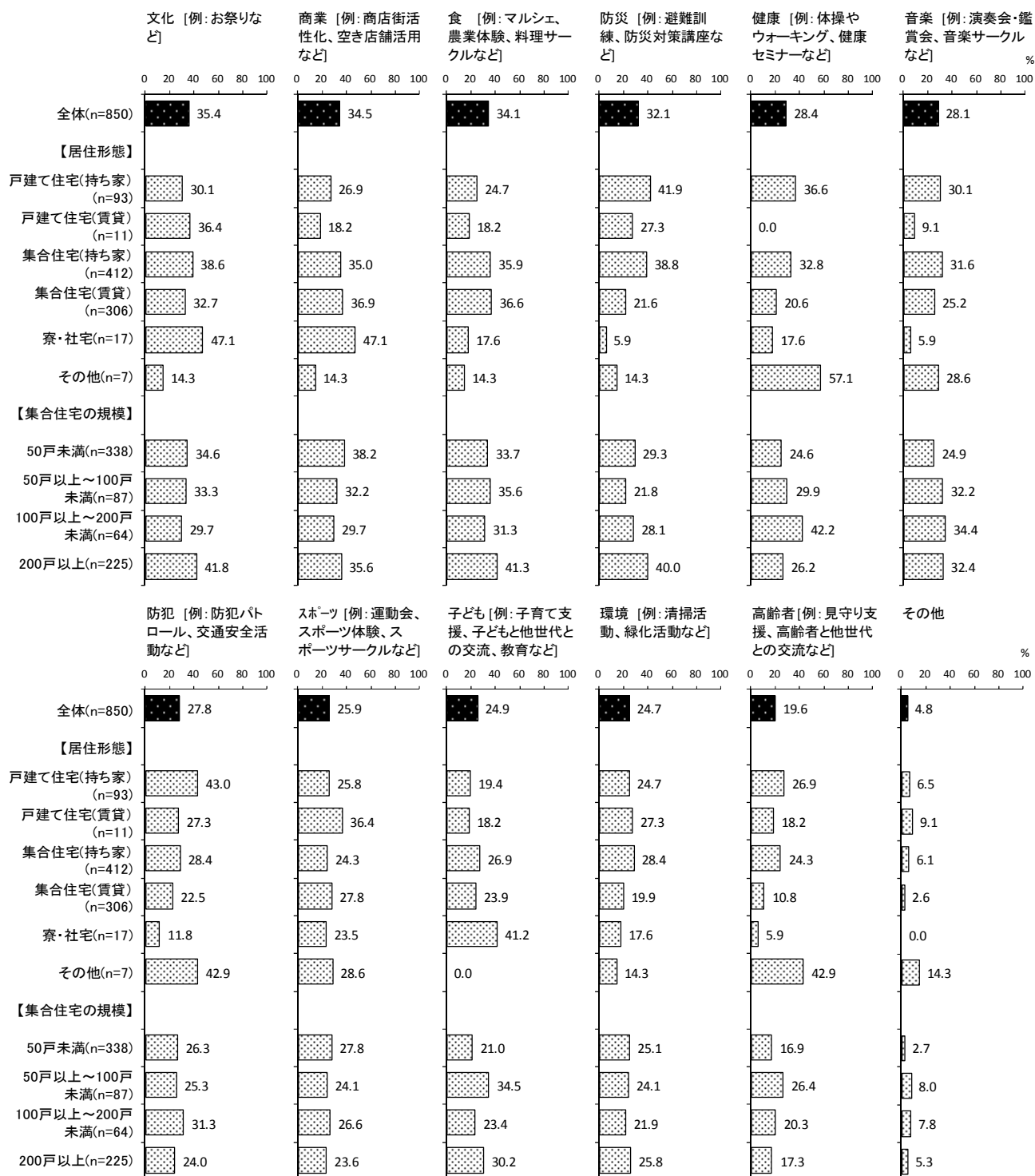
問16. あなたが本地域で楽しく安心して生活するために、どのような活動に興味・関心がありますか(複数回答)

図 地域住民の興味・関心がある活動 [全体]



地域住民が興味・関心がある活動については、「文化」(35.4%)が最も高く、「商業」、「食」、「防災」が 30%以上の割合を占めている。

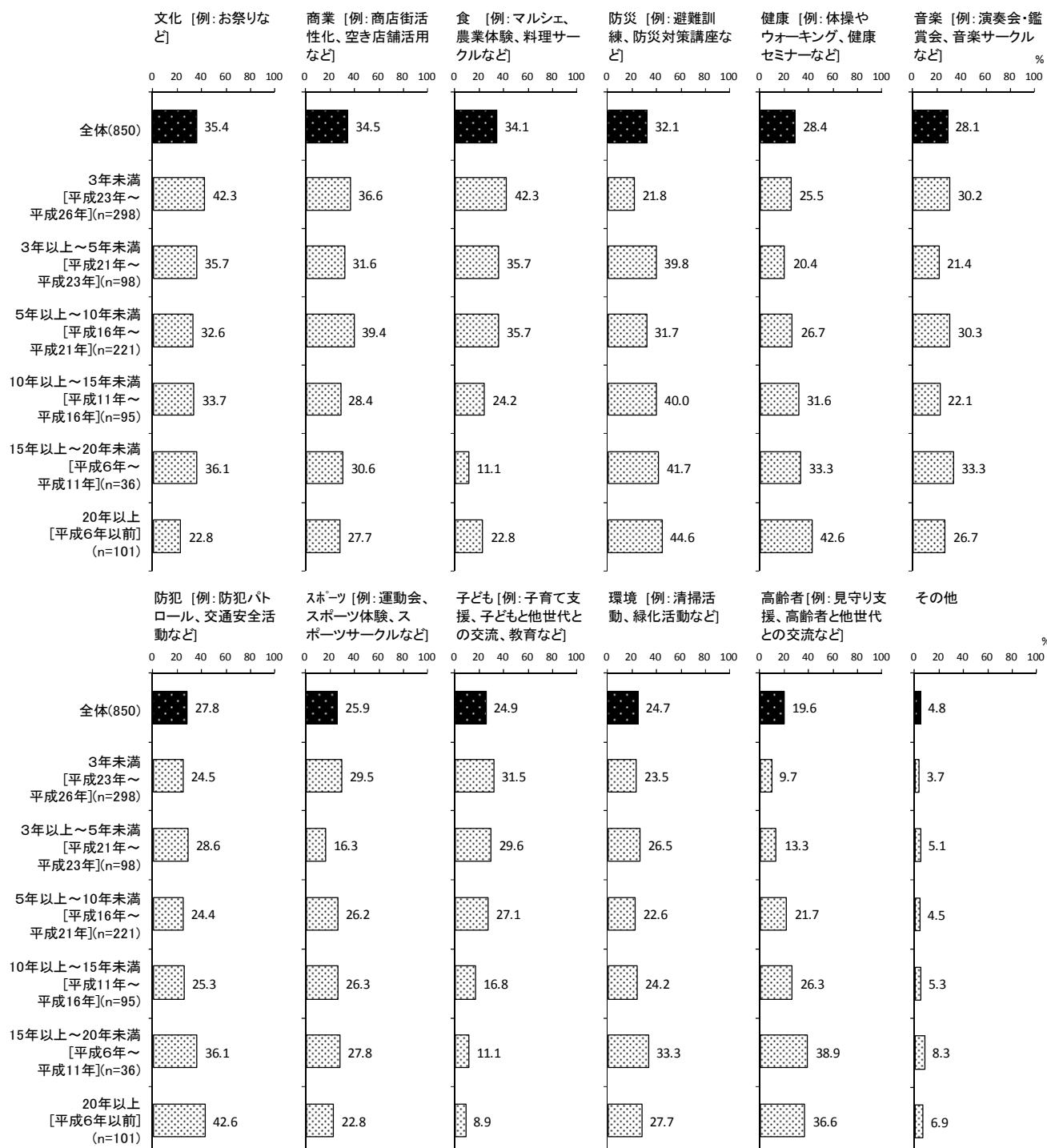
図 地域住民の興味・関心がある活動【居住形態別、集合住宅の規模別】



居住形態別にみると、「防災」は、『持ち家』が4割近くを占め、高い傾向がみられる。

集合住宅の規模別にみると、「文化」、「食」及び「防災」は、「200戸以上」が全体より5ポイント以上高くなっており、「子ども」は「50戸以上～100戸未満」及び「200戸以上」が全体より5ポイント以上高くなっている。「高齢者」については、「50戸以上～100戸未満」が全体より5ポイント以上高い。

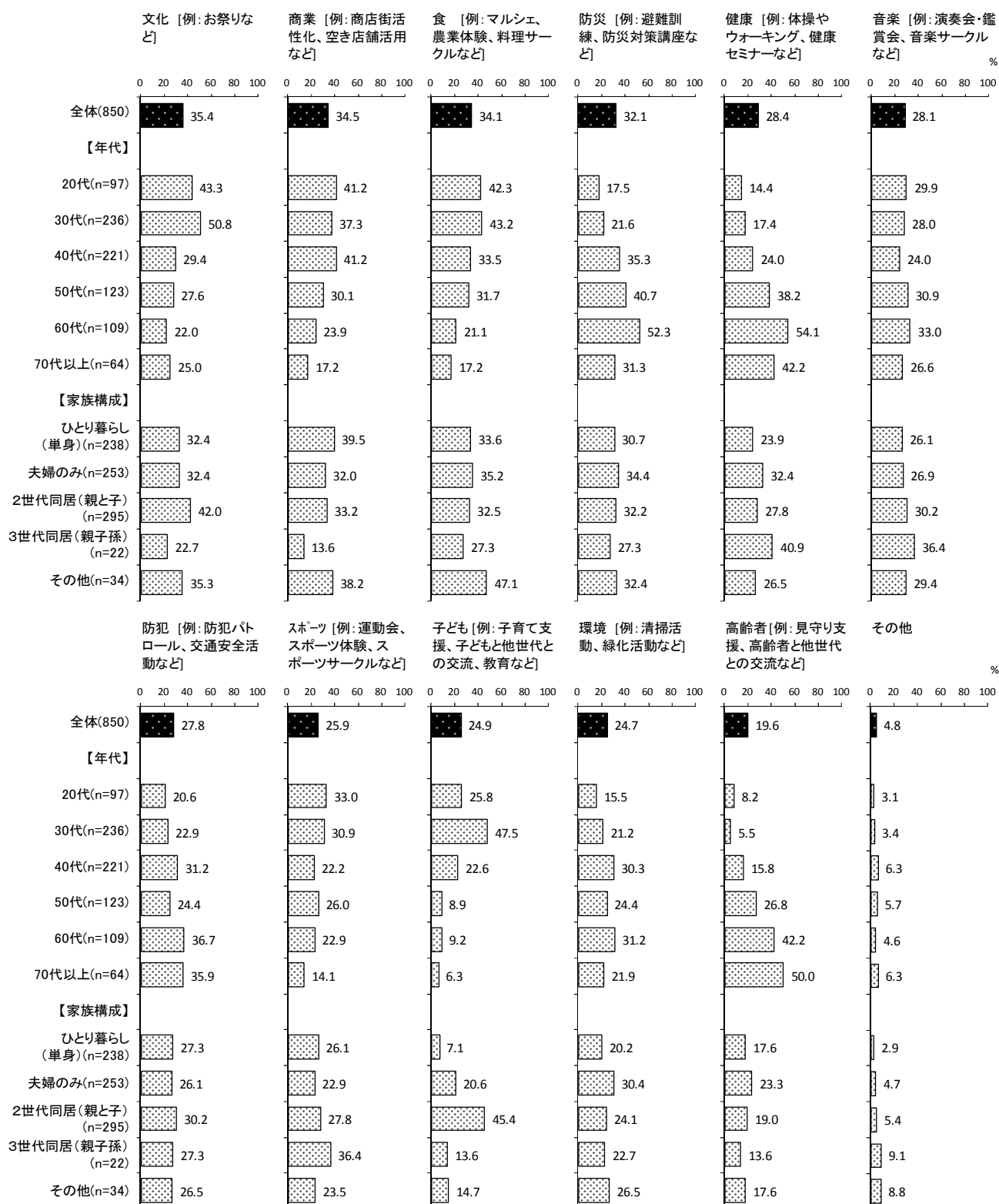
図 地域住民の興味・関心がある活動【居住年数別】



居住年数別にみると、「防災」は、『10 年以上』で 40%以上となっており、「防犯」は、『15 年以上』がいずれも全体より 5 ポイント以上高くなっている。

「高齢者」については、居住年数が長くなるとともに、概ね割合が高くなる傾向にある。

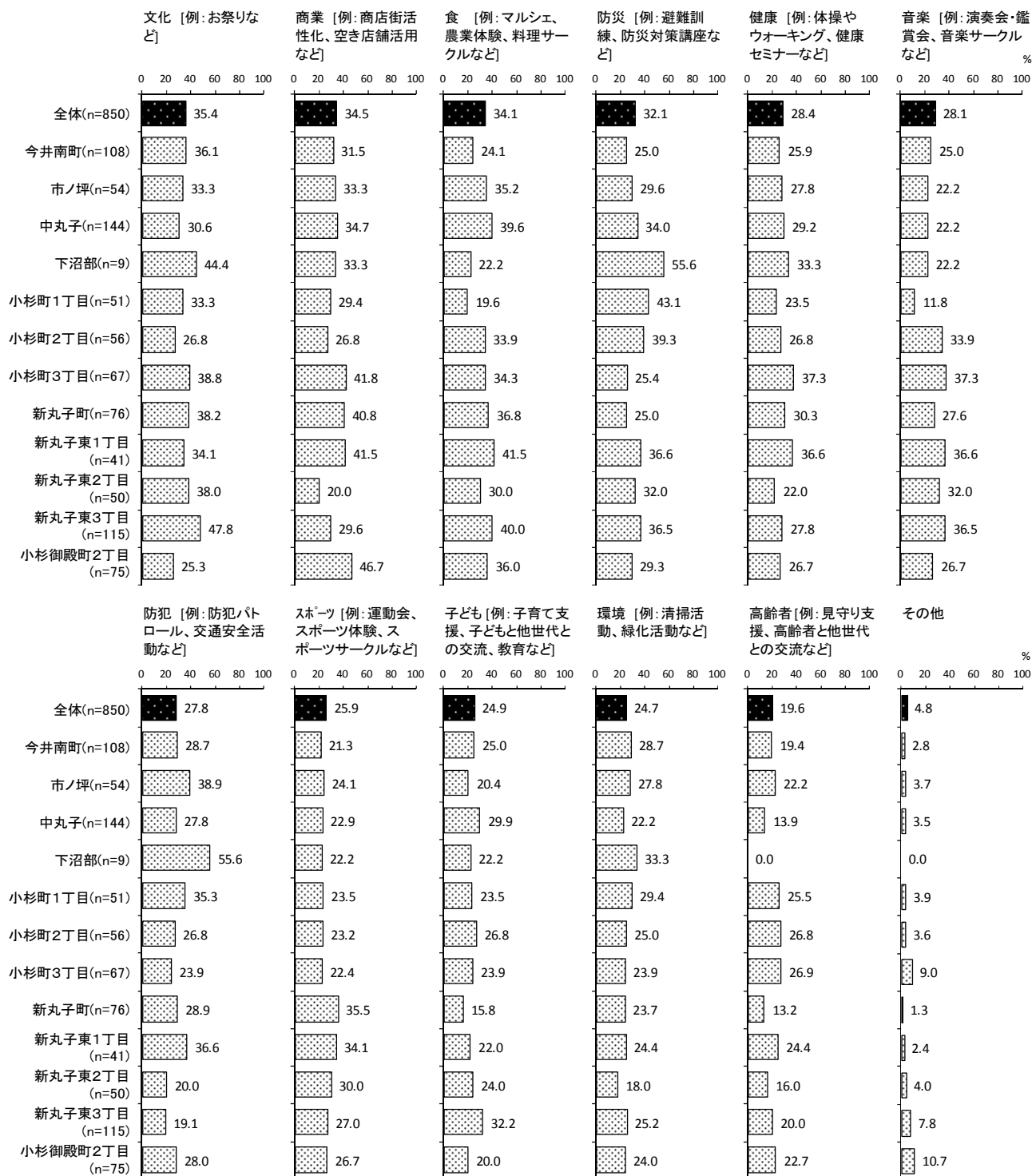
図 地域住民の興味・関心がある活動【年代別、家族構成別】



年代別にみると、「食」、「文化」は、『30代以下』で全体より5ポイント以上高い。

また、「防犯」は『60代以上』で全体より5ポイント以上高い。「健康」は『50代以上』で全体より5ポイント以上高い。なお、「高齢者」については、年代が上がるとともに、概ね割合が高くなる傾向がみられる。

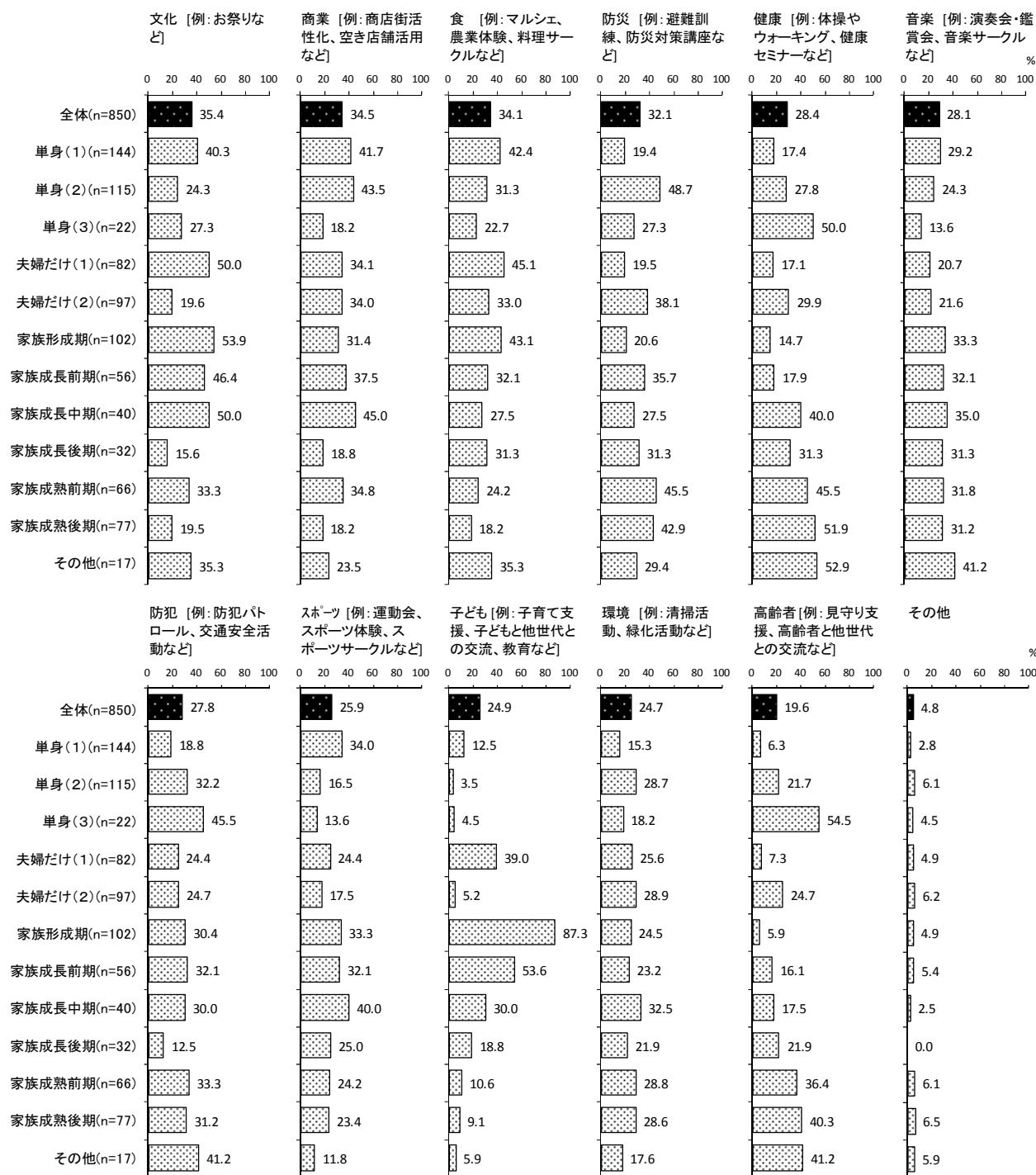
図 地域住民の興味・関心がある活動【居住地区別】



居住地区別にみると、「商業」は「小杉御殿町2丁目」(46.7%)、「小杉町3丁目」(41.8%)、「新丸子東1丁目」(41.5%)、「新丸子町」(40.8%)が40%を占めており、いずれも全体より5ポイント以上高い。「防災」は「小杉町1丁目」(43.1%)及び「小杉町2丁目」(39.3%)が全体より5ポイント以上高い。

なお、「高齢者」は、『小杉町1～3丁目』が全体よりも5ポイント以上高くなっている。

図 地域住民の興味・関心がある活動【ライフステージ別】



ライフステージ別にみると、「文化」は、「家族形成期」(53.9%)が最も高く、ついで、「夫婦だけ(1)」及び「家族成長中期」(それぞれ 50.0%)、「家族成長前期」(46.4%)の順となっている。

「商業」は「家族成長中期」(45.0%)、「食」は「夫婦だけ(1)」(45.1%)、「防災」は「単身(2)」(48.7%)、「家族成熟前期」(45.5%)及び「家族成熟後期」(42.9%)が全体より 10 ポイント以上高くなっている。

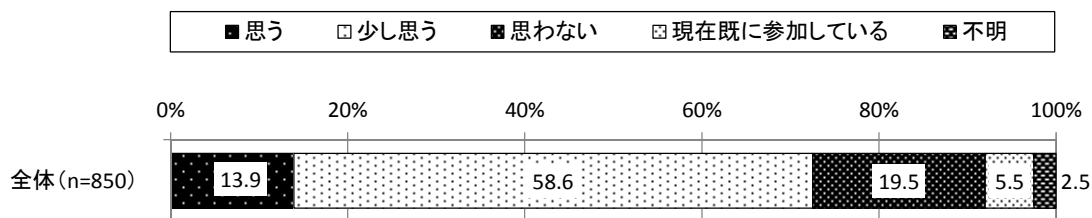
「健康」は、「家族成熟後期」(51.9%)が最も高く、ついで、「家族成熟前期」(45.5%)、「家族成長中期」(40.0%)となっている。なお、「子ども」は「家族形成期」(87.3%)が特に高く、ついで、「家族成長前期」(53.6%)、「夫婦だけ(1)」(39.0%)の順となっている。

一方で、「高齢者」は、『家族成熟期』が、いずれも全体より 10 ポイント以上高い。

(ケ)地域活動に対する参加状況などについて

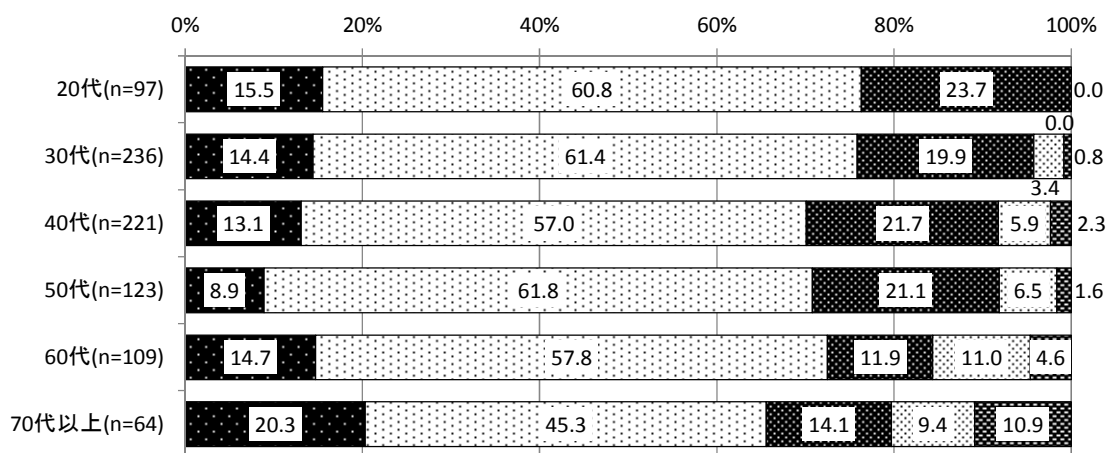
問17. 活動に参加者として参加してみたいと思いますか(単独回答)

図 参加者としての参加意向 [全体]



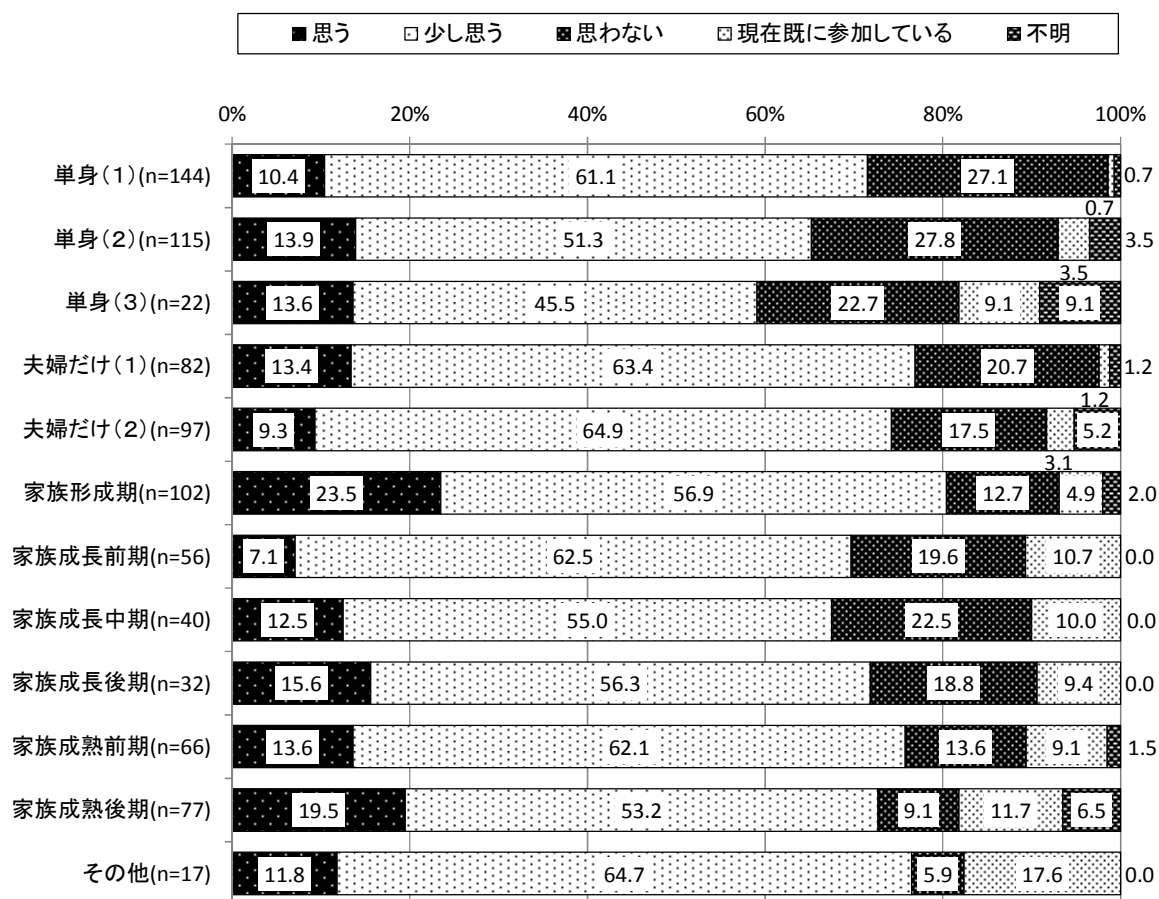
参加者としての参加意向については、「少し思う」が60%程度を占めている一方で、「思わない」が20%程度となっている。

図 参加者としての参加意向 [年代別]



年代別にみると、「思う」は「70代以上」(20.3%)が、全体より5ポイント以上高い。また、「現在既に参加している」は「60代」が、全体より5ポイント以上高い。

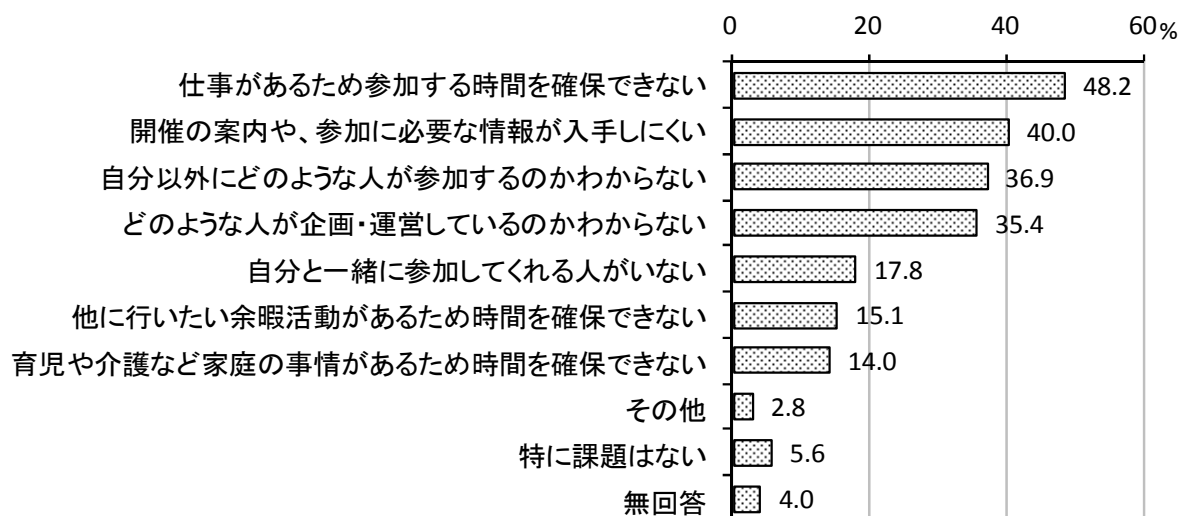
図 参加者としての参加意向 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「思う」は、「家族形成期」(23.5%)及び「家族成熟後期」(19.5%)が、「少し思う」は、「夫婦だけ(2)」(64.9%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「思わない」は、『単身』が全体より5ポイント以上高い。なお、「現在既に参加している」は「家族成熟後期」(11.7%)、「家族成長前期」(10.7%)が全体より高い5ポイント以上高い。

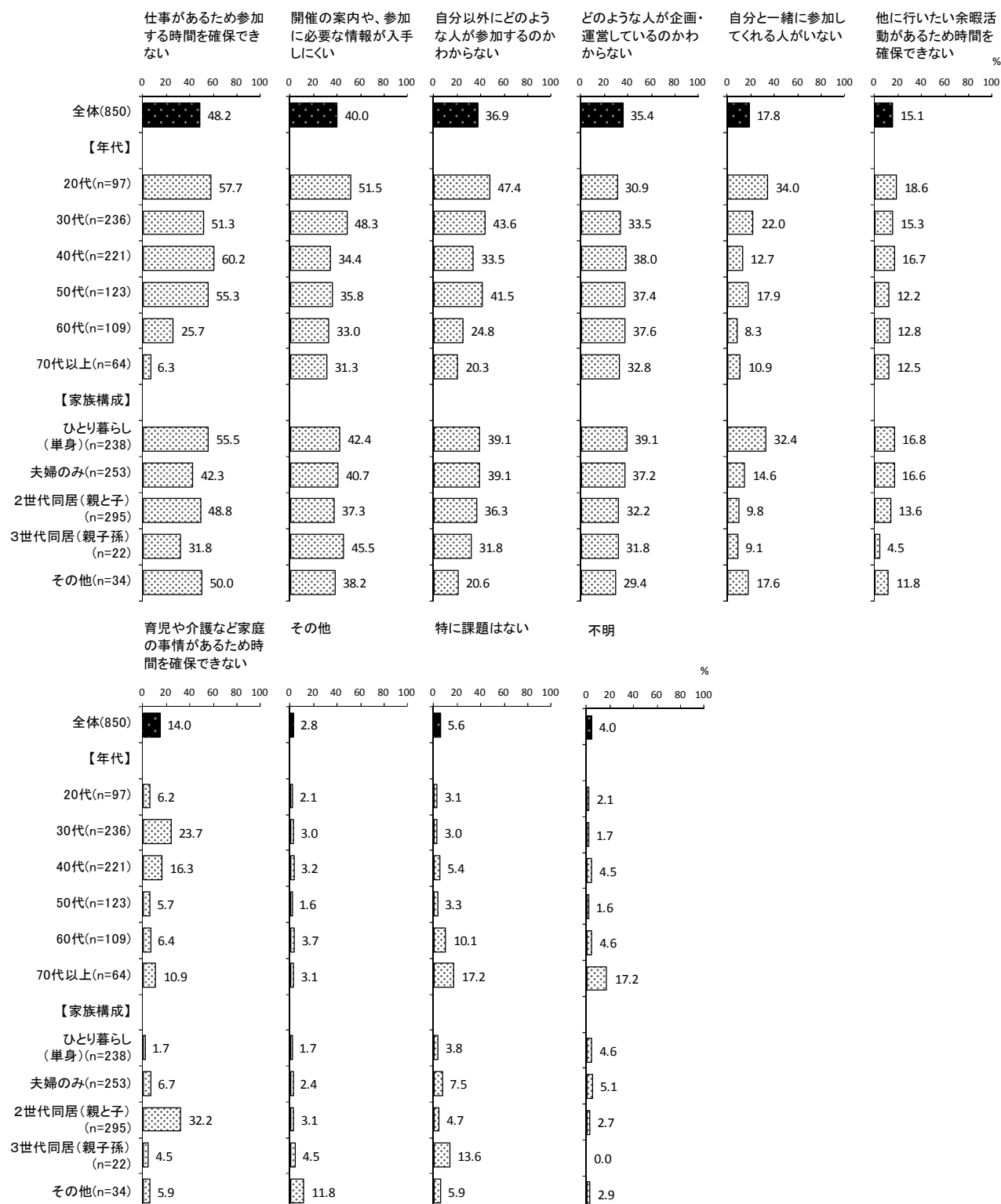
問18. 参加する場合どのようなことが課題になると思いますか(複数回答)

図 参加する際の課題 [全体]



参加者する際の課題については、「仕事があるため参加する時間を確保できない」(48.2%)が最も高く、ついで、「開催の案内や、参加に必要な情報が入手しにくい」(40.0%)、「自分以外にどのような人が参加するのかわからない」(36.9%)、「どのような人が企画・運営しているのかわからない」(35.4%)の順となっており、いずれも30%以上を占めている。

図 参加する際の課題【年代別、家族構成別】

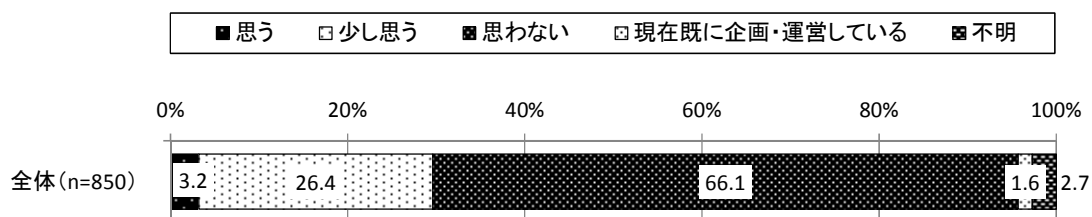


年代別にみると、「開催の案内や、参加に必要な情報が入手しにくい」及び「自分以外にどのような人が参加するのかわからない」は、『30代以下』で全体より5ポイント以上高い。

家族構成別にみると、「自分と一緒に参加してくれる人がいない」は、「ひとり暮らし(単身)」(32.4%)が全体より10ポイント以上高くなっている。一方、「育児や介護など家庭の事情があるため時間を確保できない」は、「2世代同居(親と子)」(32.2%)が、全体より10ポイント以上高い。

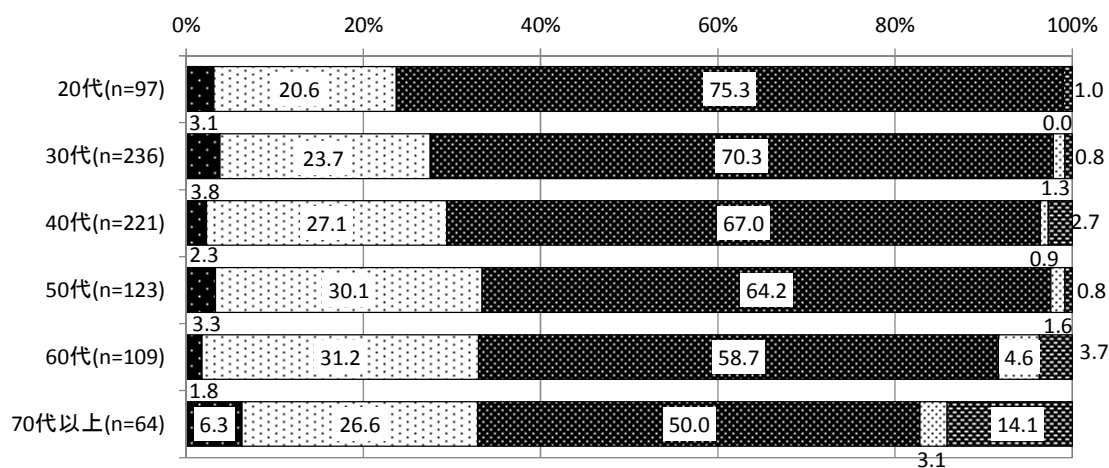
問19. 活動を主催・協力者として企画・運営してみたいと思いますか(単独回答)

図 主催・協力者としての企画・運営意欲 [全体]



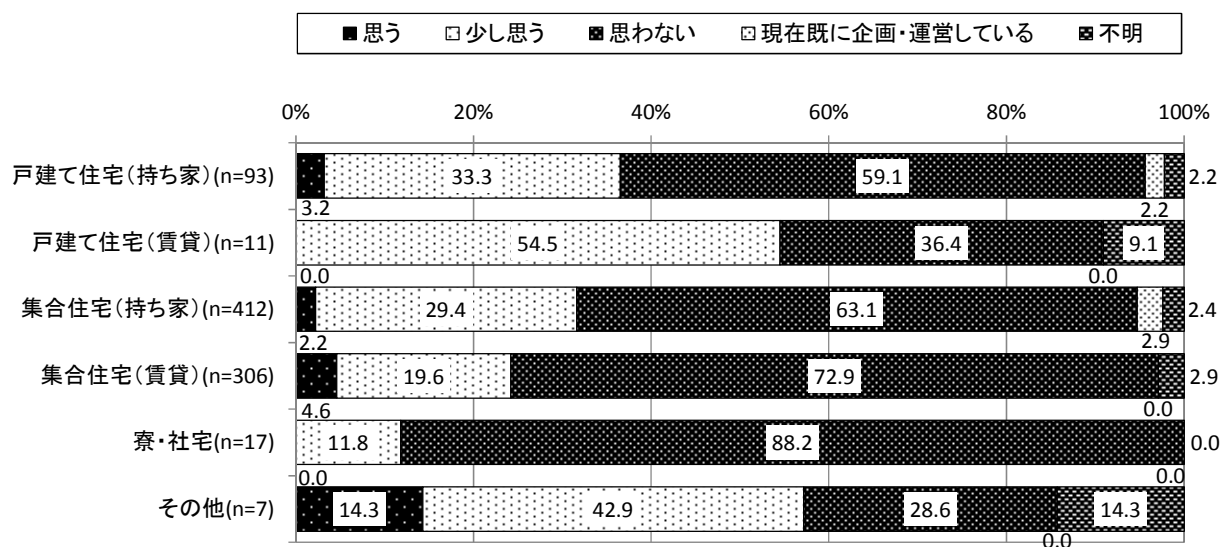
主催・協力者としての企画・運営意欲については、「思わない」が 66.1%の割合を占めている。一方で、「思う」は 3.2%となっている。

図 主催・協力者としての企画・運営意欲 [年代別]



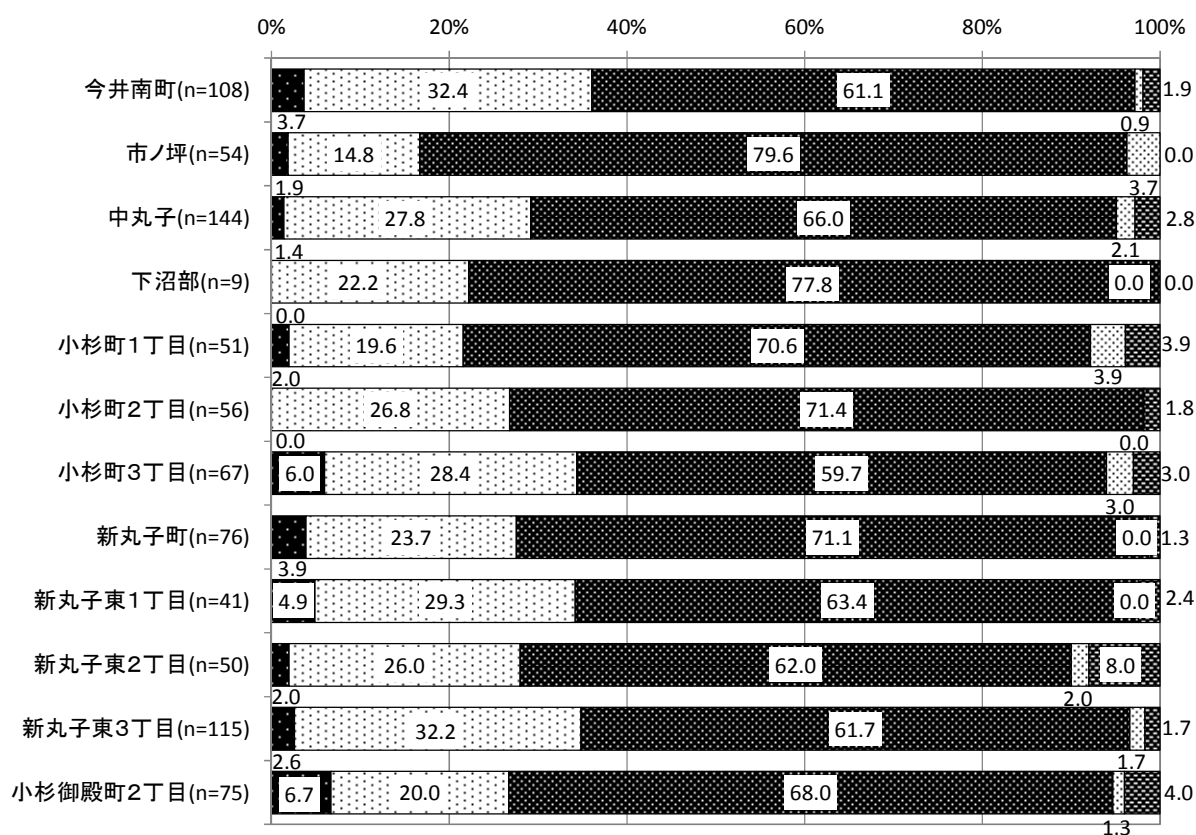
年代別にみると、「思わない」は、年代が上がるとともに、低くなる傾向がみられる。

図 主催・協力者としての企画・運営意欲 [居住形態別]



居住形態別にみると、「少し思う」は、「戸建て住宅(持ち家)」(33.3%)が全体より5ポイント以上高い。一方で、「思わない」は、「集合住宅(賃貸)」が70%以上を占めており、全体より5ポイント以上高い。

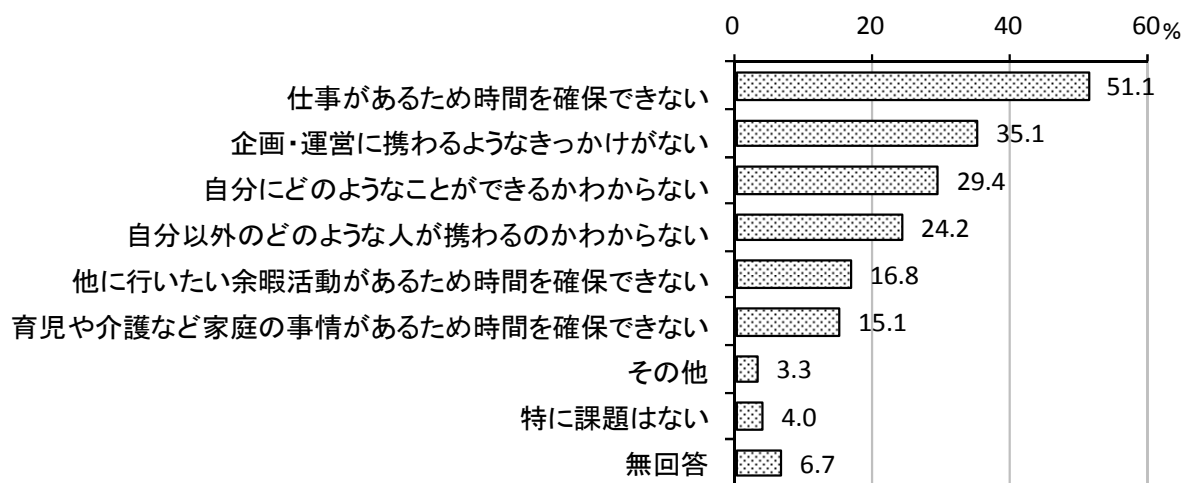
図 主催・協力者としての企画・運営意欲 [居住地区別]



居住地区別にみると、「少し思う」は、「今井南町」(32.4%)及び「新丸子東3丁目」(32.2%)が全体より5ポイント以上高くなっている。一方で、「思わない」は、「市ノ坪」(79.6%)が最も高く、ついで、「小杉町2丁目」(71.4%)、「新丸子町」(71.1%)の順となっている。

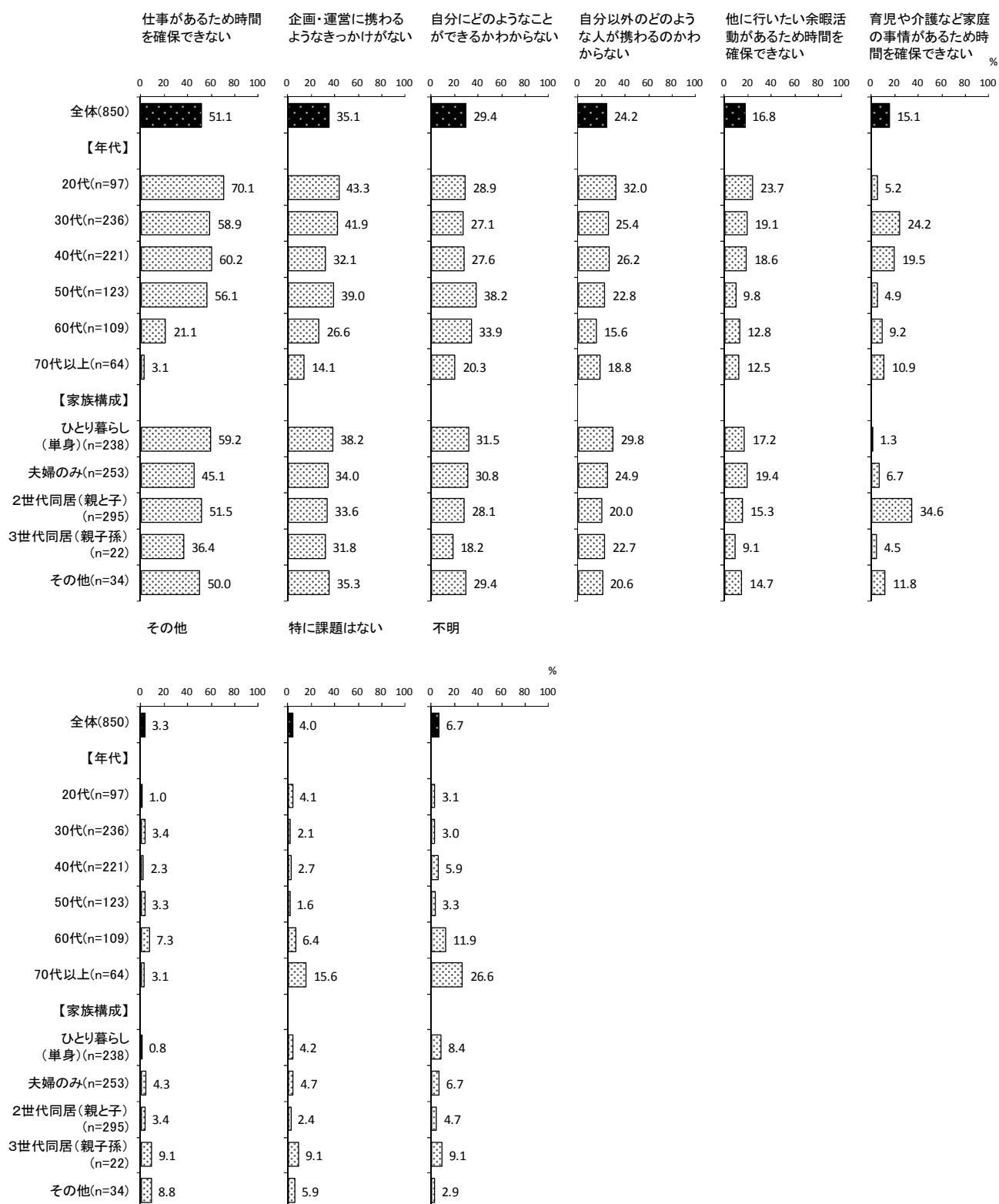
問20. 企画・運営する場合にどのようなことが課題になると思いますか(複数回答)

図 企画・運営する際の課題 [全体]



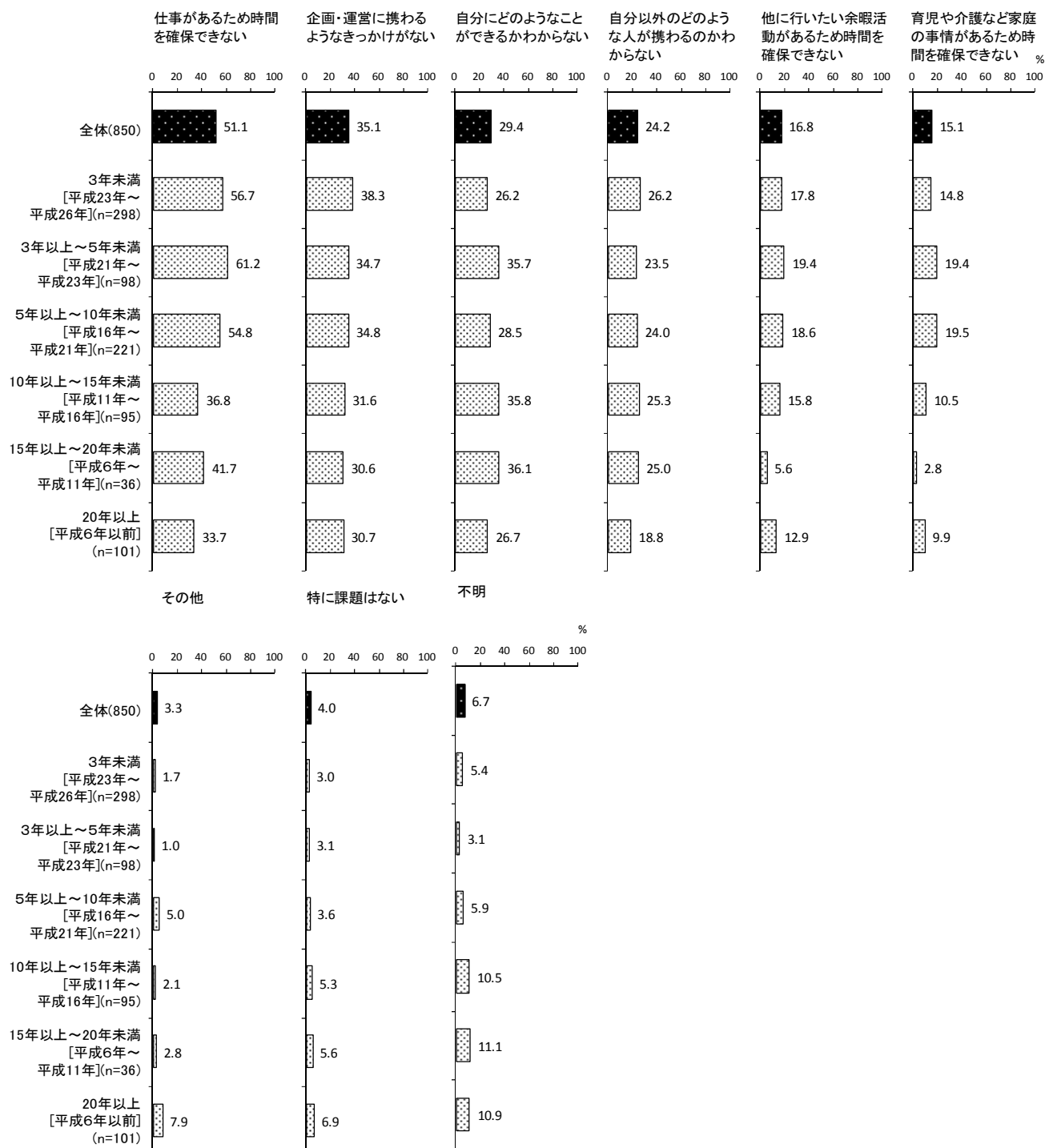
企画・運営する際の課題については、「仕事があるため時間を確保できない」が半数以上を占めている。

図 企画・運営する際の課題【年代別、家族構成別】



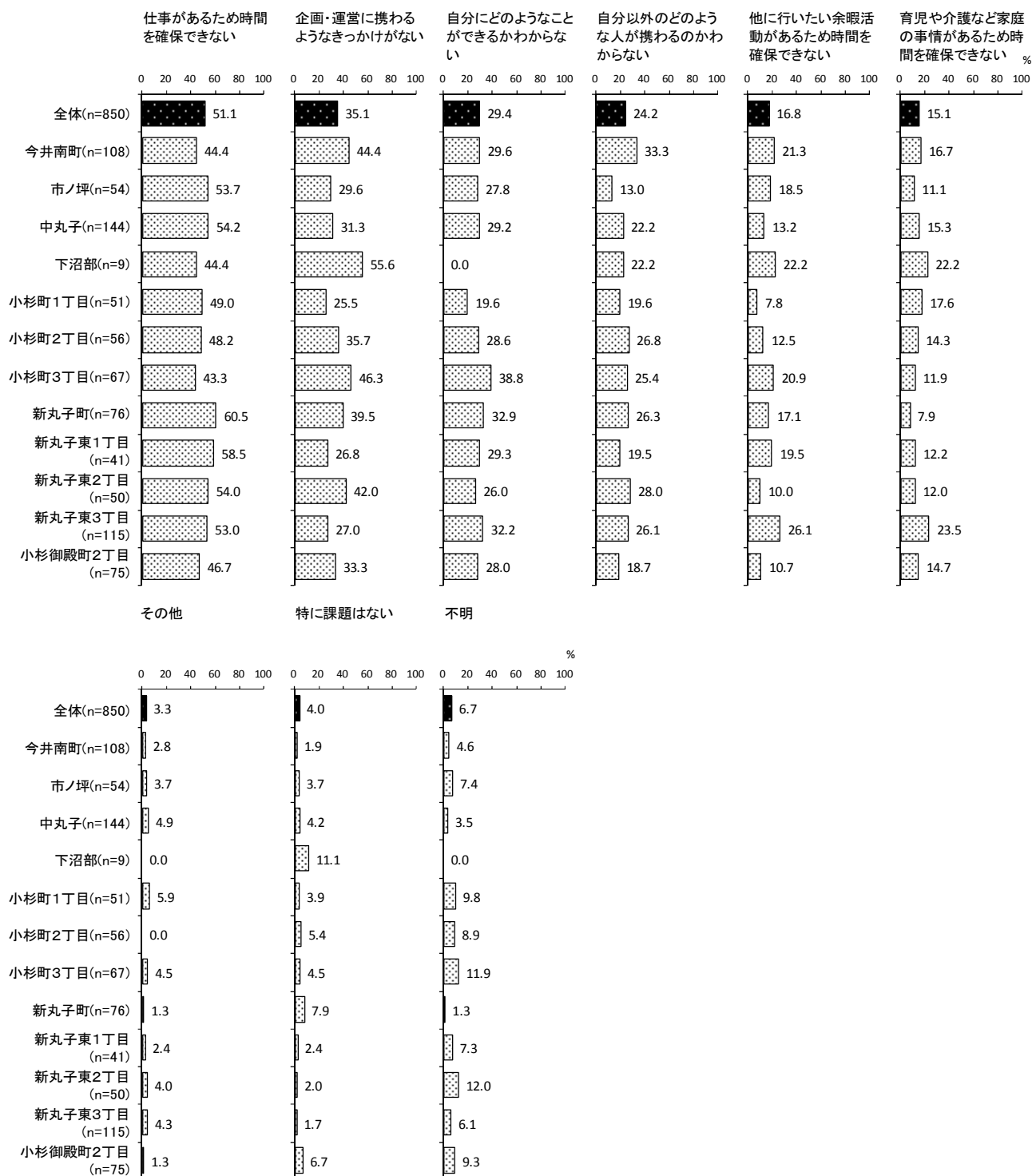
年代別にみると、「仕事があるため時間を確保できない」は、「20代」(70.1%)が全体より10ポイント以上高い。
「企画・運営に携わるようなきっかけがない」は、『30代以下』が全体より5ポイント以上高い。

図 企画・運営する際の課題〔居住年数別〕



居住年数別にみると、「仕事があるため時間を確保できない」は、『5年未満』が全体より5ポイント以上高い。「自分にどのようなことができるかわからない」は、「15年以上～20年未満〔平成6年～平成11年〕」(36.1%)、「10年以上～15年未満〔平成11年～平成16年〕」(35.8%)、「3年以上～5年未満〔平成21年～平成23年〕」(35.7%)が、35%以上を占めており、全体より5ポイント以上高い。

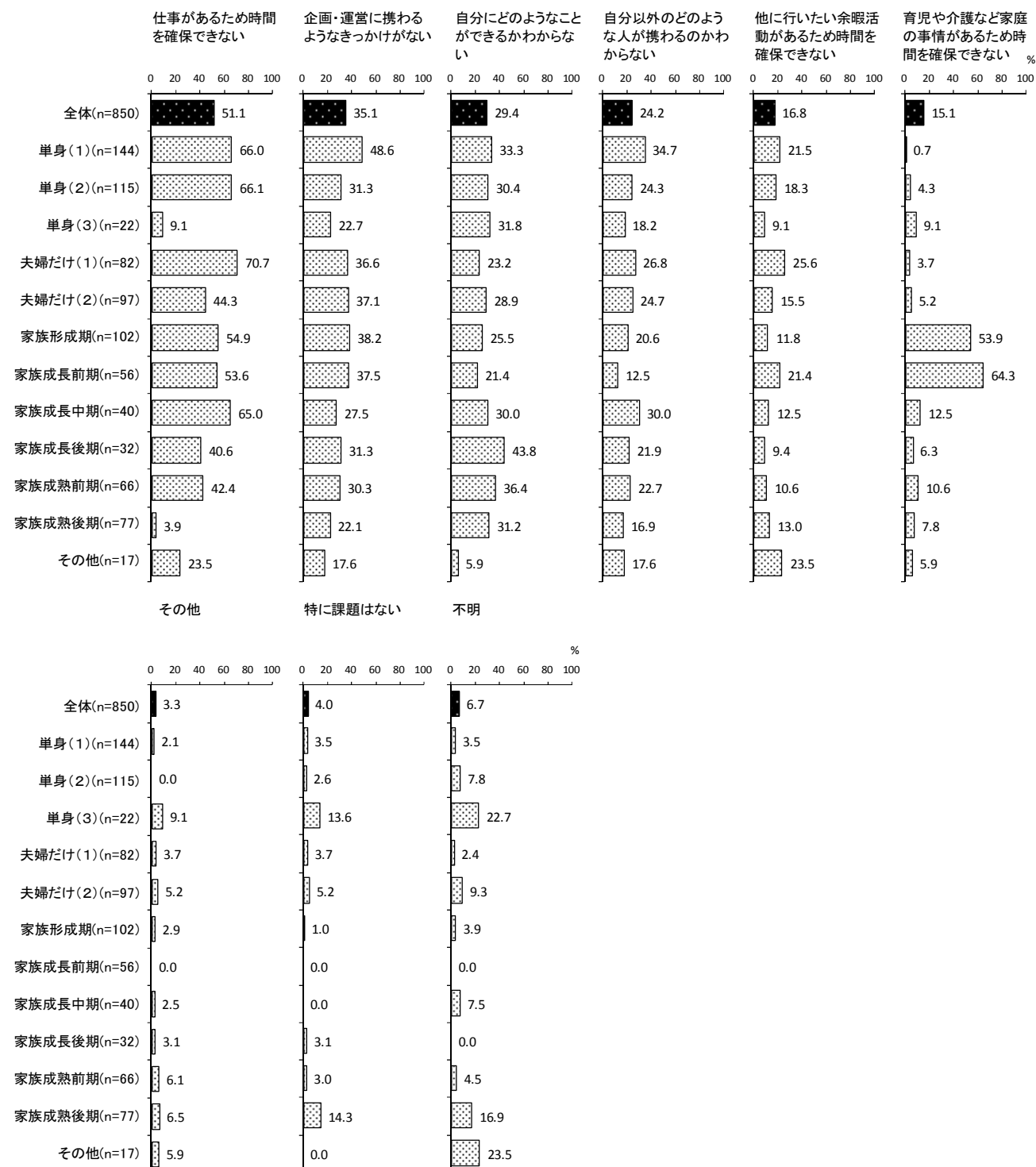
図 企画・運営する際の課題〔居住地区別〕



居住地区別にみると、「仕事があるため時間を確保できない」は、「新丸子町」(60.5%)が最も高く、ついで、「新丸子東1丁目」が高くなっている。

「企画・運営に携わるようなきっかけがない」は、「小杉町3丁目」(46.3%)が最も高く、ついで、「今井南町」(44.4%)、「新丸子東2丁目」(42.0%)の順となっている。

図 企画・運営する際の課題 [ライフステージ別]



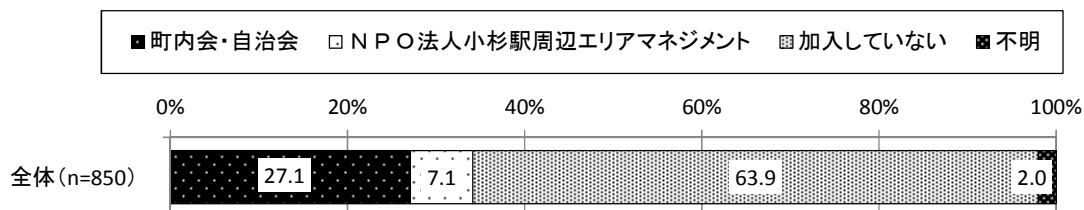
ライフステージ別にみると、「仕事があるため時間を確保できない」は、「夫婦だけ(1)」が 7 最も高く、ついで、『単身』、「家族成長中期」の順となっている。

「育児や介護など家庭の事情があるため時間を確保できない」は、「家族成長期前期」(64.3%)、「家族形成期」(53.9%)が全体より 10 ポイント以上高くなっている。

(コ)地域活動に取り組む組織に対する参加状況などについて

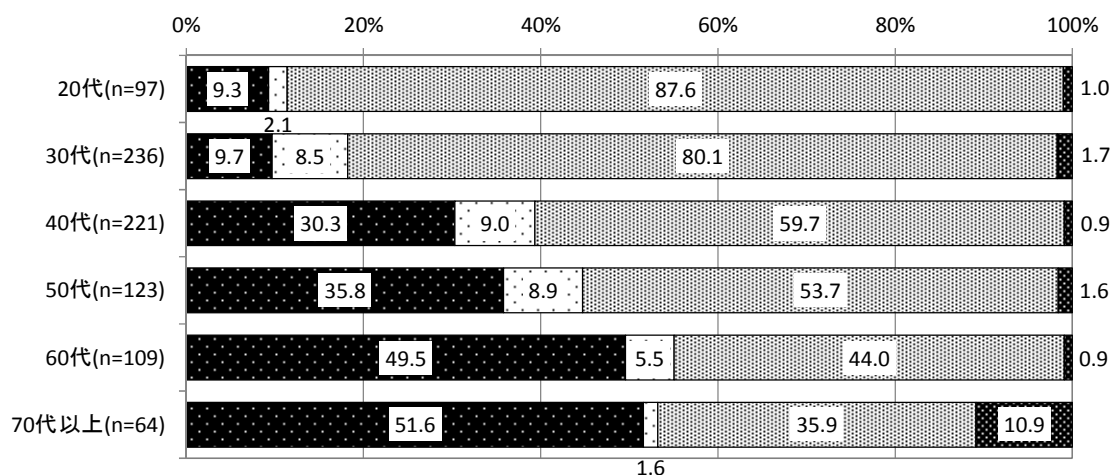
問21. 下記の組織に加入していますか(単独回答)

図 組織の加入状況 [全体]



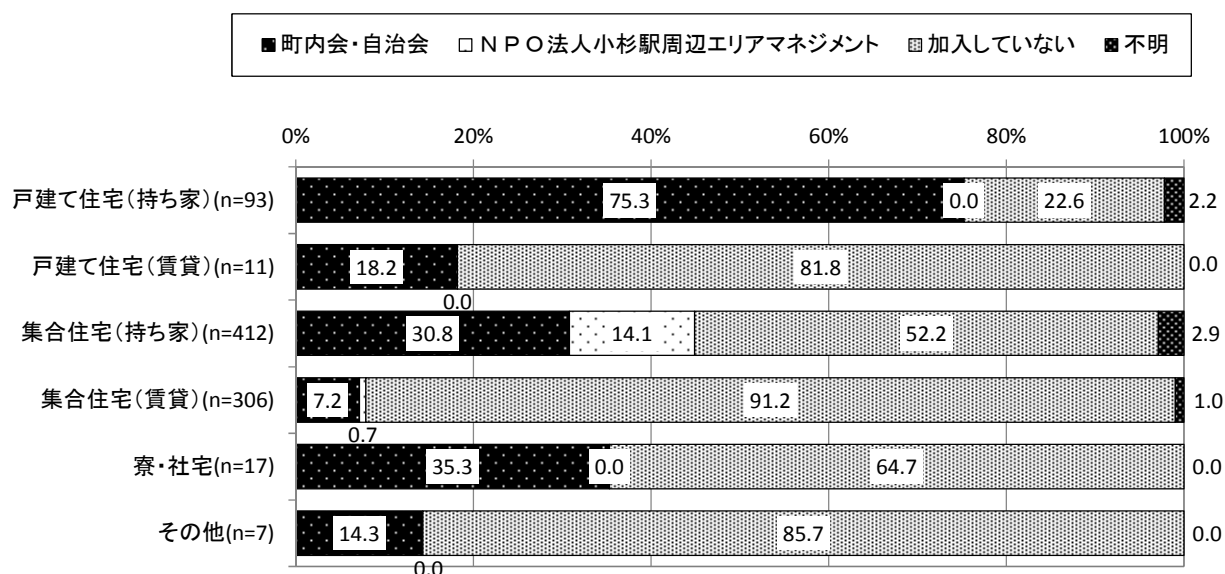
組織の加入状況については、「加入していない」(63.9%)が最も高く、ついで、「町内会・自治会」(27.1%)となっている。

図 組織の加入状況 [年代別]



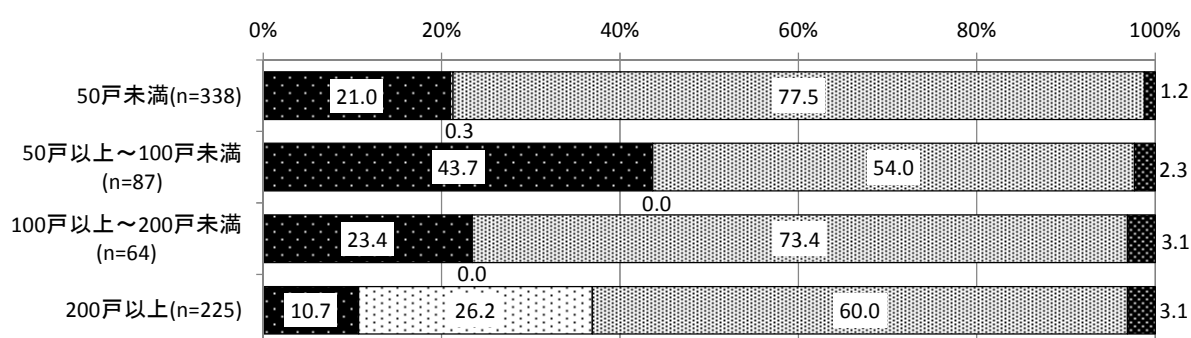
年代別にみると、年代が上がるとともに、「町内会・自治会」の割合が高くなっている。また、「加入していない」は、『30代以下』で80%以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。

図 組織の加入状況 [居住形態別]



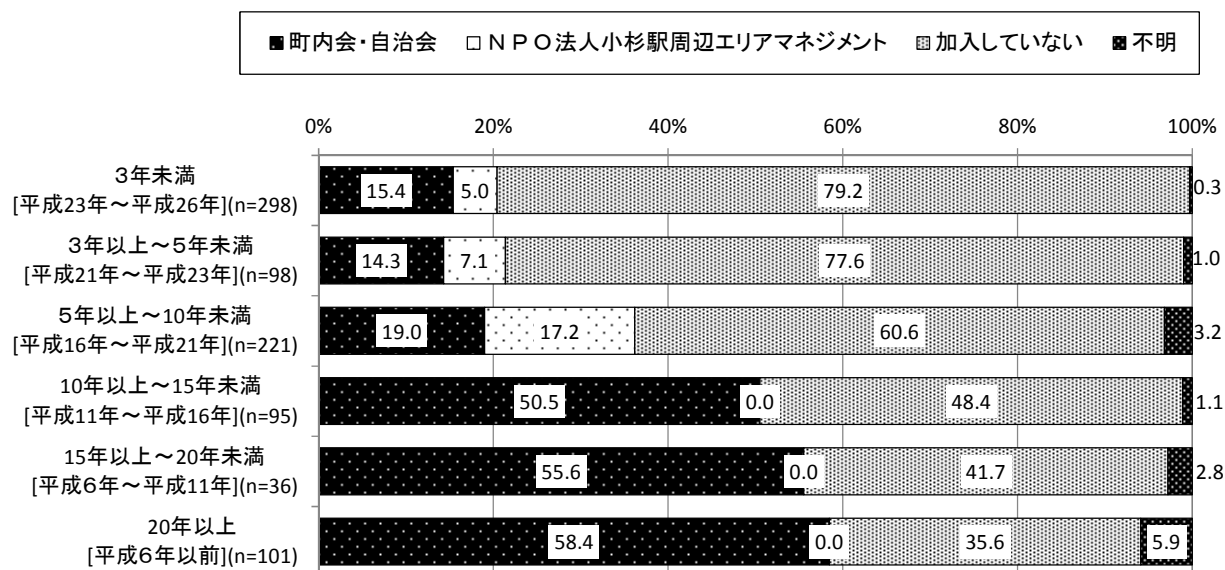
居住形態別にみると、「町内会・自治会」は「戸建て住宅(持ち家)」(75.3%)が全体より 10 ポイント以上高い。「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は、「集合住宅(持ち家)」(14.1%)が、全体より5ポイント以上高い。なお、「加入していない」は、「集合住宅(賃貸)」が 90%を占めており、全体より 10 ポイント以上高い。

図 組織の加入状況 [集合住宅の規模別]



集合住宅の規模別にみると、「町内会・自治会」は「50 戸以上～100 戸未満」(43.7%)が、全体より 10 ポイント以上高い。「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は「200 戸以上」(26.2%)、「加入していない」は「50 戸未満」(77.5%)が、それぞれ全体より 10 ポイント以上高い。

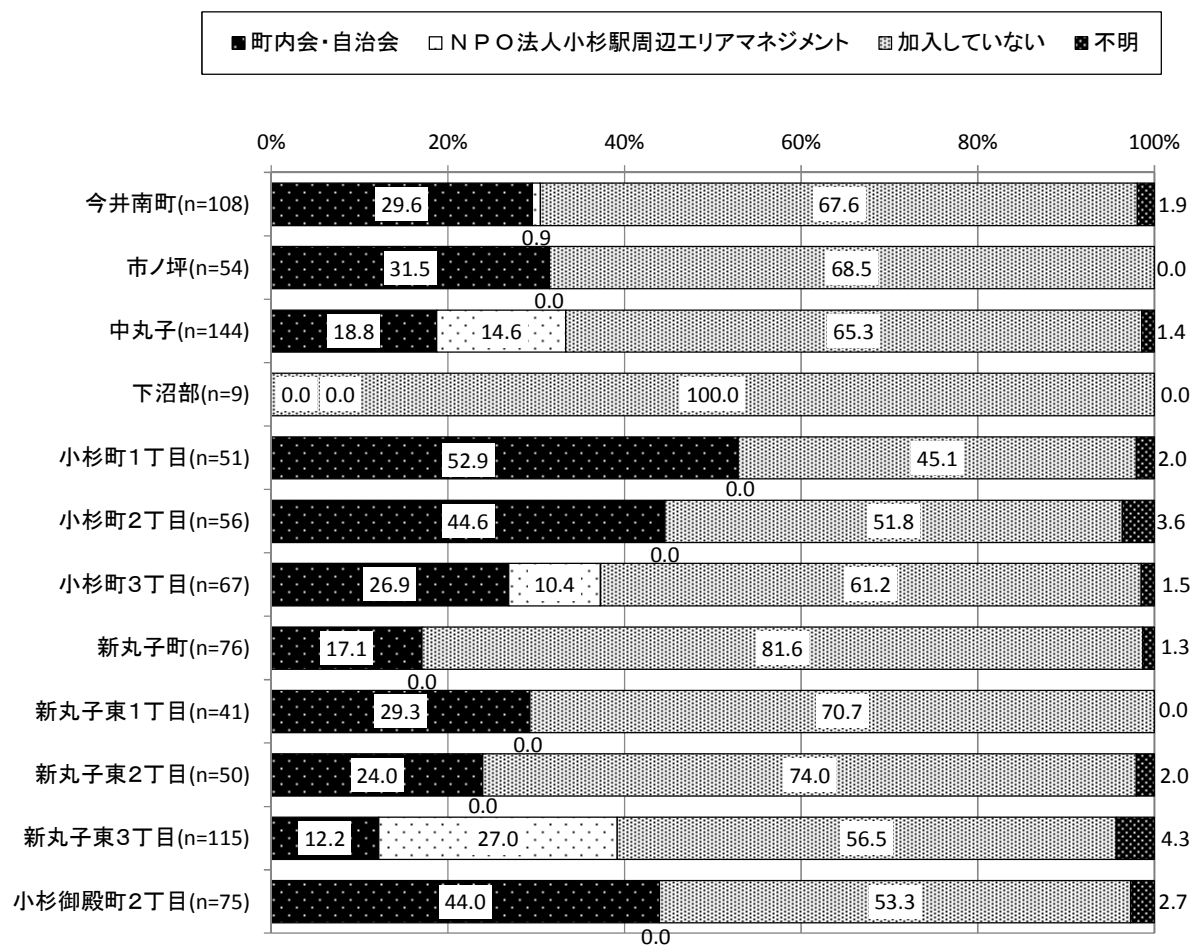
図 組織の加入状況 [居住年数別]



居住年数別にみると、「町内会・自治会」は『10年以上』が、全体より10ポイント以上高い。「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は「5年以上～10年未満 [平成16年～平成21年]」、「加入していない」は『5年未満』が、それぞれ全体より10ポイント以上高い。

なお、「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は、平成19年に地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させることを主たる目的として設立されたため、それ以前のマンションでは加入されていない。

図 組織の加入状況 [居住地区別]



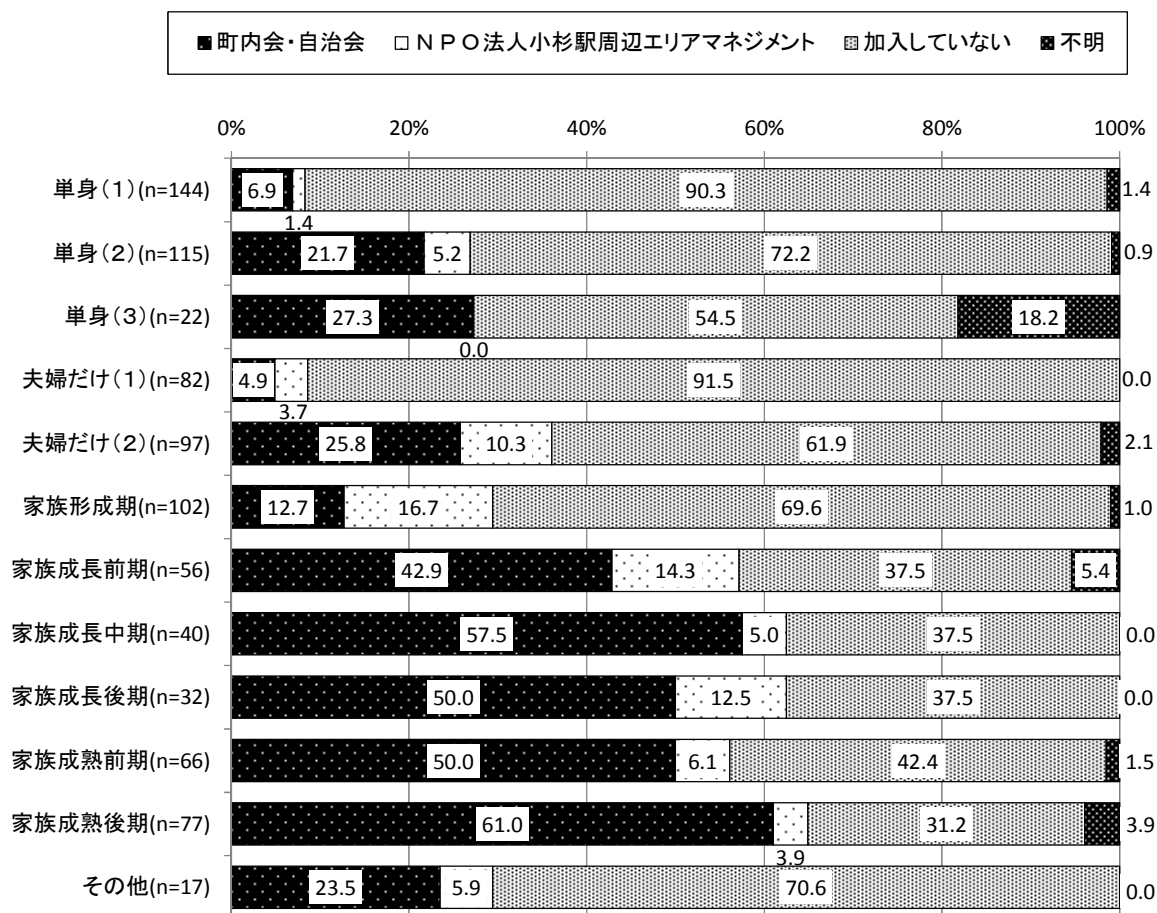
居住地区別にみると、「町内会・自治会」は「小杉町1丁目」(52.9%)、「小杉町2丁目」(44.6%)及び「小杉御殿町2丁目」(44.0%)が全体より10ポイント以上高くなっている。

「NPO法人小杉駅周辺エアリアマネジメント」は、「新丸子東3丁目」(27.0%)、「中丸子」(14.6%)が全体より5ポイント以上高くなっている。

「加入していない」は、「新丸子町」(81.6%)が最も高く、ついで、「新丸子東2丁目」(74.0%)、「新丸子東1丁目」(70.7%)の順となっている。

なお、「NPO法人小杉駅周辺エアリアマネジメント」は、平成26年12月現在、中丸子、新丸子東3丁目、小杉町3丁目の大型集合住宅を対象としているため、それ以外の地区では加入されていない。

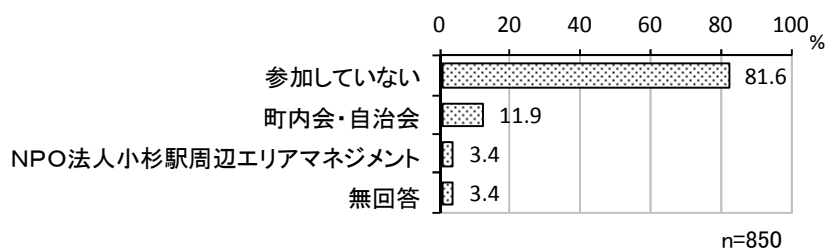
図 組織の加入状況 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「町内会・自治会」は、『家族成長期』、『家族成熟期』が、40%以上の割合となっており、全体より 10 ポイント以上高い。一方で、「加入していない」は「夫婦だけ(1)」及び「単身(1)」において 90% 以上を占めており、全体より 10 ポイント以上高い。

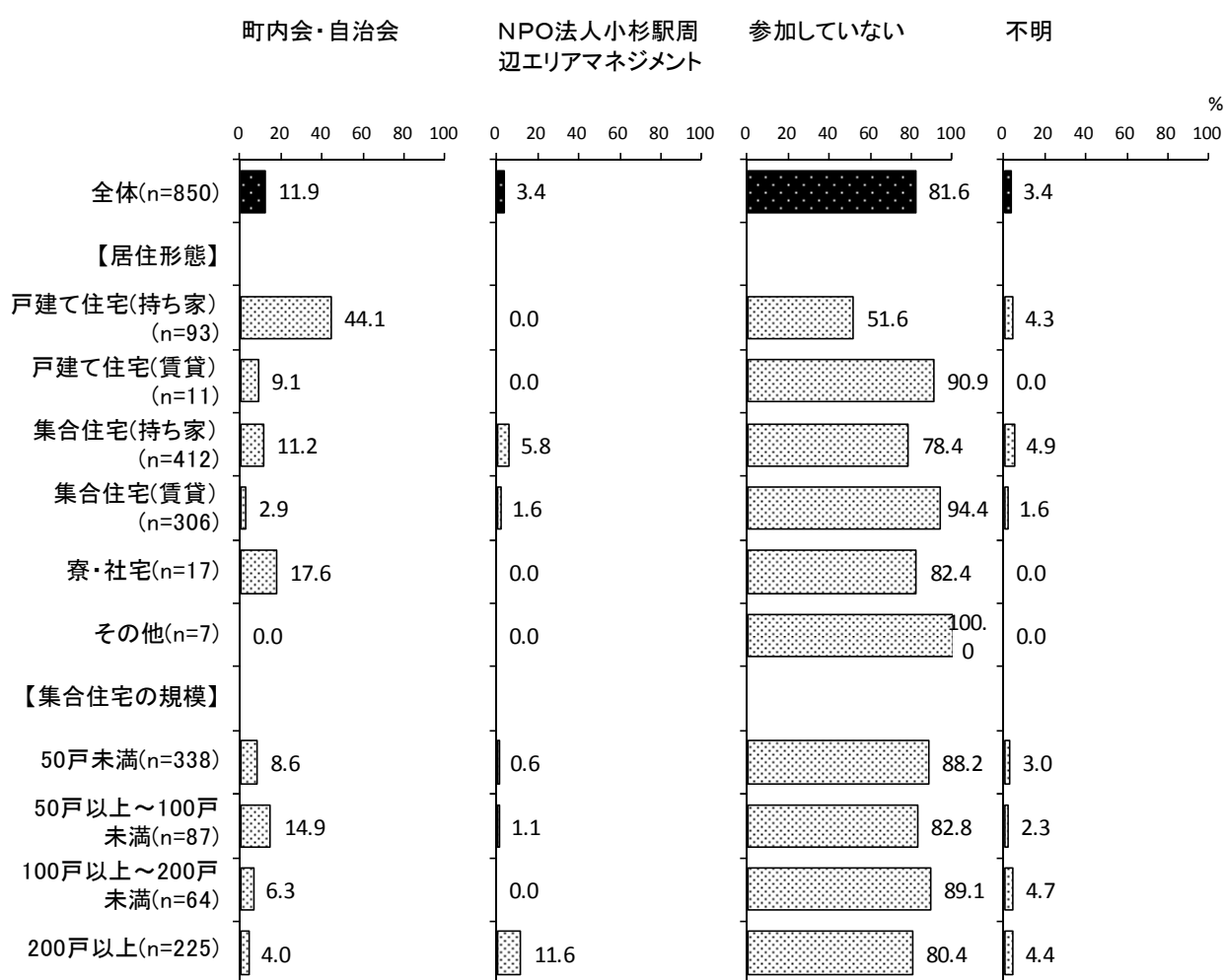
問22. 下記の組織の活動に参加していますか(複数回答)

図 組織活動の参加状況 [全体]



組織活動の参加状況については、「参加していない」が80%以上を占め、最も高くなっている。

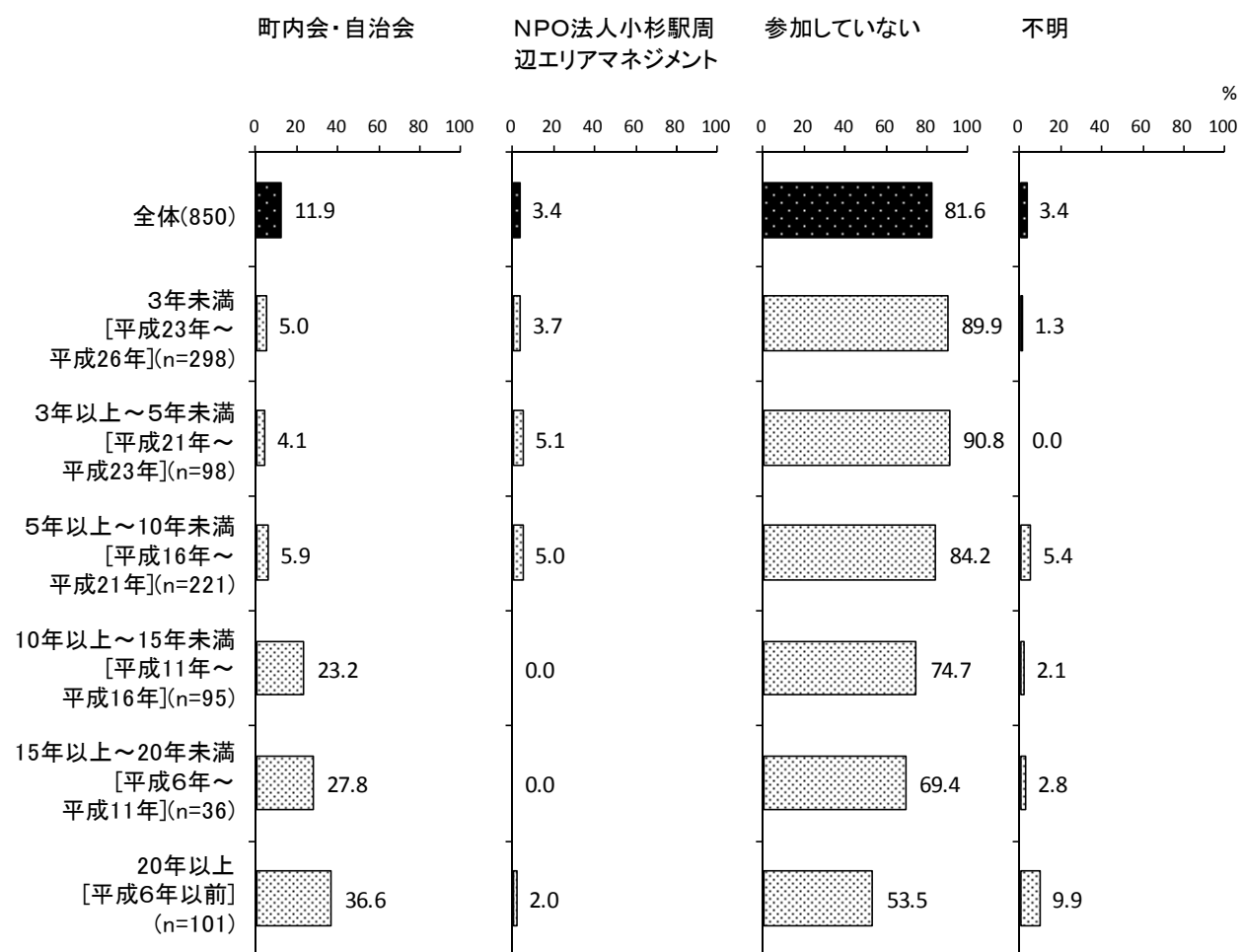
図 組織活動の参加状況 [居住形態別、集合住宅の規模別]



居住形態別にみると、「町内会・自治会」は「戸建て住宅(持ち家)」(44.1%)が全体より10ポイント以上高い。一方で、「参加していない」は、「集合住宅(賃貸)」(94.4%)が90%以上を占めており、全体より10ポイント以上高い。

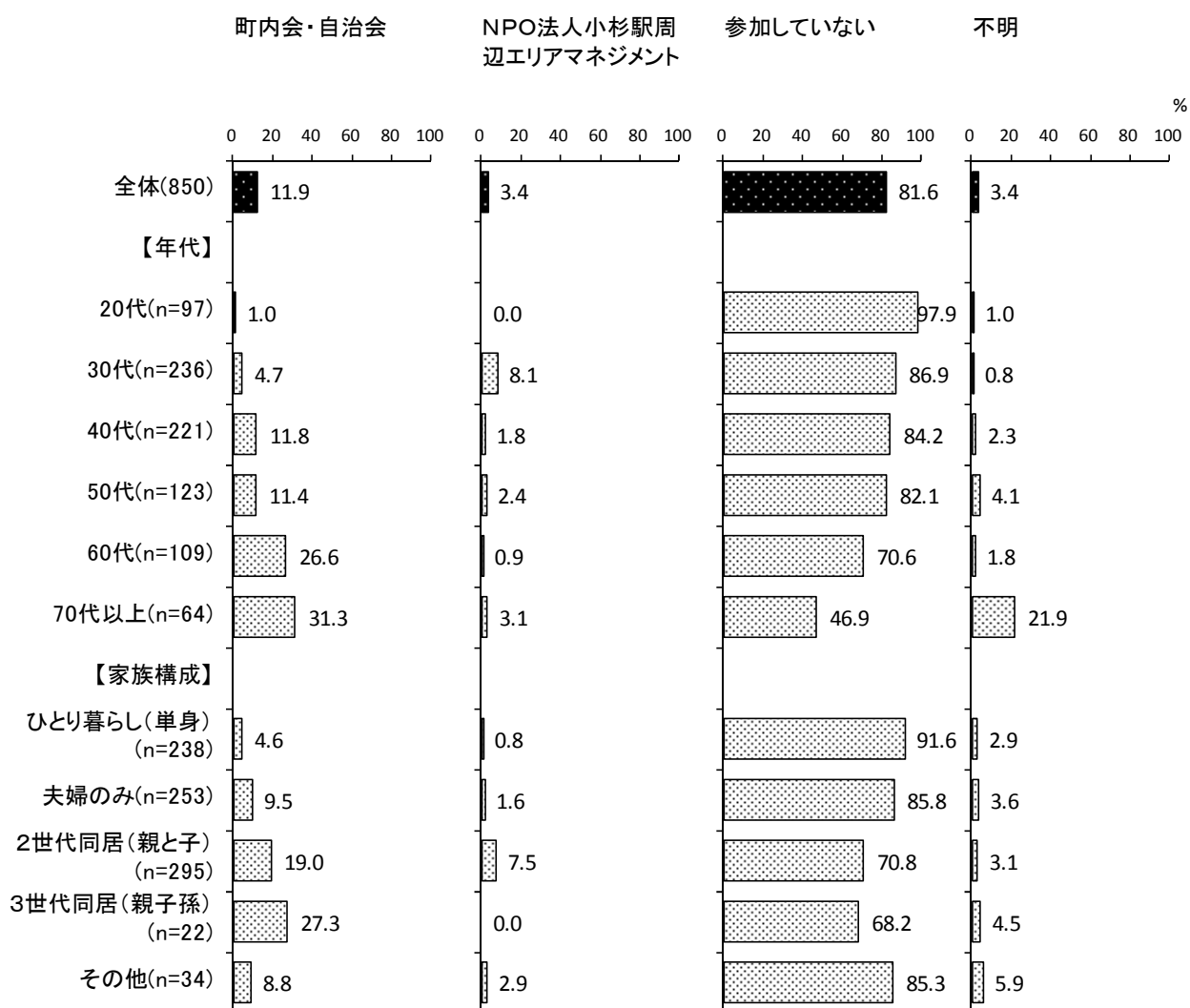
集合住宅の規模別にみると、「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は「200戸以上」(11.6%)が全体より5ポイント以上高い。「参加していない」は「100戸以上～200戸未満」(89.1%)及び「50戸未満」(88.2%)が、全体より5ポイント以上高い。

図 組織活動の参加状況〔居住年数別〕



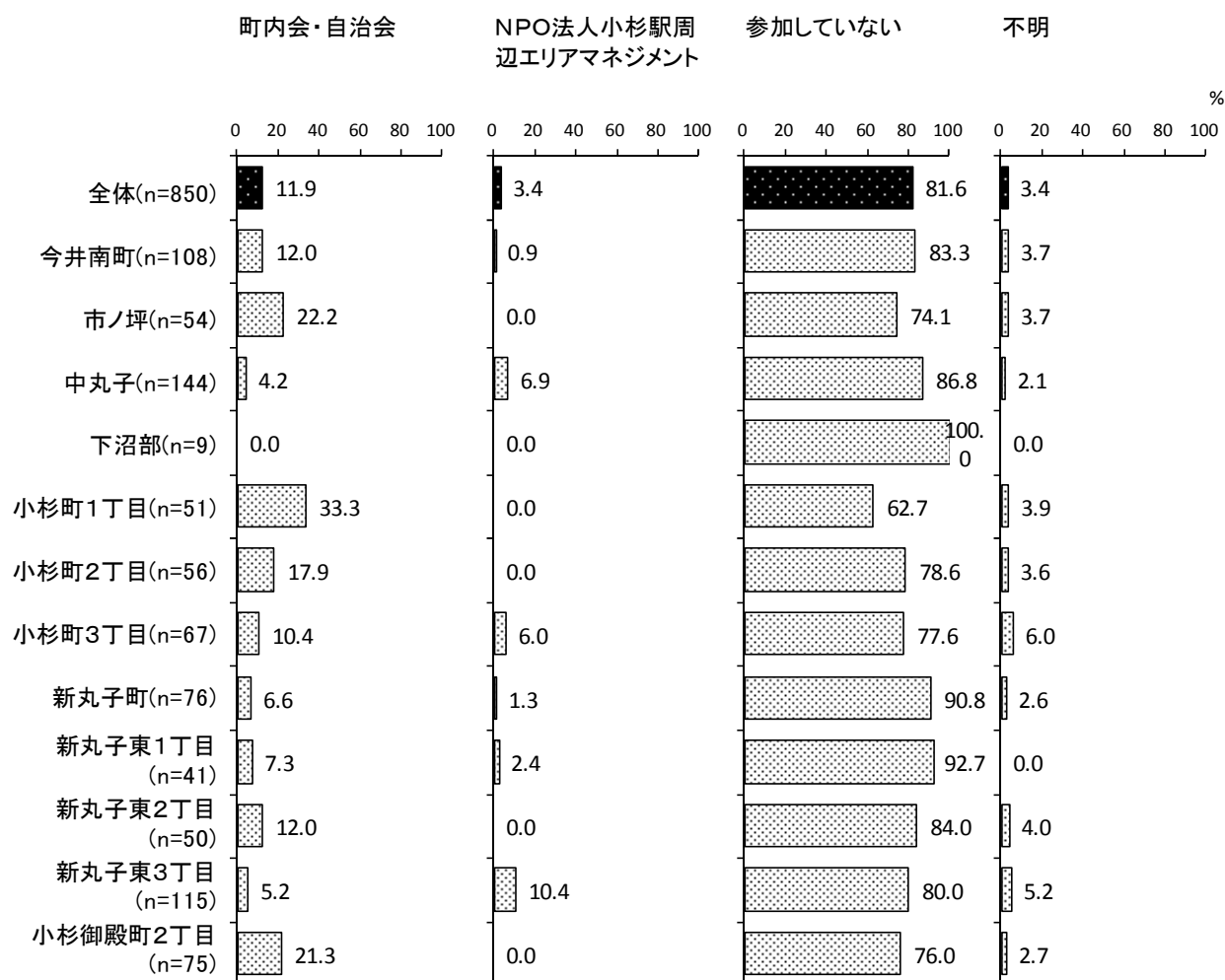
居住年数別にみると、「町内会・自治会」は『10年以上』、「参加していない」は、『5年未満』が、それぞれ全体より5ポイント以上高い。

図 組織活動の参加状況 [年代別、家族構成別]



年代別にみると、年代が上がるとともに、「町内会・自治会」の割合が高くなっている。また、「参加していない」は、『30代以下』で85%以上を占めており、全体より5ポイント以上高い。

図 組織活動の参加状況〔居住地区別〕

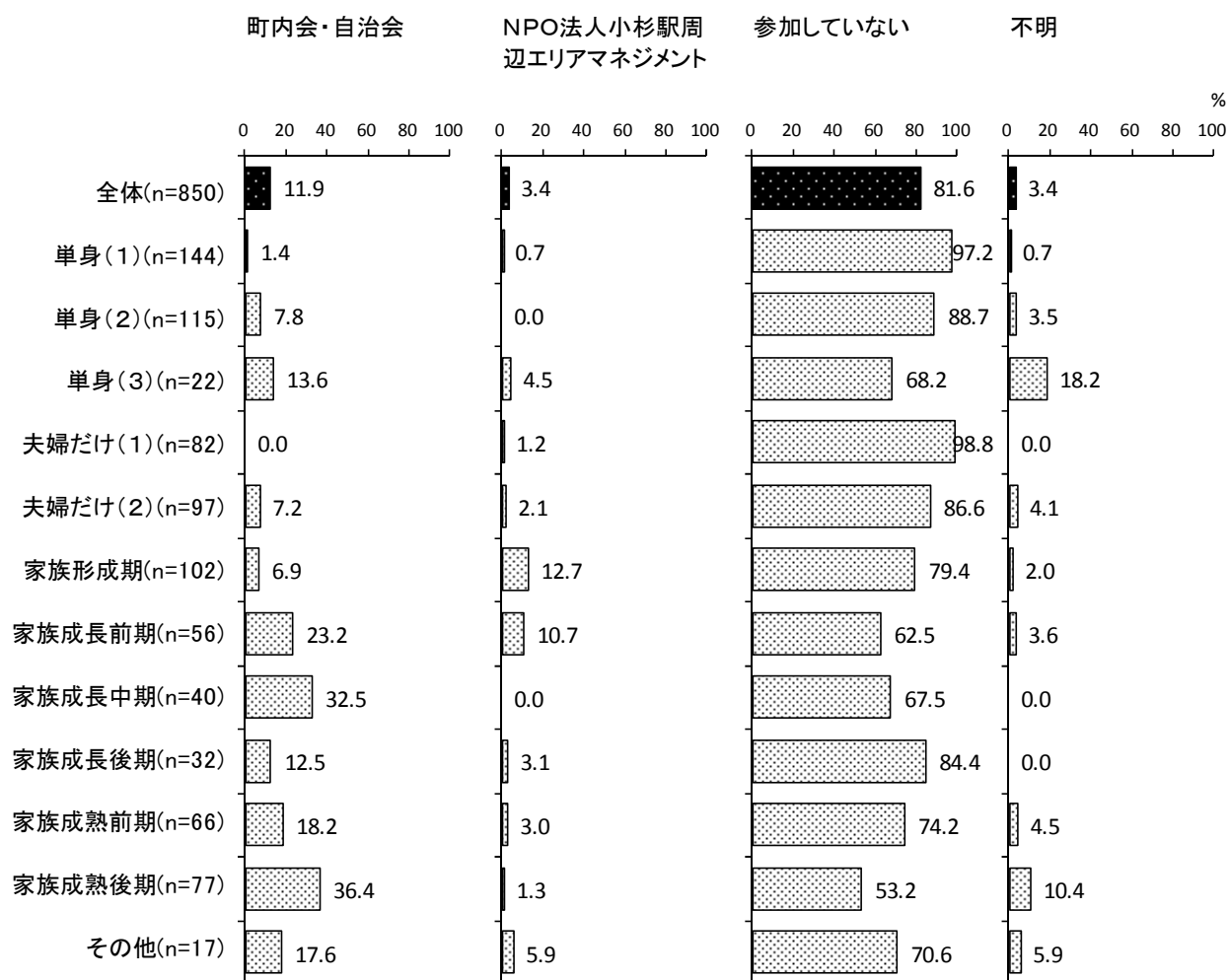


居住地区別にみると、「町内会・自治会」は「小杉町1丁目」(33.3%)、「市ノ坪」(22.2%)が全体より10ポイント以上高く、「小杉御殿町2丁目」(21.3%)、「小杉町2丁目」(17.9%)が全体より5ポイント以上高くなっている。

また、「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は、「新丸子東3丁目」(10.4%)が全体より5ポイント以上高くなっている。

なお、「参加していない」は、「新丸子東1丁目」(92.7%)が最も高く、ついで、「新丸子町」(90.8%)、「中丸子」(86.8%)、の順となっている。

図 組織活動の参加状況 [ライフステージ別]

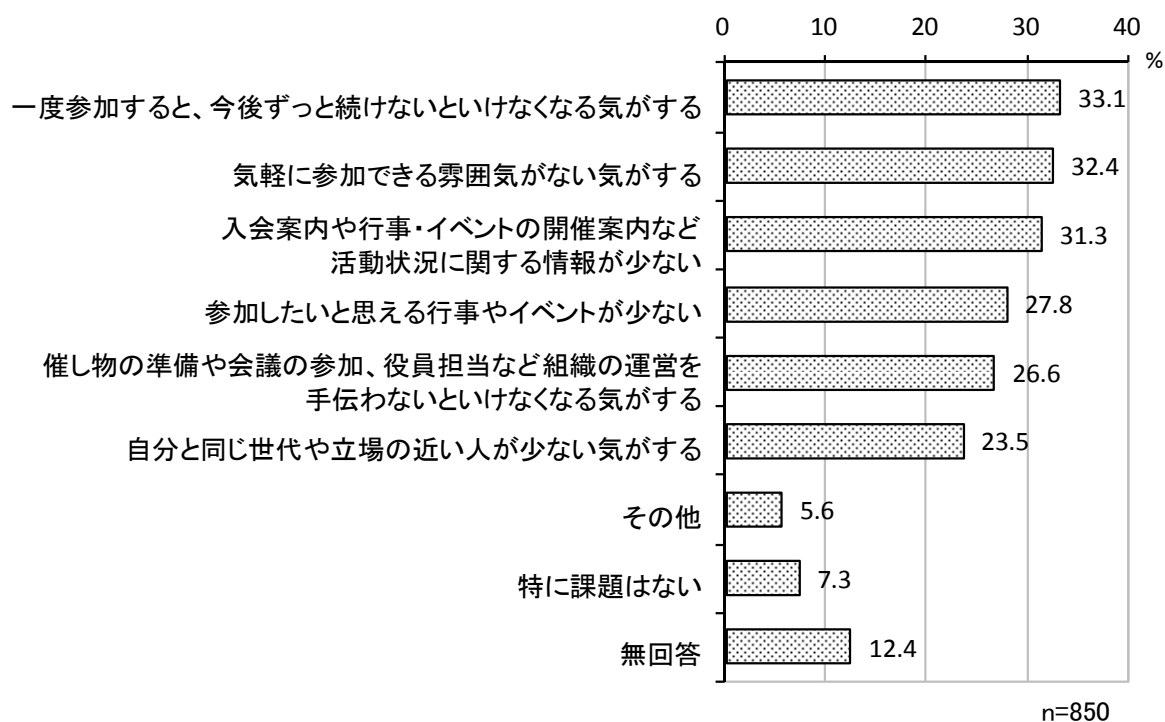


ライフステージ別にみると、「町内会・自治会」は、「家族成熟後期」(36.4%)が最も高く、ついで、「家族成長中期」(32.5%)、「家族成長前期」(23.2%)、の順となっている。一方で、「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」は、「家族形成期」(12.7%)及び「家族成長前期」(10.7%)が全体より5ポイント以上高くなっている。

なお、「参加していない」は、「夫婦だけ(1)」(98.8%)及び「単身(1)」(97.2%)が、全体より10ポイント以上高い。

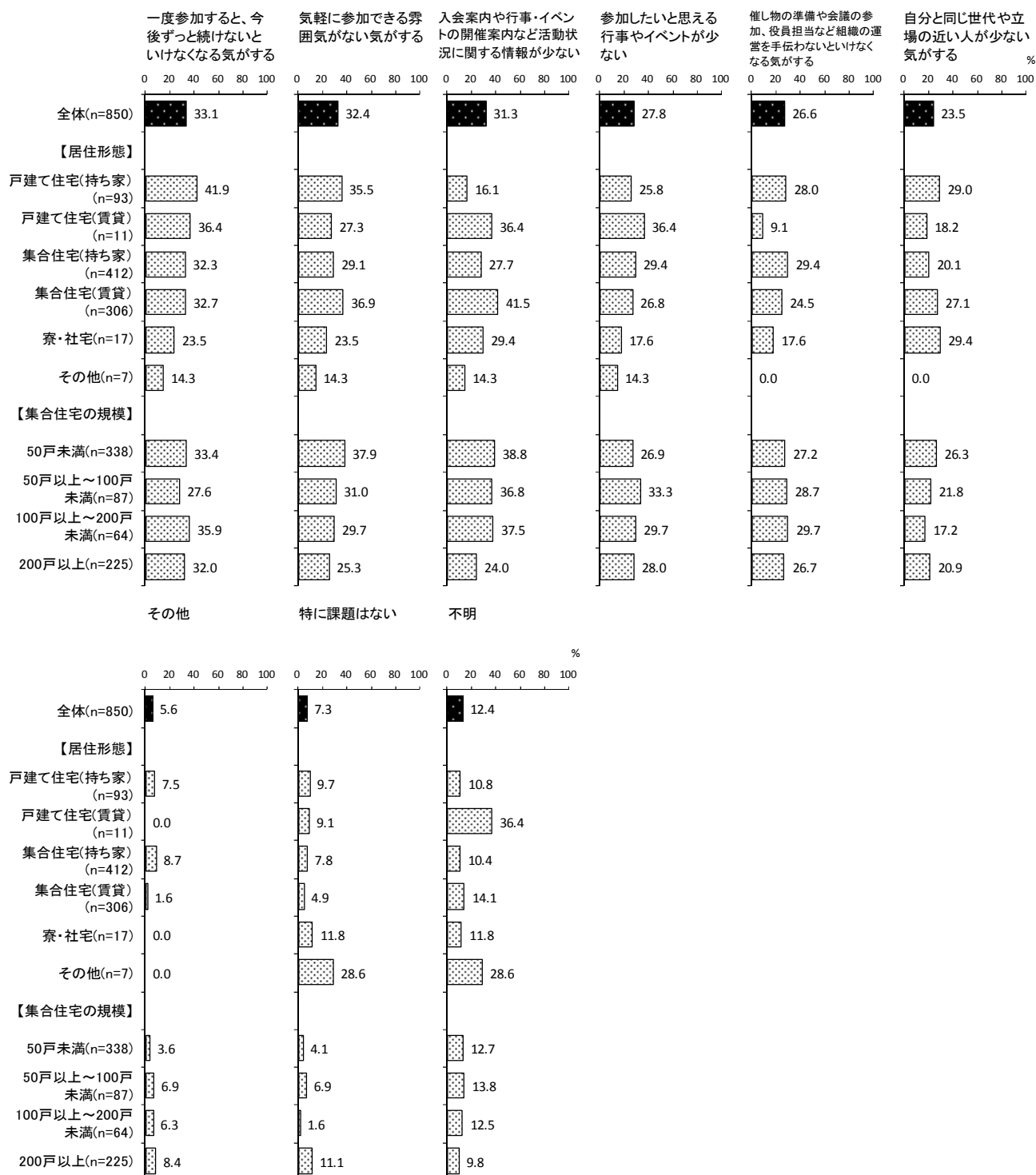
問23. 問21でお答えになった現在加入している組織の活動に参加する際、どのようなことが課題になると思いますか(複数回答)

図 組織活動へ参加する際の課題 [全体]



組織活動へ参加する際の課題については、「一旦参加すると、今後ずっと続けないといけなくなる気がする」、「気軽に参加できる雰囲気がない気がする」及び「入会案内や行事・イベントの開催案内など活動状況に関する情報が少ない」が 30%以上を占めている。

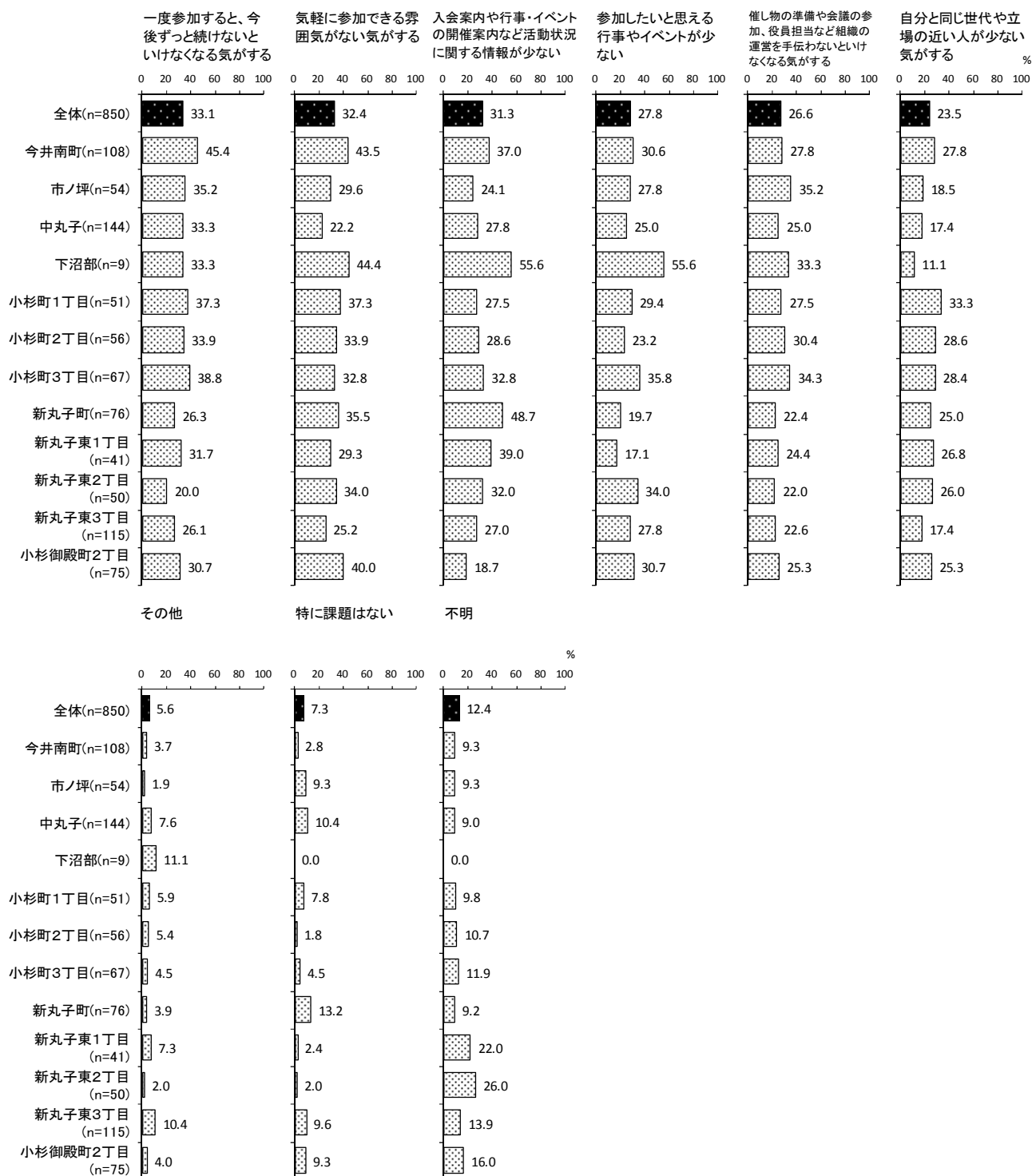
図 組織活動へ参加する際の課題【居住形態別、集合住宅の規模別】



居住形態別にみると、「一度参加すると、今後ずっと続けないといけなくなる気がする」は「戸建て住宅(持ち家)」(41.9%)が、全体より5ポイント以上高い。「入会案内や行事・イベントの開催案内など活動状況に関する情報が少ない」は「集合住宅(賃貸)」(41.5%)が全体より10ポイント以上高い。

集合住宅の規模別にみると、「入会案内や行事・イベントの開催案内など活動状況に関する情報が少ない」は、『200戸未満』が全体より5ポイント以上高い。

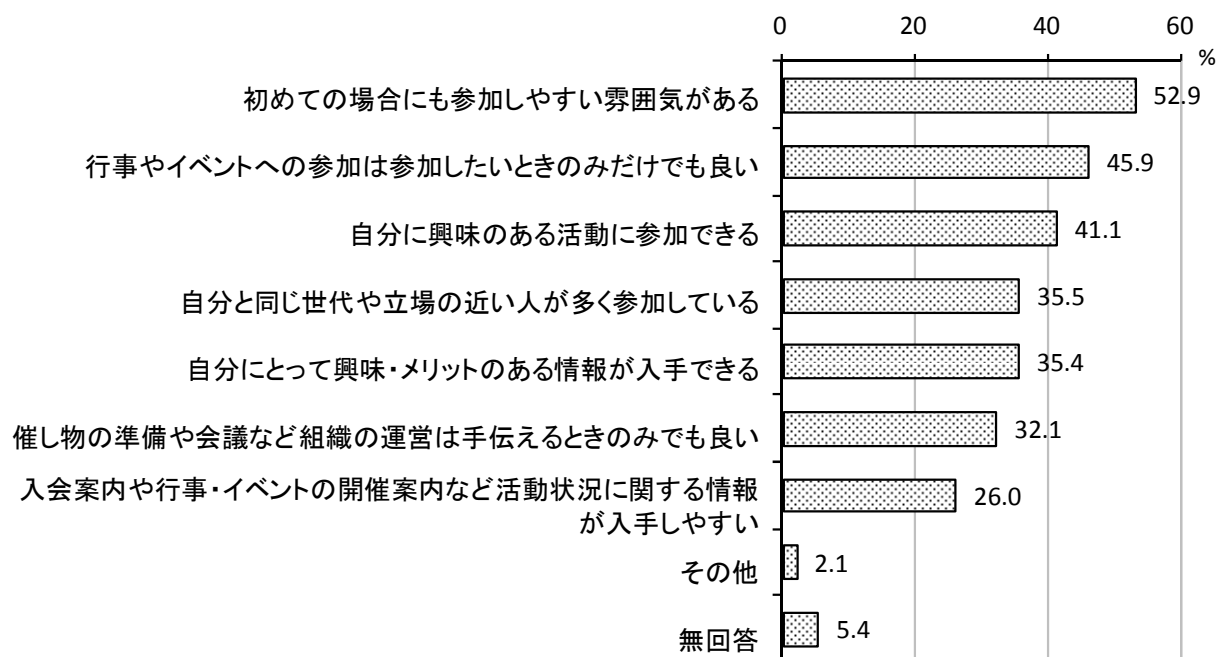
図 組織活動へ参加する際の課題【居住地区別】



居住地区別にみると、「一度参加すると、今後ずっと続けたいといけなくなる気がする」、「気軽に参加できる雰囲気がない気がする」は「今井南町」(それぞれ 45.4%、43.5%)が、全体より 10 ポイント以上高い。「入会案内や行事・イベントの開催案内など活動状況に関する情報が少ない」は「新丸子町」(48.7%)が、全体より 10 ポイント以上高い。

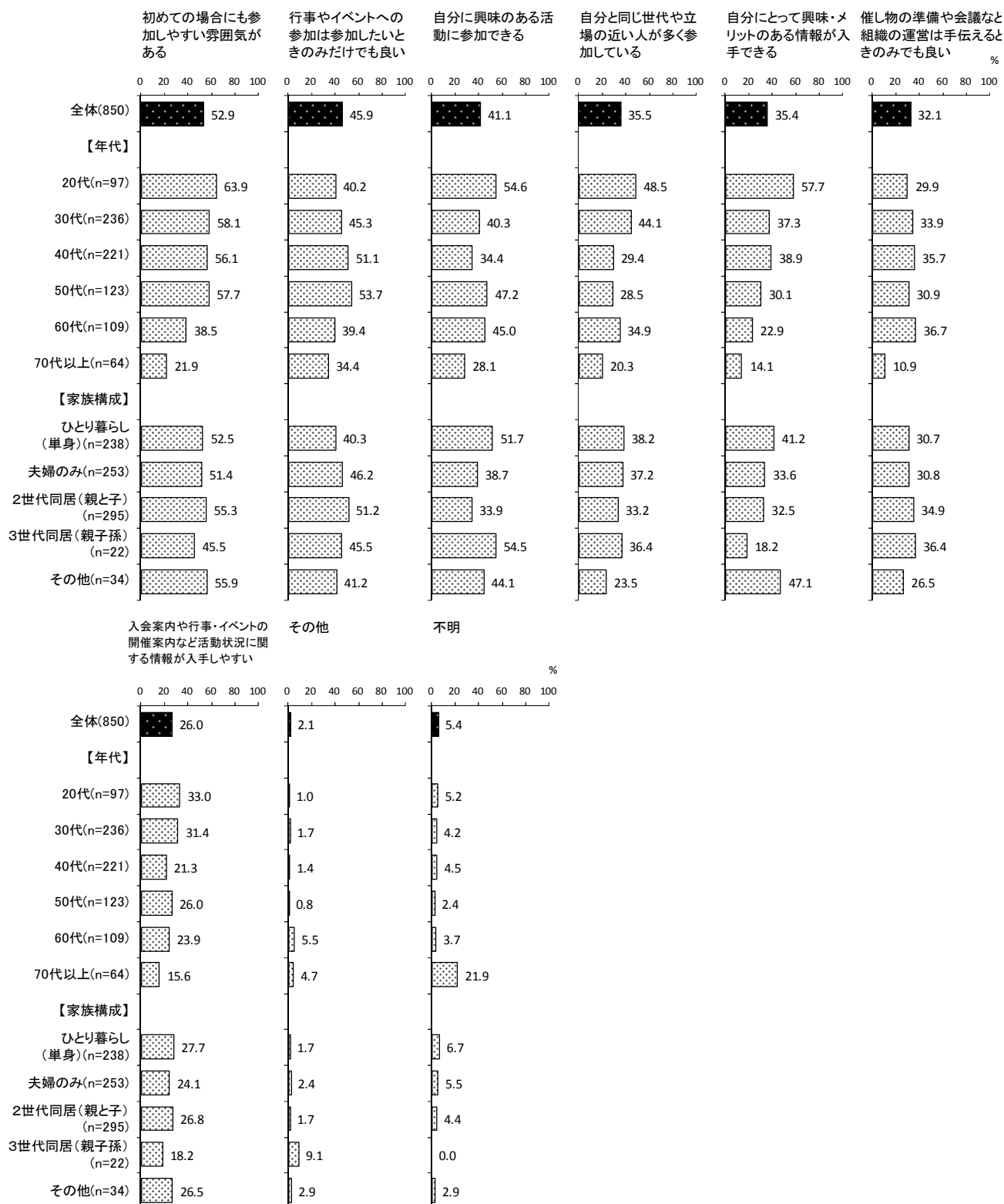
問24. 地域活動に取り組む組織がどのような組織であれば活動に参加しても良いと思いますか(複数回答)

図 地域活動に取り組む組織への要望 [全体]



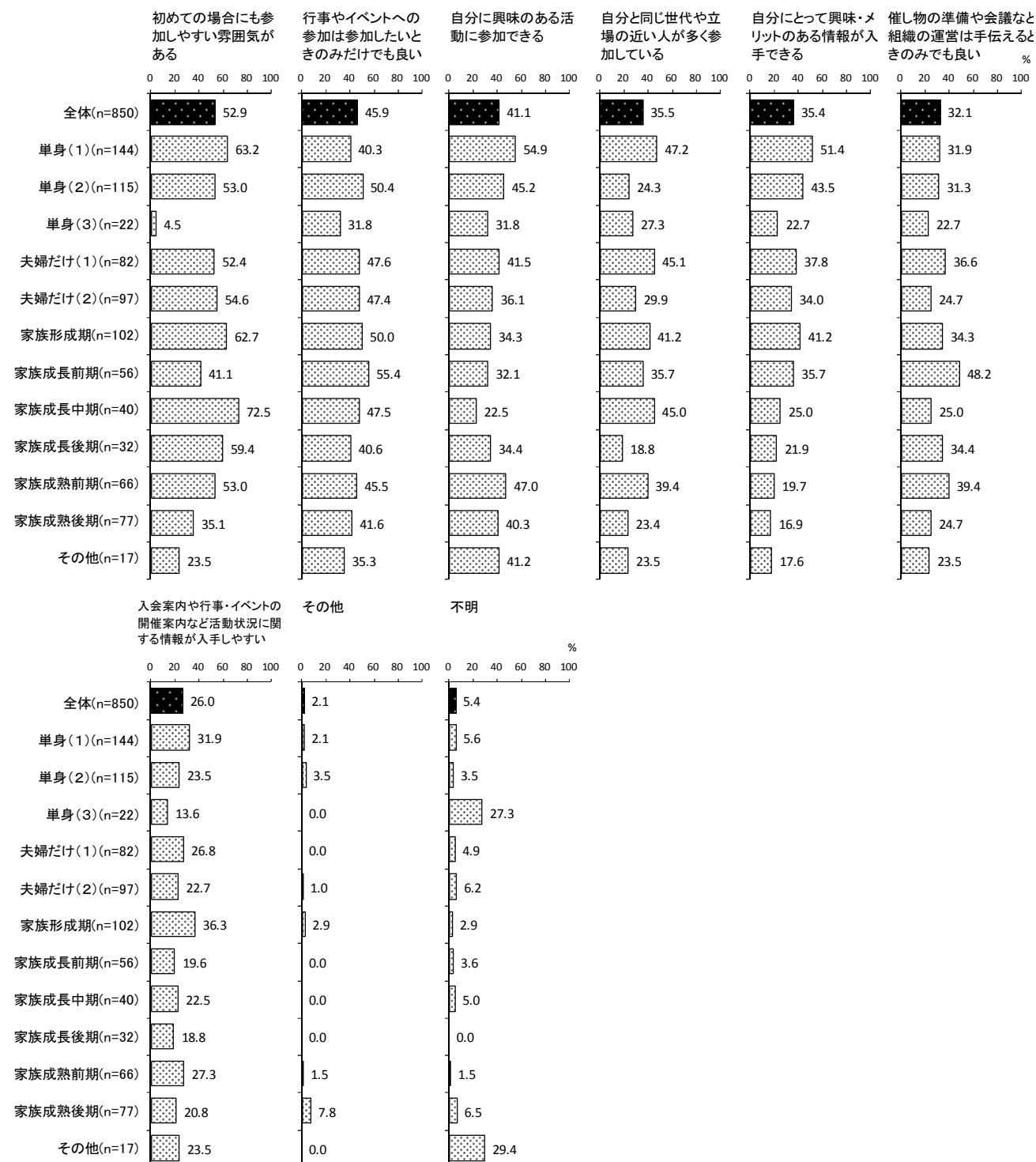
地域活動に取り組む組織への要望については、「初めての場面にも参加しやすい雰囲気がある」(52.9%)が最も高く、ついで、「行事やイベントへの参加は参加したいときのみだけでも良い」(45.9%)、「自分に興味のある活動に参加できる」(41.1%)の順となっている。

図 地域活動に取り組む組織への要望 [年代別、家族構成別]



年代別にみると、「初めの場合にも参加しやすい雰囲気がある」は『30代以下』が、全体より5ポイント以上高い。「行事やイベントへの参加は参加したいときのみだけでも良い」は「40代」及び「50代」が、全体より5ポイント以上高い。「自分に興味のある活動に参加できる」は「20代」及び「50代」が全体より5ポイント以上高い。

図 地域活動に取り組む組織への要望 [ライフステージ別]



ライフステージ別にみると、「初めての場面にも参加しやすい雰囲気がある」は「家族成長中期」(72.5%)が最も高く、ついで、「単身(1)」(63.2%)、「家族形成期」(62.7%)となっている。

「自分に興味のある活動に参加できる」、「自分と同じ世代や立場の近い人が多く参加している」、「自分にとって興味・メリットのある情報が入手できる」は、いずれも「単身(1)」が全体より10ポイント以上高い。